


令和3年度  
障害者のスポーツに関する意識調査  
報告書

 東京都オリンピック・パラリンピック準備局



# 目次

1 調査概要	1
1.1 調査目的	1
1.2 調査方法及び回答結果	1
(1) 調査方法	1
(2) 調査内容	1
(3) 調査期間	2
(4) 調査対象及び回答結果	2
(5) 利用上の注意	3
2 調査結果	4
2.1 障害者の属性	4
(1) 本人あるいは同居する家族における障害者の有無	4
(2) 年齢	5
(3) 性別	5
(4) 障害の種類	6
(5) 車いすの必要性の有無	7
(6) 障害者手帳の保有状況	8
(7) 障害が発生した年齢	14
(8) 過去1年間の就業状況	16
(9) 過去1年間の平日・日中の居場所	19
2.2 スポーツ・運動に関する情報源	23
2.3 スポーツ・運動の実施	26
(1) 過去1年間のスポーツ・運動の実施の有無	26
(2) 過去1年間にスポーツ・運動を行った日数	33
(3) 過去1年間に行ったスポーツ・運動	38
(4) 過去1年間にスポーツ・運動を行った日数（種目別）	46
(5) スポーツ・運動を実施する場所	48
(6) スポーツ・運動を一緒に実施する人	52
(7) スポーツ・運動を実施する理由	56
(8) スポーツ・運動を実施しない理由	60
(9) 現在のスポーツ・運動への取組	64
(10) スポーツ・運動を行う際に必要と考える支援	69
(11) スポーツ・運動を行う際に最も必要と考える支援	75
2.4 新型コロナウイルス感染症による影響	80
(1) 新型コロナウイルス感染症によるスポーツ・運動活動への影響・変化	80
(2) 新型コロナウイルス感染症影響下で必要と考える支援	84
2.5 東京2020大会観戦の有無・観戦後のスポーツ活動への影響	89
(1) オリンピック観戦の有無	89
(2) オリンピックで観戦したい／した競技	95
(3) オリンピック観戦後の変化・影響	100
(4) パラリンピック観戦の有無	104
(5) パラリンピックで観戦したい／した競技	110
(6) パラリンピック観戦後の変化・影響	113

3	まとめ（調査結果の概要） .....	117
○	参考文献・付録	

注)「しょうがい」の用語は、「障がい」「障碍」などがあるが、本報告書では、法令等における表記である「障害」を使用した。

## 1 調査概要

### 1.1 調査目的

今後の東京都における障害者スポーツ振興に向け、都内に居住する障害のある方のスポーツに関する意識を調査し、「東京都スポーツ推進総合計画」（平成30年3月策定）における政策目標の達成状況等を把握する。

### 1.2 調査方法及び回答結果

#### (1) 調査方法

無記名式のインターネット調査

#### (2) 調査内容

- ・ 回答者本人および同居する家族の障害の有無
- ・ 障害者手帳の保有状況
- ・ 障害が発生した年齢
- ・ 過去1年間の収入を伴う仕事の従事状況
- ・ 過去1年間の平日日中の所在
- ・ スポーツや運動についての情報源
- ・ 過去1年間に行ったスポーツや運動の種目
- ・ 過去1年間に行ったスポーツや運動の種目別実施頻度
- ・ 過去1年間に行ったスポーツや運動の実施頻度
- ・ スポーツや運動を実施した場所
- ・ スポーツや運動を一緒にする人
- ・ スポーツや運動を実施した理由
- ・ スポーツや運動を実施していない理由
- ・ 現在のスポーツ・運動への取組の満足度
- ・ スポーツや運動を行う際に必要と考える支援
- ・ スポーツや運動を行う際に最も必要と考える支援
- ・ 新型コロナウイルス感染症によるスポーツ・運動活動への影響・変化
- ・ 新型コロナウイルス感染症影響下で必要と考える支援
- ・ 東京2020大会観戦有無・観戦後のスポーツ活動への影響

### (3) 調査期間

6月調査：2021年6月15日(火)～2021年6月21日(月)

9月調査：2021年9月13日(月)～2021年9月21日(火)

※本報告書においては、経年比較の数値は9月調査のものを掲載している。

(前回調査 2020年9月18日(金)～2020年9月28日(月))

### (4) 調査対象及び回答結果

インターネット市場でモニター登録している方のうち、以下に該当する方を調査対象とした。

- ・ 都内に居住する18歳以上の障害者本人あるいは同居する家族に障害者がいる方

該当する回答者は6月調査が1,009人、9月調査が1,011人であり、その属性は以下のとおり。

【図表 1】 【図表 2】 【図表 3】

なお、同居する家族として、障害者の兄弟、姉妹、子供が複数いる場合は、それぞれ年齢が一番上のものについてのみ、回答を依頼した結果、回答者本人及び同居する家族内の障害者を含めた障害者の総数は、6月調査が1,307人、9月調査が1,346人であった。

【図表 1】 回答者の居住地(左:6月調査 右:9月調査)

居住地	回収数	比率(%)
23区	722	71.6
多摩	286	28.3
島しょ	1	0.1
合計	1,009	

居住地	回収数	比率(%)
23区	711	70.3
多摩	299	29.6
島しょ	1	0.1
合計	1,011	

【図表 2】 回答者の年齢(左:6月調査 右:9月調査)

年代	回収数	比率(%)
18～19歳	8	0.8
20歳代	170	16.8
30歳代	189	18.7
40歳代	166	16.5
50歳代	174	17.2
60歳代	169	16.7
70歳代以上	133	13.2
合計	1,009	

年代	回収数	比率(%)
18～19歳	6	0.6
20歳代	149	14.7
30歳代	201	19.9
40歳代	185	18.3
50歳代	173	17.1
60歳代	179	17.7
70歳代以上	118	11.7
合計	1,011	

【図表 3】 回答者の性別(左:6月調査 右:9月調査)

性別	回収数	比率(%)
男性	554	54.9
女性	455	45.1
合計	1,009	

性別	回収数	比率(%)
男性	602	59.5
女性	409	40.5
合計	1,011	

## (5) 利用上の注意

(ア) 比率の単位は「%」、実数の単位は「人」である。

(イ) 百分率は、小数点以下第2位を四捨五入したため、内訳の合計が100%とならない場合がある。

(ウ) 障害程度分類〔軽度／重度〕については、以下のとおり分類を行った。

- ・ 軽度：身体障害者手帳3～6級、療育手帳3～4度、精神障害者保健福祉手帳2～3級の保持者
- ・ 重度：上記以外の障害者手帳保持者

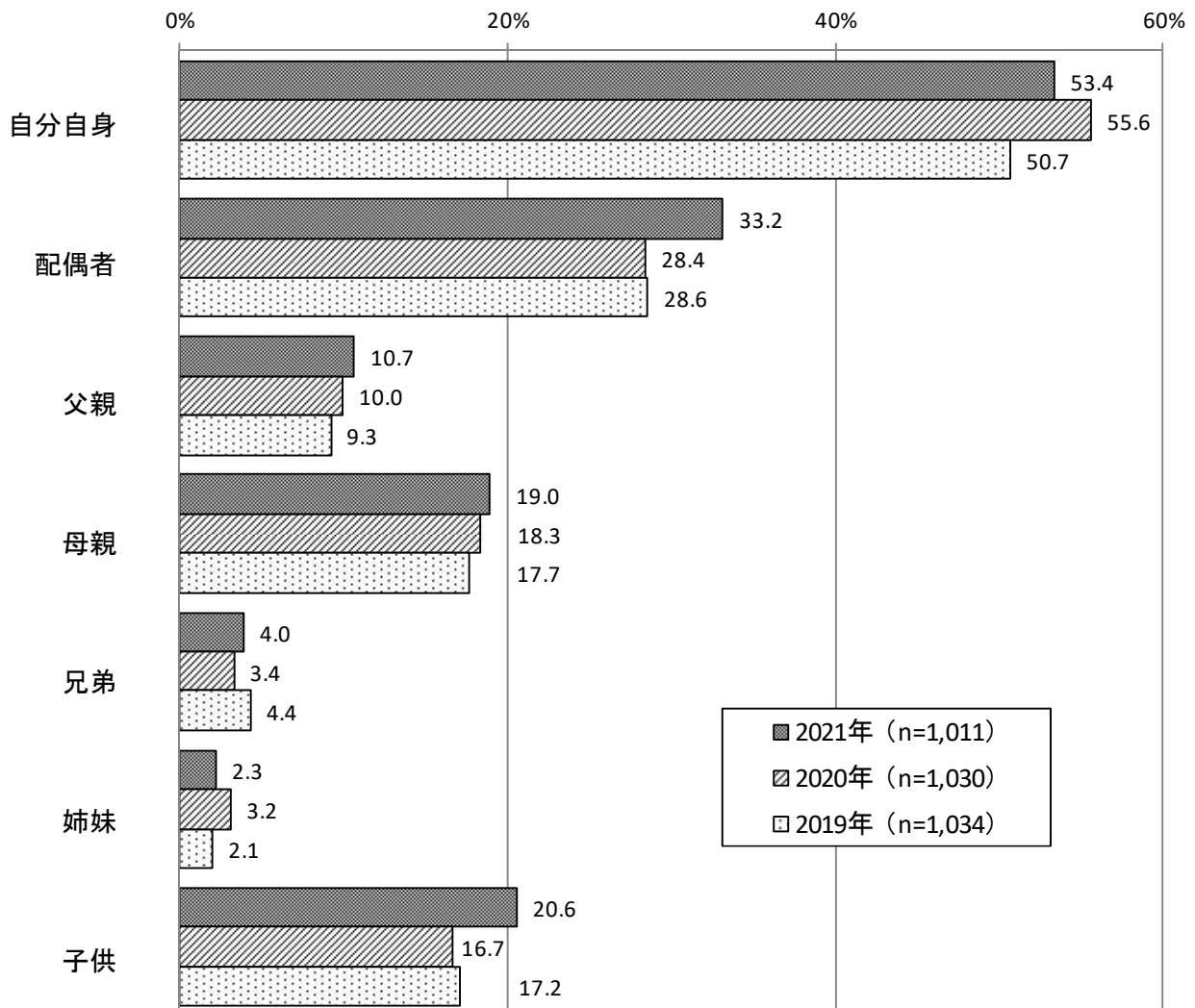
## 2 調査結果

### 2.1 障害者の属性

#### (1) 本人あるいは同居する家族における障害者の有無

本人あるいは同居する家族における障害者の有無については、「回答者自身」(53.4%)が最も多く、次いで「配偶者」(33.2%)、「子供」(20.6%)であった。【図表 4】

【図表 4】本人及び同居する家族における障害者の有無[複数回答]



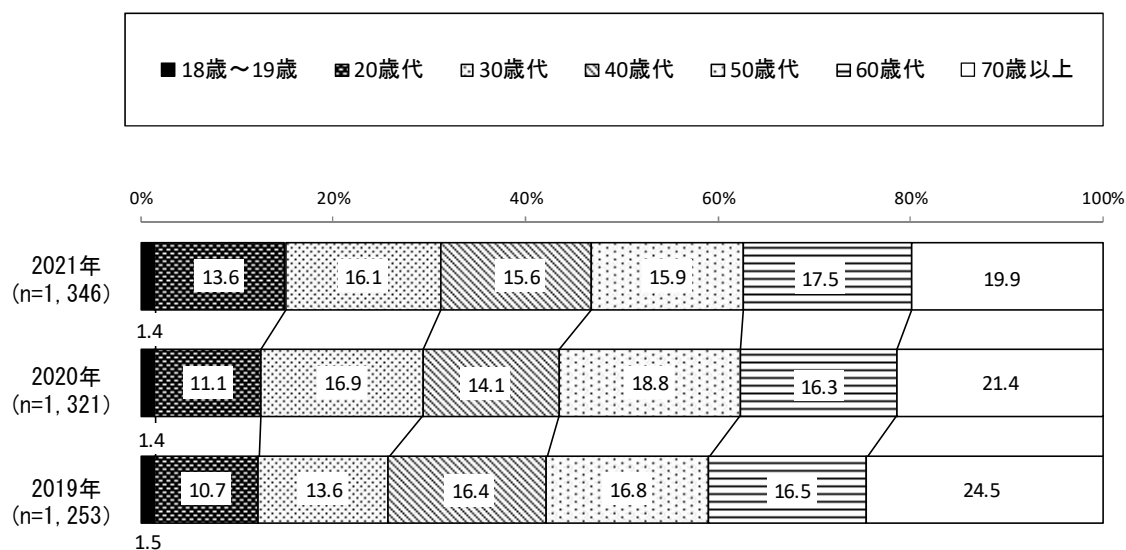


以降の報告では、障害者本人及び同居する障害者 1,346 人に関する回答結果を示している。

## (2) 年齢

総務省の令和 2 年国勢調査では、東京都の 18 歳以上の人口の内、18～19 歳が 2.1%、20 歳代が 14.6%、30 歳代が 16.1%、40 歳代が 18.7%、50 歳代が 16.3%、60 歳代が 11.6%、70 歳代以上が 20.7%であり、都民全体と比べて年齢構成に大きな差はなかった。【図表 5】

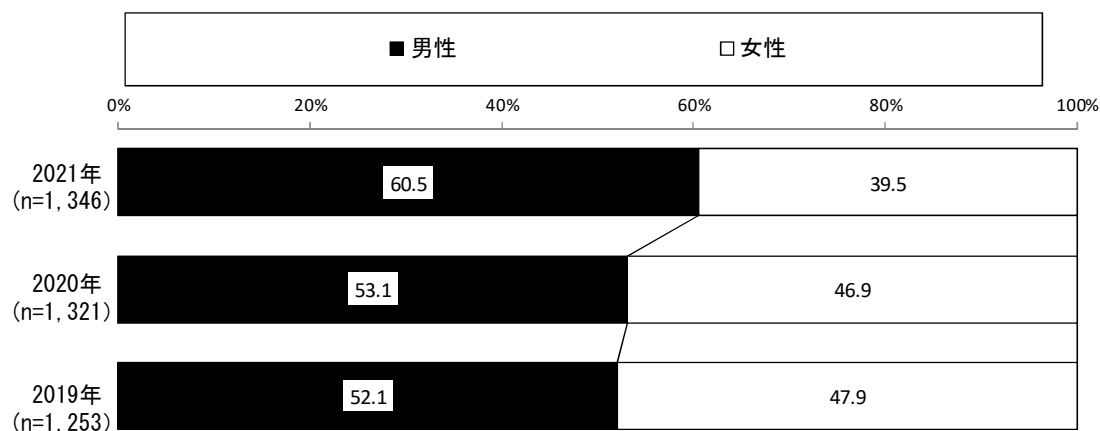
【図表 5】年齢



## (3) 性別

総務省の令和 2 年国勢調査では、東京都の人口の内、男性が 49.1%、女性が 50.9%であるが、都民全体と比べて男性の比率の方が(60.5%)、女性(39.5%)よりも高くなった。【図表 6】

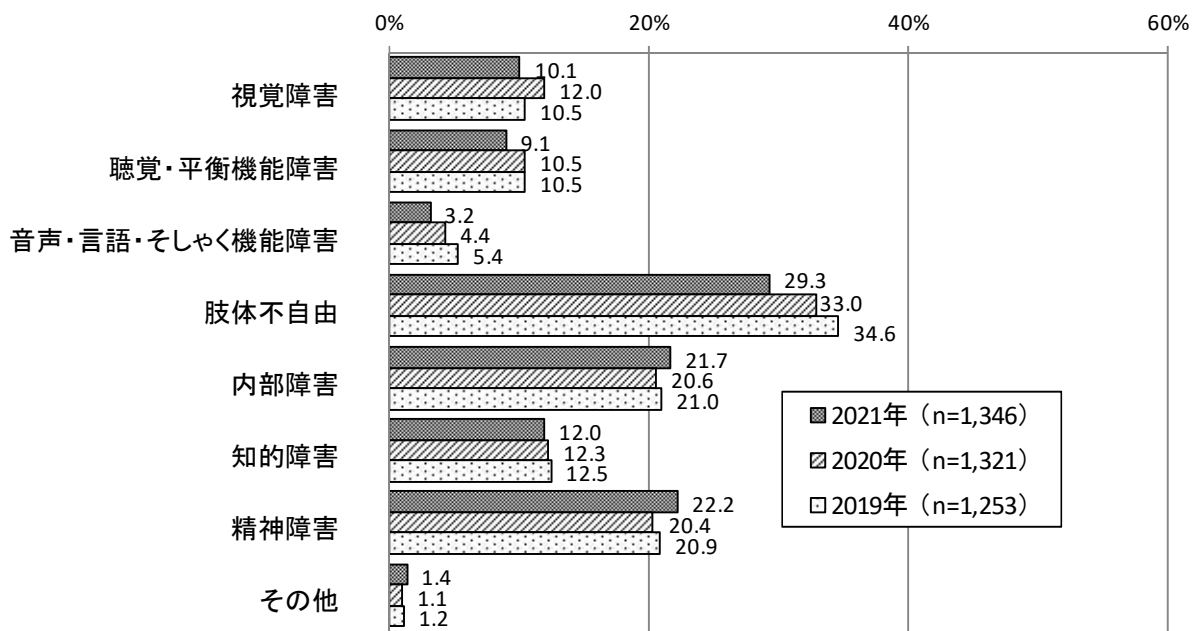
【図表 6】性別



#### (4) 障害の種類

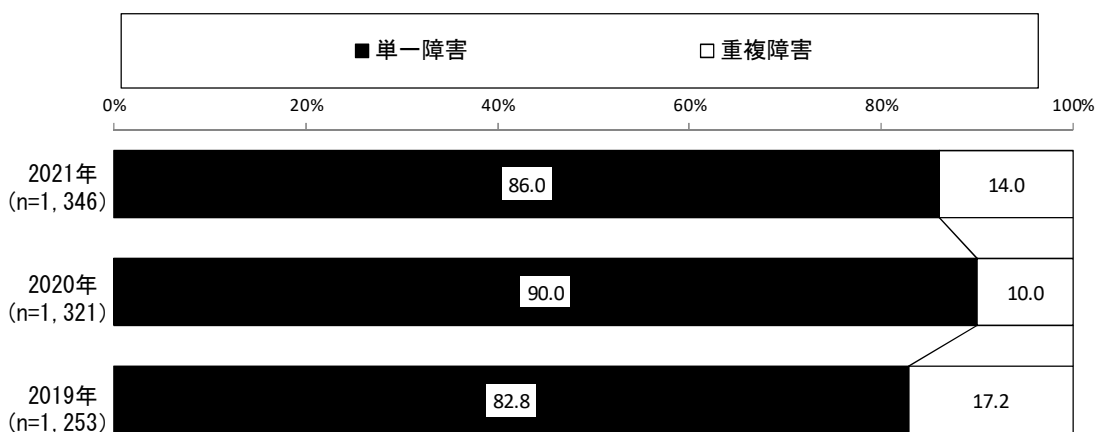
障害の種類は、「肢体不自由」(29.3%)の割合が最も高く、次いで「精神障害」(22.2%)、「内部障害」(21.7%)の順であった。【図表 7】

【図表 7】障害の種類[複数回答]



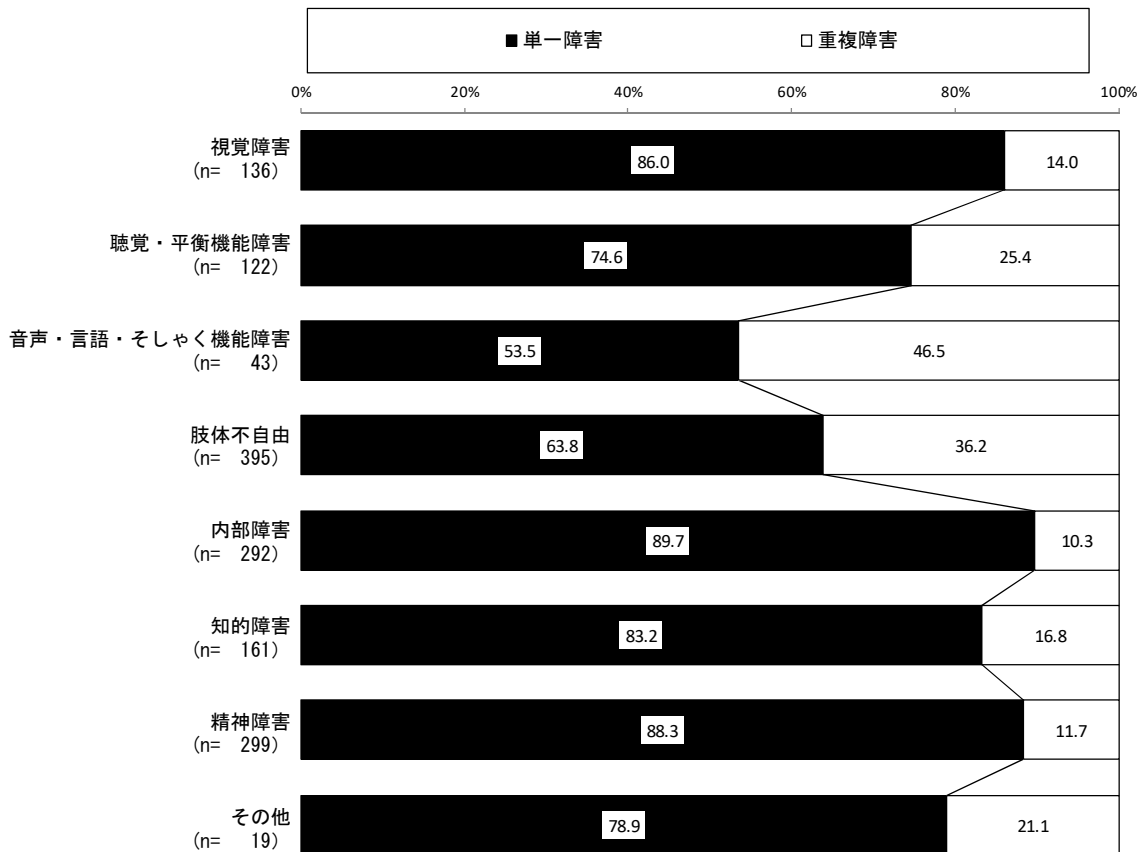
単一障害・重複障害の比率をみると、重複障害の比率は14.0%であった。【図表 8】

【図表 8】単一障害・重複障害の比率



障害種別にみると、重複障害の割合は、「音声・言語・そしゃく機能障害」が46.5%、「肢体不自由」が36.2%と他の障害に比べて高かった。【図表 9】

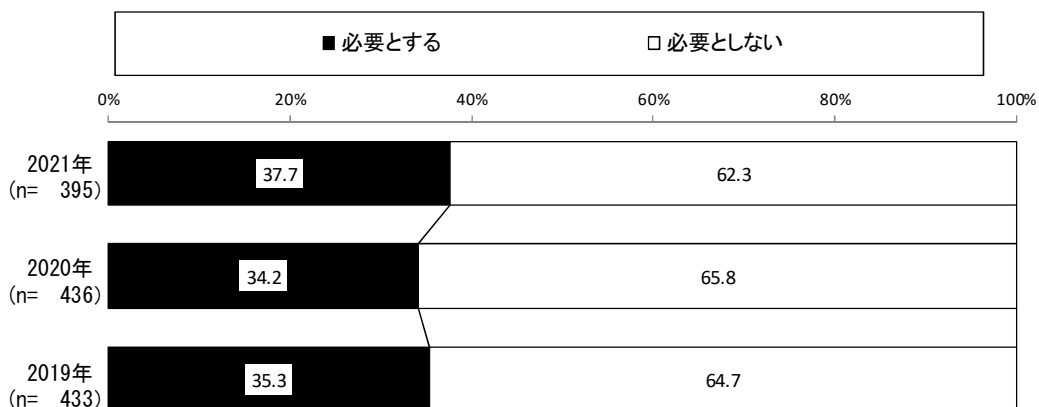
【図表 9】単一障害・重複障害の比率(障害種別)



### (5) 車いすの必要性の有無

車いすの必要性については、肢体不自由と回答のあった方 395 人のうち、「日常生活で車いすを必要とする」が 37.7%、「日常生活で車いすを必要としない」が 62.3%で、昨年度と比較して、「日常生活で車いすを必要とする」が 3.5 ポイント高くなっている。【図表 10】

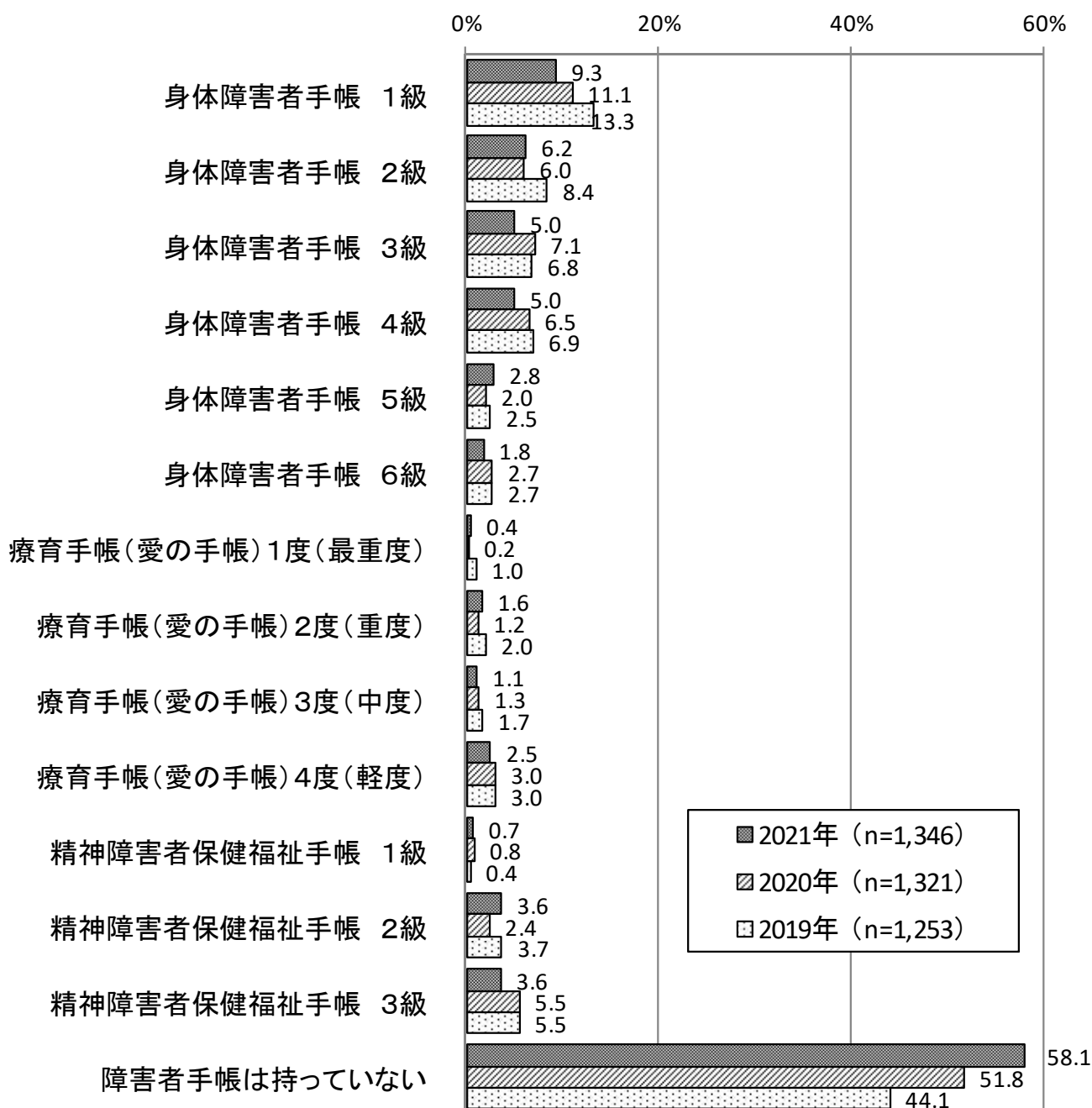
【図表 10】日常生活での車いすの必要性の有無



## (6) 障害者手帳の保有状況

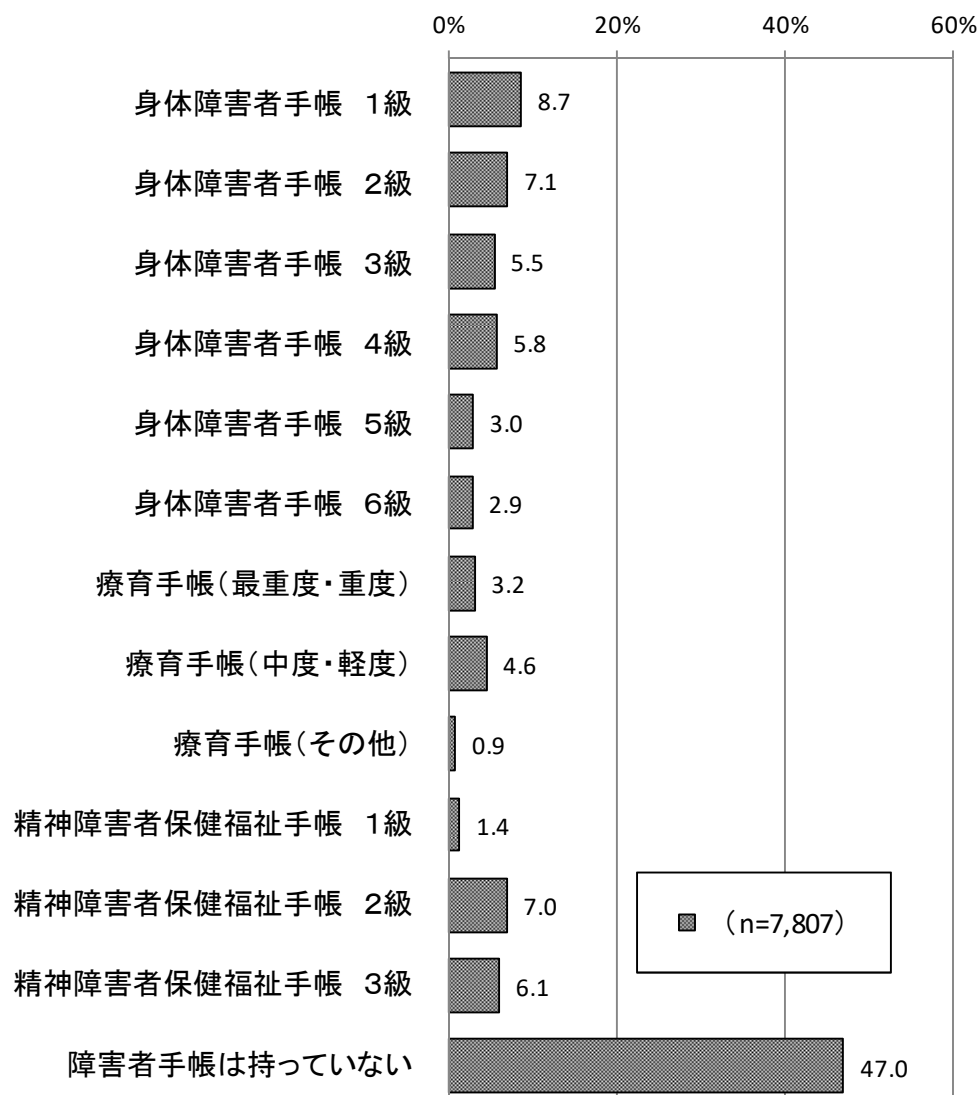
障害者手帳の保有状況については、「障害者手帳は持っていない」が58.1%であった。障害者手帳を持っている人の中では、「身体障害者手帳1級」(9.3%)の割合が最も高く、次いで「身体障害者手帳2級」(6.2%)、「身体障害者手帳3級」「身体障害者手帳4級」(5.0%)であった。【図表 11】

【図表 11】障害者手帳の保有状況<<手帳の種類>> [複数回答]



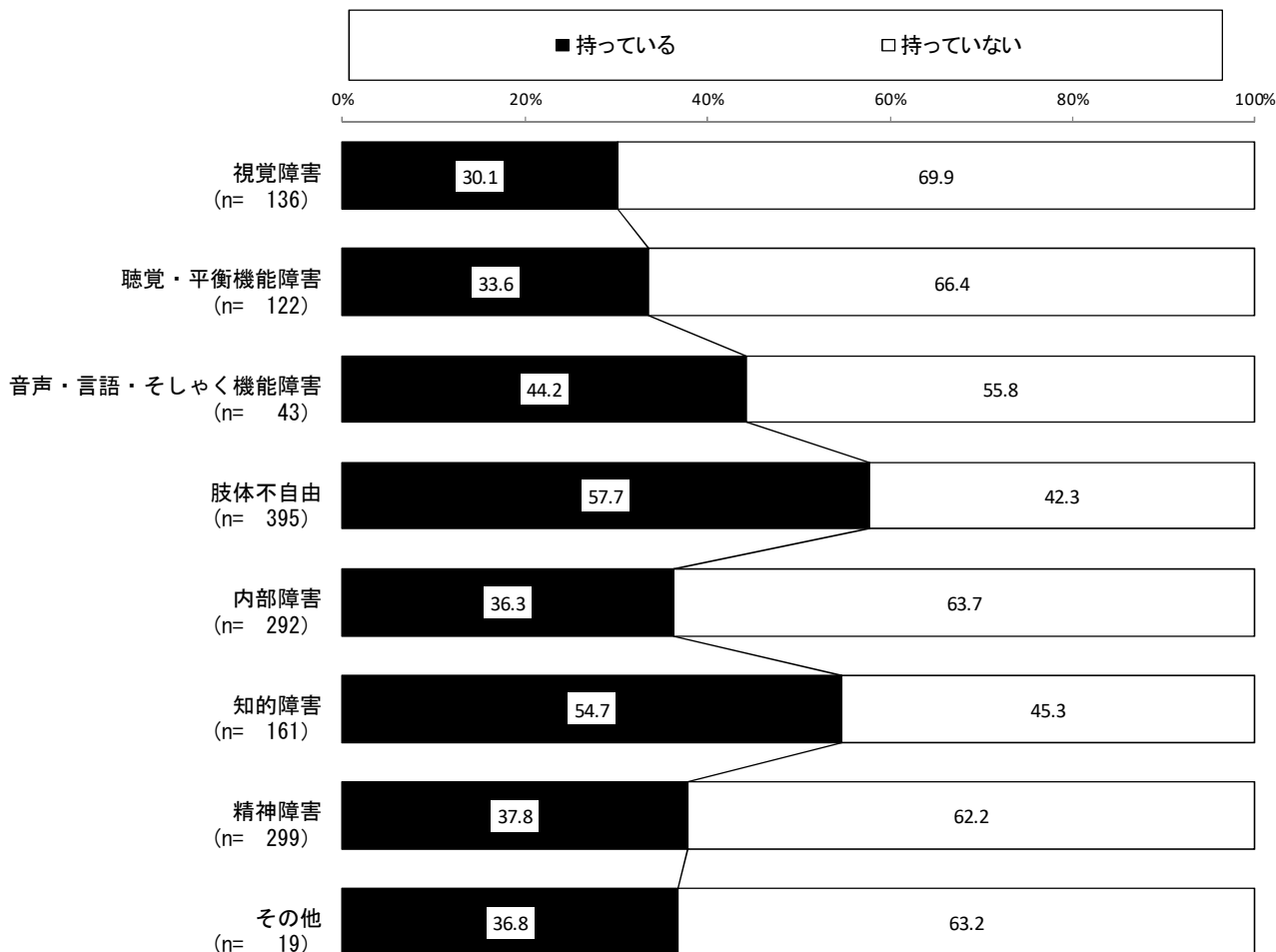
スポーツ庁が全国の障害児・者を対象に実施している『障害者スポーツ推進プロジェクト(障害者のスポーツ参加促進に関する調査研究)』(スポーツ庁:令和3年3月)と比べ、それぞれの手帳の保有率や「障害者手帳は持っていない」非保持者の割合が11.1ポイント高かった。【図表12】

【図表12】障害者手帳の保有状況<<手帳の種類>>[複数回答]  
『障害者スポーツ推進プロジェクト(障害者のスポーツ参加促進に関する調査研究)』  
(スポーツ庁:令和3年3月)



障害種別にみると、障害者手帳の保有率は、「肢体不自由」(57.7%)の割合が最も高く、次いで「知的障害」(54.7%)、「音声・言語・そしゃく機能障害」(44.2%)であった。【図表 13】

【図表 13】障害者手帳の保有状況《保有の有無》(障害種別)



また、障害種別の障害者手帳の保有状況をみると、重複して手帳を保持している方もいた。  
【図表 14】

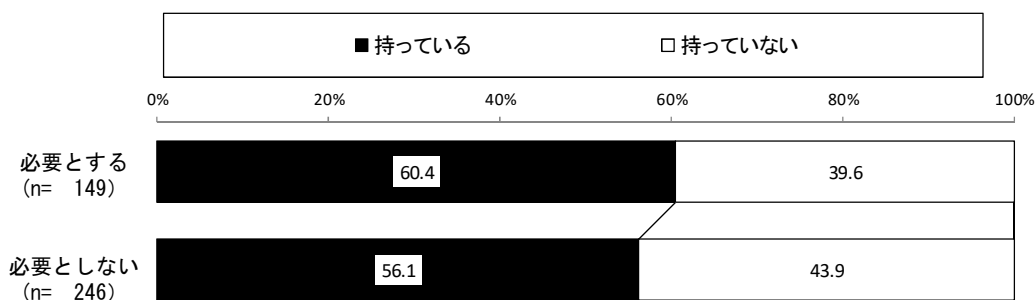
【図表 14】障害者手帳の保有状況《手帳の種類》(障害種別)[複数回答]

(単位:%)

	n	身体障害者手帳	身体障害者手帳	身体障害者手帳	身体障害者手帳	身体障害者手帳	身体障害者手帳	療育手帳(愛の手帳) 1度(最重度)	療育手帳(愛の手帳) 2度(重度)	療育手帳(愛の手帳) 3度(中度)	療育手帳(愛の手帳) 4度(軽度)	精神障害者保健福祉手帳 1級	精神障害者保健福祉手帳 2級	精神障害者保健福祉手帳 3級	障害者手帳は持っていない
		1級	2級	3級	4級	5級	6級								
視覚障害	136	12.5	6.6	0.7	2.2	2.2	1.5	0.7	0.7	0.0	0.0	2.2	0.7	0.7	69.9
聴覚・平衡機能障害	122	9.8	5.7	6.6	4.1	1.6	3.3	0.8	0.0	0.8	0.8	0.0	0.0	1.6	66.4
音声・言語・そしゃく機能障害	43	18.6	11.6	2.3	7.0	2.3	0.0	2.3	0.0	0.0	2.3	0.0	2.3	0.0	55.8
肢体不自由	395	10.6	14.9	11.1	9.9	6.6	3.3	0.3	0.3	0.0	0.5	0.3	1.0	0.5	42.3
内部障害	292	19.2	2.1	3.1	6.8	2.1	0.3	0.3	0.3	0.7	0.7	0.0	1.0	1.0	63.7
知的障害	161	3.1	1.9	3.1	1.2	1.9	0.6	1.2	12.4	6.8	17.4	0.6	4.3	3.1	45.3
精神障害	299	2.7	2.0	1.7	1.7	0.3	1.7	0.3	0.7	0.3	2.3	2.0	13.0	13.7	62.2
その他	19	0.0	5.3	5.3	0.0	5.3	5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	5.3	5.3	63.2

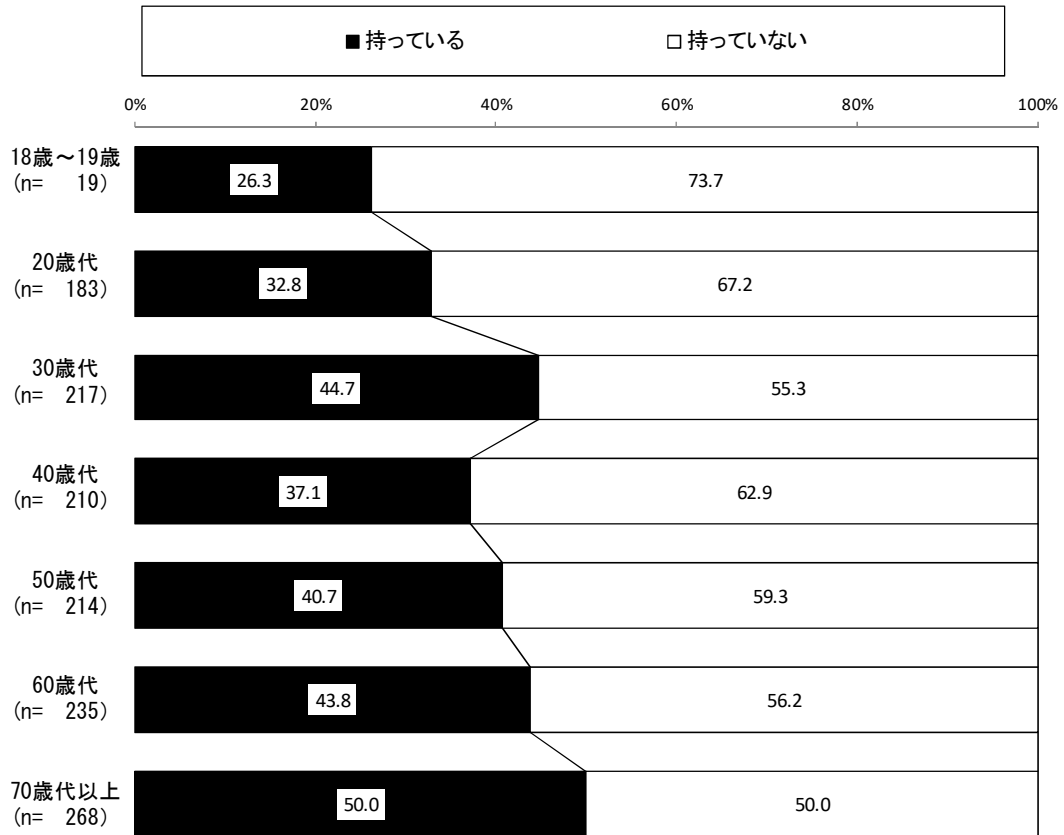
日常生活で車いす必要／不要別にみると、「日常生活で車いすを必要とする」の保有率が 60.4%であったのに対し、「日常生活で車いすを必要としない」の保有率は 56.1%であった。【図表 15】

【図表 15】障害者手帳の保有状況《保有の有無》(日常生活で車いす必要／不要)



年齢別でみると、障害者手帳の保有率は、「70歳代以上」(50.0%)で5割に達した。【図表 16】

【図表 16】障害者手帳の保有状況<<保有の有無>>(年齢別)





身体障害者手帳の保有率は、年齢が上がるにつれて高くなる傾向であった。【図表 17】

【図表 17】障害者手帳の保有状況≪手帳の種類≫(年齢別)[複数回答]

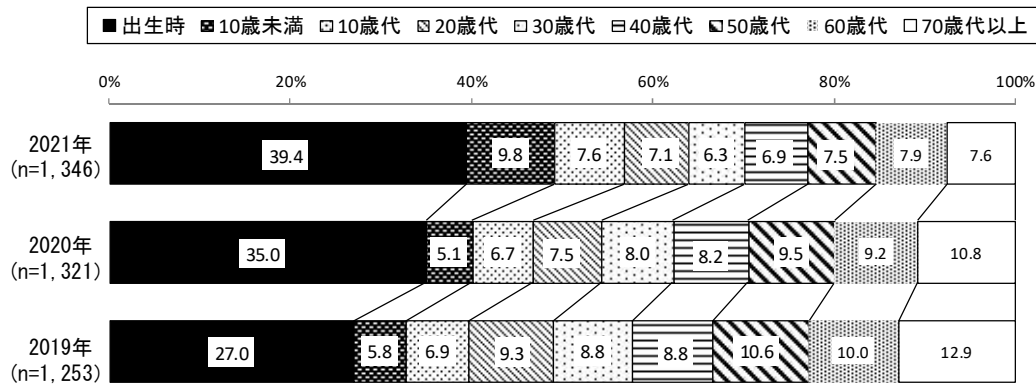
(単位:%)

	n	身体障害者手帳 1級	身体障害者手帳 2級	身体障害者手帳 3級	身体障害者手帳 4級	身体障害者手帳 5級	身体障害者手帳 6級	療育手帳(愛の手帳) 1度(最重度)	療育手帳(愛の手帳) 2度(重度)	療育手帳(愛の手帳) 3度(中度)	療育手帳(愛の手帳) 4度(軽度)	精神障害者保健福祉手帳 1級	精神障害者保健福祉手帳 2級	精神障害者保健福祉手帳 3級	障害者手帳は持っていない
18歳～19歳	19	0.0	0.0	5.3	5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	10.5	0.0	0.0	0.0	73.7
20歳代	183	5.5	2.2	1.6	1.1	2.2	0.5	0.5	2.7	2.7	4.9	0.0	4.9	4.4	67.2
30歳代	217	9.2	5.1	1.8	3.2	2.8	1.4	0.9	3.7	1.8	4.6	1.8	4.1	8.8	55.3
40歳代	210	3.3	6.7	3.8	2.4	1.0	1.0	0.0	1.9	1.0	3.3	1.4	7.1	6.2	62.9
50歳代	214	12.1	5.1	5.1	3.3	3.3	3.3	0.5	0.5	0.5	1.4	0.5	3.7	2.8	59.3
60歳代	235	11.1	8.1	7.7	7.7	3.8	0.9	0.4	0.9	0.0	1.3	0.0	3.0	0.4	66.2
70歳代以上	268	13.4	9.0	8.2	10.1	3.7	3.4	0.4	0.4	0.7	0.0	0.4	0.4	0.4	50.0

## (7) 障害が発生した年齢

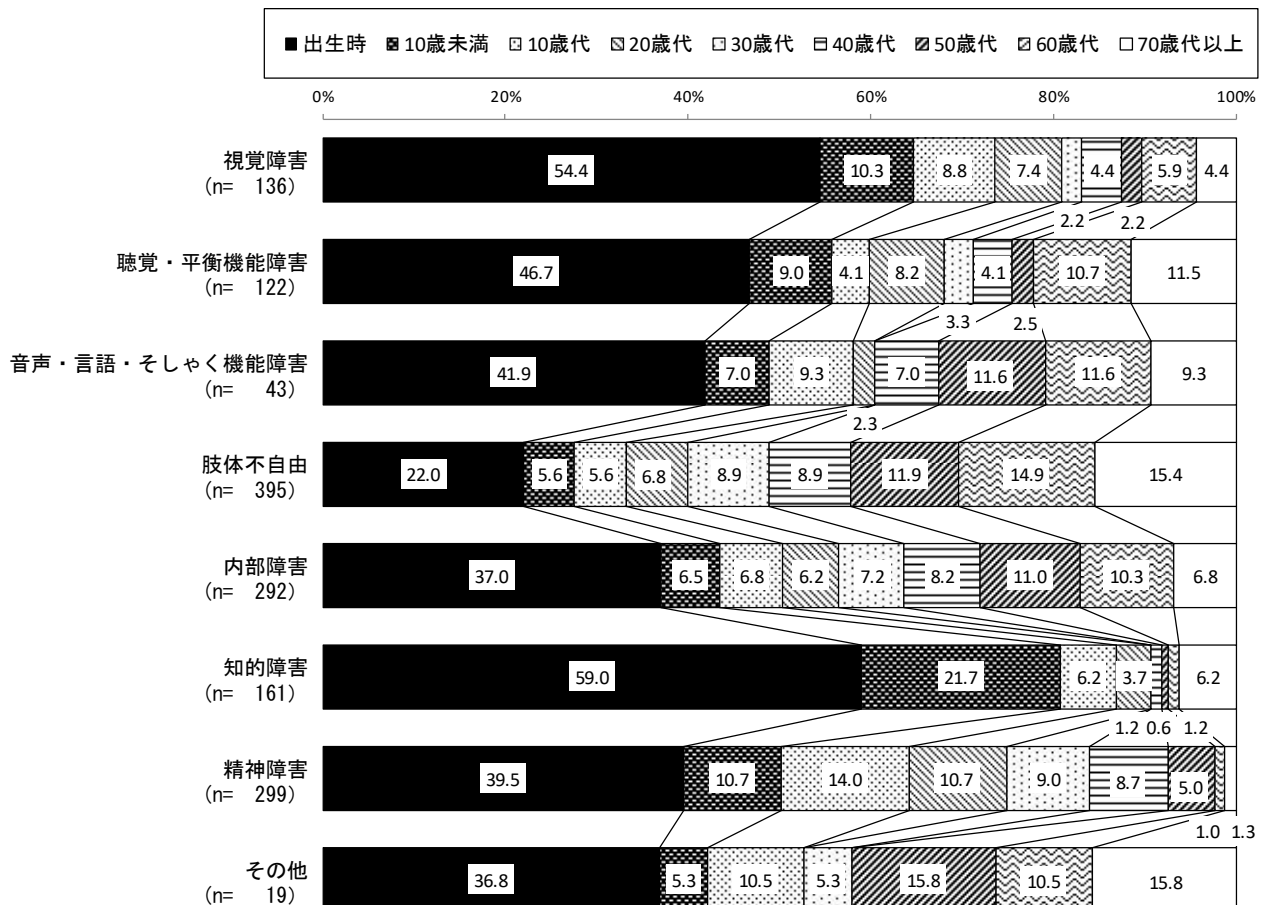
障害が発生した年齢については、「出生時」が39.4%と最も割合が高かったが、障害が発生した年齢は多様であった。【図表 18】

【図表 18】障害が発生した年齢



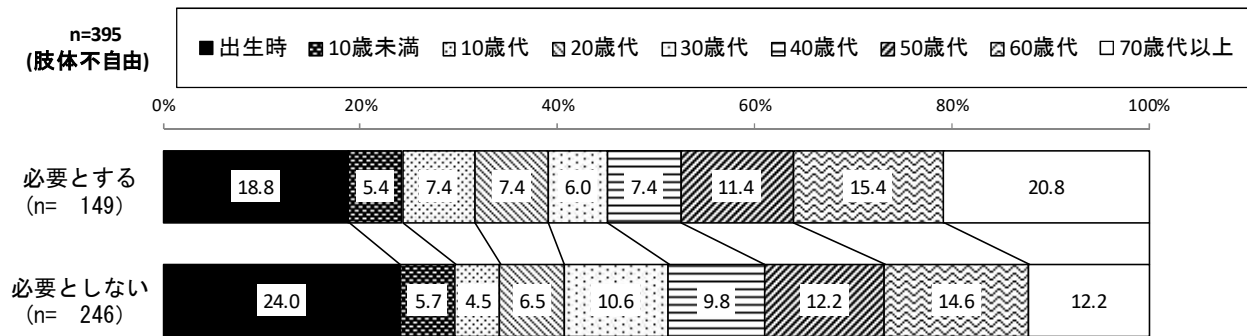
障害種別にみると、他の障害と比べて、「知的障害」(59.0%)と「視覚障害」(54.4%)は、「出生時」の割合が高かった。また、「知的障害」は、低年齢時の発生の割合が他の障害に比べて高く、「肢体不自由」は「50歳代」以上の発生の割合が他の障害に比べて高かった。【図表 19】

【図表 19】障害が発生した年齢(障害種別)



日常生活で車いす必要／不要別にみると、「日常生活で車いすを必要とする」では「70歳代」(20.8%)が最も高かった。【図表 20】

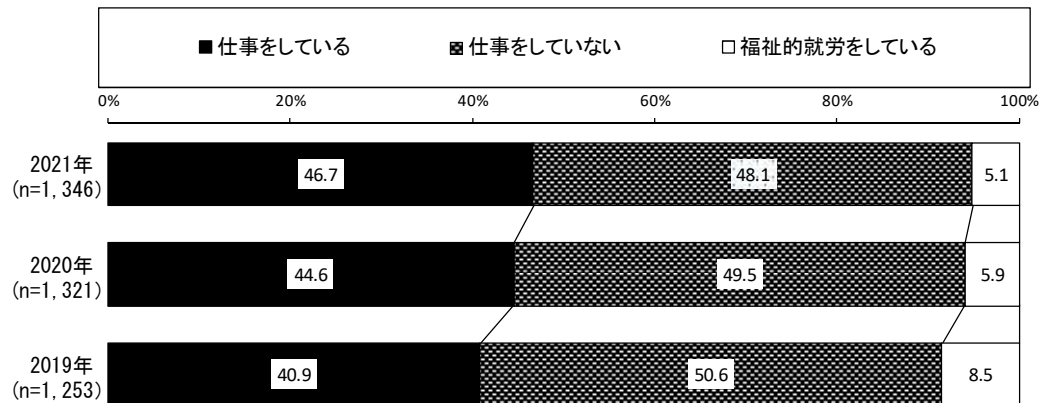
【図表 20】障害が発生した年齢(日常生活で車いす必要／不要)



## (8) 過去 1 年間の就業状況

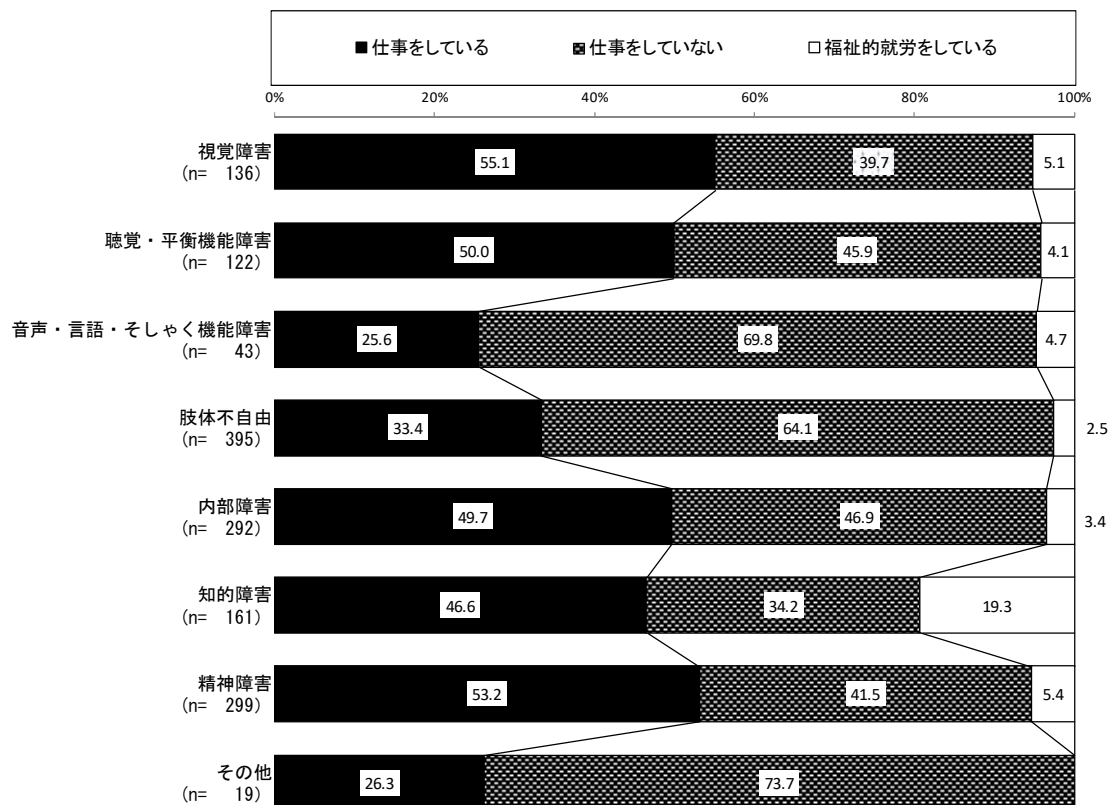
過去 1 年間の就業状況については、「仕事をしている」が 46.7%で、「福祉的就労をしている」(5.1%)と合わせて、約半数が何らかの就労をしていた。【図表 21】

【図表 21】過去 1 年間の就業状況



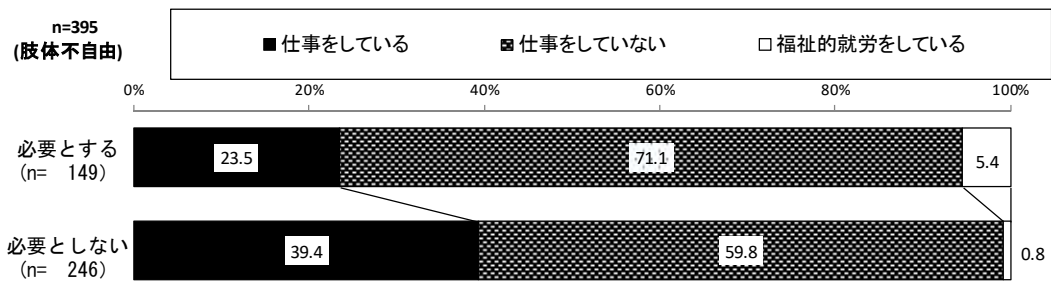
障害種別にみると、「仕事をしている」割合は、「視覚障害」(55.1%)、「精神障害」(53.2%)、「聴覚・平衡機能障害」(50.0%)の順で高かった。【図表 22】

【図表 22】過去 1 年間の就業状況(障害種別)



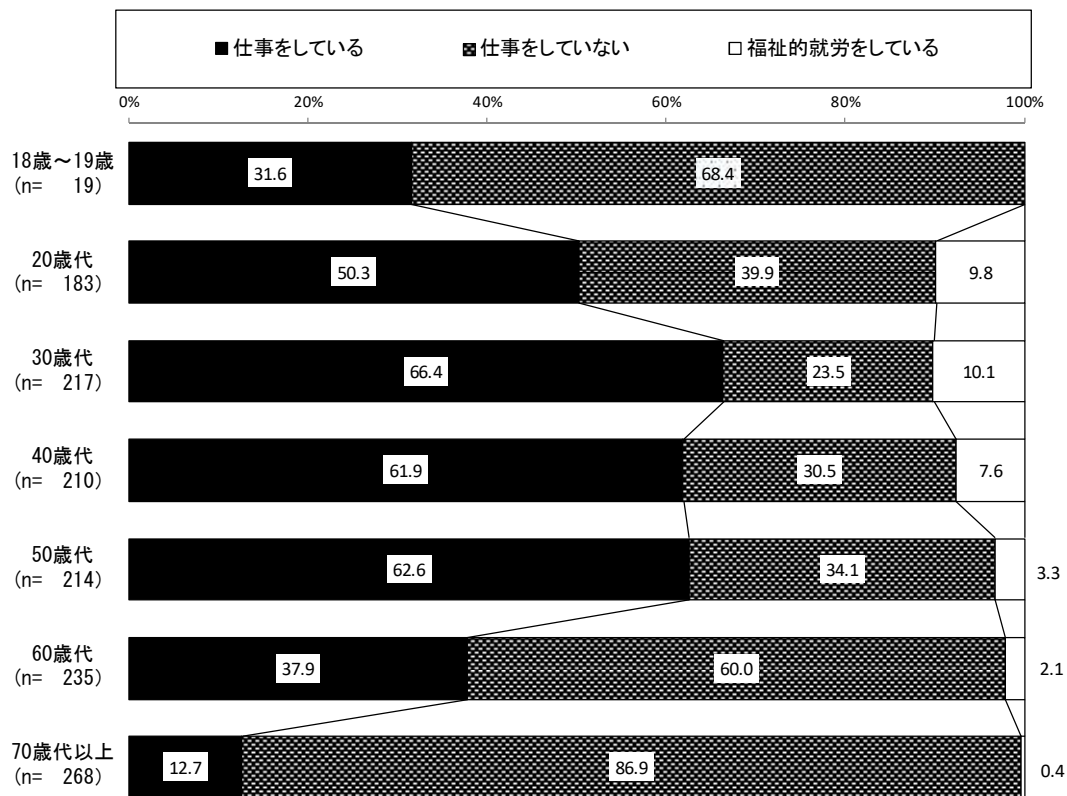
日常生活で車いす必要／不要別にみると、「仕事をしている」割合は、「日常生活で車いすを必要としない」で39.4%、「日常生活で車いすを必要とする」では23.5%であった。【図表 23】

【図表 23】過去1年間の就業状況(日常生活で車いす必要／不要)



年齢別でみると、「仕事をしている」割合は、20歳代～50歳代で5割を超えた。【図表 24】

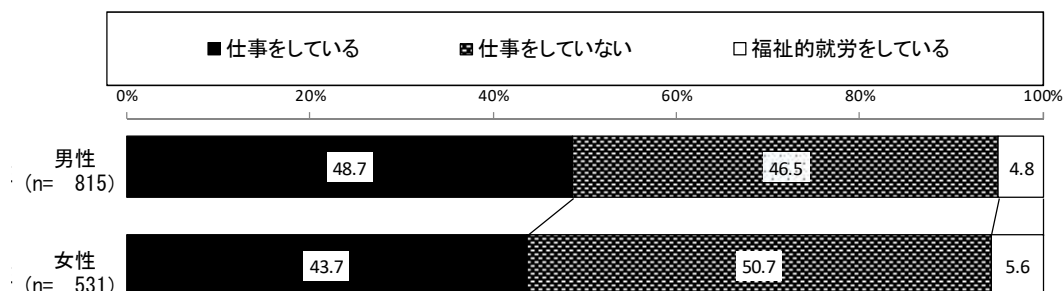
【図表 24】過去1年間の就業状況(年齢別)



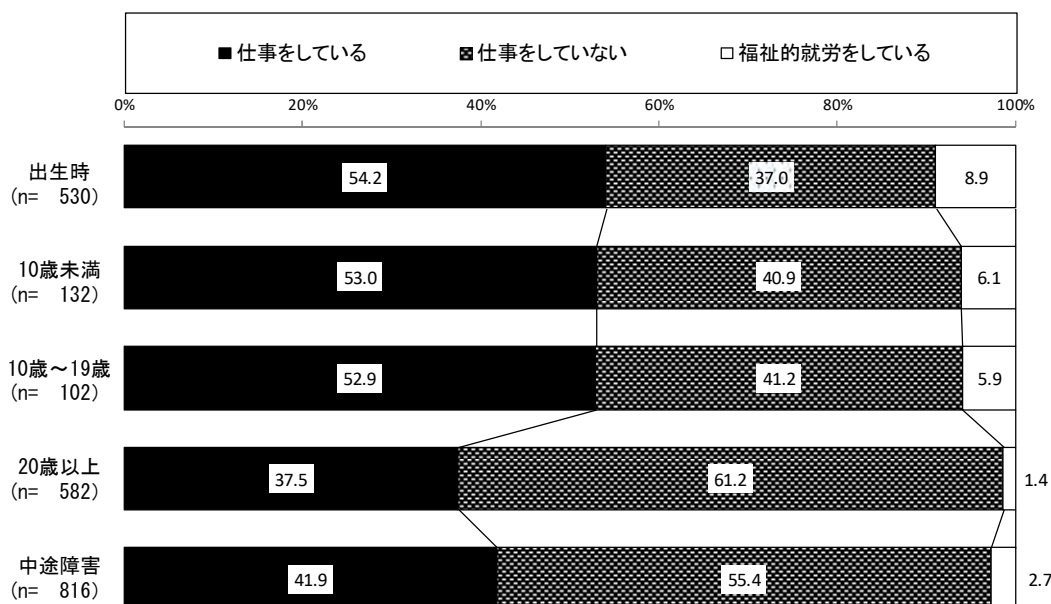
性別でみると、「仕事をしている」割合は、「男性」（48.7%）の方が「女性」（43.7%）よりも高かった。障害が発生した年齢別でみると、「仕事をしている」割合は、「出生時」（54.2%）の方が「中途障害」（41.9%）よりも高かった。「仕事をしている」割合を障害者手帳の保有状況別にみると、「障害者手帳を持っていない」（49.5%）の方が「障害者手帳を持っている」（42.9%）よりも高かった。

【図表 25】 【図表 26】 【図表 27】

【図表 25】過去1年間の就業状況(性別)

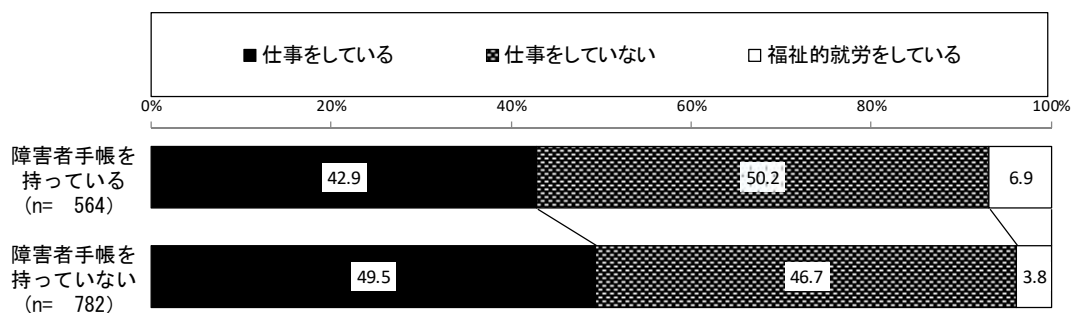


【図表 26】過去1年間の就業状況(障害が発生した年齢別)



※「中途障害」は「10歳未満」、「10歳～19歳」、「20歳以上」の総和です。

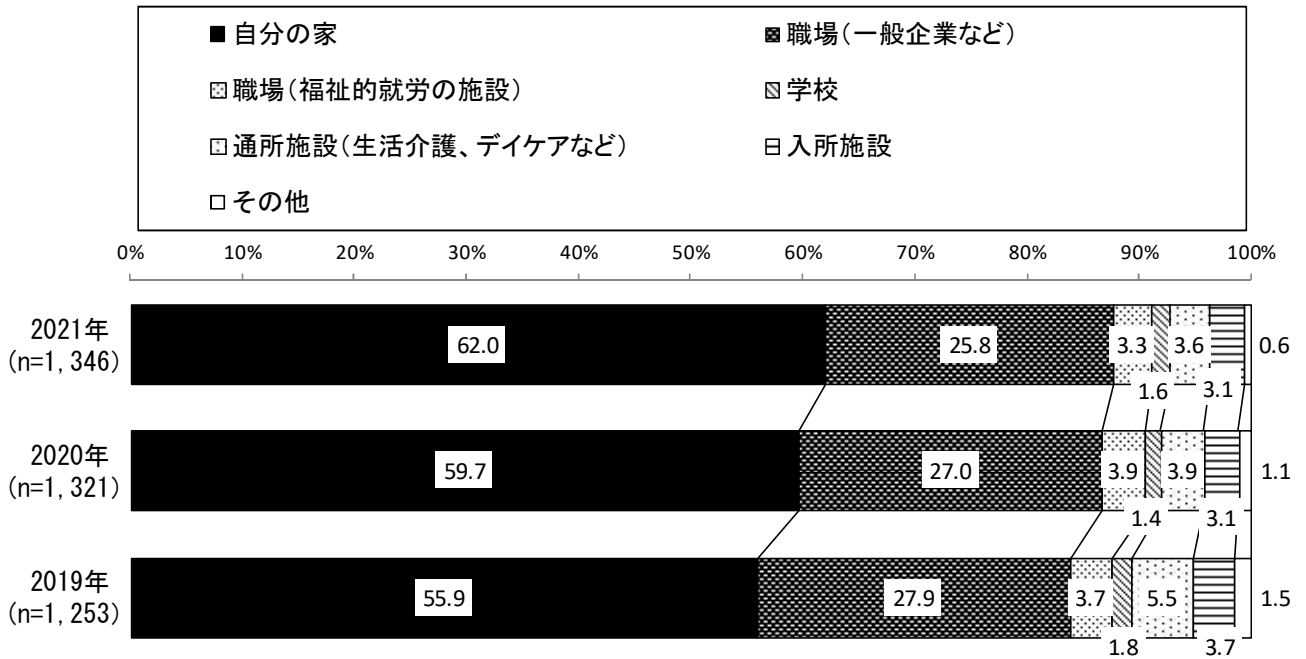
【図表 27】過去1年間の就業状況(障害者手帳の保有状況別)



**(9) 過去 1 年間の平日・日中の居場所**

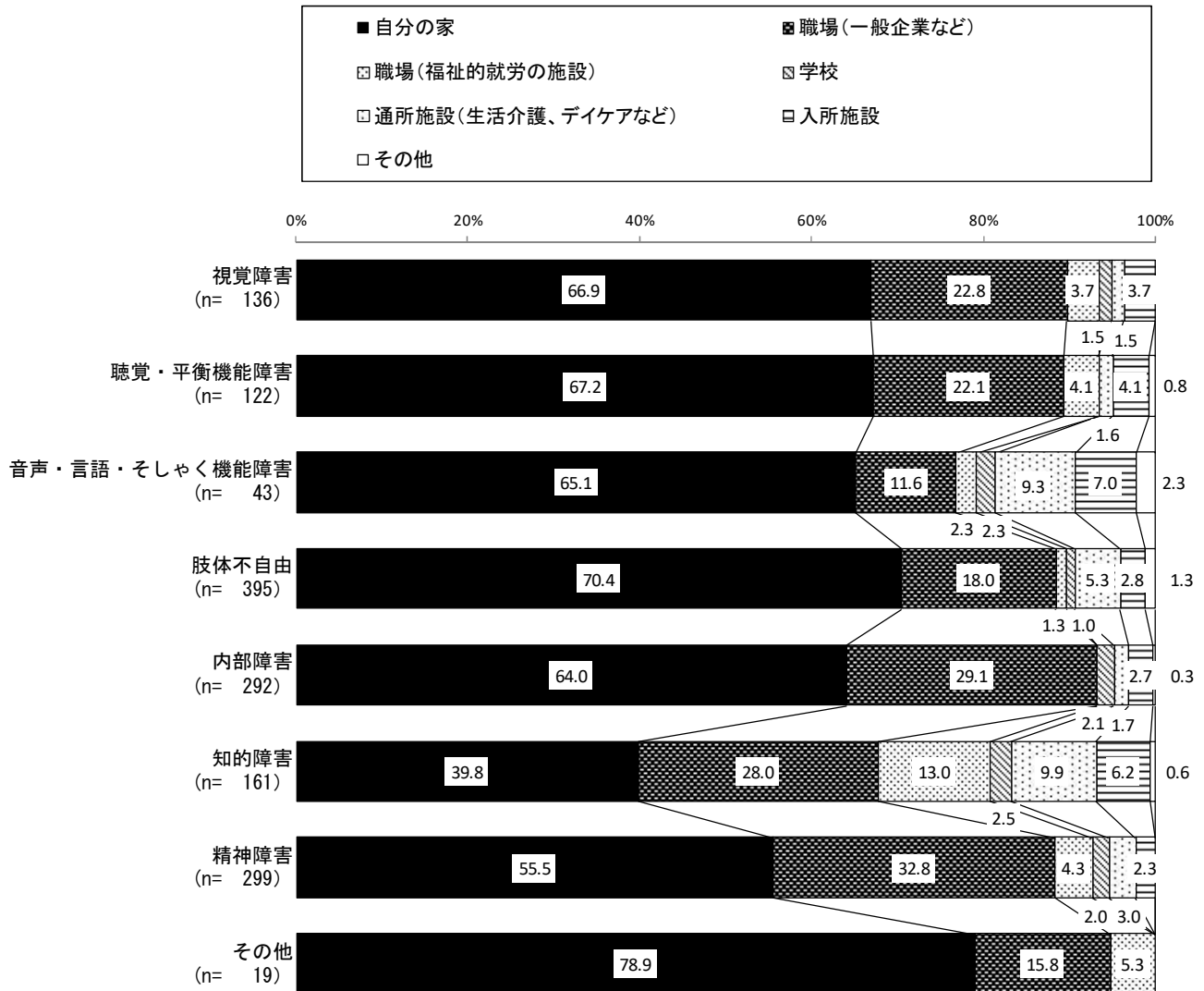
過去 1 年間の平日・日中の居場所については、「自分の家」が 62.0%で、「職場(一般企業など)」(25.8%)と「職場(福祉的就労の施設)」(3.3%)を合わせた「職場」が 29.1%であった。【図表 28】

【図表 28】過去 1 年間の平日・日中の居場所



障害種別にみると、「肢体不自由」では平日の日中に「自分の家」にいる割合が7割を超え、「精神障害」では「職場（一般企業など）」にいる割合が3割を超えた。【図表 29】

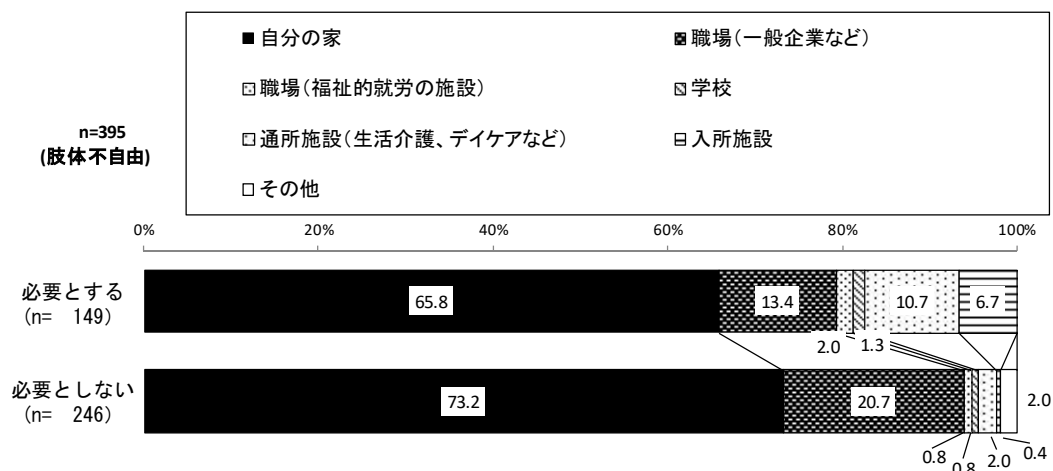
【図表 29】過去1年間の平日・日中の居場所(障害種別)





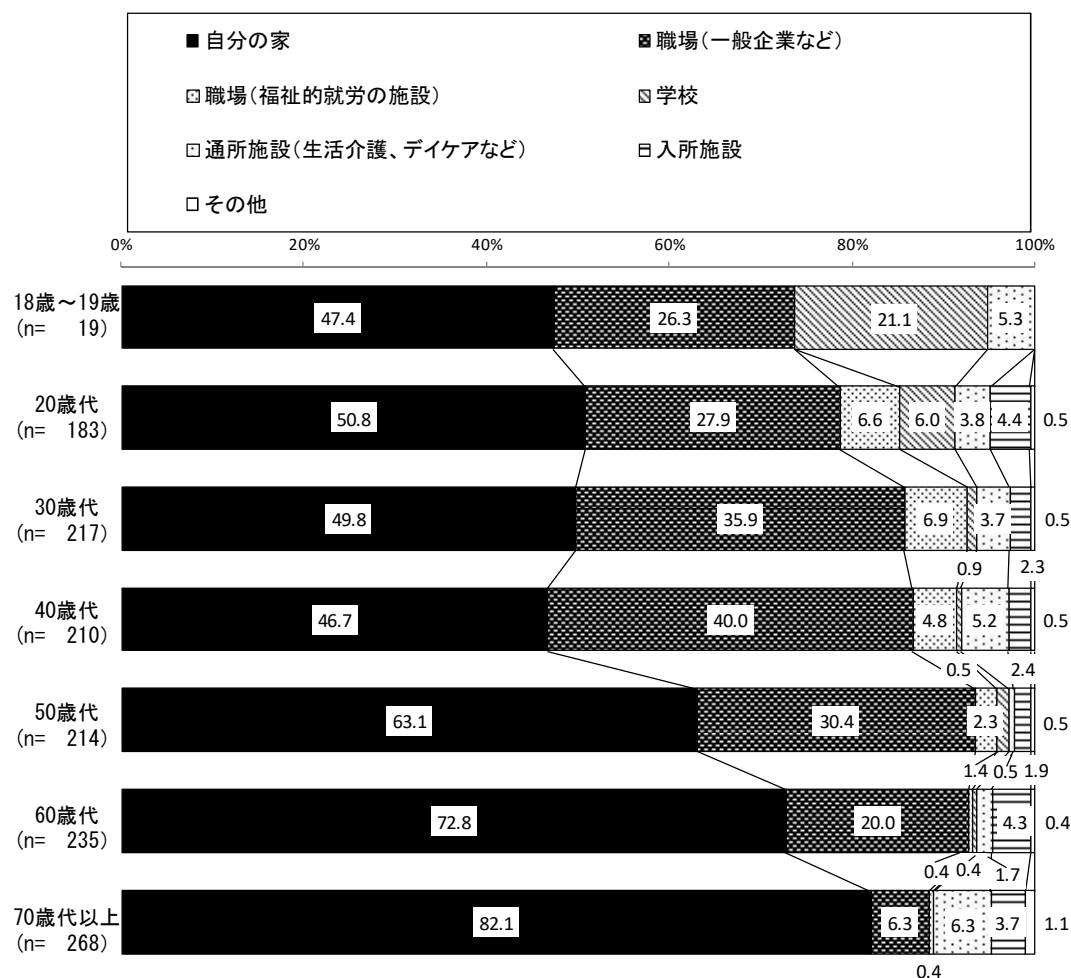
日常生活で車いす必要／不要別にみると、いずれも「自分の家」が最も高かった。また、「日常生活で車いすを必要としない」では「職場(一般企業など)」が2割を超えた。【図表 30】

【図表 30】過去1年間の平日・日中の居場所(日常生活で車いす必要／不要)



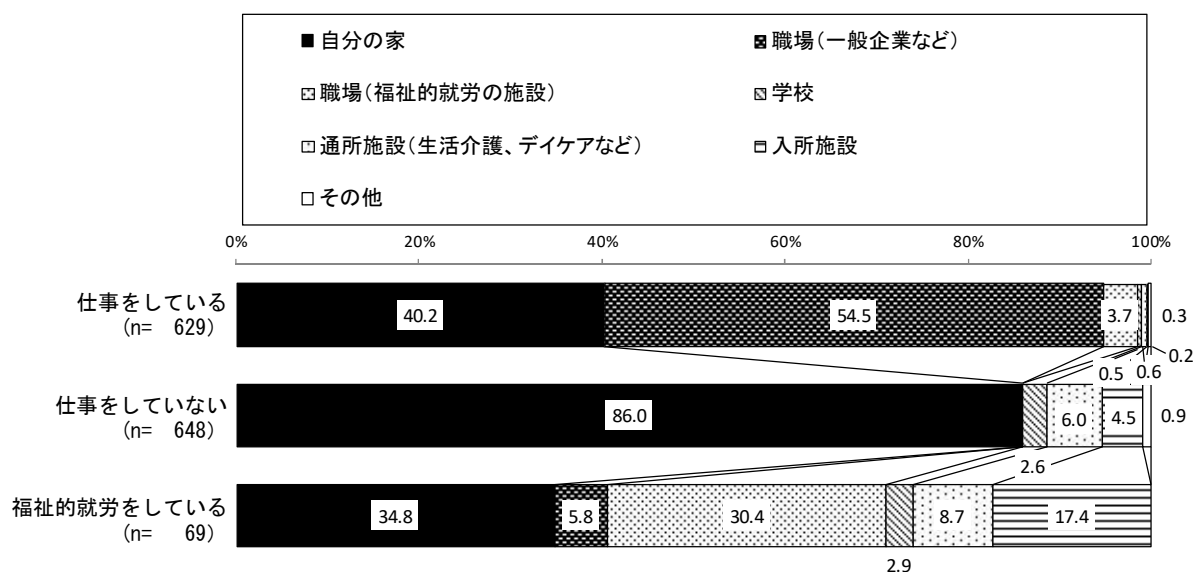
年齢別で見ると、年齢が上がるにつれて、平日の日中に「自分の家」にいる割合が高くなる傾向であった。また、30歳～50歳代で「職場(一般企業など)」にいる割合が3割を超えた。【図表 31】

【図表 31】過去1年間の平日・日中の居場所(年齢別)



就業状況別にみると、「仕事をしている」では「職場（一般企業など）」が最も高く、「仕事をしていない」では「自分の家」が最も高く、86.0%に上った。【図表 32】

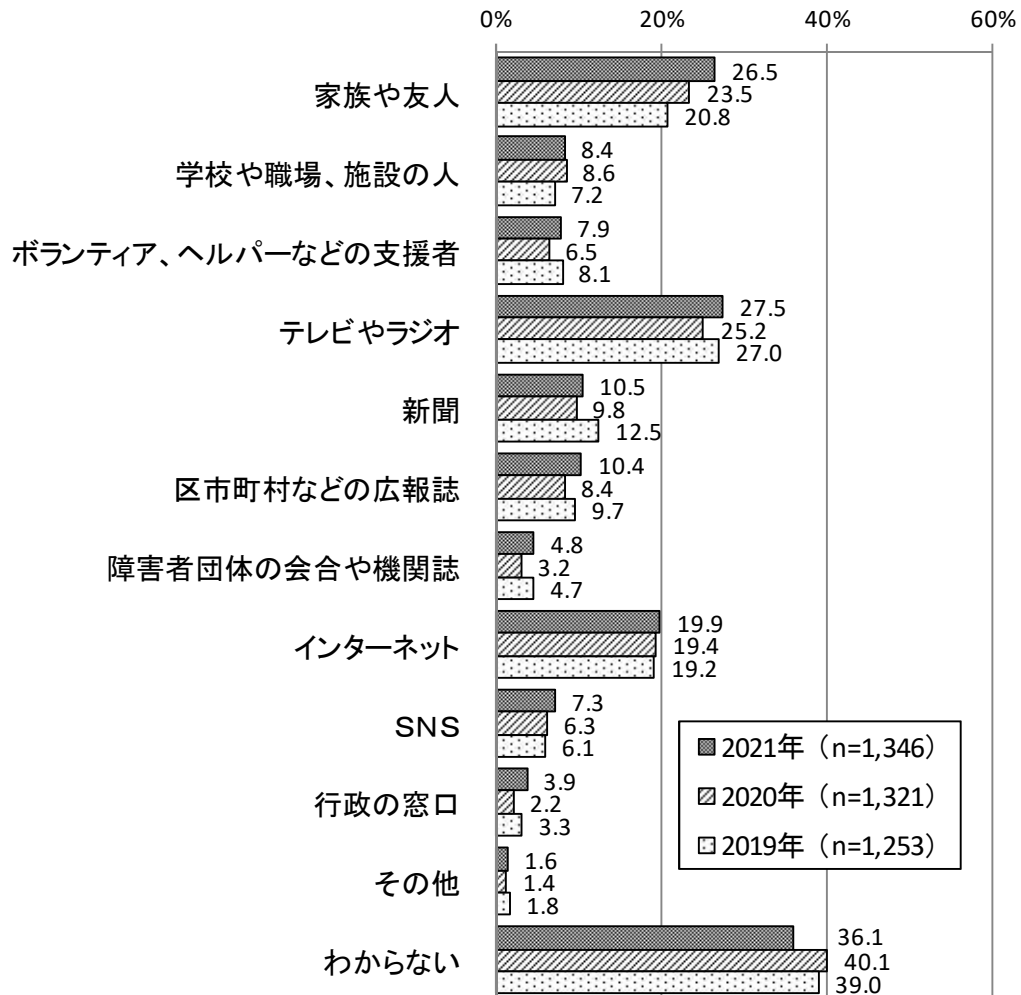
【図表 32】過去1年間の平日・日中の居場所(就業状況別)



## 2.2 スポーツ・運動に関する情報源

スポーツや運動に関する情報源としては、「テレビやラジオ」の割合が 27.5%で最も高く、次いで「家族や友人」(26.5%)、「インターネット」(19.9%)の順であった。【図表 33】

【図表 33】スポーツ・運動に関する情報源[複数回答]



日常生活で車いす必要／不要別にみると、「日常生活で車いすを必要とする」は、「テレビやラジオ」(34.9%)、「家族や友人」(29.5%)の順で高く、「日常生活で車いすを必要としない」は「テレビやラジオ」(44.3%)、「インターネット」(26.8%)の順で高かった。【図表 34】

【図表 34】スポーツ・運動に関する情報源(日常生活で車いす必要／不要)[複数回答]

(単位:%)

	n (肢体不自由)	家族や友人	学校や職場、施設の人	ボランティア、ヘルパーなどの支援者	テレビやラジオ	新聞	区市町村などの広報誌	障害者団体の会合や機関誌	インターネット	SNS	行政の窓口	その他	わからない
必要とする	149	29.5	11.4	20.1	34.9	15.4	15.4	9.4	19.5	8.7	6.7	2.0	23.5
必要としない	246	25.6	5.3	6.1	44.3	18.3	17.1	3.3	26.8	6.5	3.7	3.3	26.0

就業状況別にみると、「仕事をしている」人では「インターネット」、「仕事をしていない」人では「テレビやラジオ」、「福祉的就労をしている」人では「ボランティア、ヘルパーなどの支援者」、「障害者団体の会合や機関誌」を情報源とする割合が、他の区分と比べて高かった。【図表 35】

【図表 35】スポーツ・運動に関する情報源(就業状況別)[複数回答]

(単位:%)

	n	家族や友人	学校や職場、施設の人	ボランティア、ヘルパーなどの支援者	テレビやラジオ	新聞	区市町村などの広報誌	障害者団体の会合や機関誌	インターネット	SNS	行政の窓口	その他	わからない
仕事をしている	629	28.9	10.8	7.8	25.0	9.4	9.2	4.8	24.0	9.5	4.0	1.4	33.2
仕事をしていない	648	23.1	5.1	6.9	31.3	11.9	11.1	3.5	16.4	4.6	3.5	1.9	38.9
福祉的就労をしている	69	36.2	17.4	18.8	14.5	8.7	14.5	15.9	15.9	11.6	5.8	0.0	36.2

平日・日中の居場所別にみると、「自分の家」にいる人は「家族や友人」「テレビやラジオ」、「職場（一般企業など）」にいる人は「インターネット」、「テレビやラジオ」、「学校」にいる人は「家族や友人」の割合が高かった。【図表 36】

【図表 36】スポーツ・運動に関する情報源(平日・日中の居場所別)[複数回答]

(単位:%)

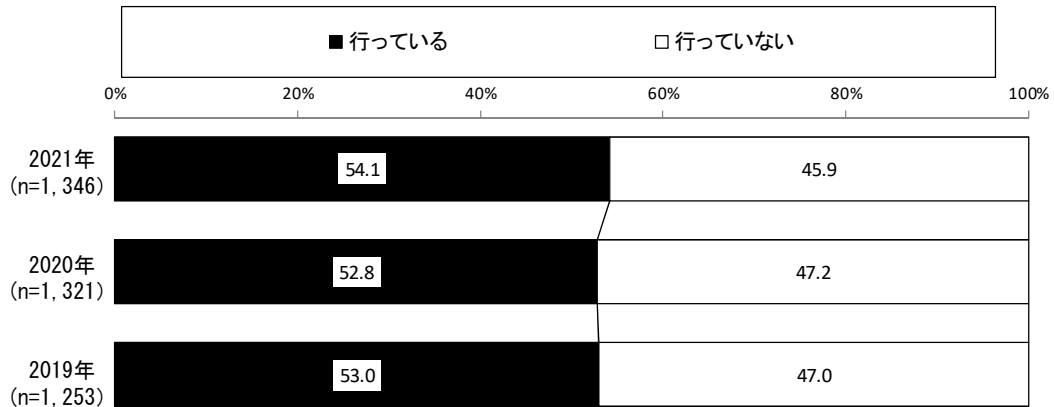
	n	家族や友人	学校や職場、施設の人	ボランティア、ヘルパーなどの支援者	テレビやラジオ	新聞	区市町村などの広報誌	障害者団体の会合や機関誌	インターネット	SNS	行政の窓口	その他	わからない
自分の家	834	27.6	5.0	6.4	27.9	11.4	9.1	3.4	17.0	5.9	3.4	1.8	38.2
職場(一般の企業など)	347	24.5	13.5	8.4	29.7	11.0	12.7	5.8	30.3	12.1	5.2	0.6	31.7
職場(福祉的就労の施設)	44	29.5	22.7	25.0	20.5	2.3	22.7	20.5	18.2	11.4	9.1	2.3	25.0
学校	22	40.9	13.6	4.5	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	36.4
通所施設(生活介護、デイケアなど)	49	24.5	16.3	18.4	20.4	8.2	16.3	10.2	14.3	2.0	2.0	0.0	24.5
入所施設	42	14.3	7.1	9.5	21.4	4.8	2.4	2.4	4.8	2.4	0.0	2.4	57.1
その他	8	25.0	0.0	0.0	50.0	25.0	12.5	12.5	50.0	0.0	12.5	25.0	25.0

## 2.3 スポーツ・運動の実施

### (1) 過去1年間のスポーツ・運動の実施の有無

過去1年間のスポーツや運動の実施の有無については、「行っている」が54.1%であり、昨年度から僅かに増加した。【図表 37】

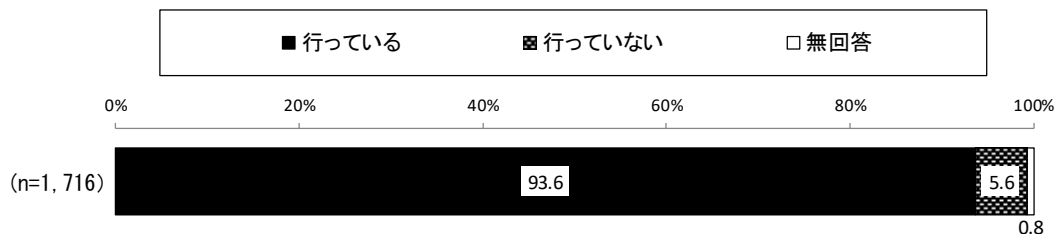
【図表 37】過去1年間のスポーツ・運動の実施の有無



なお、18歳以上の都民全般を対象に実施している『都民のスポーツ活動に関する実態調査』（東京都オリンピック・パラリンピック準備局：令和4年3月）では、年1日以上スポーツ・運動実施者の割合は93.6%であった。【図表 38】

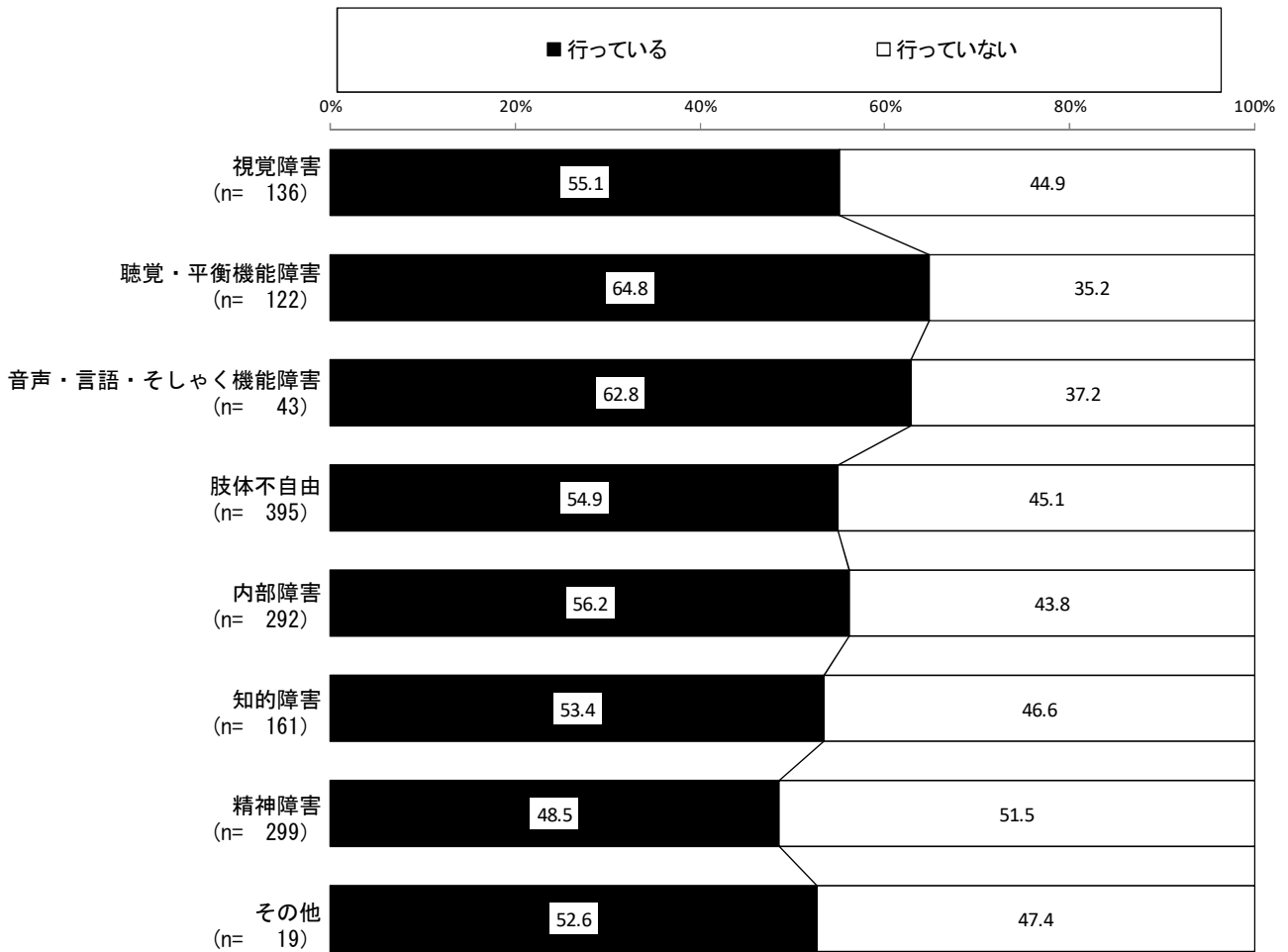
【図表 38】過去1年間のスポーツ・運動の実施の有無

『都民のスポーツ活動に関する実態調査』（東京都オリンピック・パラリンピック準備局：令和4年3月）



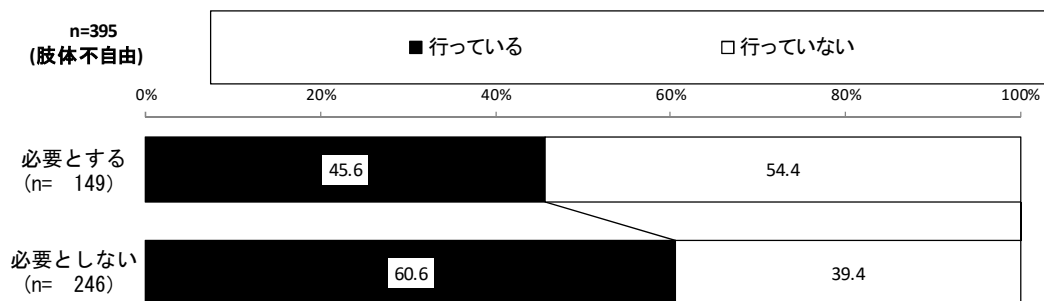
障害種別にみると、「聴覚・平衡機能障害」(64.8%)、「音声・言語・そしゃく機能障害」(62.8%)のスポーツ・運動実施率は6割を超えた。【図表 39】

【図表 39】過去1年間のスポーツ・運動の実施の有無(障害種別)



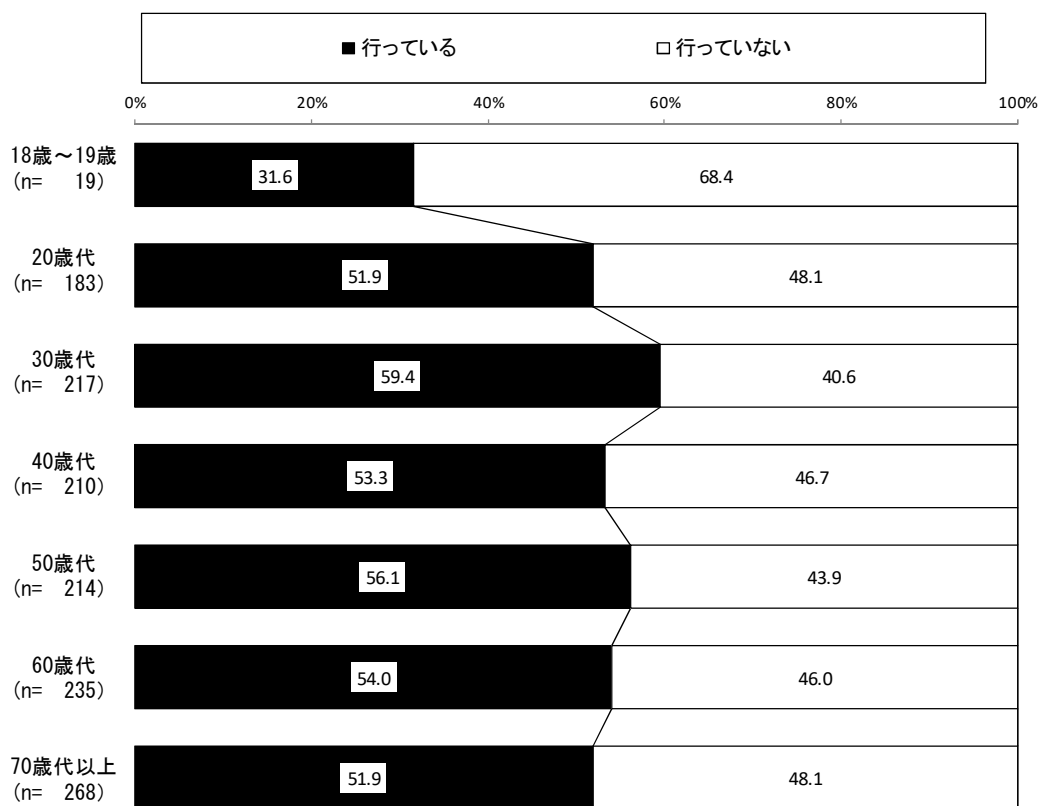
日常生活で車いす必要／不要別にみると、スポーツ・運動の実施率は、「日常生活で車いすを必要とする」で45.6%、「日常生活で車いすを必要としない」で60.6%となった。【図表 40】

【図表 40】過去1年間のスポーツ・運動の実施の有無(日常生活で車いす必要／不要)



年齢別で見ると、スポーツ・運動の実施率は、「18歳~19歳」を除く全ての年代で5割を超えた。  
【図表 41】

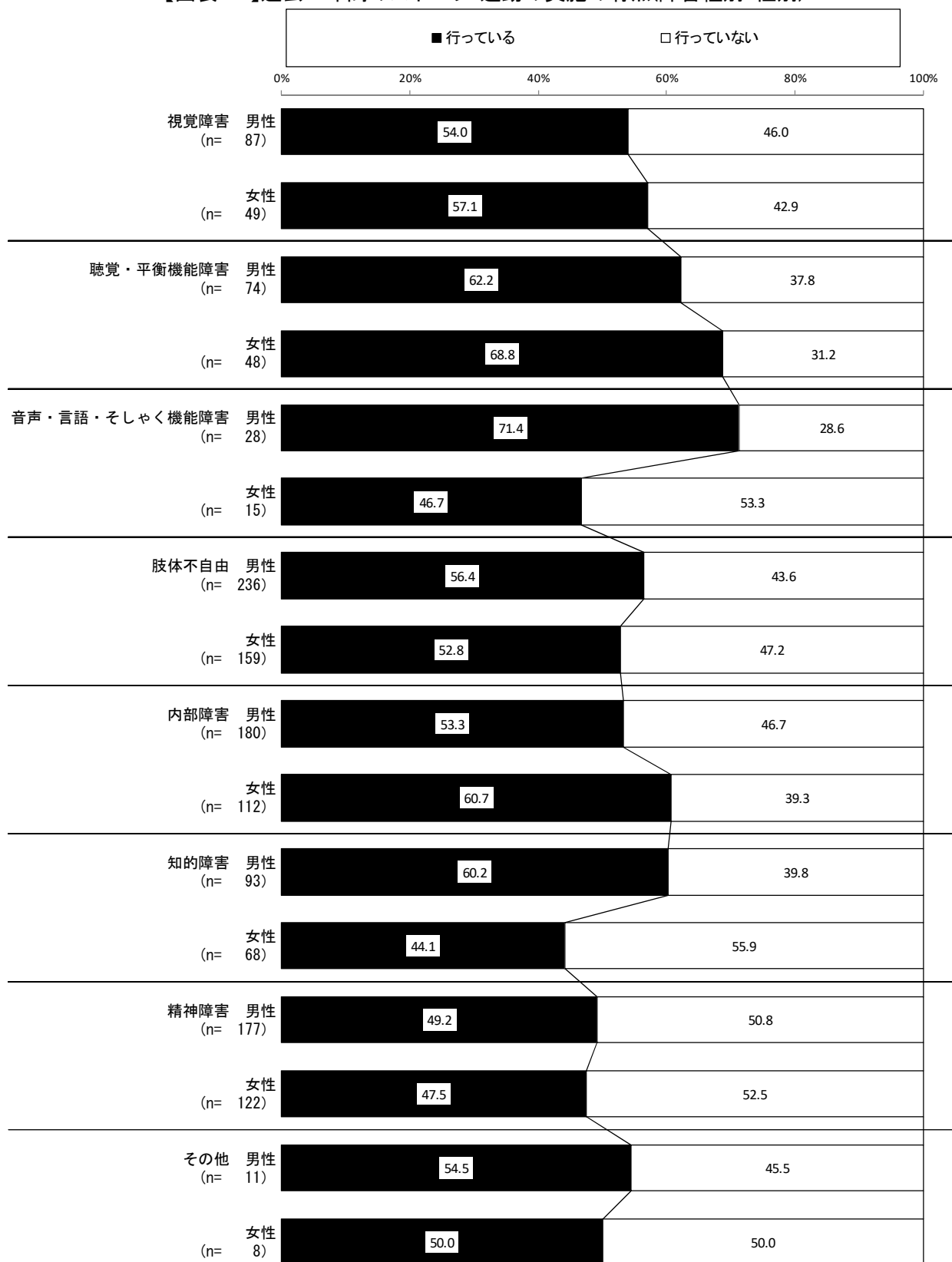
【図表 41】過去1年間のスポーツ・運動の実施の有無(年齢別)





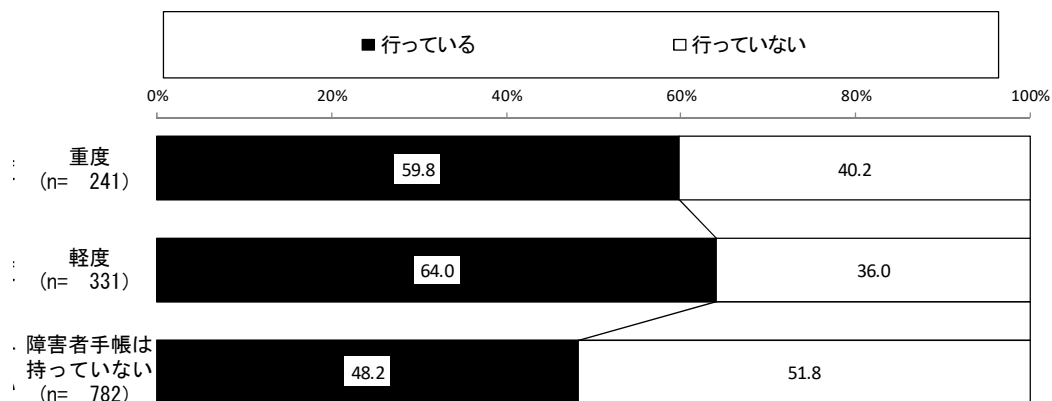
障害種別ごとに性別でみると、「視覚障害」、「聴覚・平衡機能障害」、「内部障害」を除く区分で、女性よりも男性の実施率が高く、「音声・言語・そしゃく障害」では 24.7 ポイント、「知的障害」では 16.1 ポイントの差があった。【図表 42】

【図表 42】過去 1 年間のスポーツ・運動の実施の有無(障害種別・性別)



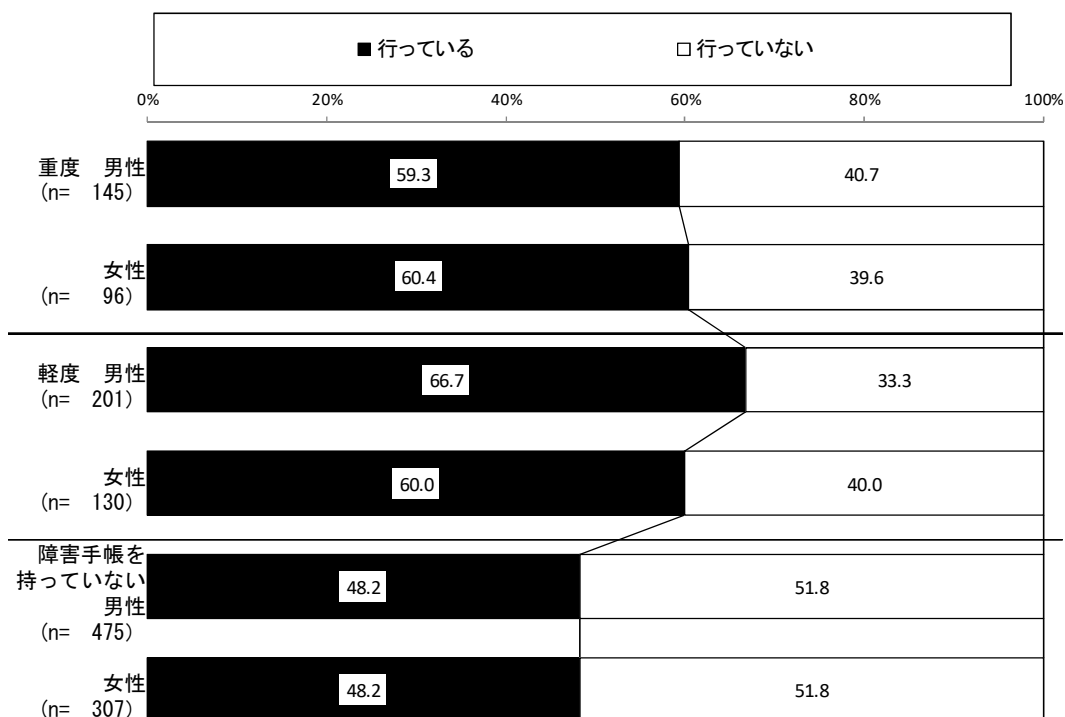
障害の程度別にみると、「重度」が 59.8%、「軽度」が 64.0%の実施率であった。また、「障害者手帳の非保持者」の実施率は 48.2%であった。【図表 43】

【図表 43】過去 1 年間のスポーツ・運動の実施の有無(障害の程度別)



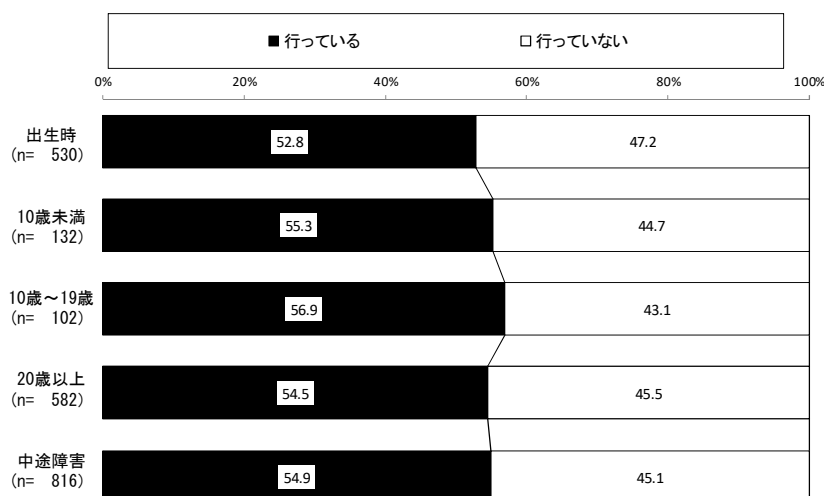
障害の程度ごとに性別で比較すると、「軽度」では、男性の方が女性に比べ、6.7 ポイント高かった。【図表 44】

【図表 44】過去 1 年間のスポーツ・運動の実施の有無(障害の程度別・性別)



障害の発生年齢別でみると、「出生時」(52.8%)より「中途障害」(54.9%)の実施率の方が僅かに高かった。【図表 45】

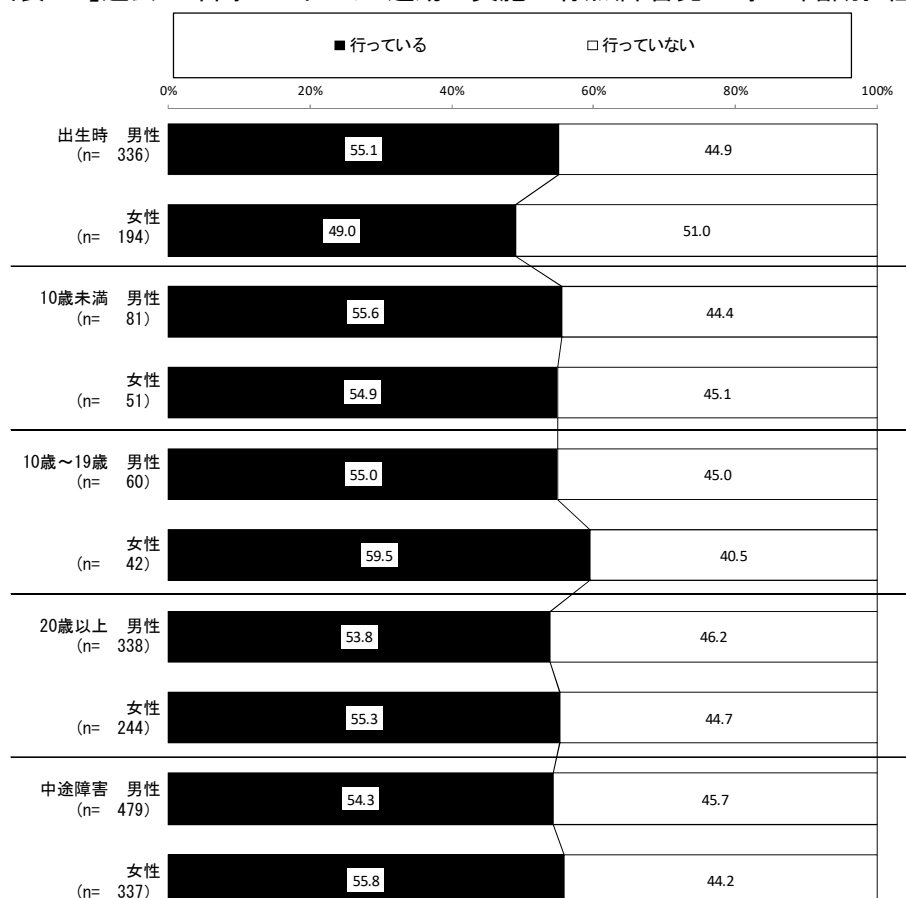
【図表 45】過去1年間のスポーツ・運動の実施の有無(障害発生時の年齢別)



※「中途障害」は「10歳未満」、「10歳～19歳」、「20歳以上」の総和です。

障害の発生年齢ごとに性別で比較すると、「中途障害」では性別による実施率に違いは見られなかったが、「出生時」では、男性の方が女性に比べ、6.1ポイント高くなっている。【図表 46】

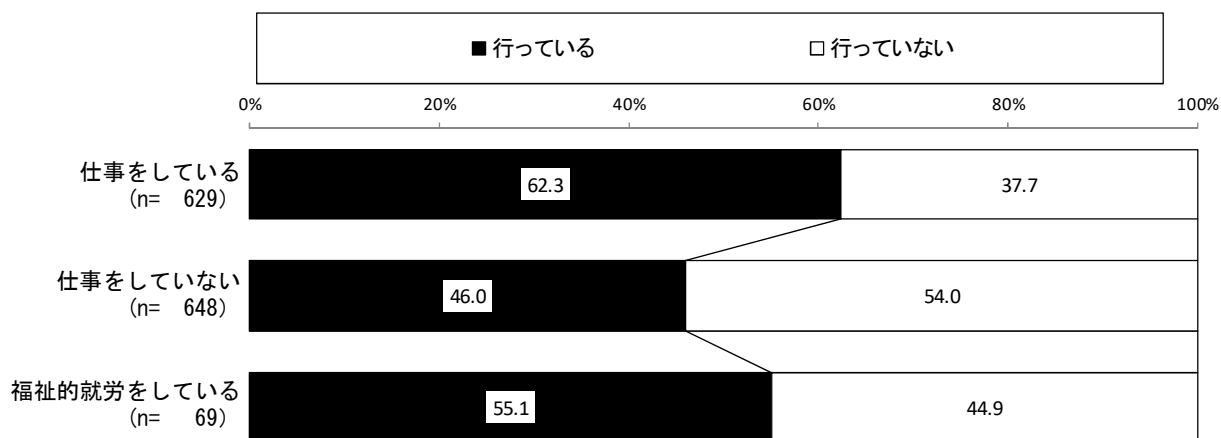
【図表 46】過去1年間のスポーツ・運動の実施の有無(障害発生時の年齢別・性別)



※「中途障害」は「10歳未満」、「10歳～19歳」、「20歳以上」の総和です。

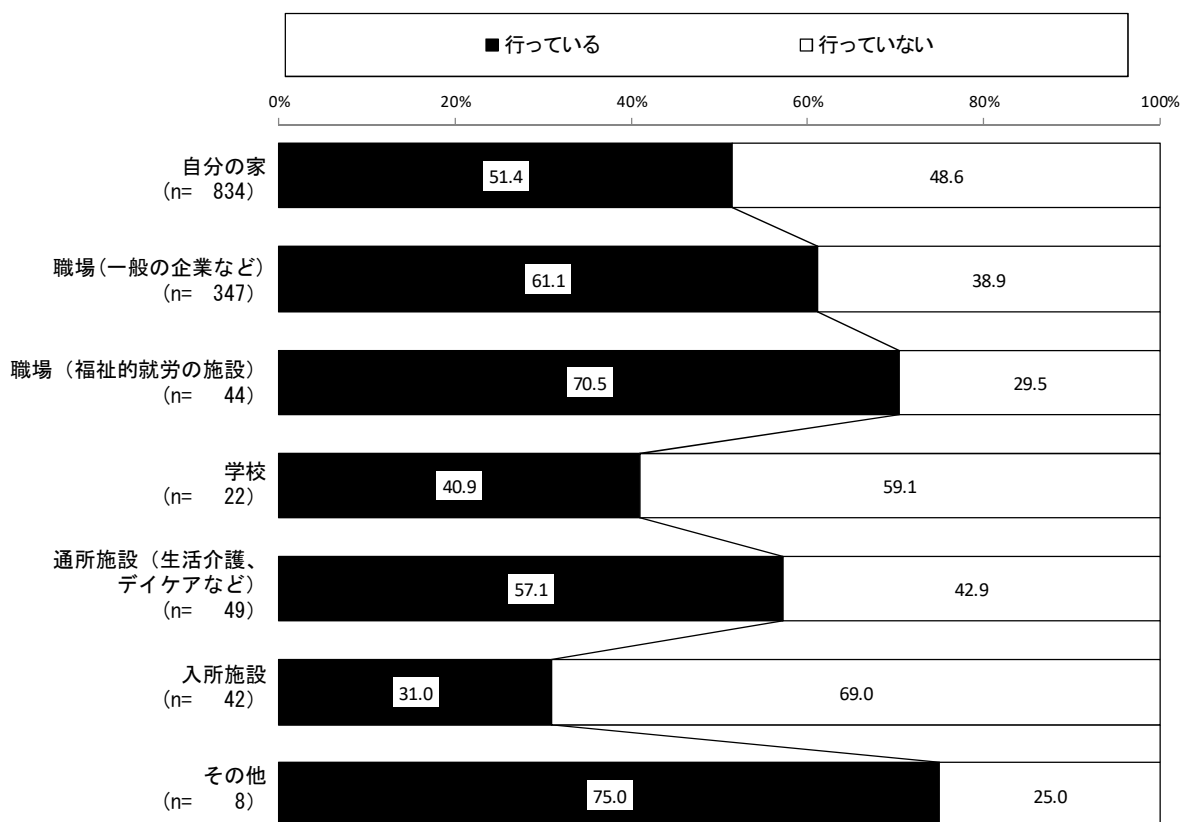
就業状況別にみると、スポーツ・運動の実施率は「仕事をしている」(62.3%)、「福祉的就労をしている」(55.1%)、「仕事をしていない」(46.0%)の順であった。【図表 47】

【図表 47】過去1年間のスポーツ・運動の実施の有無(就業状況別)



平日・日中の居場所別にみると、スポーツ・運動の実施率は、「職場（福祉的就労の施設）」で最も高く(70.5%)、最も低いのが「入所施設」(31.0%)であった。【図表 48】

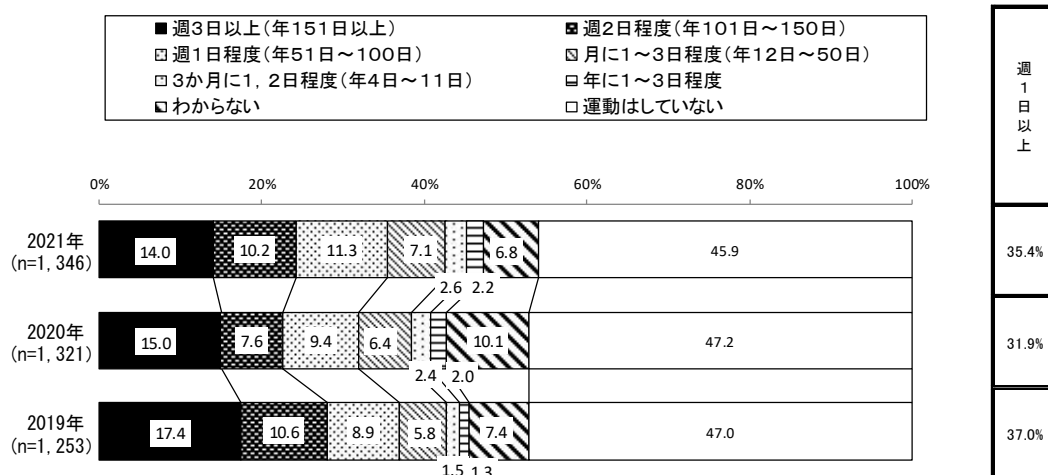
【図表 48】過去1年間のスポーツ・運動の実施の有無(平日・日中の居場所別)



## (2) 過去 1 年間にスポーツ・運動を行った日数

過去 1 年間にスポーツや運動を行った日数について、「週 3 日以上」が 14.0%、「週 2 日程度」が 10.2%、「週 1 日程度」が 11.3%と、週 1 日以上の実施者は 35.4%であり、昨年度に比べ 3.5 ポイント高く、一昨年度に比べ 1.6 ポイント低かった。なお、「運動はしていない」は 45.9%であった。【図表 49】

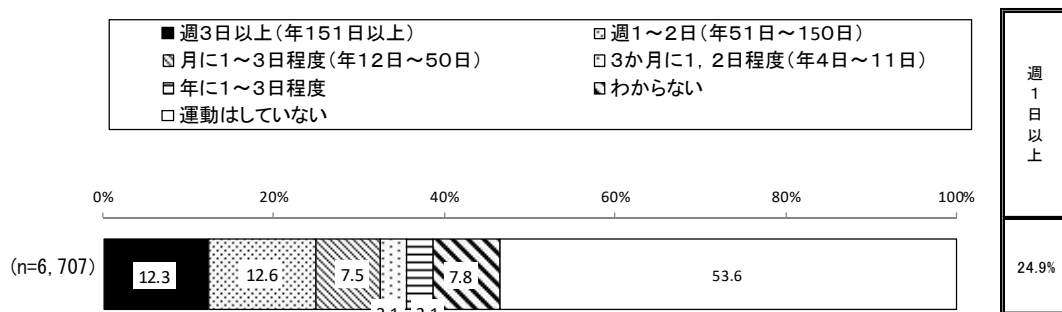
【図表 49】過去 1 年間にスポーツ・運動を行った日数



※ 本調査の設問 7 に「運動はしていない」との選択肢はないが、設問 6 において、過去 1 年間に実施したスポーツ・運動は「特にない」と回答のあった数値を「運動はしていない」と整理している(以下、同様)。

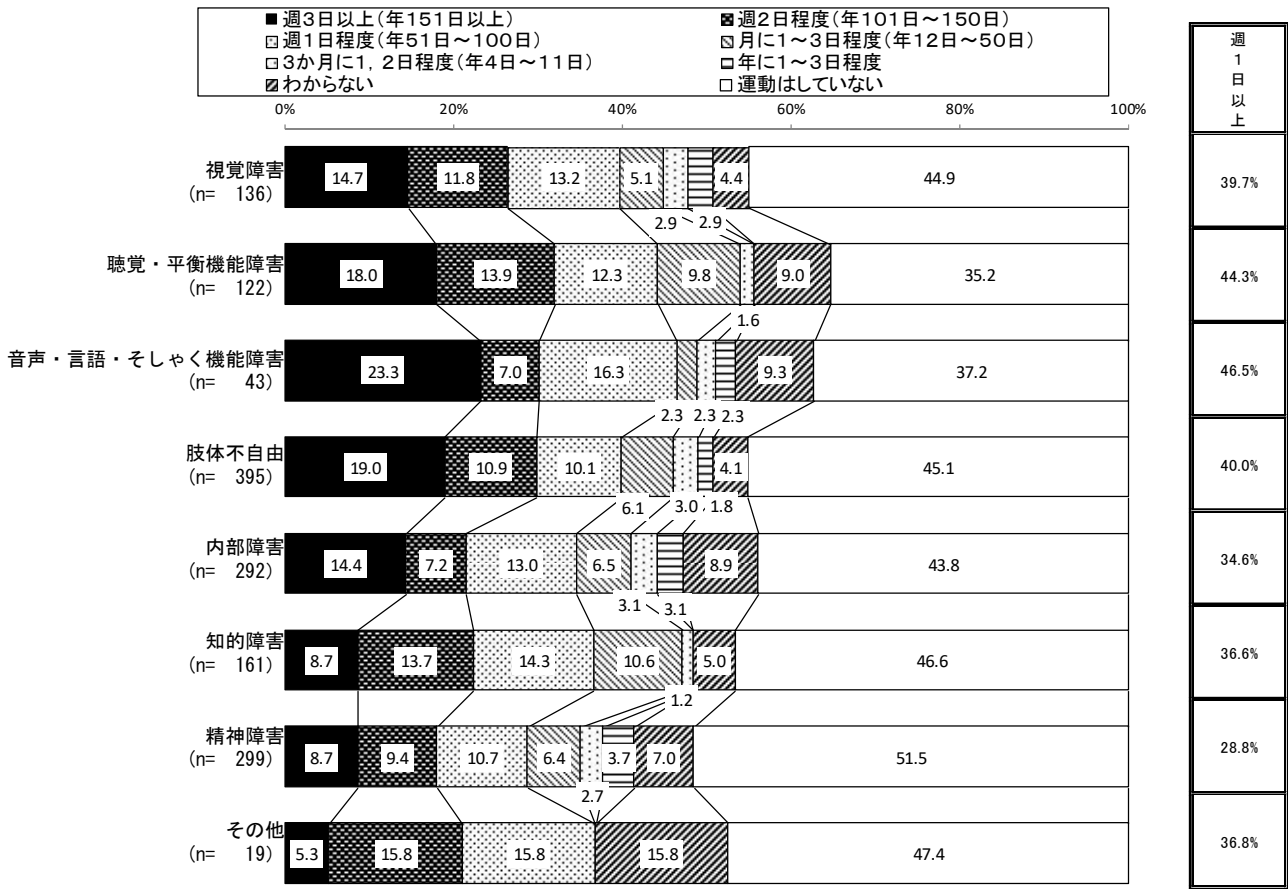
スポーツ庁が全国の障害児・者を対象に実施している『障害者スポーツ推進プロジェクト(障害者のスポーツ参加促進に関する調査研究)』(スポーツ庁:令和 3 年 3 月)では、成人の週 1 日以上の実施者は 24.9%であった。【図表 50】

【図表 50】過去 1 年間にスポーツ・レクリエーションを行った日数  
『障害者スポーツ推進プロジェクト(障害者のスポーツ参加促進に関する調査研究)』  
(スポーツ庁:令和 3 年 3 月)



障害種別にみると、週1日以上スポーツ・運動を実施しているのは、「音声・言語そしゃく障害」が46.5%、「聴覚・平衡機能障害」が44.3%であったのに対して、「精神障害」は28.8%であった。【図表51】

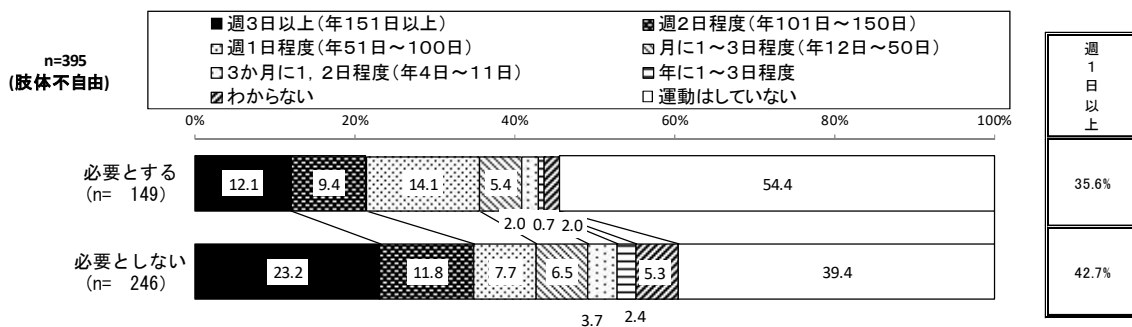
【図表 51】過去1年間にスポーツ・運動を行った日数(障害種別)



日常生活で車いす必要/不要別にみると、週1日以上スポーツ・運動を実施しているのは、「日常生活で車いすを必要とする」で35.6%、「日常生活で車いすを必要としていない」で42.7%となった。

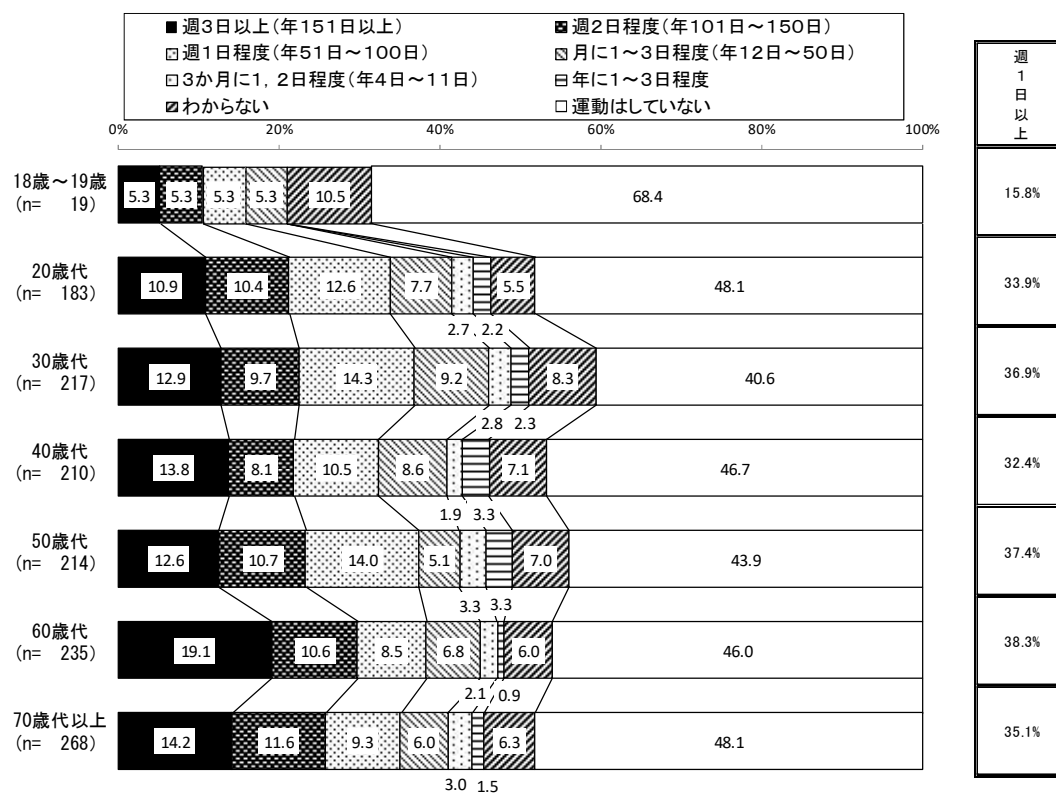
【図表 52】

【図表 52】過去1年間にスポーツ・運動を行った日数(日常生活で車いす必要/不要)



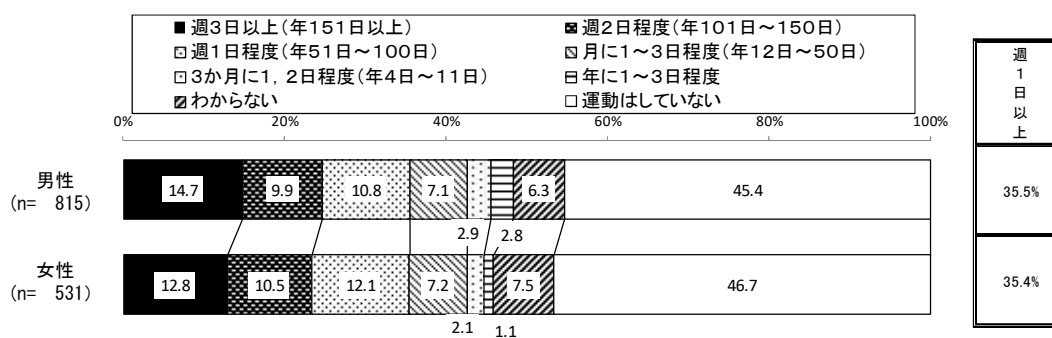
年齢別で見ると、「18歳～19歳」を除く年代において、週1日以上スポーツ・運動を実施している割合が3割を超えた。【図表 53】

【図表 53】過去1年間にスポーツ・運動を行った日数(年齢別)



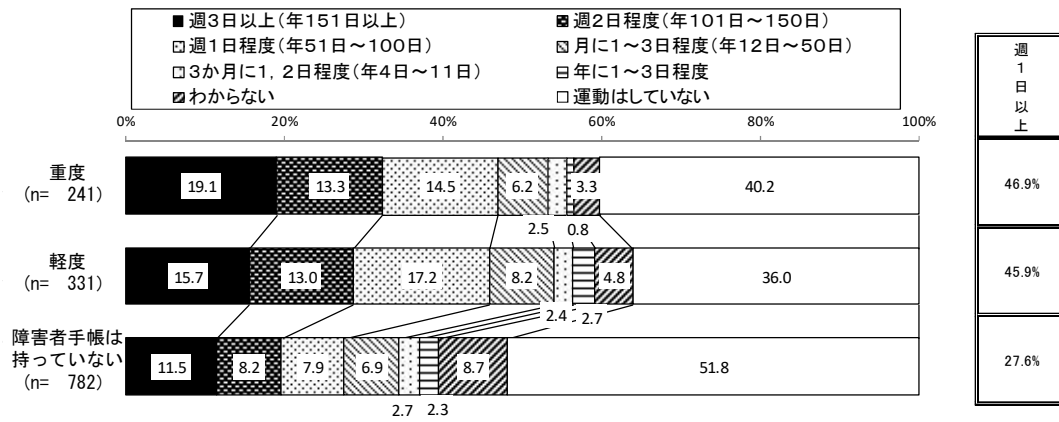
性別で見ると、週1日以上スポーツ・運動を実施しているのは、「男性」が35.5%、「女性」が35.4%であった。【図表 54】

【図表 54】過去1年間にスポーツ・運動を行った日数(性別)



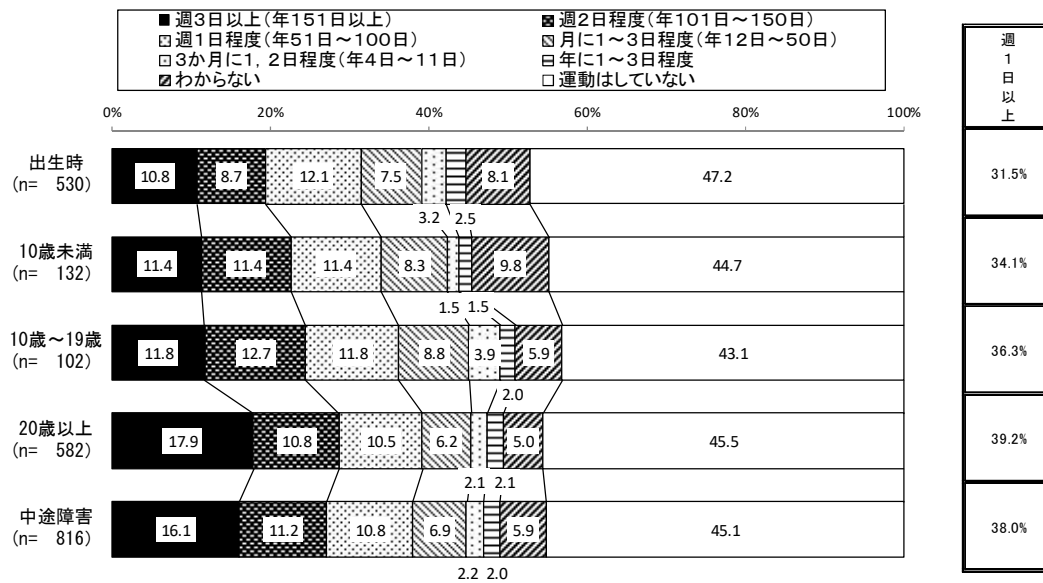
障害の程度でみると、週1日以上スポーツ・運動を実施しているのは、「重度」が46.9%、「軽度」が45.9%であった。なお、「障害者手帳の非保持者」は27.6%であった。【図表 55】

【図表 55】過去1年間にスポーツ・運動を行った日数(障害の程度別)



障害発生年齢別でみると、週1日以上スポーツ・運動を実施しているのは、「出生時」が31.5%、「中途障害」が38.0%であった。【図表 56】

【図表 56】過去1年間にスポーツ・運動を行った日数(障害発生時の年齢別)

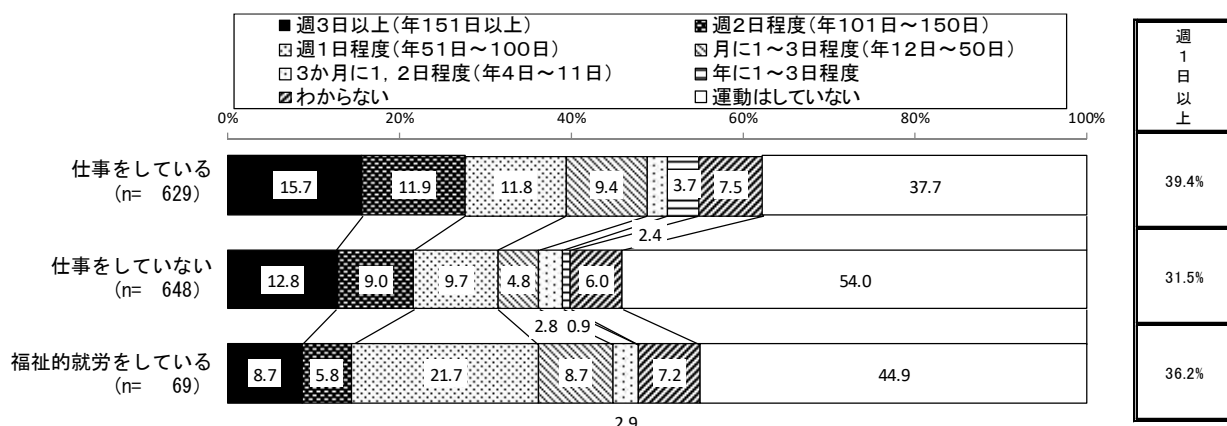


※「中途障害」は「10歳未満」、「10歳~19歳」、「20歳以上」の総和です。



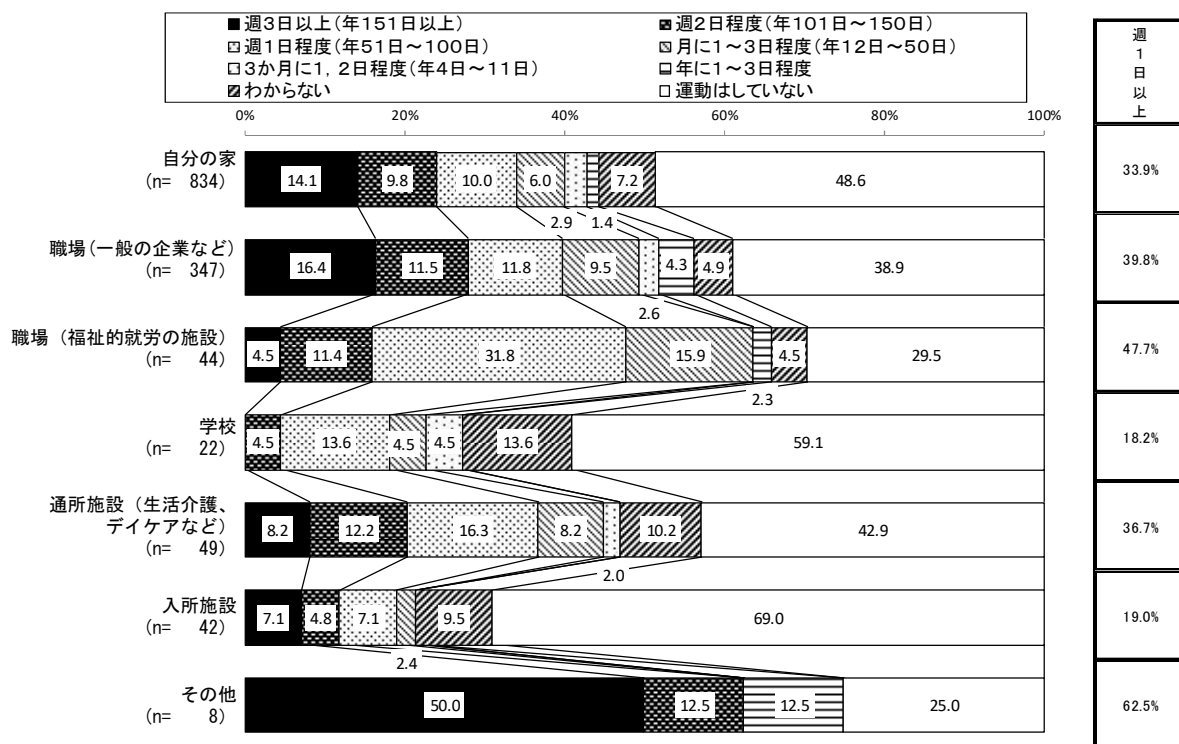
就業状況別にみると、週1日以上スポーツ・運動を実施しているのは、「仕事をしている」が39.4%、「仕事をしていない」が31.5%、「福祉的就労をしている」が36.2%であった。【図表 57】

【図表 57】過去1年間にスポーツ・運動を行った日数(就業状況別)



平日・日中の居場所別にみると、週1日以上スポーツ・運動を実施しているのは、「職場（福祉的就労）」が47.7%で、次いで「職場（一般企業など）」が39.8%であった。【図表 58】

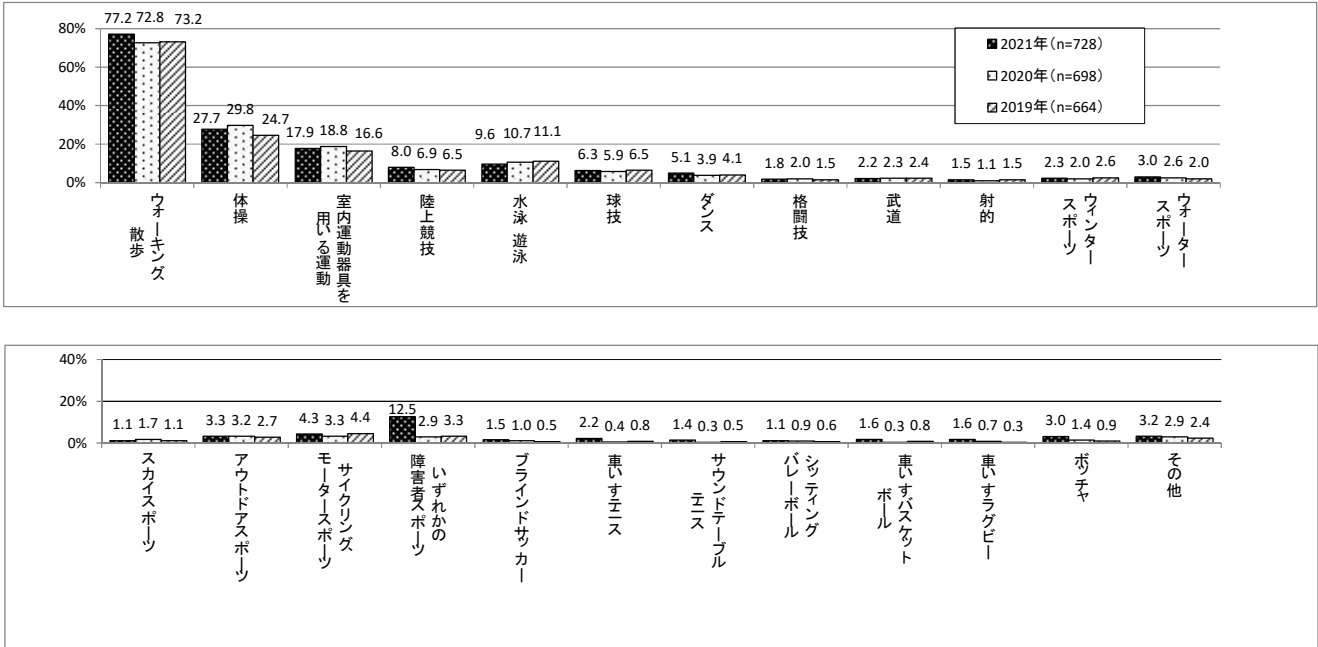
【図表 58】過去1年間にスポーツ・運動を行った日数(平日・日中の居場所別)



### (3) 過去1年間に行ったスポーツ・運動

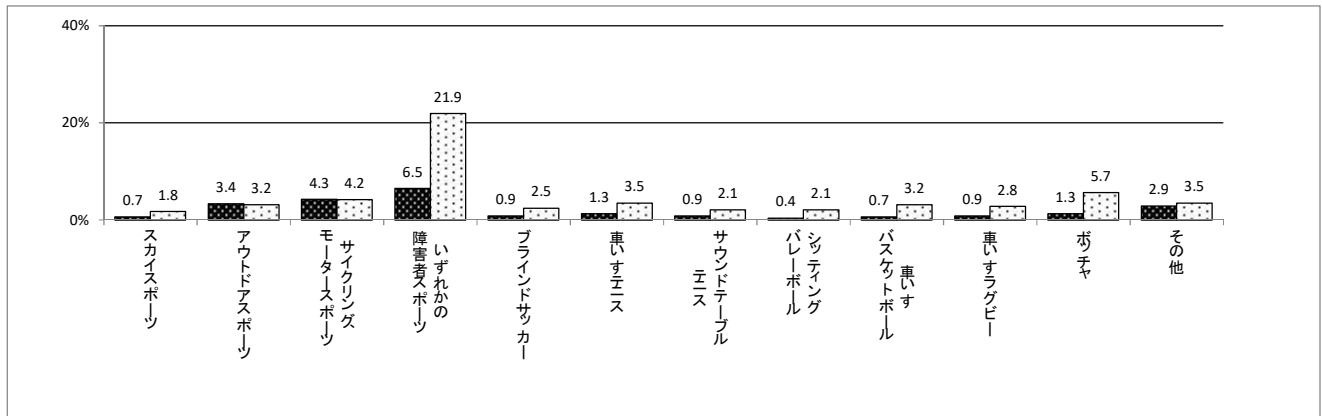
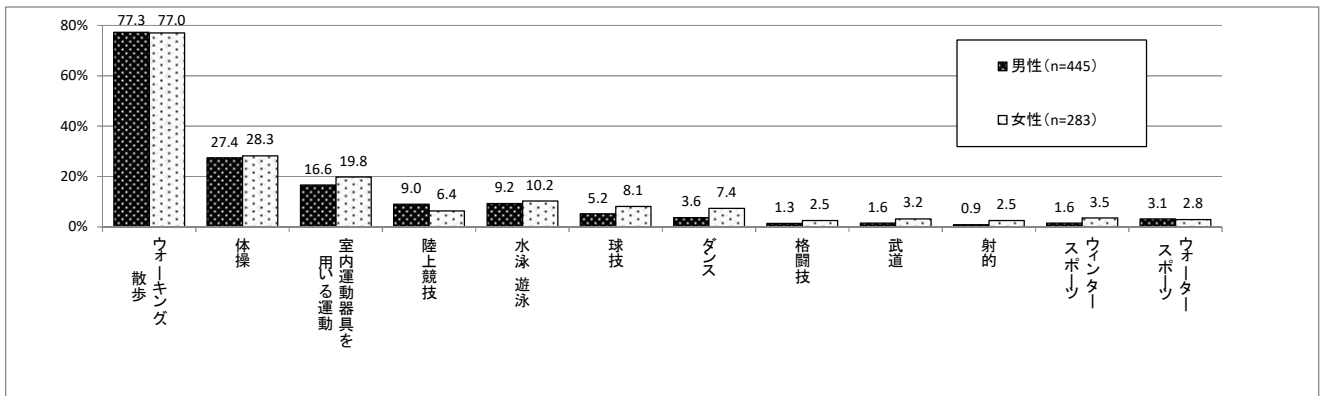
過去1年間にスポーツや運動を「行った」と回答した人が、どのようなスポーツ・運動を行ったかについてみると、実施率の高かったものから順に、「ウォーキング、散歩」(77.2%)、「体操」(27.7%)、「室内運動器具を用いる運動」(17.9%)、「水泳・遊泳」(9.6%)、「陸上競技」(8.0%)であった。「いずれかの障害者スポーツ」が昨年度より9.6ポイント高くなった。【図表 59】

【図表 59】過去1年間に行ったスポーツ・運動〔複数回答〕＜スポーツ・運動実施者＞

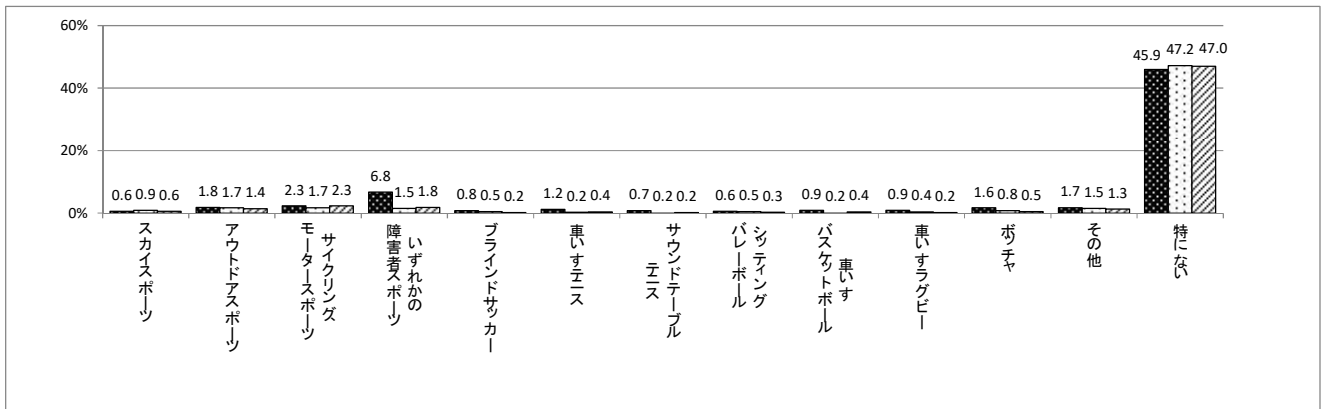
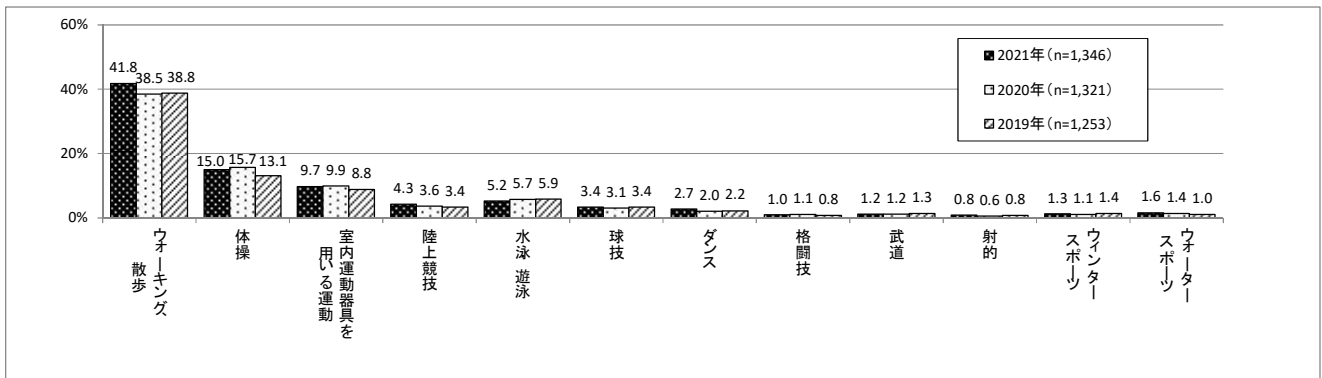


※実際の調査では、この設問に「障害者スポーツ」という単語での選択肢は設定されていない。以降、当報告書内における「障害者スポーツ」の分類は、「ブラインドサッカー」「車いすテニス」「サウンドテーブルテニス」「シットイングバレーボール」「車いすバスケットボール」「車いすラグビー」「ボッチャ」の選択肢の回答を合計した数値である。

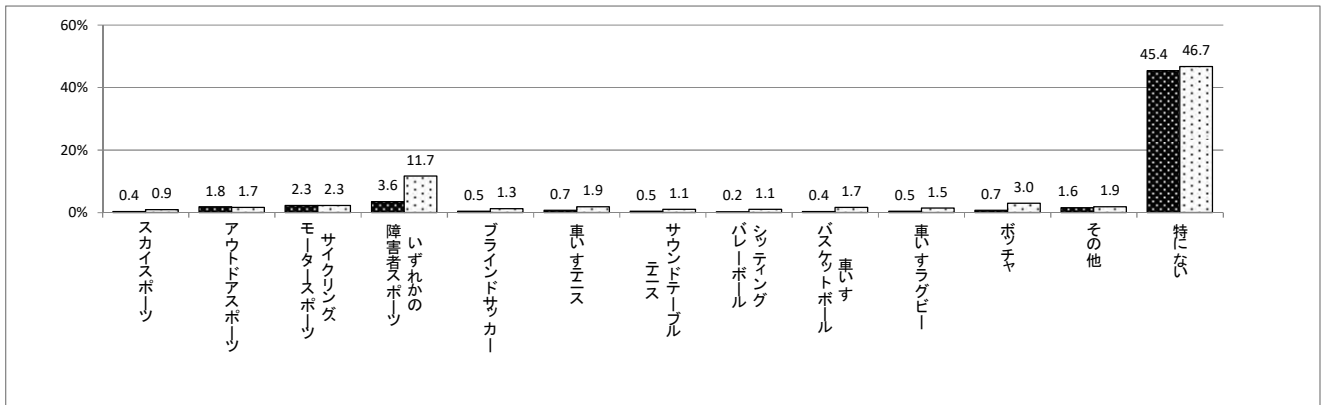
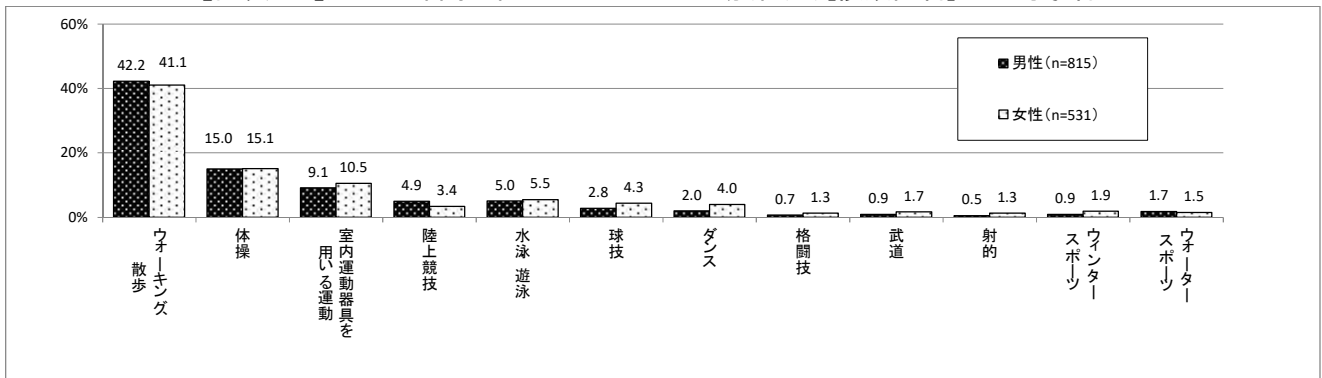
【図表 60】過去1年間に行ったスポーツ・運動(性別)[複数回答]<スポーツ・運動実施者>



【図表 61】過去1年間に行ったスポーツ・運動[複数回答]<全対象者>



【図表 62】過去1年間に行ったスポーツ・運動(性別)[複数回答]<全対象者>



障害種別にみると、どの障害種別でも「ウォーキング、散歩」が最も高く、次に「体操」が高かった。「聴覚・平衡機能障害」、「内部障害」、「精神障害」では他の障害に比べて、「いずれかの障害者スポーツ」の割合が高かった。【図表 63】

【図表 63】過去1年間に行ったスポーツ・運動(障害種別)[複数回答]<スポーツ・運動実施者>

(その1) (単位:%)

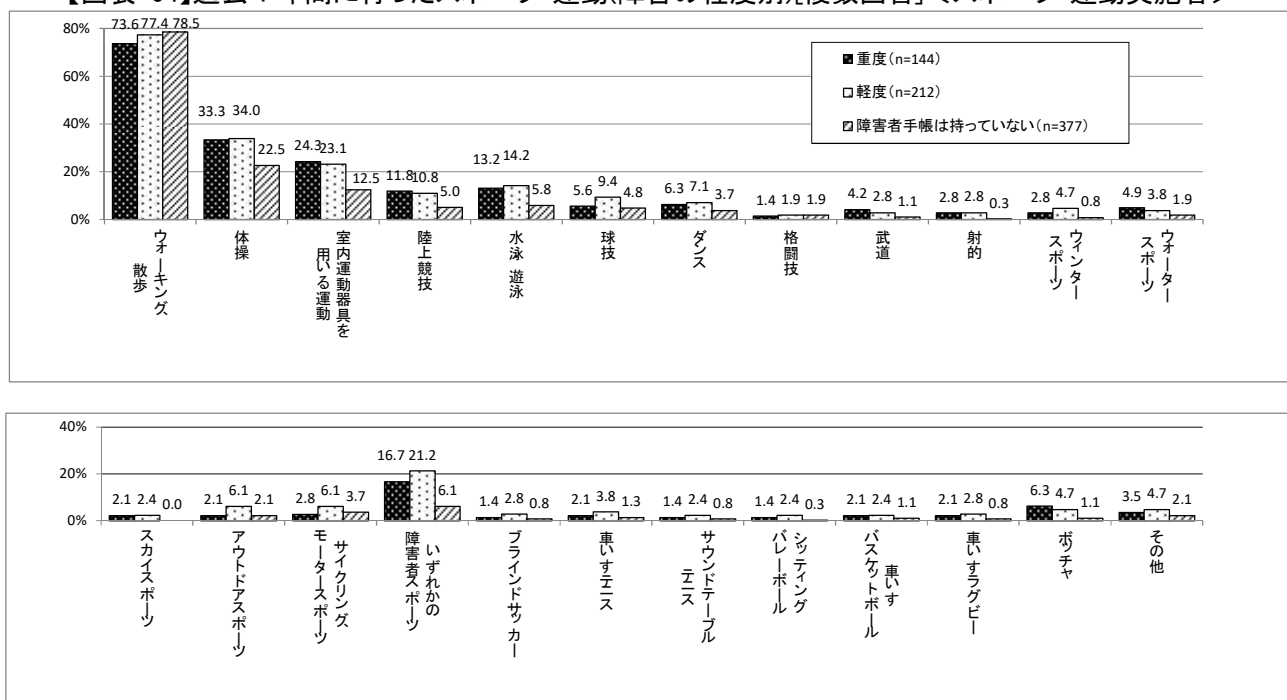
	n	ウォーキング、散歩	体操	室内運動器具を用いる運動	陸上競技	水泳・遊泳	球技	ダンス	格闘技	武道	射的	ウィンタースポーツ	ウォータースポーツ
視覚障害	75	80.0	26.7	14.7	9.3	8.0	2.7	4.0	1.3	2.7	2.7	0.0	4.0
聴覚・平衡機能障害	79	77.2	29.1	17.7	12.7	10.1	10.1	3.8	1.3	1.3	0.0	1.3	5.1
音声・言語・そしゃく機能障害	27	81.5	33.3	22.2	3.7	3.7	3.7	0.0	0.0	3.7	0.0	3.7	3.7
肢体不自由	217	72.4	29.0	27.2	5.1	10.6	5.1	4.6	1.4	1.4	1.4	2.3	1.4
内部障害	164	78.0	30.5	17.1	3.7	9.8	8.5	4.3	3.0	4.3	2.4	3.0	3.0
知的障害	86	79.1	29.1	8.1	17.4	12.8	7.0	10.5	1.2	1.2	2.3	3.5	3.5
精神障害	145	80.7	26.2	18.6	11.0	11.0	6.9	7.6	2.8	3.4	2.1	4.1	6.2
その他	10	90.0	20.0	30.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0

(その2) (単位:%)

	n	スカイスポーツ	アウトドアスポーツ	サイクリング、モータースポーツ	いずれかの障害者スポーツ	ブラインドサッカー	車いすテニス	サウンドテーブルテニス	シッティングバレーボール	車いすバスケットボール	車いすラグビー	ボッチャ	その他
視覚障害	75	1.3	0.0	2.7	6.7	1.3	0.0	1.3	1.3	1.3	1.3	0.0	2.7
聴覚・平衡機能障害	79	1.3	3.8	5.1	19.0	1.3	3.8	3.8	2.5	2.5	2.5	2.5	0.0
音声・言語・そしゃく機能障害	27	3.7	3.7	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	3.7
肢体不自由	217	0.0	3.2	4.1	11.1	0.9	2.3	1.4	0.9	1.4	1.4	2.8	5.5
内部障害	164	1.2	4.9	5.5	23.2	4.3	3.7	3.7	2.4	3.0	3.0	3.0	3.0
知的障害	86	0.0	1.2	2.3	9.3	0.0	1.2	0.0	0.0	2.3	1.2	4.7	1.2
精神障害	145	2.8	4.8	7.6	20.0	2.8	4.1	1.4	1.4	2.1	2.8	5.5	2.8
その他	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

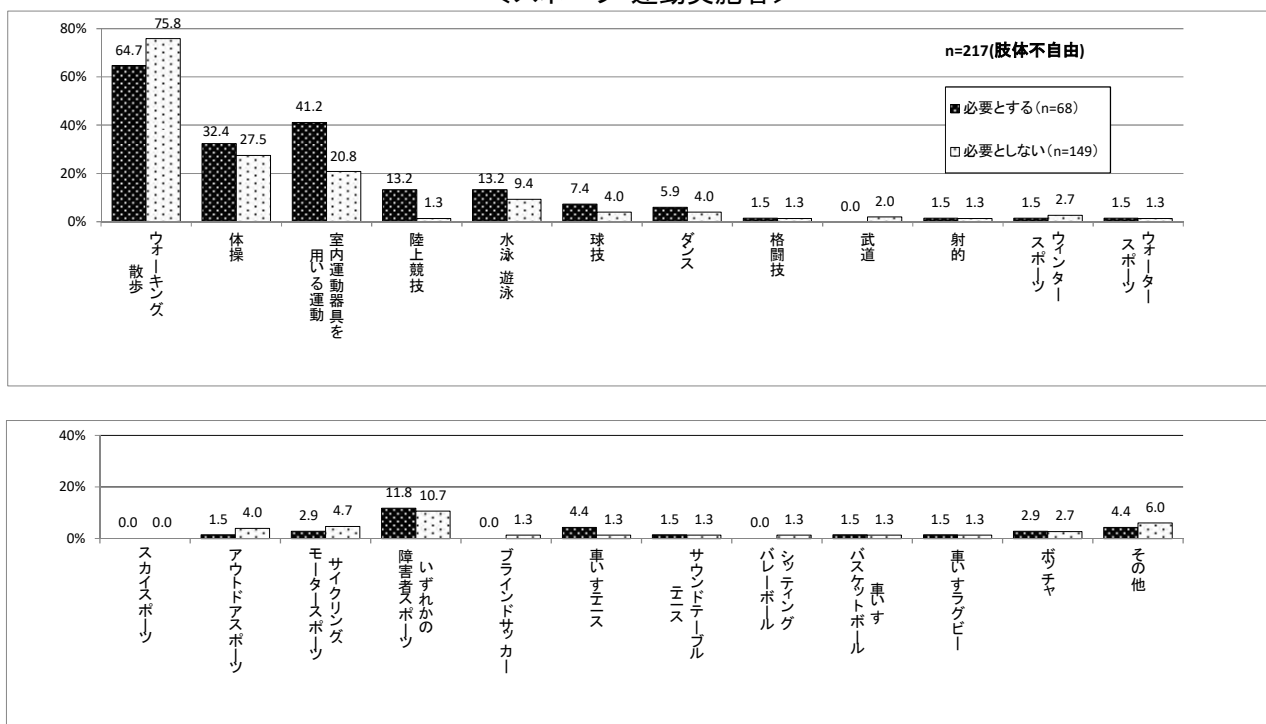
障害の程度別にみると、いずれの区分も実施率が高いものから順に、「ウォーキング、散歩」「体操」「室内運動器具を用いる運動」「水泳・遊泳」であった。【図表 64】

【図表 64】過去1年間に行ったスポーツ・運動(障害の程度別)[複数回答]<スポーツ・運動実施者>



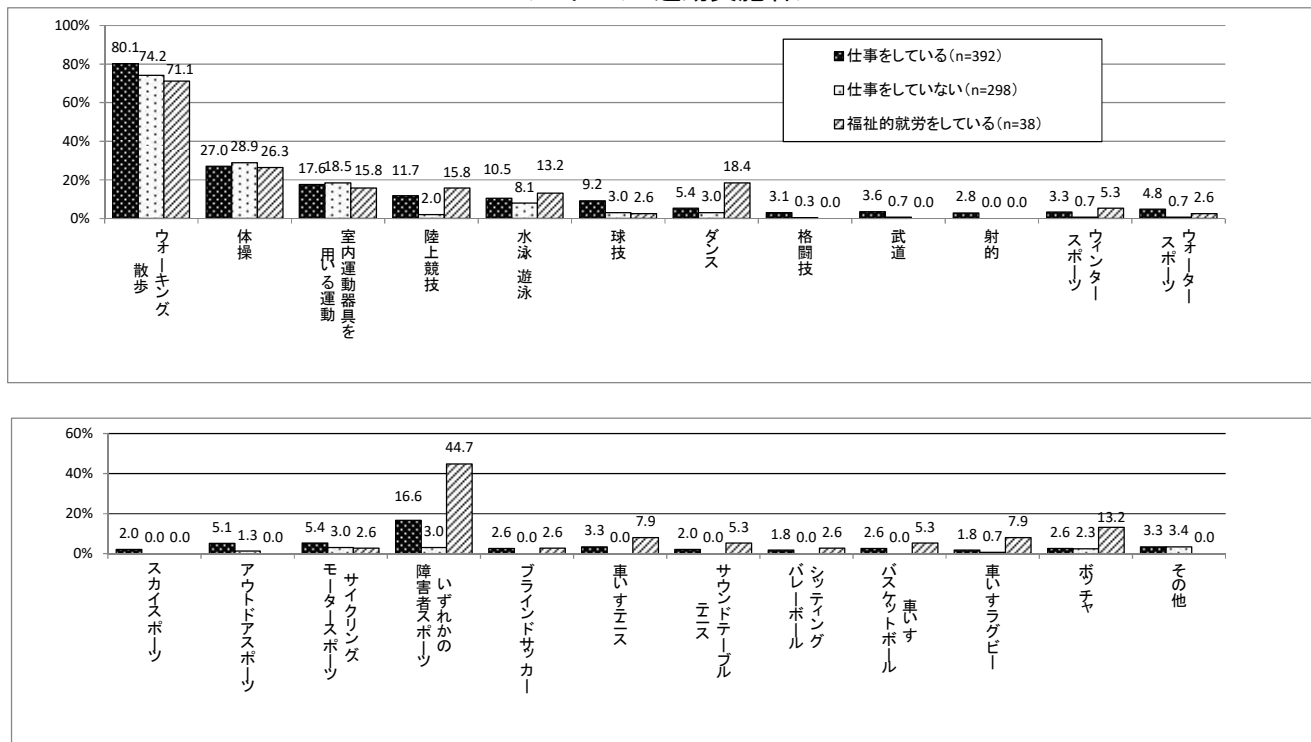
日常生活で車いす必要/不要別にみると、いずれも「ウォーキング、散歩」の実施率が最も高くなっている。「日常生活で車いすを必要とする」方が、「日常生活で車いすを必要としない」よりも、「室内運動器具を用いる運動」が20.4ポイント高かった。【図表 65】

【図表 65】過去1年間に行ったスポーツ・運動(日常生活で車いす必要/不要)[複数回答]<スポーツ・運動実施者>



就業状況別にみると、「ウォーキング、散歩」がいずれの区分でも最も高かった。「福祉的就労をしている」は「いずれかの障害者スポーツ」が4割を超えている。【図表 66】

【図表 66】過去1年間に行ったスポーツ・運動(就業状況別) [複数回答]  
 <スポーツ・運動実施者>



平日・日中の居場所別にみると、「入所施設」を除く区分で、「ウォーキング、散歩」が最も高かった。「入所施設」では「室内運動器具を用いる運動」の実施率が最も高くなった。【図表 67】

【図表 67】過去1年間に行ったスポーツ・運動(平日・日中の居場所別)[複数回答]  
 <スポーツ・運動実施者>

(その1) (単位:%)

	n	ウォーキング、散歩	体操	室内運動器具を用いる運動	陸上競技	水泳・遊泳	球技	ダンス	格闘技	武道	射的	ウィンタースポーツ	ウォータースポーツ
自分の家	429	78.6	26.1	16.3	4.2	7.0	4.0	3.7	0.7	1.2	0.0	1.2	1.4
職場(一般の企業など)	212	78.3	28.3	20.8	15.1	12.7	12.3	6.1	4.7	5.2	4.7	5.2	7.1
職場(福祉的就労の施設)	31	74.2	25.8	12.9	22.6	16.1	3.2	12.9	0.0	0.0	3.2	3.2	0.0
学校	9	66.7	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
通所施設 (生活介護、デイケアなど)	28	71.4	53.6	17.9	3.6	21.4	3.6	10.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6
入所施設	13	38.5	38.5	46.2	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	6	83.3	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(その2) (単位:%)

	n	スカイスポーツ	アウトドアスポーツ	サイクリング、モータースポーツ	いずれかの障害者スポーツ	ブラインドサッカー	車いすテニス	サウンドテーブルテニス	シッティングバレーボール	車いすバスケットボール	車いすラグビー	ボッチャ	その他
自分の家	429	0.5	2.1	2.3	4.4	0.0	0.9	0.5	0.2	0.5	0.5	1.9	3.3
職場(一般の企業など)	212	2.8	7.1	8.5	26.9	4.7	4.7	3.3	2.8	3.8	3.3	4.2	2.8
職場(福祉的就労の施設)	31	0.0	0.0	3.2	25.8	0.0	6.5	0.0	0.0	3.2	3.2	12.9	0.0
学校	9	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0
通所施設 (生活介護、デイケアなど)	28	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6
入所施設	13	0.0	0.0	0.0	46.2	7.7	0.0	7.7	7.7	7.7	15.4	0.0	0.0
その他	6	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3



過去1年間のスポーツ・運動の実施日数別にみると、「ウォーキング、散歩」は「週3日以上」で8割を超えている。また、「体操」は実施日数が多いほど、実施率が高くなる傾向であった。【図表 68】

【図表 68】過去1年間に行ったスポーツ・運動(スポーツ・運動実施頻度別)[複数回答]  
 <スポーツ・運動実施者>

(その1) (単位: %)

	n	ウォーキング、散歩	体操	室内運動器具を用いる運動	陸上競技	水泳・遊泳	球技	ダンス	格闘技	武道	射的	ウィンタースポーツ	ウォータースポーツ
週3日以上(年151日以上)	188	86.2	36.2	18.6	7.4	9.0	5.9	5.3	3.2	5.9	3.2	4.3	5.3
週2日程度(年101日~150日)	137	75.9	32.1	26.3	8.8	10.2	5.1	5.1	2.2	2.2	2.9	2.9	5.1
週1日程度(年51日~100日)	152	70.4	28.9	21.1	9.9	9.9	5.9	5.9	0.7	0.7	0.7	1.3	2.6
月に1~3日程度(年12日~50日)	96	74.0	28.1	16.7	13.5	13.5	9.4	7.3	1.0	0.0	0.0	2.1	0.0
3か月に1, 2日程度(年4日~11日)	35	71.4	14.3	5.7	5.7	14.3	8.6	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年に1~3日程度	29	75.9	10.3	10.3	0.0	6.9	6.9	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0
わからない	91	78.0	12.1	6.6	2.2	4.4	5.5	3.3	2.2	1.1	0.0	0.0	1.1

(その2) (単位: %)

	n	スカイスポーツ	アウトドアスポーツ	サイクリング、モータースポーツ	いずれかの障害者スポーツ	ブラインドサッカー	車いすテニス	サウンドテーブルテニス	シッティングバレーボール	車いすバスケットボール	車いすラグビー	ポッチャ	その他
週3日以上(年151日以上)	188	3.2	6.9	9.0	28.2	4.3	3.7	4.8	3.7	4.3	3.7	3.7	5.9
週2日程度(年101日~150日)	137	0.7	2.9	4.4	5.1	1.5	1.5	0.7	0.7	0.0	0.0	0.7	1.5
週1日程度(年51日~100日)	152	0.7	2.6	3.9	11.8	0.7	3.3	0.0	0.0	1.3	2.6	3.9	2.0
月に1~3日程度(年12日~50日)	96	0.0	1.0	0.0	8.3	0.0	2.1	0.0	0.0	2.1	0.0	4.2	3.1
3か月に1, 2日程度(年4日~11日)	35	0.0	2.9	2.9	8.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.6	5.7
年に1~3日程度	29	0.0	3.4	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4
わからない	91	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	1.1	1.1

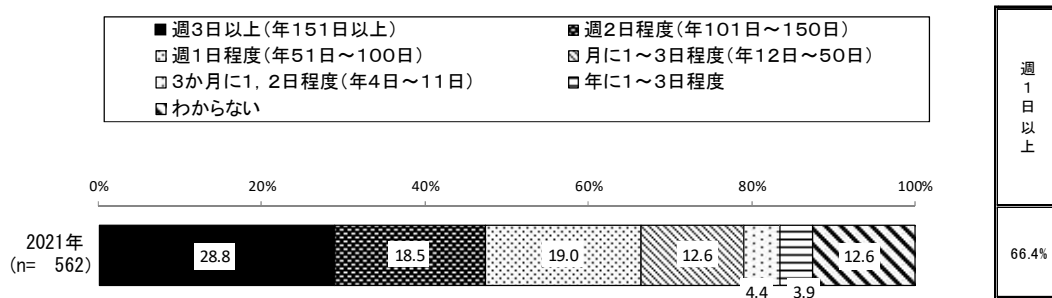
#### (4) 過去1年間にスポーツ・運動を行った日数（種目別）

過去1年間の実施率が高かった(実施者数が n=50人以上)主なスポーツ・運動別に、それぞれのスポーツや運動を行った日数についてまとめた。

##### (ア) ウォーキング、散歩

過去1年間にウォーキング、散歩(散策、ペットの散歩など)を週1日以上実施した割合は、66.4%となった。【図表 69】

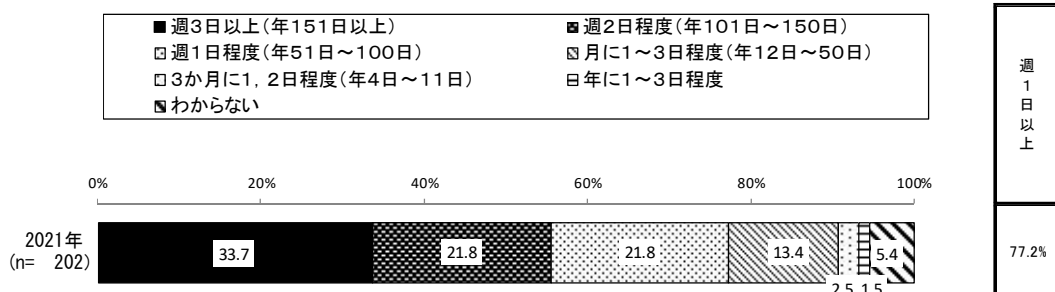
【図表 69】過去1年間にウォーキング、散歩を行った日数



##### (イ) 体操

過去1年間に体操(ラジオ体操、職場体操、ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、縄跳びなど)を週1日以上実施した割合は、77.2%となった。【図表 70】

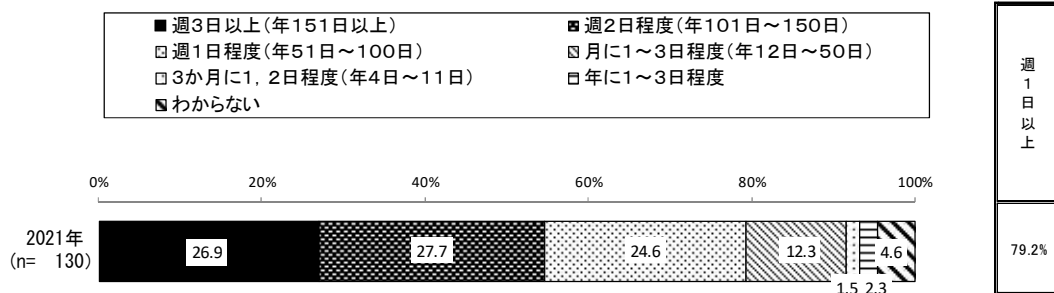
【図表 70】過去1年間に体操を行った日数



### (ウ) 室内運動器具を用いる運動

過去1年間に室内運動器具(ウエイト器具、ランニングマシン、バランスボールなど)を用いる運動を週1日以上実施した割合は、79.2%となった。【図表 71】

【図表 71】過去1年間に室内運動器具を用いる運動を行った日数

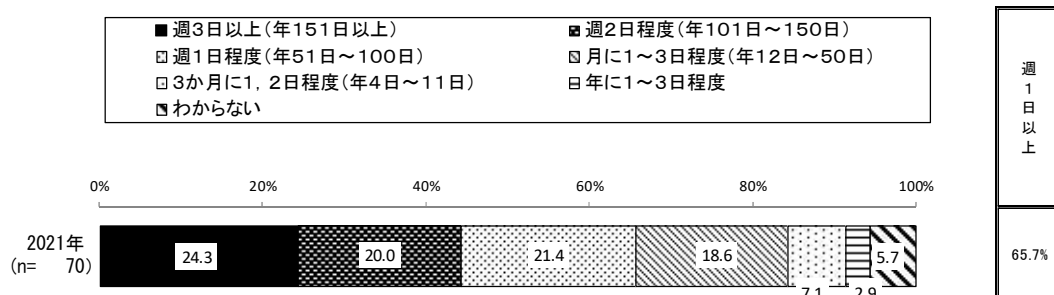


### (エ) 水泳・遊泳

過去1年間に水泳・遊泳(水中歩行・水中運動)を週1日以上実施した割合は、65.7%となった。

【図表 72】

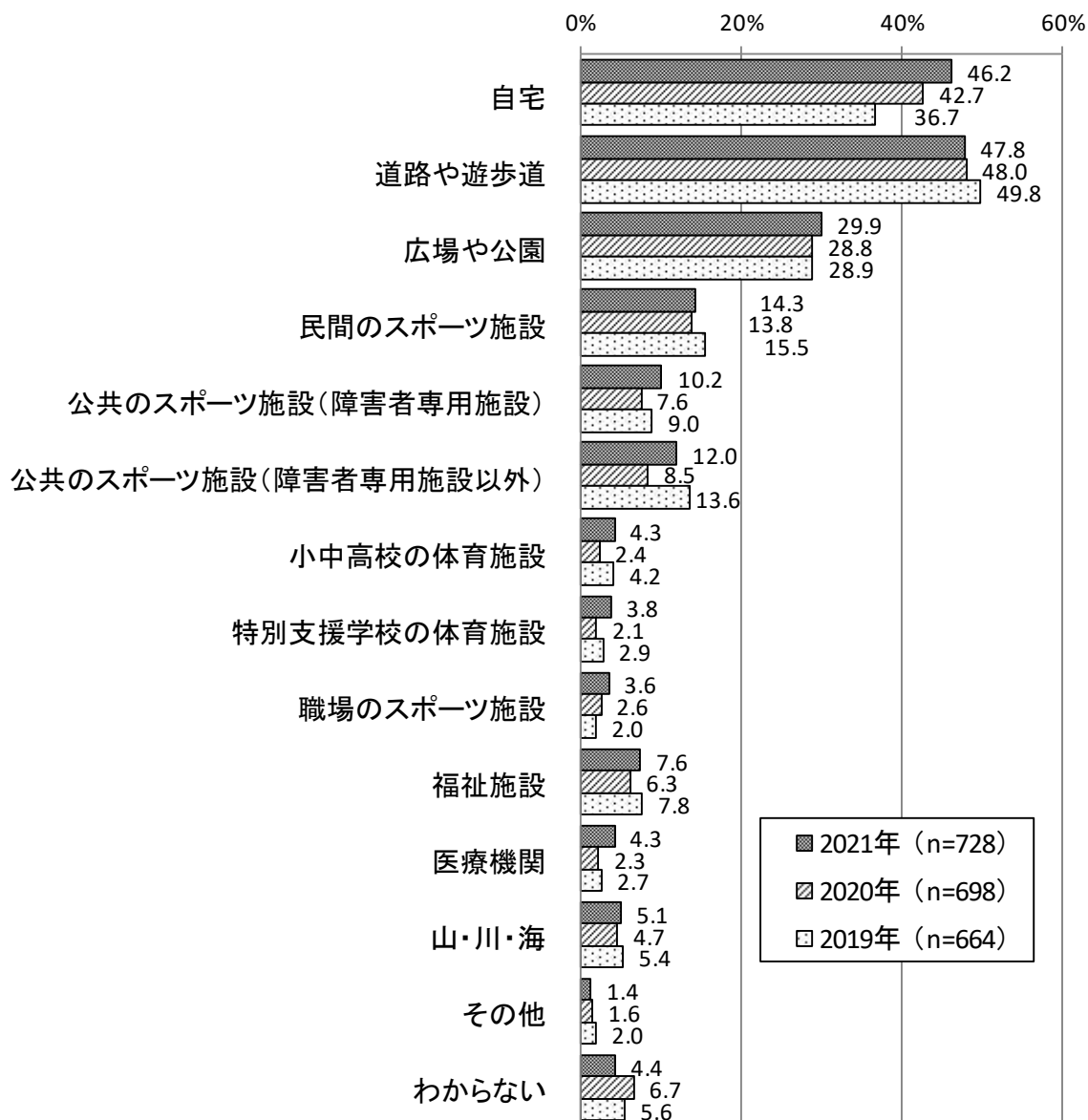
【図表 72】過去1年間に水泳・遊泳を行った日数



### (5) スポーツ・運動を実施する場所

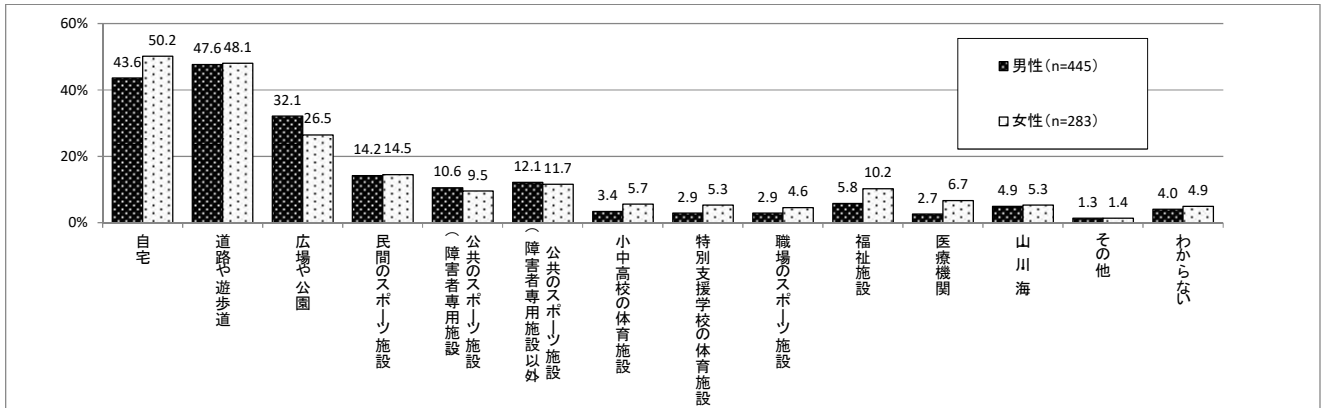
スポーツや運動を実施する場所は、「道路や遊歩道」が47.8%と最も高く、次いで「自宅」(46.2%)、「広場や公園」(29.9%)、「民間のスポーツ施設」(14.3%)、「公共のスポーツ施設(障害者専用施設以外)」(12.0%)の順であった。これら上位実施場所の順位は昨年度と同様であった。なお、「自宅」は、昨年度に比べ、3.5ポイント、一昨年に比べ、9.5ポイント高かった。【図表 73】

【図表 73】スポーツ・運動を実施する場所[複数回答]



性別でみると、男性では「道路や遊歩道」(47.6%)、「自宅」(43.6%)、女性では「自宅」(50.2%)、「道路や遊歩道」(48.1%)の順で高かった。これに続く順位は、男女とも「広場や公園」「民間のスポーツ施設」「公共のスポーツ施設(障害者専用施設以外)」であった。【図表 74】

【図表 74】スポーツ・運動を実施する場所(性別)[複数回答]



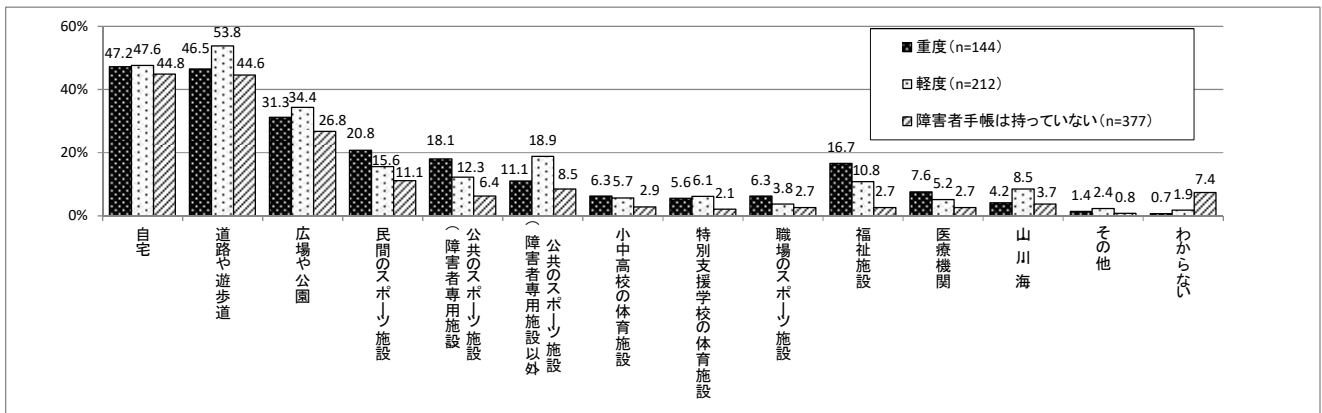
障害種別にみると、「音声・言語・そしゃく機能障害」で「道路や遊歩道」が63.0%、「知的障害」で「福祉施設」が18.6%と他の障害種別に比べて割合が高くなっている。【図表 75】

【図表 75】スポーツ・運動を実施する場所(障害種別)[複数回答]

	n	(単位:%)													
		自宅	道路や遊歩道	広場や公園	民間のスポーツ施設	公共のスポーツ施設(障害者専用施設)	公共のスポーツ施設(障害者専用施設以外)	小中高校の体育施設	特別支援学校の体育施設	職場のスポーツ施設	福祉施設	医療機関	山・川・海	その他	わからない
視覚障害	75	45.3	49.3	30.7	13.3	9.3	8.0	2.7	5.3	0.0	4.0	1.3	0.0	0.0	2.7
聴覚・平衡機能障害	79	49.4	45.6	34.2	19.0	15.2	16.5	6.3	6.3	6.3	5.1	2.5	5.1	1.3	5.1
音声・言語・そしゃく機能障害	27	37.0	63.0	37.0	18.5	11.1	11.1	3.7	3.7	7.4	7.4	3.7	3.7	3.7	3.7
肢体不自由	217	53.9	50.2	31.8	15.7	10.6	12.0	2.8	2.3	2.8	10.6	7.4	6.5	2.3	1.4
内部障害	164	45.1	50.0	23.2	13.4	10.4	12.8	4.9	3.0	6.1	6.1	4.3	5.5	1.8	4.9
知的障害	86	31.4	39.5	32.6	15.1	14.0	17.4	4.7	8.1	3.5	18.6	3.5	3.5	1.2	4.7
精神障害	145	46.9	46.9	32.4	14.5	9.0	12.4	8.3	5.5	7.6	6.9	3.4	6.9	0.7	7.6
その他	10	60.0	50.0	10.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	10.0

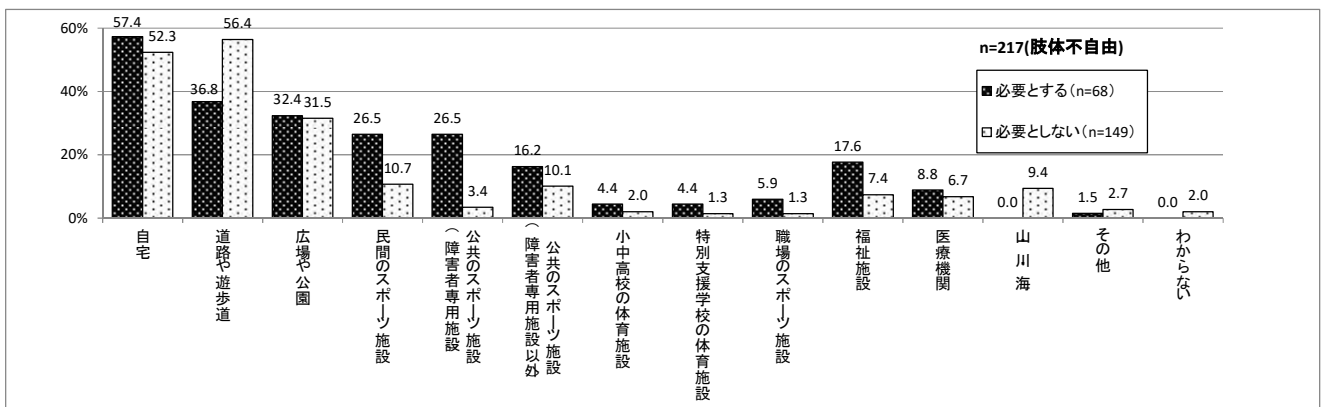
障害の程度別にみると、「重度」では、「軽度」と「障害者手帳の非保持者」に比べて、「公共のスポーツ施設(障害者専用施設)」と「福祉施設」の割合が高かった。【図表 76】

【図表 76】スポーツ・運動を実施する場所(障害の程度別)[複数回答]



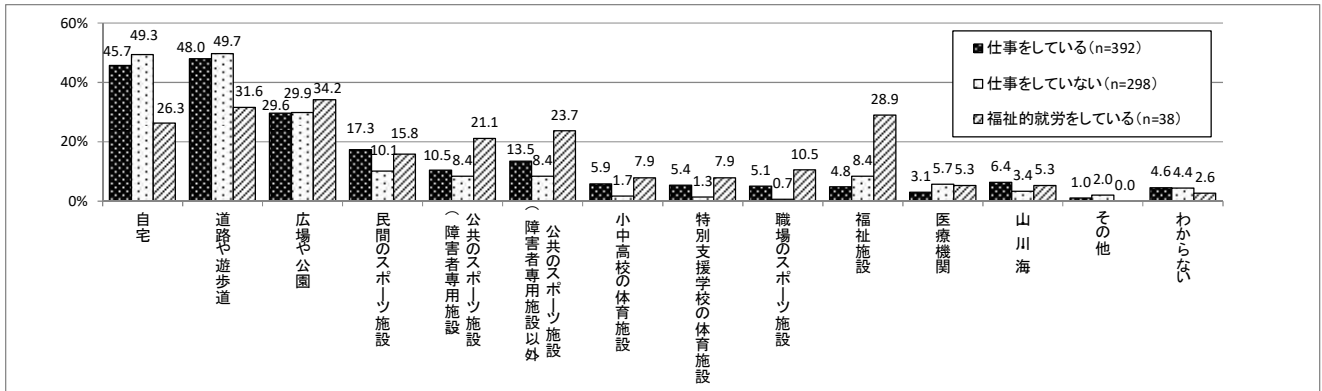
日常生活で車いす必要/不要別にみると、「日常生活で車いすを必要とする」では「自宅」(57.4%)が最も高く、「日常生活で車いすを必要としない」では「道路や遊歩道」(56.4%)が最も高かった。また、「日常生活で車いすを必要とする」では「民間のスポーツ施設」と「公共のスポーツ施設(障害者専用施設)」が2割を超えた。【図表 77】

【図表 77】スポーツ・運動を実施する場所(日常生活で車いす必要/不要)[複数回答]



就業状況別にみると、「仕事をしている」と「仕事をしていない」では「道路や遊歩道」が最も高く、（それぞれ 48.0 %、49.7%）次いで「自宅」、「広場や公園」、「民間のスポーツ施設」の順となっている。一方、「福祉的就労をしている」では、「広場や公園」が 34.2%と最も高く、次いで、「道路や遊歩道」、「福祉施設」、「自宅」の順となっている。また、「福祉的就労をしている」では、「仕事をしている」と「仕事をしていない」に比べて、「福祉施設」、「公共のスポーツ施設（障害者専用施設以外）」、「公共のスポーツ施設（障害者専用施設）」の割合が高くなっている。【図表 78】

【図表 78】スポーツ・運動を実施する場所(就業状況別) [複数回答]



平日・日中の居場所別にみると、「自分の家」と「学校」では、「自宅」、「職場（一般企業など）」と「職場（福祉的就労の施設）」では「道路や遊歩道」が最も高くなっており、「通所施設（生活介護、デイケアなど）」と「入所施設」では「福祉施設」が最も高くなった。【図表 79】

【図表 79】スポーツ・運動を実施する場所(平日・日中の居場所別) [複数回答]

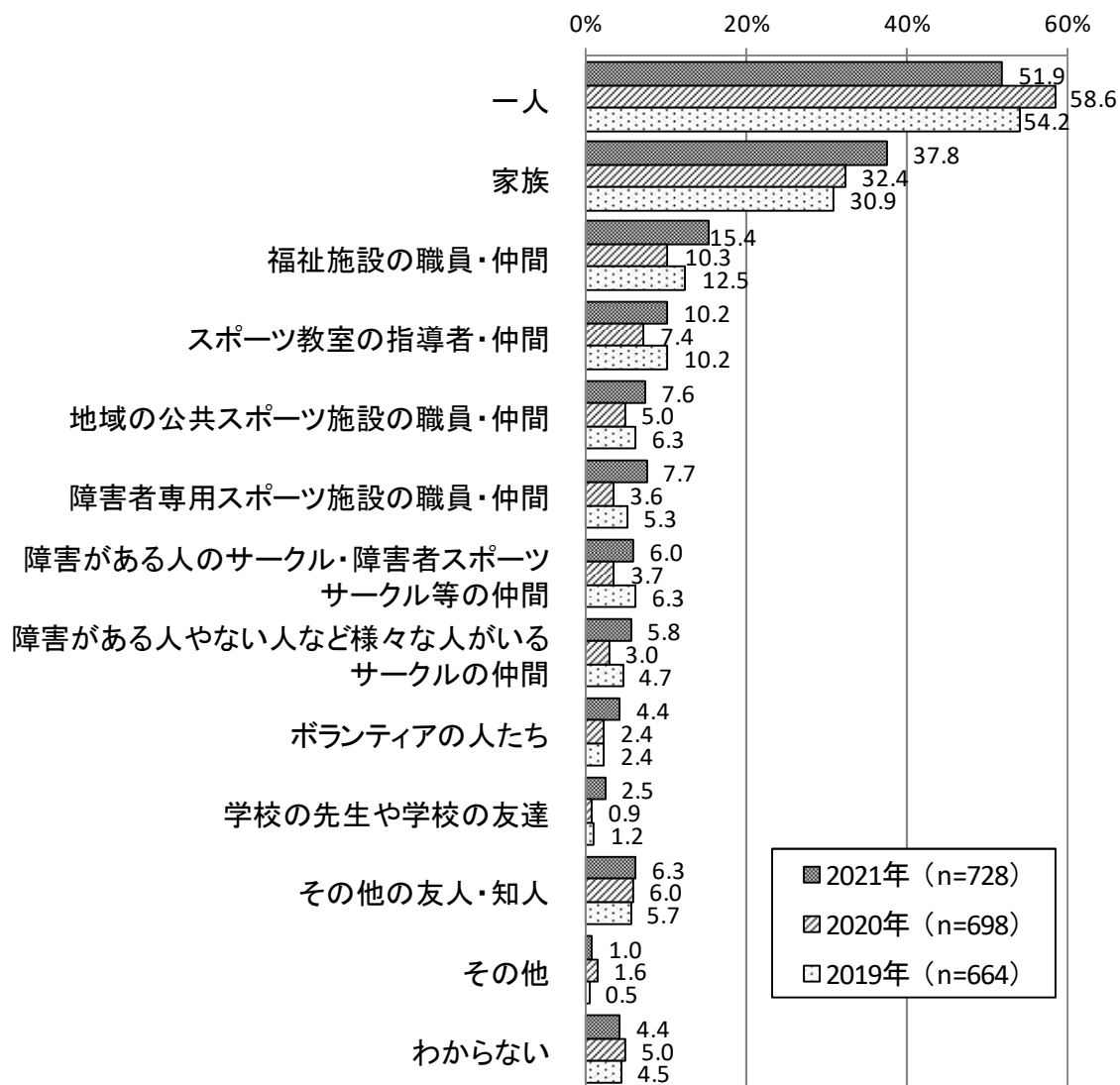
(単位: %)

	n	自宅	道路や遊歩道	広場や公園	民間のスポーツ施設	公共のスポーツ施設 (障害者専用施設)	公共のスポーツ施設 (障害者専用施設以外)	小中高校の体育施設	特別支援学校の体育施設	職場のスポーツ施設	福祉施設	医療機関	山・川・海	その他	わからない
自分の家	429	52.7	47.3	26.6	11.7	7.2	9.8	2.8	2.6	0.9	4.4	4.0	4.0	1.4	5.1
職場(一般の企業など)	212	38.2	52.4	38.2	21.2	12.7	15.6	8.0	5.7	7.5	6.1	4.2	8.0	0.9	3.3
職場(福祉的就労の施設)	31	25.8	45.2	25.8	19.4	29.0	22.6	6.5	12.9	9.7	19.4	3.2	3.2	0.0	0.0
学校	9	44.4	22.2	11.1	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0
通所施設 (生活介護、デイケアなど)	28	32.1	35.7	32.1	3.6	14.3	17.9	0.0	3.6	7.1	42.9	3.6	3.6	0.0	3.6
入所施設	13	30.8	23.1	23.1	0.0	23.1	0.0	0.0	0.0	0.0	38.5	7.7	0.0	0.0	15.4
その他	6	66.7	83.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	33.3	0.0

## (6) スポーツ・運動を一緒に実施する人

スポーツや運動を一緒に実施する人は、「一人」の割合が51.9%で最も高く、次いで「家族」(37.8%)、「福祉施設の職員・仲間」(15.4%)、「スポーツ教室の指導者・仲間」(10.2%)の順であった。これら上位項目の順位は昨年度と同様であった。なお、昨年度に比べ、「一人」が6.7ポイント低く、「家族」が5.4ポイント高かった。【図表 80】

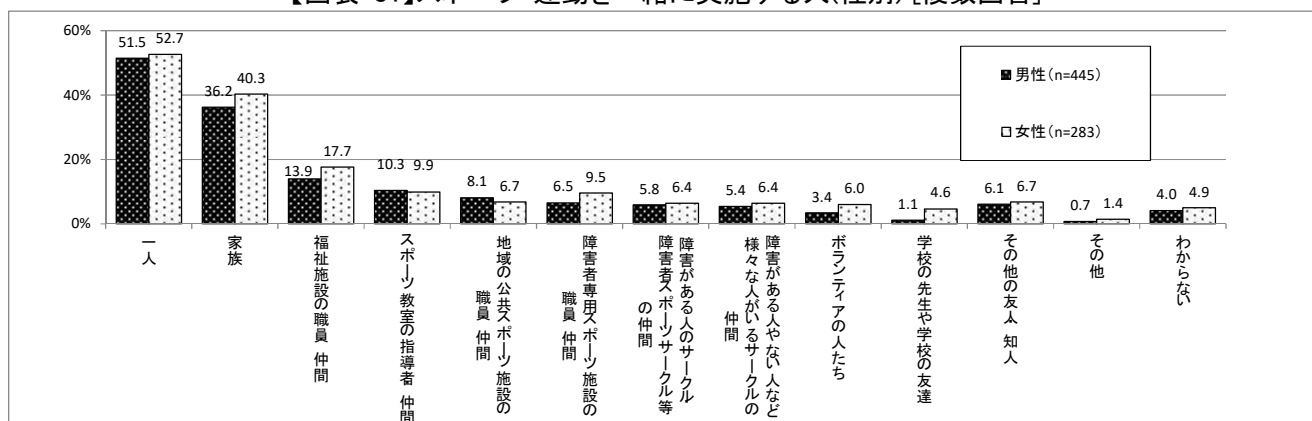
【図表 80】スポーツ・運動を一緒に実施する人[複数回答]





性別でみると、男女とも「一人」の割合が最も高く（男性 51.5%、女性 52.7%）、次いで「家族」「福祉施設の職員・仲間」「スポーツ教室の指導者・仲間」の順であった。【図表 81】

【図表 81】スポーツ・運動を一緒に実施する人(性別)[複数回答]



障害種別にみると、「知的障害」では「家族」が、「視覚障害」では「家族」「一人」が同割合で、他の障害では「一人」が最も高くなった。「知的障害」では他の障害に比べて、「福祉施設の職員・仲間」の割合が 31.4%と高かった。【図表 82】

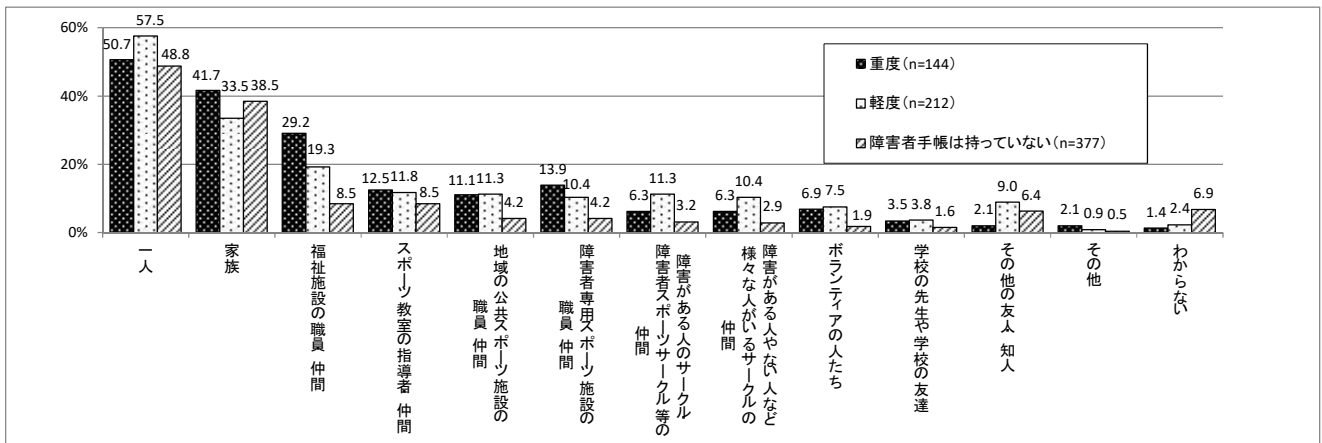
【図表 82】スポーツ・運動を一緒に実施する人(障害種別)[複数回答]

(単位:%)

	n	一人	家族	福祉施設の職員・仲間	スポーツ教室の指導者・仲間	地域の公共スポーツ施設の職員・仲間	障害者専用スポーツ施設の職員・仲間	障害者スポーツサークル等の仲間	障害がある人のサークル仲間	ボランティアの人たち	学校の先生や学校の友達	その他の友人・知人	その他	わからない
視覚障害	75	45.3	45.3	17.3	16.0	6.7	10.7	2.7	5.3	6.7	2.7	2.7	0.0	4.0
聴覚・平衡機能障害	79	55.7	50.6	22.8	12.7	12.7	11.4	7.6	12.7	10.1	3.8	2.5	0.0	5.1
音声・言語・そしゃく機能障害	27	55.6	48.1	11.1	11.1	18.5	3.7	11.1	7.4	3.7	3.7	0.0	0.0	3.7
肢体不自由	217	52.5	37.3	16.1	12.0	7.8	9.7	7.4	5.5	4.6	1.8	5.1	3.2	2.8
内部障害	164	54.9	36.6	7.9	7.9	4.9	5.5	3.7	4.9	3.0	4.3	9.8	0.6	5.5
知的障害	86	31.4	41.9	31.4	11.6	10.5	9.3	9.3	7.0	10.5	2.3	2.3	0.0	3.5
精神障害	145	60.0	28.3	14.5	9.0	9.0	7.6	8.3	7.6	3.4	2.8	10.3	0.0	5.5
その他	10	70.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0

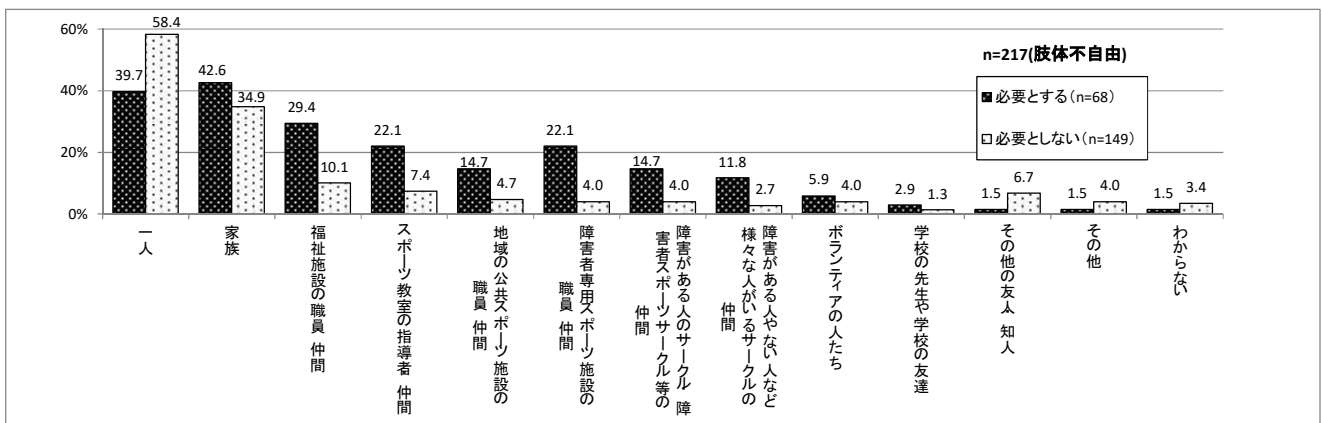
障害の程度別にみると、「重度」では、他の区分に比べて「家族」(41.7%)、「福祉施設の職員・仲間」(29.2%)の割合が高かった。【図表 83】

【図表 83】スポーツ・運動を一緒に実施する人(障害の程度別)[複数回答]



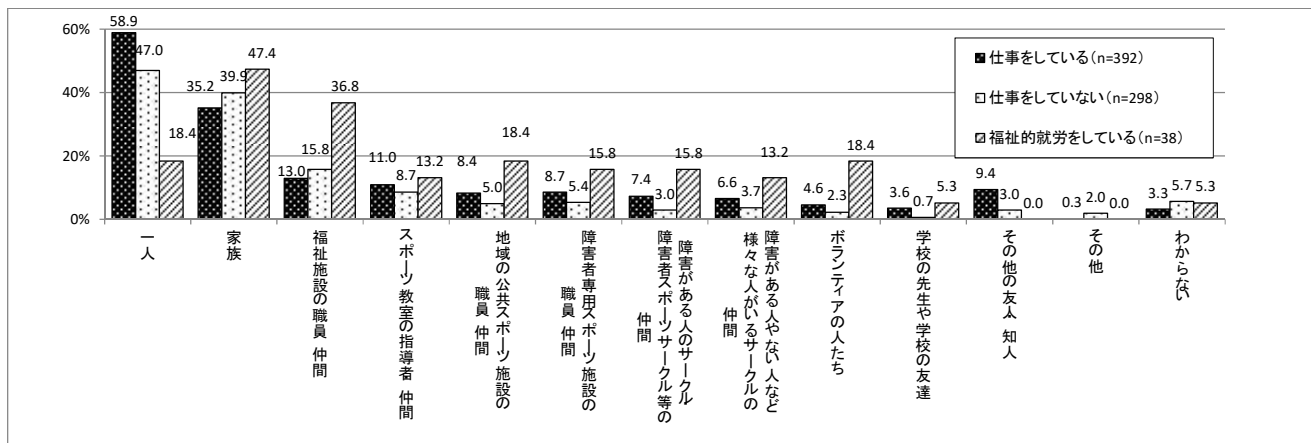
日常生活で車いす必要/不要別にみると、「日常生活で車いすを必要とする」では「家族」(42.6%)が、「日常生活で車いすを必要としない」では「一人」(58.4%)が最も高くなった。「日常生活で車いすを必要とする」では「福祉施設の職員・仲間」も29.4%と高かった。【図表 84】

【図表 84】スポーツ・運動を一緒に実施する人(日常生活で車いす必要/不要)[複数回答]



就業状況別にみると、「仕事をしている」「仕事をしていない」では「一人」、「家族」の順となったが、「福祉的就労をしている」では、「家族」の割合がもっとも高く、次いで「福祉施設の職員・仲間」の順であった。【図表 85】

【図表 85】スポーツ・運動と一緒に実施する人(就業状況別) [複数回答]



平日・日中の居場所別にみると、「自分の家」「職場（一般企業など）」の双方とも「一人」、「家族」の順に割合が高い。「職場（福祉的就労の施設）」では、「福祉施設の職員・仲間」や「障害者専用スポーツ施設の職員・仲間」も高かった。【図表 86】

【図表 86】スポーツ・運動と一緒に実施する人(平日・日中の居場所別)[複数回答]

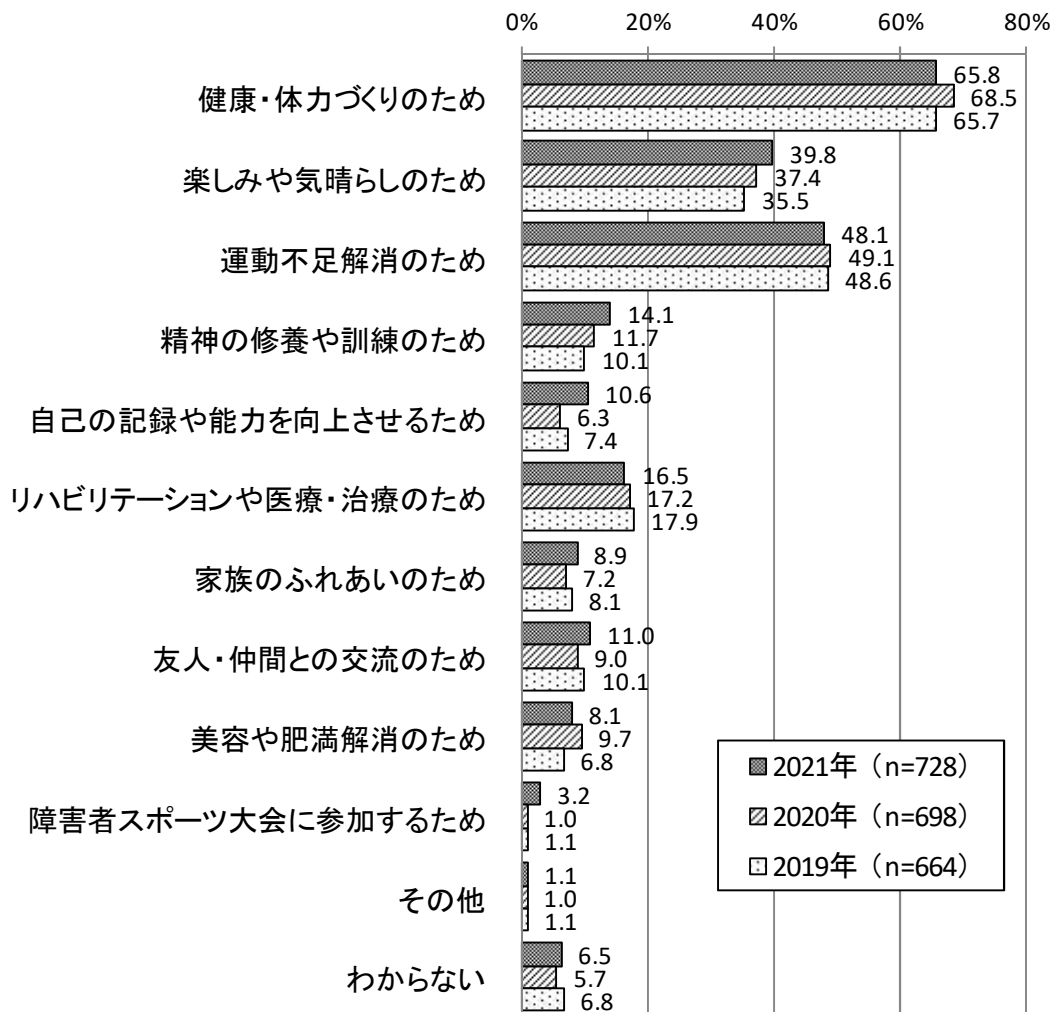
(単位:%)

	n	一人	家族	福祉施設の職員・仲間	スポーツ教室の指導者・仲間	地域の公共スポーツ施設の職員・仲間	障害者専用スポーツ施設の職員・仲間	障害者スポーツサークル等の仲間	障害がある人やない人など様々な人がいるサークルの仲間	ボランティアの人たち	学校の先生や学校の友達	その他の友人・知人	その他	わからない
自分の家	429	52.7	40.3	12.6	7.5	6.1	4.7	3.3	4.2	2.8	1.2	4.0	1.4	5.1
職場(一般の企業など)	212	59.9	34.4	14.2	13.7	10.4	10.8	9.9	8.5	4.7	4.2	12.7	0.0	2.4
職場(福祉的就労の施設)	31	29.0	41.9	38.7	19.4	16.1	25.8	19.4	9.7	19.4	3.2	0.0	0.0	0.0
学校	9	33.3	0.0	11.1	22.2	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	22.2
通所施設(生活介護、デイケアなど)	28	14.3	46.4	35.7	10.7	7.1	10.7	10.7	10.7	7.1	3.6	3.6	0.0	3.6
入所施設	13	23.1	15.4	38.5	15.4	0.0	7.7	0.0	0.0	15.4	7.7	0.0	0.0	15.4
その他	6	100.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0

## (7) スポーツ・運動を実施する理由

スポーツや運動を実施する理由は、「健康・体力づくりのため」(65.8%)が最も高く、次いで「運動不足解消のため」(48.1%)、「楽しみや気晴らしのため」(39.8%)、「リハビリテーションや医療・治療のため」(16.5%)、「精神の修養や訓練のため」(14.1%)の順であった。これら上位項目の順位は昨年度と同様であった。【図表 87】

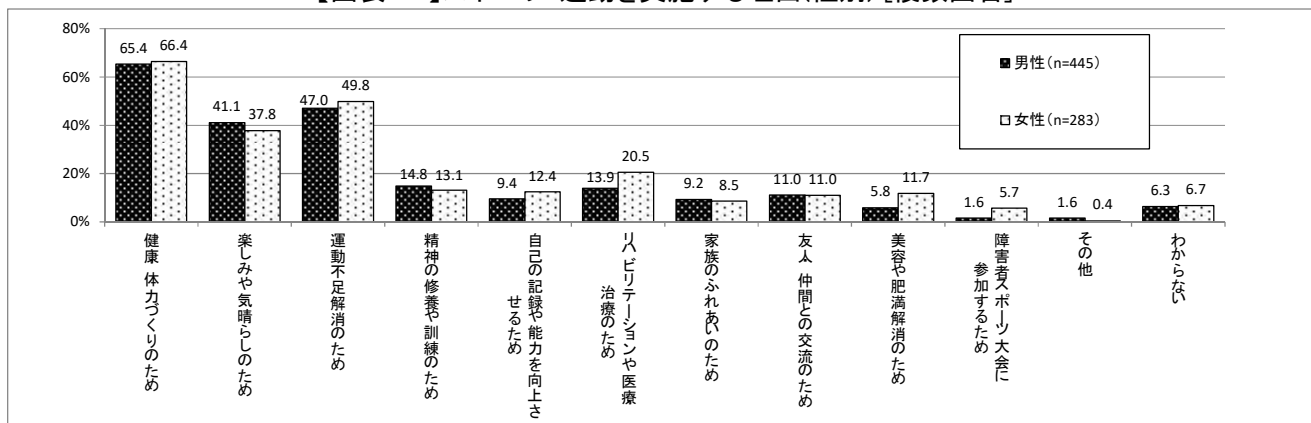
【図表 87】スポーツ・運動を実施する理由[複数回答]



性別でみると、男女とも「健康・体力づくりのため」が最も高く（男性 65.4%、女性 66.4%）、次いで「運動不足解消のため」「楽しみや気晴らしのため」の順となった。これに続く男性の4位は「精神の修養や訓練のため」、5位は「リハビリテーションや医療・治療のため」であったのに対し、女性の4位は「リハビリテーションや医療・治療のため」、5位は「精神の修養や訓練のため」であった。

【図表 88】

【図表 88】スポーツ・運動を実施する理由(性別) [複数回答]



障害種別にみると、すべての種別で、「健康・体力づくりのため」の割合が最も高く、次いで「運動不足解消のため」、「楽しみや気晴らしのため」の順であった。「肢体不自由」では「リハビリテーションや医療・治療のため」(28.6%)の割合が高く、「知的障害」では「友人・仲間との交流のため」(20.9%)の割合が高かった。【図表 89】

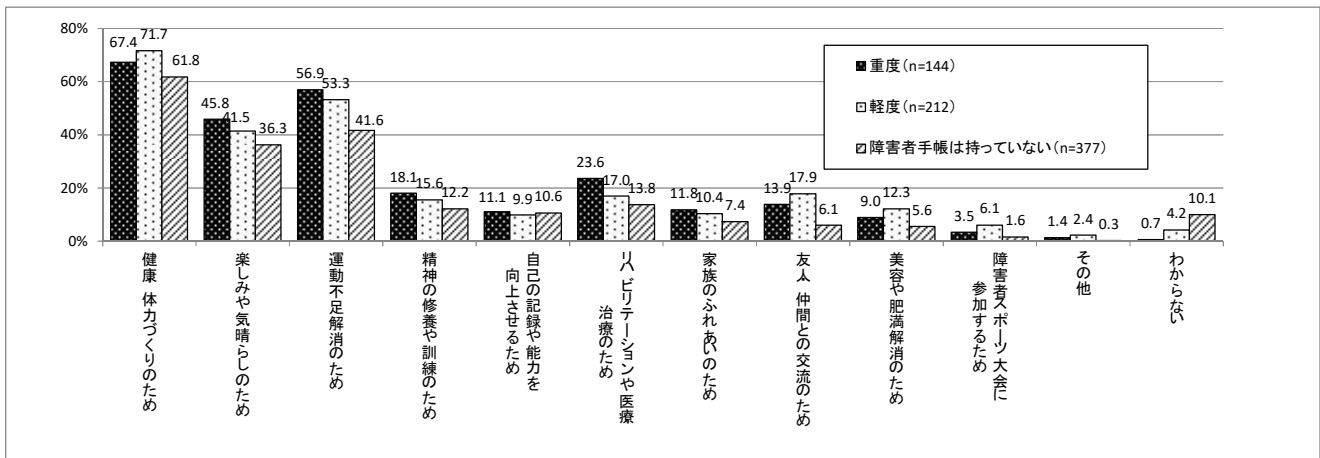
【図表 89】スポーツ・運動を実施する理由(障害種別) [複数回答]

(単位: %)

	n	健康・体力づくりのため	楽しみや気晴らしのため	運動不足解消のため	精神の修養や訓練のため	自己の記録や能力を向上させるため	リハビリテーションや医療・治療のため	家族のふれあいのため	友人・仲間との交流のため	美容や肥満解消のため	障害者スポーツ大会に参加するため	その他	わからない
視覚障害	75	65.3	37.3	45.3	25.3	8.0	10.7	4.0	4.0	2.7	0.0	0.0	4.0
聴覚・平衡機能障害	79	67.1	39.2	41.8	21.5	12.7	8.9	15.2	15.2	11.4	1.3	1.3	8.9
音声・言語・そしゃく機能障害	27	70.4	40.7	51.9	22.2	25.9	22.2	0.0	7.4	3.7	3.7	3.7	3.7
肢体不自由	217	71.0	37.8	55.3	13.4	12.0	28.6	11.5	13.4	9.7	3.2	1.4	3.7
内部障害	164	68.9	40.2	48.2	12.2	9.1	14.0	7.9	9.1	8.5	3.7	1.2	7.9
知的障害	86	64.0	44.2	47.7	5.8	7.0	11.6	10.5	20.9	5.8	8.1	1.2	4.7
精神障害	145	57.2	41.4	45.5	17.9	10.3	15.2	6.9	11.0	9.7	6.2	0.7	8.3
その他	10	80.0	60.0	70.0	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0

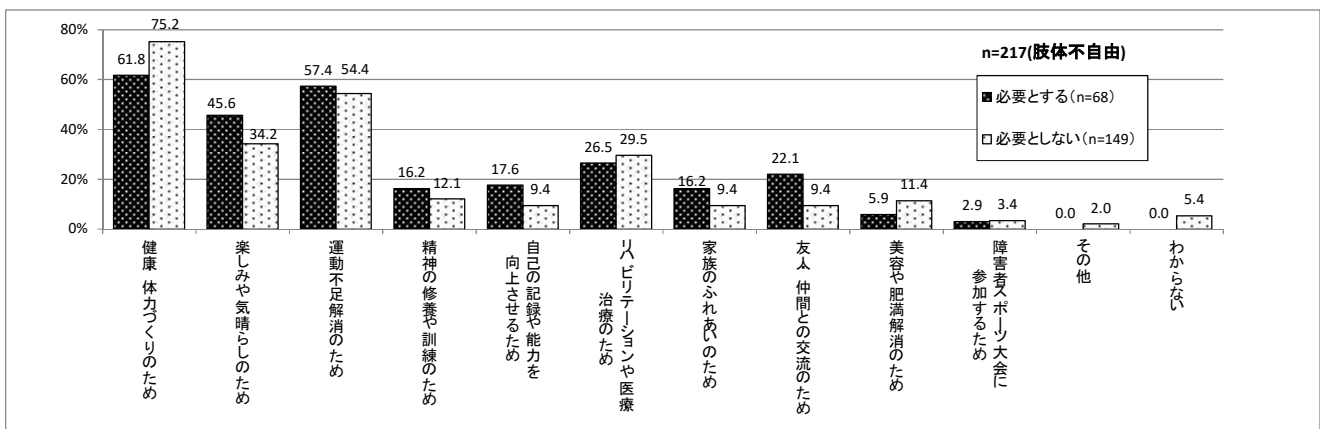
障害の程度別にみると、いずれの区分においても、「健康・体力づくりのため」が最も高く、次いで「運動不足解消のため」「楽しみや気晴らしのため」の順であった。【図表 90】

【図表 90】スポーツ・運動を実施する理由(障害の程度別)[複数回答]



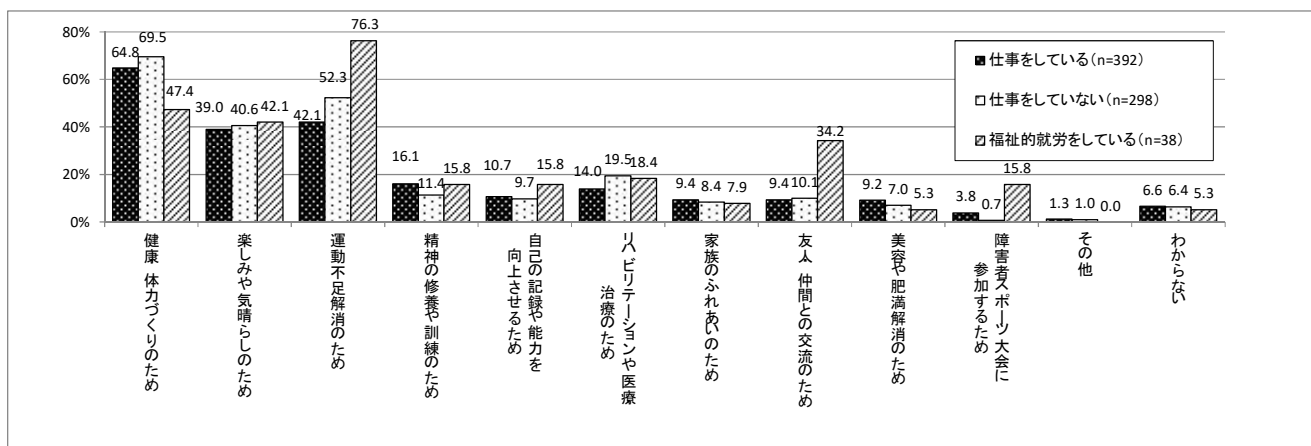
日常生活で車いす必要／不要別にみると、「日常生活で車いすを必要とする」「日常生活で車いすを必要としない」の双方で、「健康・体力づくりのため」の割合が最も高く、次いで「運動不足解消のため」「楽しみや気晴らしのため」の順であった。「日常生活で車いすを必要とする」では、「友人・仲間との交流のため」も 22.1%と高かった。【図表 91】

【図表 91】スポーツ・運動を実施する理由(日常生活で車いす必要／不要)[複数回答]



就業状況別にみると、「仕事をしている」「仕事をしていない」では「健康・体力づくりのため」、「運動不足解消のため」、「楽しみや気晴らしのため」の順に割合が高かった。「福祉的就労をしている」では「運動不足解消のため」の割合が最も高く、また、「友人・仲間との交流のため」を理由とする割合が3割を超えた。【図表 92】

【図表 92】スポーツ・運動を実施する理由(就業状況別)[複数回答]



平日・日中の居場所別にみると、「職場（福祉的就労の施設）」「学校」を除くいずれの区分でも「健康・体力づくりのため」の割合が高いが、「職場（福祉的就労の施設）」では「運動不足解消のため」の割合が高かった。また、「職場（福祉的就労の施設）」では、他の区分と比べて「精神の修養や訓練のため」の割合が高かった（29.0%）。【図表 93】

【図表 93】スポーツ・運動を実施する理由(平日・日中の居場所別)[複数回答]

(単位:%)

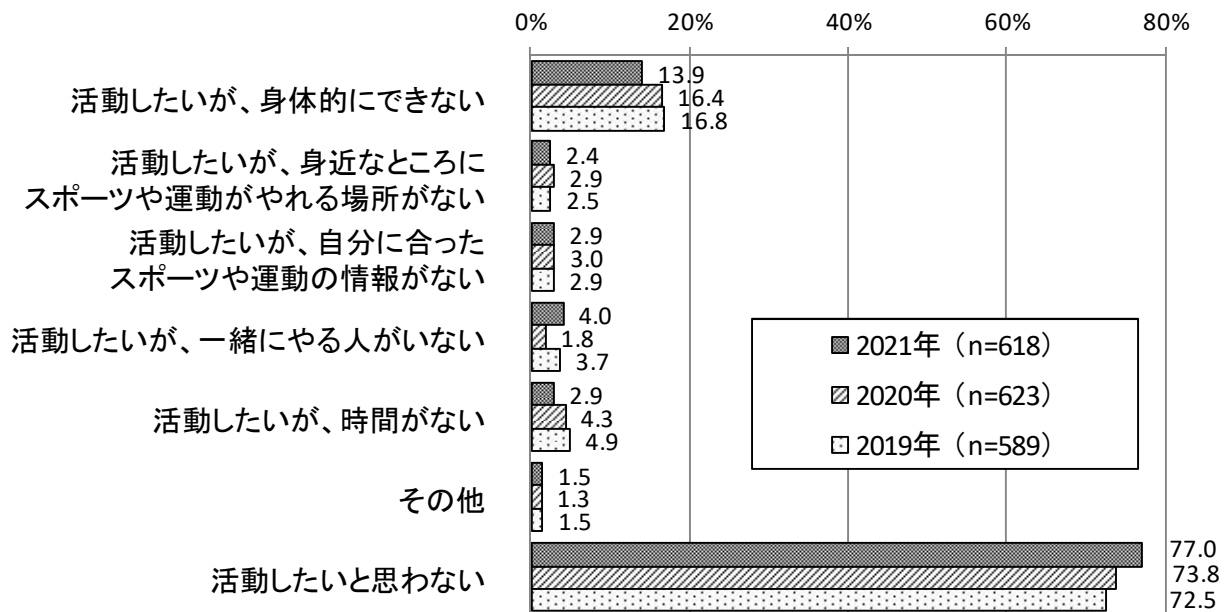
居場所	n	健康・体力づくりのため	楽しみや気晴らしのため	運動不足解消のため	精神の修養や訓練のため	自己の記録や能力を向上させるため	治療のため	リハビリテーションや医療・	家族のふれあいのため	友人・仲間との交流のため	美容や肥満解消のため	障害者スポーツ大会に参加するため	その他	わからない
自分の家	429	68.5	39.4	50.6	12.1	9.3	17.2	7.0	8.2	7.0	0.9	0.9	7.2	
職場(一般の企業など)	212	67.9	40.6	42.9	17.9	13.7	16.0	11.8	12.3	11.3	6.1	0.9	5.2	
職場(福祉的就労の施設)	31	45.2	45.2	58.1	29.0	6.5	12.9	9.7	25.8	9.7	9.7	0.0	3.2	
学校	9	11.1	22.2	22.2	11.1	22.2	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	22.2	
通所施設(生活介護、デイケアなど)	28	57.1	50.0	50.0	7.1	10.7	14.3	17.9	25.0	0.0	3.6	0.0	0.0	
入所施設	13	46.2	23.1	46.2	7.7	7.7	15.4	7.7	15.4	15.4	7.7	0.0	15.4	
その他	6	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	

### (8) スポーツ・運動を実施しない理由

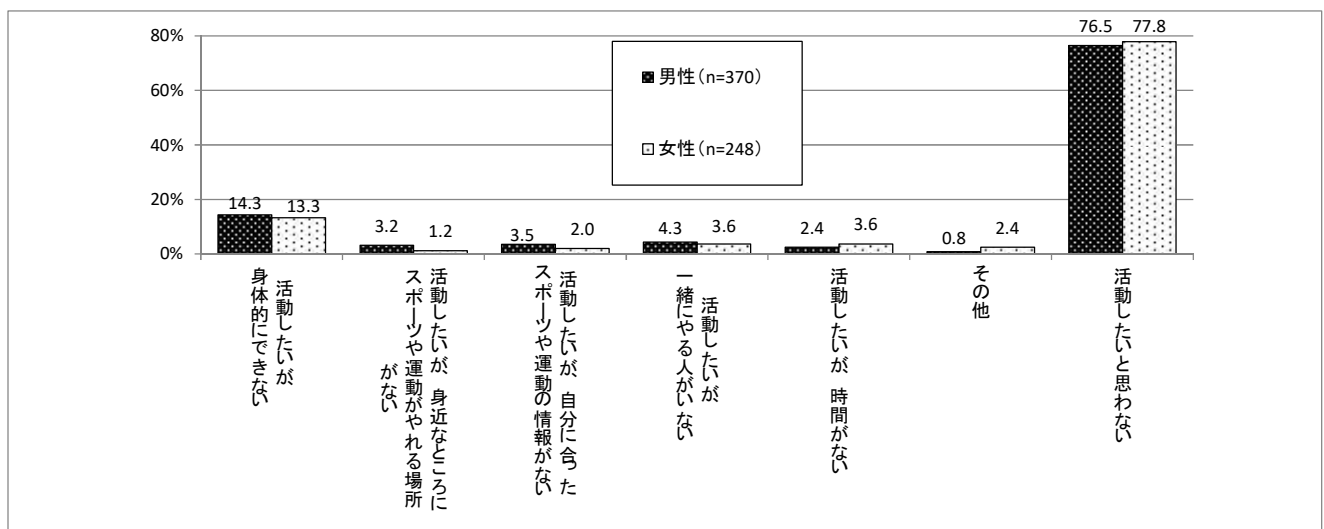
スポーツや運動を実施しない理由は、「活動したいと思わない」が77.0%と最も高く、次いで「活動したいが、身体的にできない」が13.9%であった。他には「活動したいが、一緒にやる人がいない」(4.0%)、「活動したいが、自分に合ったスポーツや運動の情報がない」「活動したいが、時間がない」(2.9%)、「活動したいが、身近なところにスポーツや運動がやれる場所がない」(2.4%)、の順であった。

【図表 94】

【図表 94】スポーツ・運動を実施しない理由[複数回答]



【図表 95】スポーツ・運動を実施しない理由(性別) [複数回答]





障害種別にみると、他の障害に比べて、「肢体不自由」では「活動したいが、身体的にできない」(35.4%)が高かった一方で、「活動したいとは思わない」(53.9%)が低かった。【図表 96】

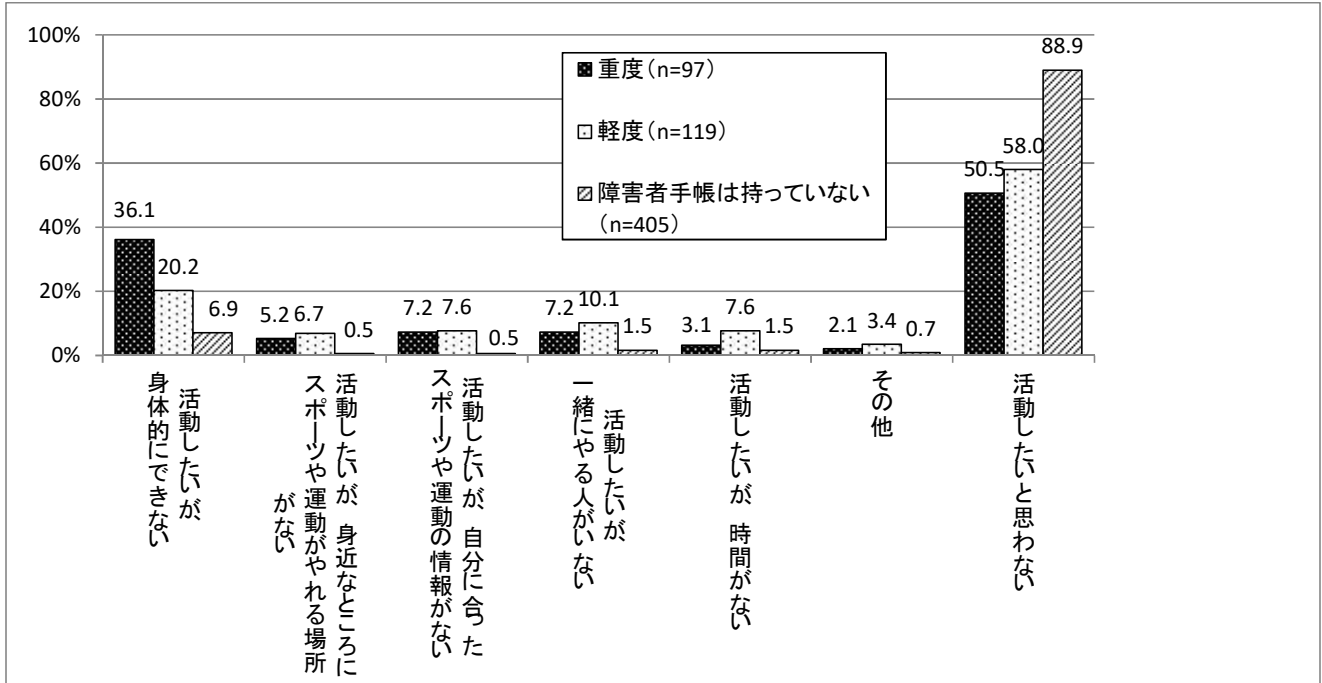
【図表 96】スポーツ・運動を実施しない理由(障害種別)[複数回答]

(単位: %)

	n	活動したいが、身体的にできない	活動したいが、身近なところが	活動したいが、自分に合った	活動したいが、情報が	活動したいが、時間が	活動したいが、時間が	その他	活動したいとは思わない
視覚障害	61	3.3	1.6	0.0	8.2	3.3	1.6	85.2	
聴覚・平衡機能障害	43	4.7	0.0	2.3	2.3	0.0	0.0	93.0	
音声・言語・そしゃく機能障害	16	18.8	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	75.0	
肢体不自由	178	35.4	3.9	5.1	3.9	2.2	3.4	53.9	
内部障害	128	11.7	0.0	0.8	3.1	2.3	0.0	84.4	
知的障害	75	8.0	8.0	8.0	9.3	5.3	1.3	73.3	
精神障害	154	5.8	0.6	1.3	0.6	3.2	0.6	89.0	
その他	9	22.2	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	66.7	

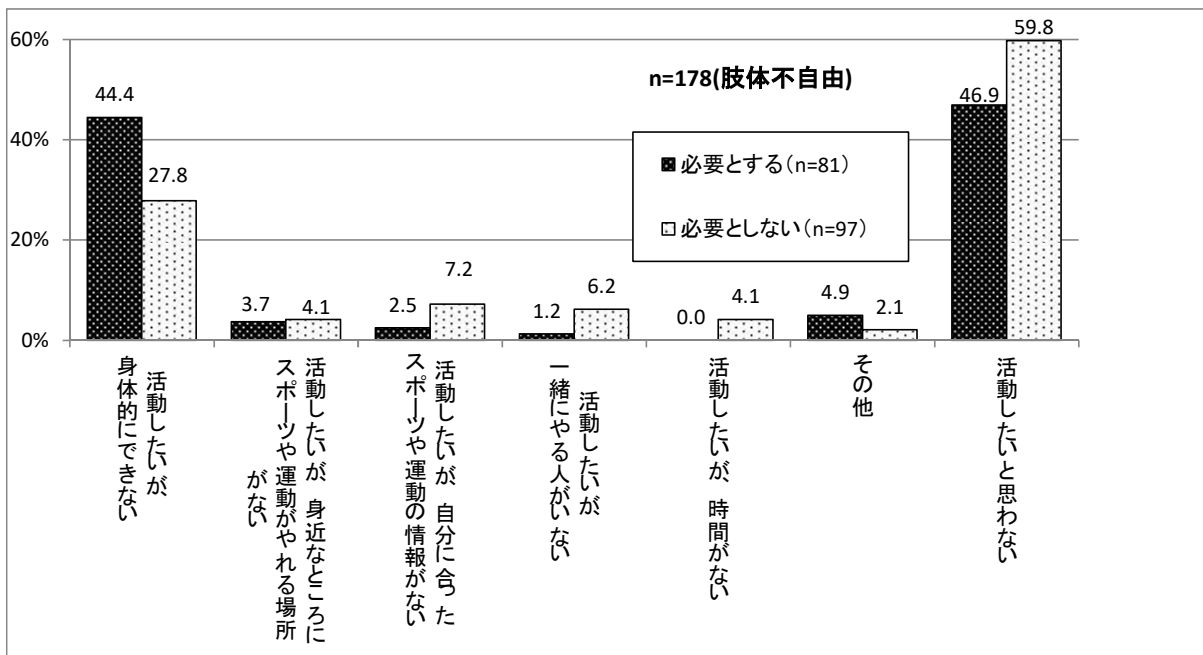
障害の程度別にみると、「重度」では「活動したいが、身体的にできない」(36.1%)の割合が高かった。また、「障害者手帳の非保持者」では「活動したいと思わない」の割合が約9割であった(88.9%)。  
【図表 97】

【図表 97】スポーツ・運動を実施しない理由(障害の程度別)[複数回答]



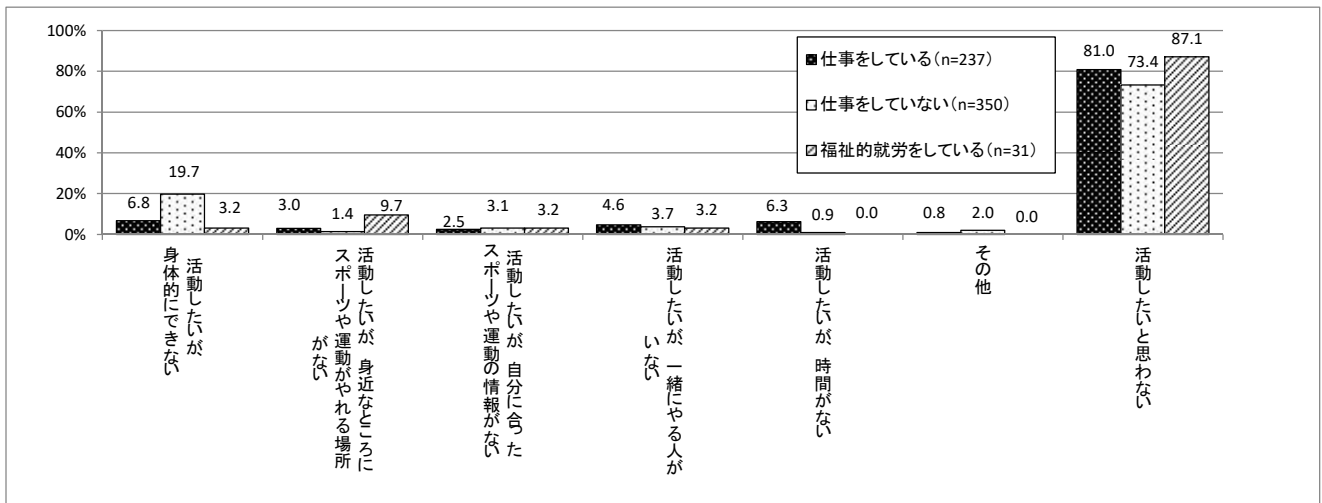
日常生活で車いす必要/不要別にみると、「日常生活で車いすを必要とする」では「日常生活で車いすを必要としない」に比べて、「活動したいが、身体的にできない」(44.4%)が高く、また、「活動したいと思わない」(46.9%)が低かった。【図表 98】

【図表 98】スポーツ・運動を実施しない理由(日常生活で車いす必要/不要)[複数回答]



就業状況別にみると、いずれの区分においても「活動したいと思わない」が最も高かった。また、「仕事をしていない」では、「活動したいが、身体的にできない」の割合が他の区分と比べて高かった(19.7%)。【図表 99】

【図表 99】スポーツ・運動を実施しない理由(就業状況別)[複数回答]



平日・日中の居場所別にみると、いずれの区分においても「活動したいと思わない」が最も高いが、「通所施設(生活介護、デイケアなど)」では、他の区分と比較して「活動したいと思わない」(47.6%)が低く、「活動したいが、身体的にできない」(33.3%)が高かった。【図表 100】

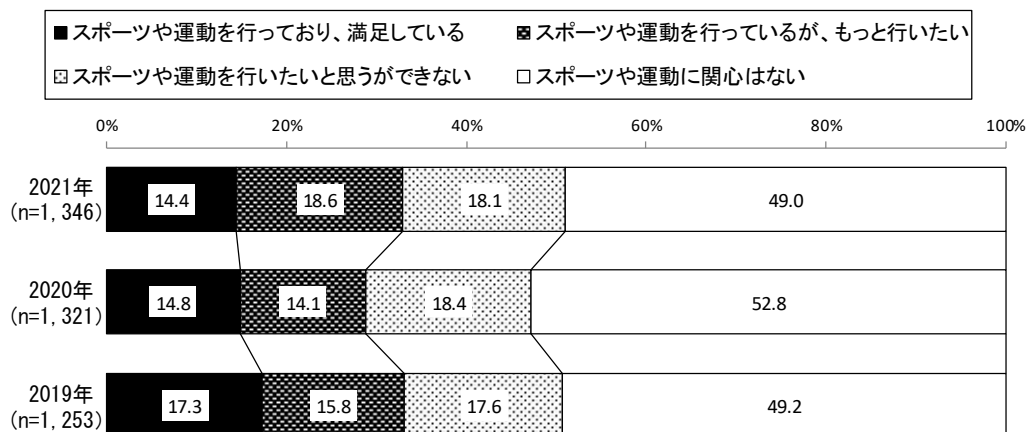
【図表 100】スポーツ・運動を実施しない理由(平日・日中の居場所別)[複数回答]  
(単位:%)

居場所	n	活動したいが、身体的にできない	活動したいが、身近なところにスポーツや運動がやれる場所がない	活動したいが、自分に合ったスポーツや運動の情報がない	活動したいが、一緒にやる人がいない	活動したいが、時間がない	その他	活動したいと思わない
自分の家	405	15.1	1.2	2.5	3.2	1.2	1.2	79.0
職場(一般の企業など)	135	7.4	4.4	3.0	4.4	8.1	0.7	77.8
職場(福祉的就労の施設)	13	7.7	23.1	15.4	23.1	7.7	7.7	53.8
学校	13	0.0	0.0	0.0	7.7	7.7	0.0	84.6
通所施設(生活介護、デイケアなど)	21	33.3	4.8	9.5	9.5	0.0	4.8	47.6
入所施設	29	24.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.9
その他	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0

### (9) 現在のスポーツ・運動への取組

現在のスポーツや運動への取組については、「スポーツや運動に関心はない」(49.0%)が最も高かった。次いで「スポーツや運動を行っているが、もっと行いたい」(18.6%)、「スポーツや運動を行いたいと思うができない」(18.1%)、「スポーツや運動を行っており、満足している」(14.4%)、の順であった。昨年度に比べると、「スポーツや運動に関心はない」が3.8ポイント減少し、また、「スポーツや運動を行っているが、もっと行いたい」が4.5ポイント増加した。【図表 101】

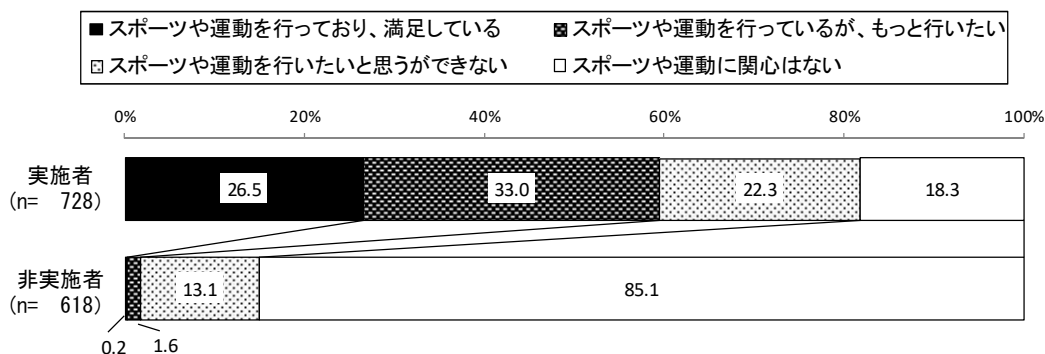
【図表 101】現在のスポーツ・運動への取組



なお、「スポーツや運動に関心はない」の理由として、「体育の授業や部活などにおける経験から、トラウマがある」、「運動が嫌いだから」、「別の趣味があるから」、「時間と精神的余裕がない」、「体力がない」等が挙げられた。

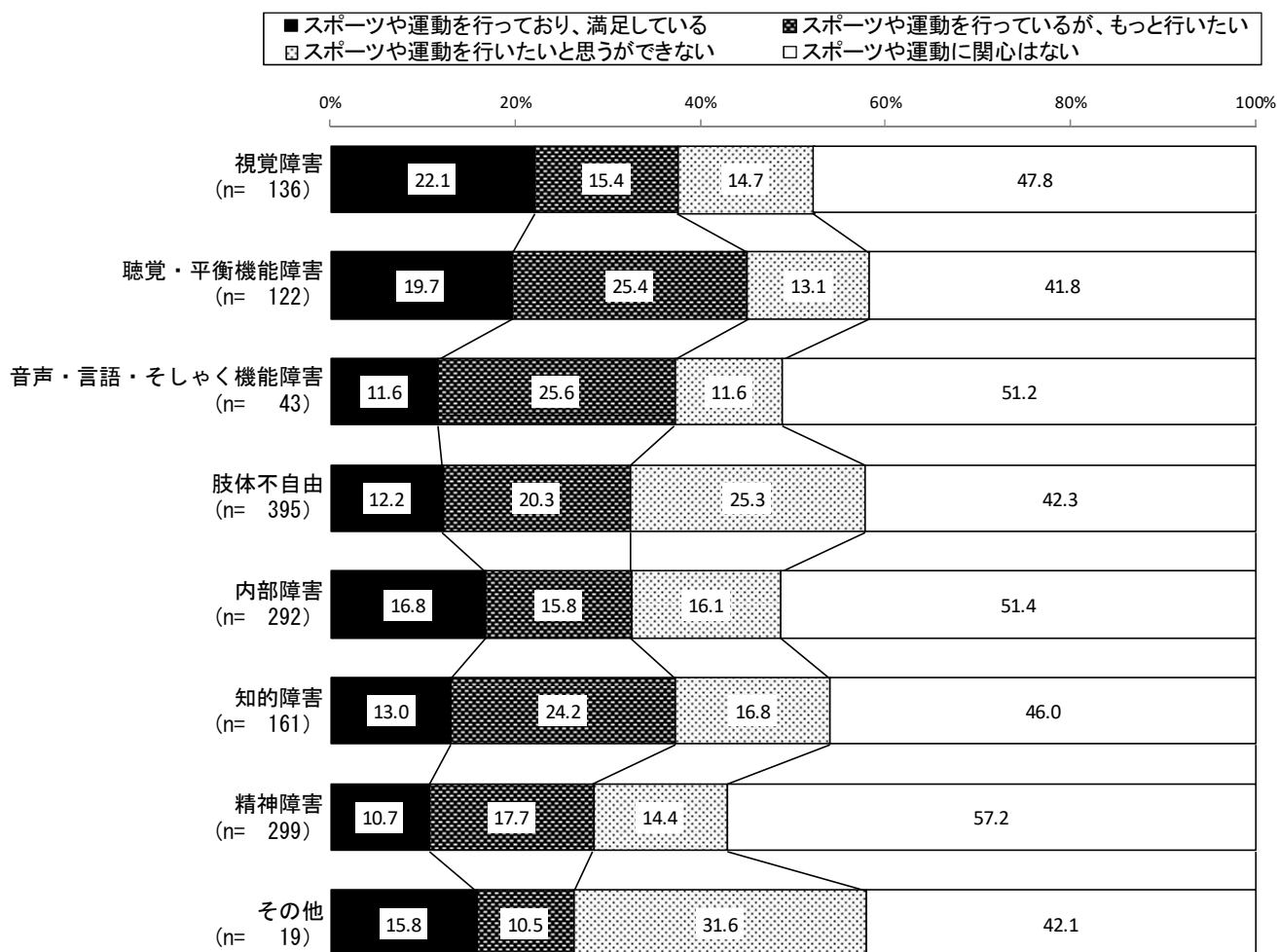
過去1年間のスポーツ・運動の実施有無別にみると、非実施者においては、「スポーツや運動に関心はない」が85.1%で、「スポーツや運動を行いたいと思うができない」が13.1%であった。【図表 102】

【図表 102】現在のスポーツ・運動への取組(スポーツ・運動の実施の有無別)



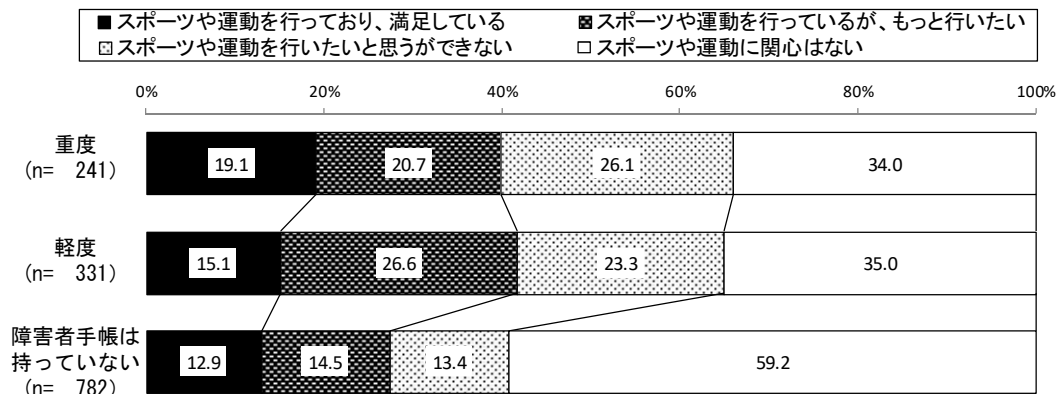
障害種別でみると、「精神障害」では、「スポーツや運動に関心はない」が 57.2%と高い割合となった。また、「肢体不自由」では、「スポーツや運動を行いたいと思うができない」が 25.3%と、他の区分と比べて高かった。「視覚障害」では、「スポーツや運動を行っており、満足している」が2割を超えた(22.1%)。【図表 103】

【図表 103】現在のスポーツ・運動への取組(障害種別)



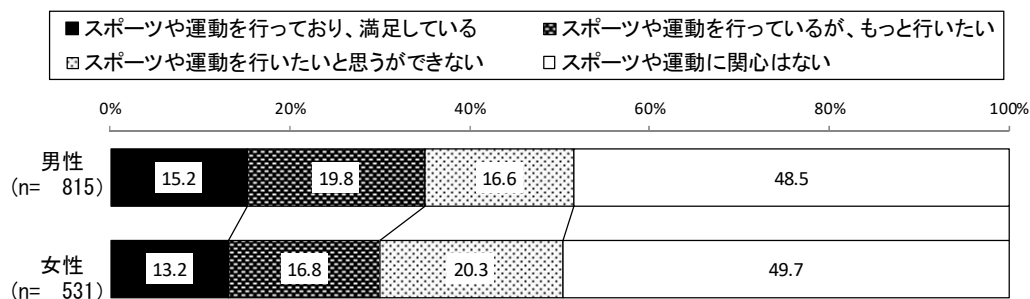
障害の程度別にみると、他の区分に比べて、「障害者手帳の非保持者」では「スポーツや運動に関心はない」(59.2%)が高かった。【図表 104】

【図表 104】現在のスポーツ・運動への取組(障害の程度別)



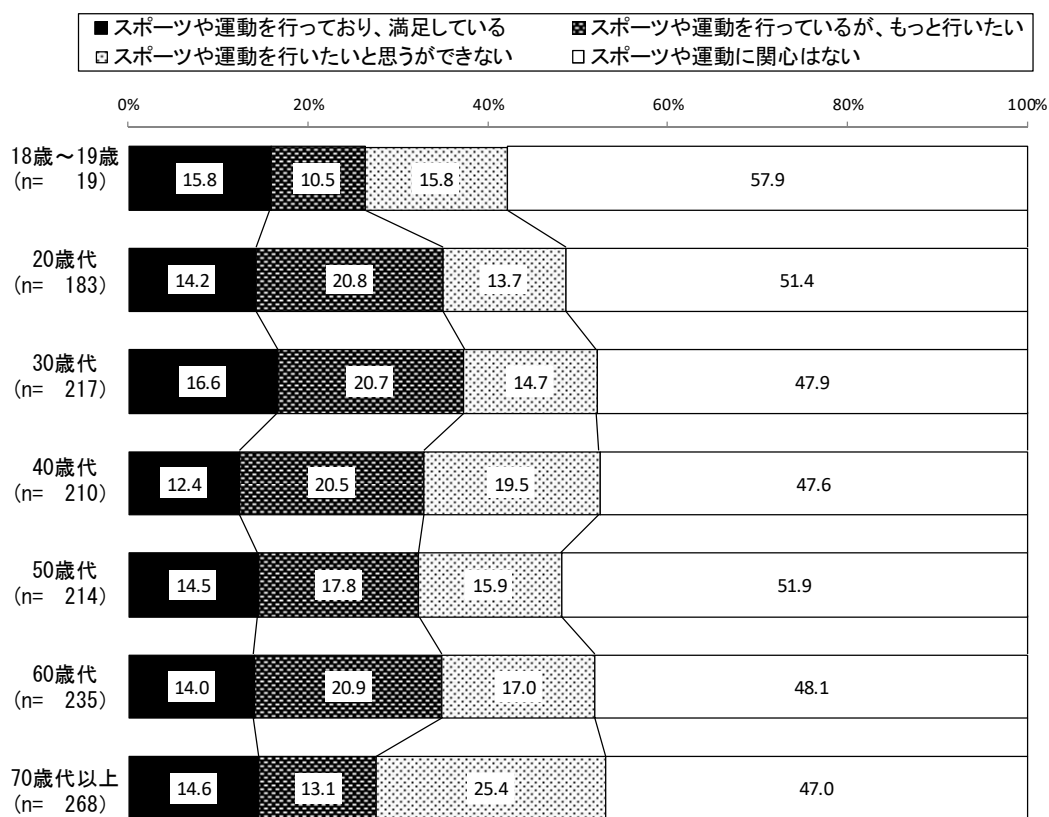
性別でみると、「スポーツや運動に関心はない」は、男性が 48.5%、女性が 49.7%であった。【図表 105】

【図表 105】現在のスポーツ・運動への取組(性別)



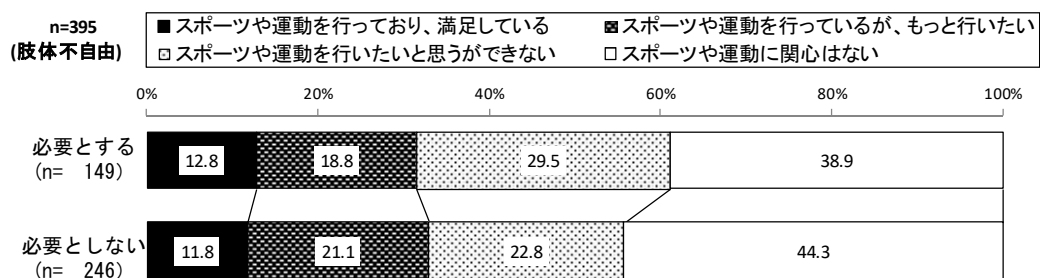
年齢別で見ると、70歳代以上で「スポーツや運動を行いたいと思うができない」と回答する割合が2割を超えた。【図表 106】

【図表 106】現在のスポーツ・運動への取組(年齢別)



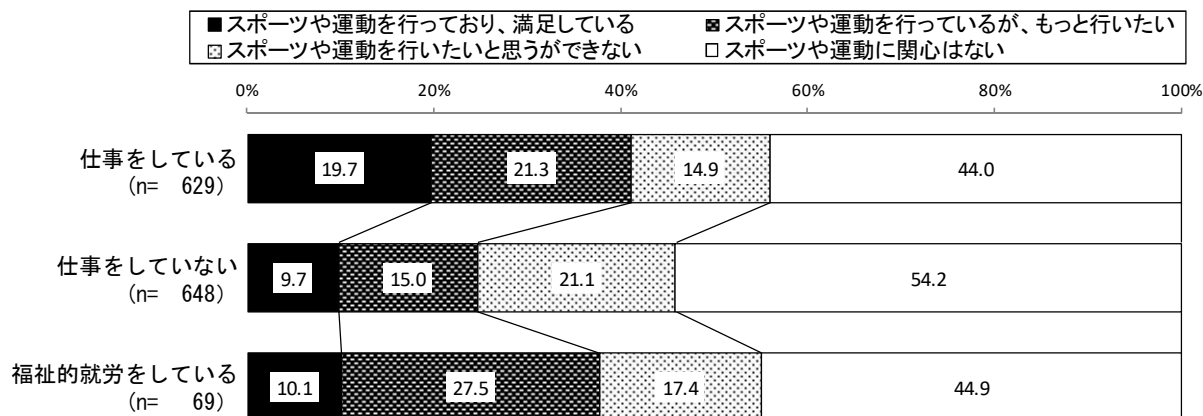
日常生活で車いす必要／不要別にみると、「日常生活で車いすを必要とする」では、「スポーツや運動を行いたいと思うができない」の割合が約3割となった。【図表 107】

【図表 107】現在のスポーツ・運動への取組(日常生活で車いす必要／不要)



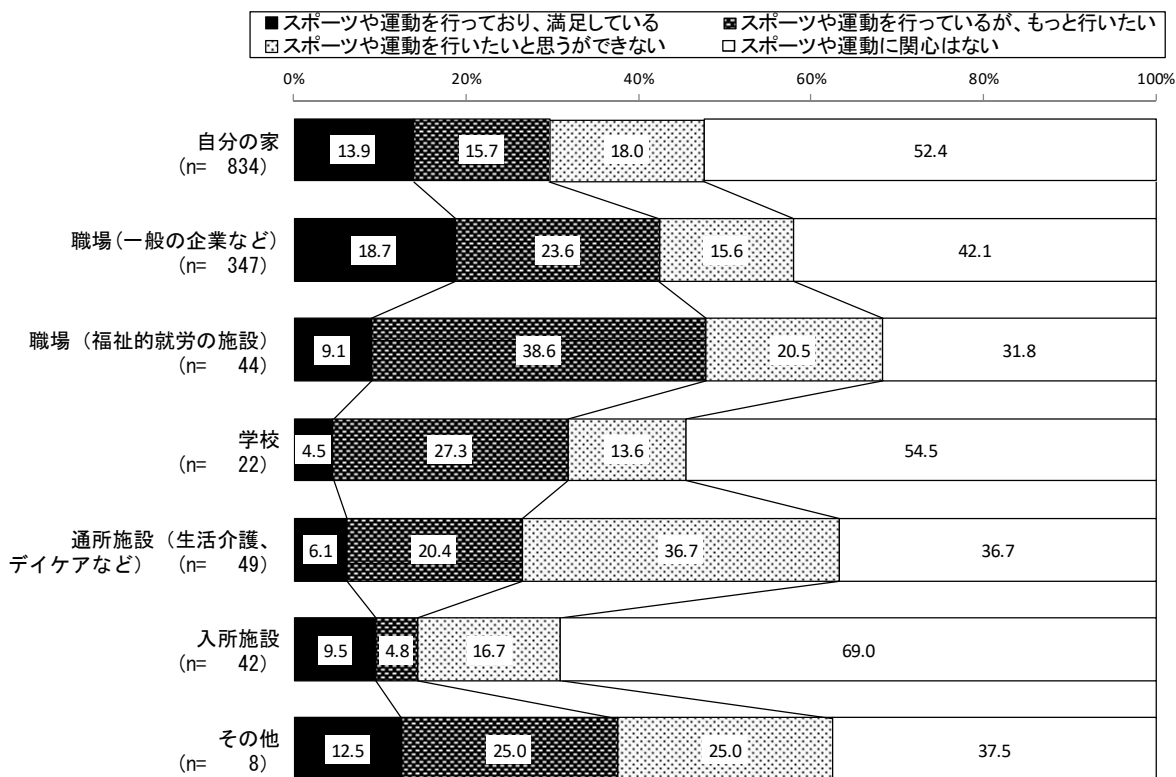
就業状況別にみると、「仕事をしている」は、他の区分と比べて、「スポーツや運動を行っており、満足している」の割合が高かった（19.7%）。また、「仕事をしていない」は、「スポーツや運動に関心はない」が5割を超えた。【図表 108】

【図表 108】現在のスポーツ・運動への取組（就業状況別）



平日・日中の居場所別にみると、「入所施設」で「スポーツや運動に関心はない」が約7割（69.0%）となっている。また、「職場（福祉的就労の施設）」で「スポーツや運動を行っているが、もっと行いたい」が38.6%と他の区分と比べて割合が高かった。【図表 109】

【図表 109】現在のスポーツ・運動への取組（平日・日中の居場所別）



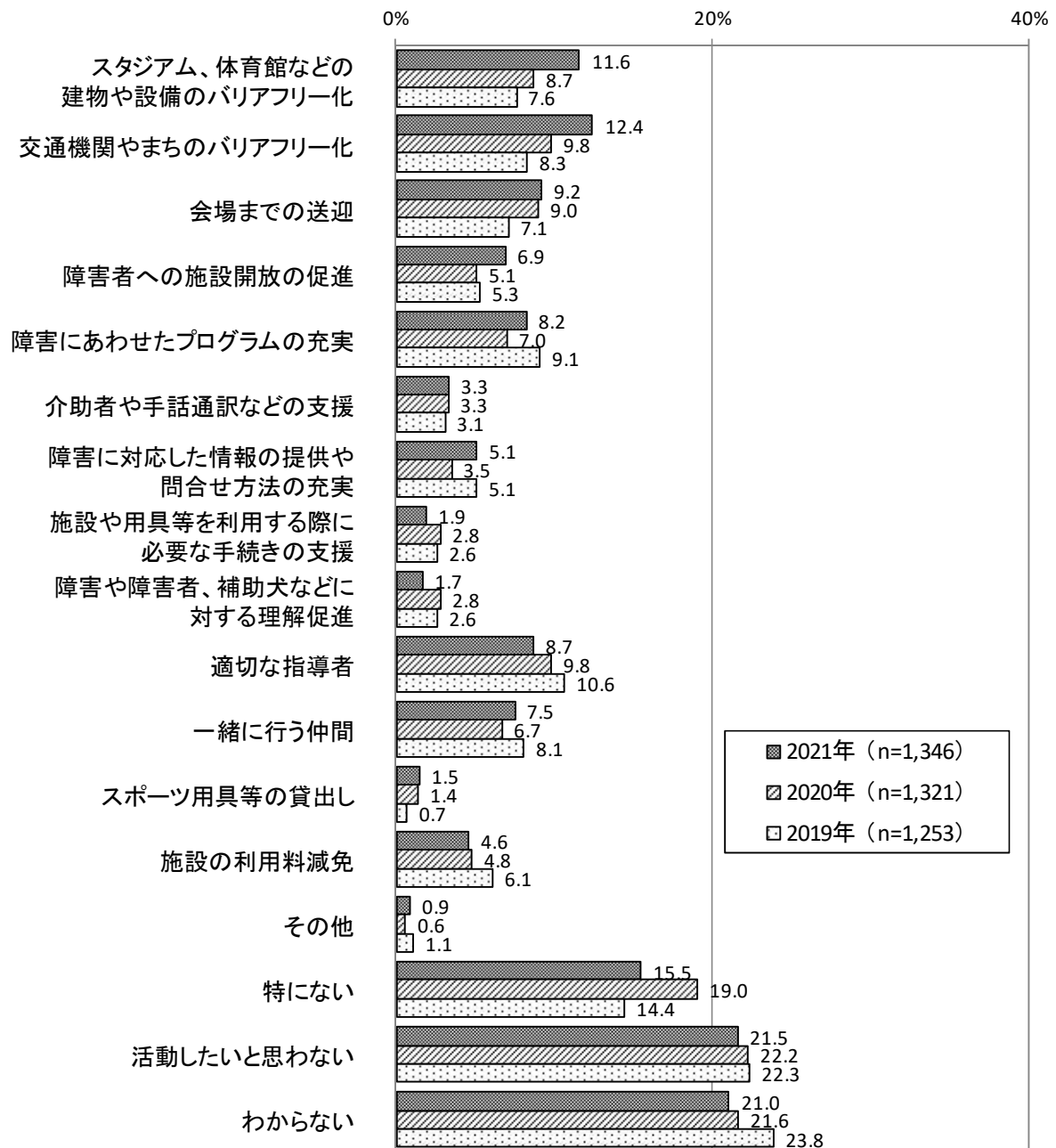


## (10) スポーツ・運動を行う際に必要と考える支援

スポーツや運動を行う際に必要と考える支援は、「活動したいと思わない」(21.5%)が最も高く、次いで、「わからない」(21.0%)、「特にない」(15.5%)であった。

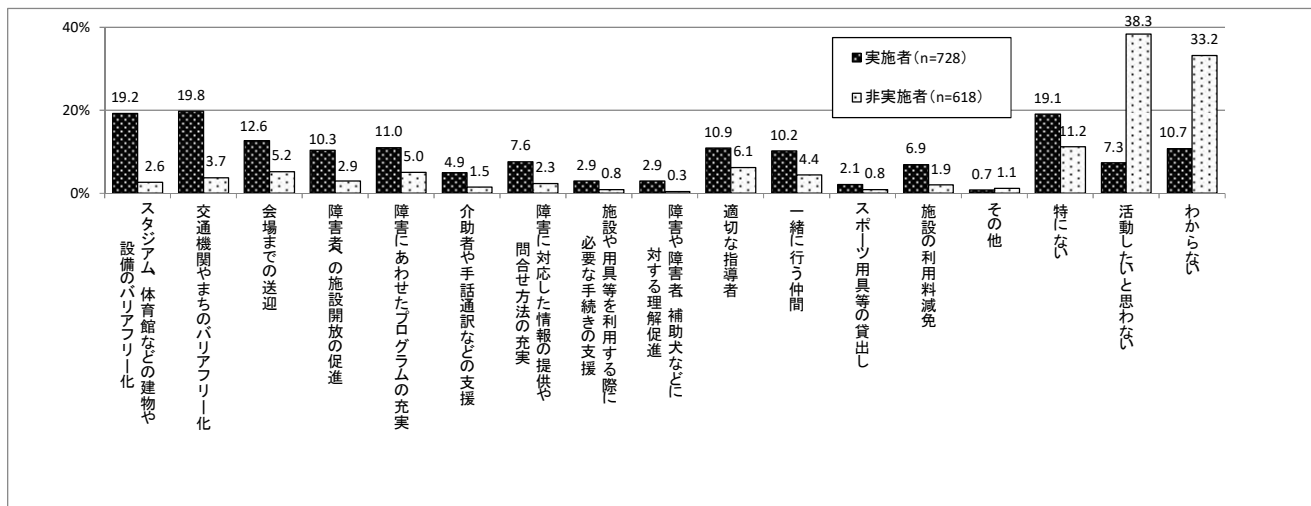
必要な支援があると回答した中では、「交通機関やまちのバリアフリー化」(12.4%)が最も高く、次いで「スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化」(11.6%)、「会場までの送迎」(9.2%)、「適切な指導者」(8.7%)、「障害にあわせたプログラムの充実」(8.2%)の順であった。【図表 110】

【図表 110】スポーツ・運動を行う際に必要と考える支援[複数回答]



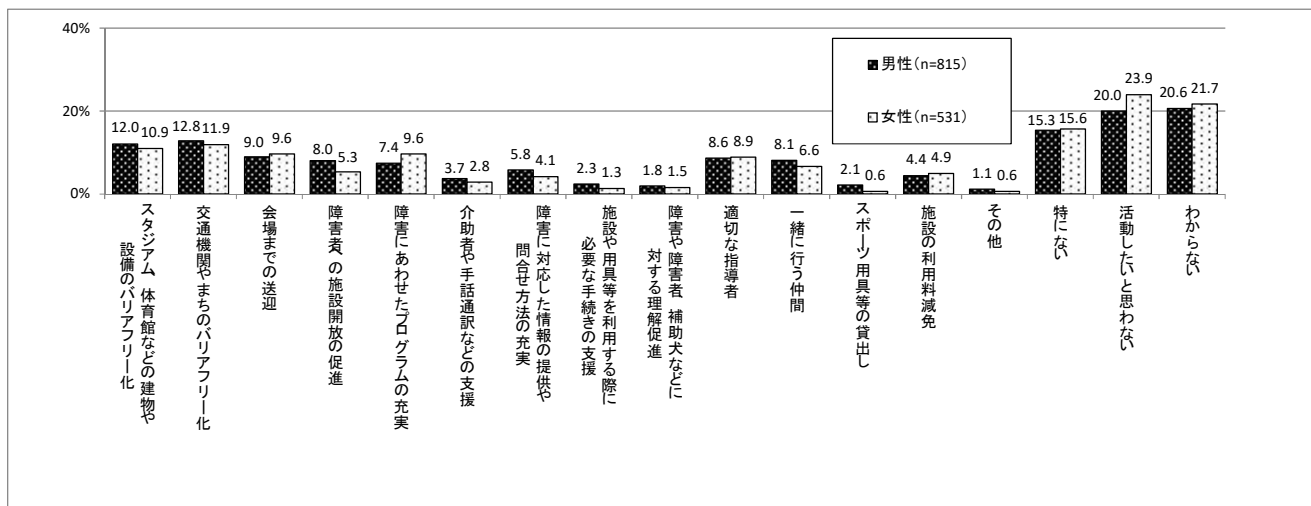
スポーツ・運動の実施の有無別にみると、「実施者」では、「交通機関やまちのバリアフリー化」(19.8%)が最も多く、次いで「スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化」(19.2%)、「特にない」(19.1%)、「会場までの送迎」(12.6%)、「障害にあわせたプログラムの充実」(11.0%)の順であった。「非実施者」では「活動したいと思わない」と「わからない」が3割を超え(38.3%、33.2%)、必要な支援があると回答した中で、最も高いのは、「適切な指導者」で、6.1%であった。【図表 111】

【図表 111】スポーツ・運動を行う際に必要と考える支援(スポーツ・運動の実施の有無別)[複数回答]



性別でみると、必要な支援があると回答した中で、男性、女性ともに「交通機関やまちのバリアフリー化」(12.8%、11.9%)が最も高く、次いで「スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化」(12.0%、10.9%)、「会場までの送迎」(9.0%、9.6%)の順であったが、女性においては、「障害にあわせたプログラムの充実」も同割合(9.6%)で高かった。【図表 112】

【図表 112】スポーツ・運動を行う際に必要と考える支援(性別)[複数回答]



障害種別にみると、必要な支援があると回答した中で、「音声・言語・そしゃく機能障害」、「肢体不自由」では、「障害にあわせたプログラムの充実」(14.0%、12.7%)、「知的障害」では、「適切な指導者」(18.6%)、「一緒に行く仲間」(11.2%)の割合が他の障害と比べて、高くなっている。【図表 113】

【図表 113】スポーツ・運動を行う際に必要と考える支援(障害種別)[複数回答]

(その1) (単位:%)

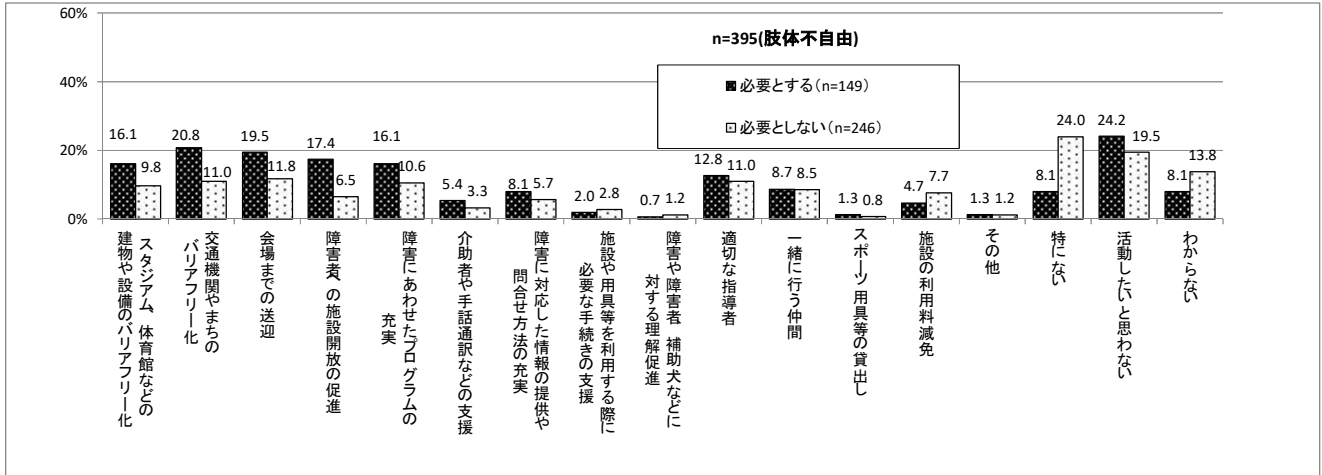
	n	備のバリアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化	交通機関やまちのバリアフリー化	会場までの送迎	障害者への施設開放の促進	障害にあわせたプログラムの充実	介助者や手話通訳などの支援	障害に対応した情報の提供や問合せ	手続きの支援	施設や用具等を利用する際に必要な	理解促進
視覚障害	136	18.4	17.6	9.6	6.6	6.6	2.2	5.1	0.7	1.5	
聴覚・平衡機能障害	122	17.2	17.2	10.7	5.7	9.8	4.1	5.7	0.8	4.1	
音声・言語・そしゃく機能障害	43	16.3	20.9	11.6	4.7	14.0	9.3	7.0	2.3	0.0	
肢体不自由	395	12.2	14.7	14.7	10.6	12.7	4.1	6.6	2.5	1.0	
内部障害	292	7.9	11.0	6.2	4.1	6.2	2.7	3.4	1.7	1.0	
知的障害	161	11.2	6.8	10.6	11.2	11.2	6.2	8.1	3.1	2.5	
精神障害	299	10.4	9.7	6.0	3.7	4.7	2.3	5.4	2.3	3.0	
その他	19	10.5	21.1	5.3	5.3	15.8	0.0	10.5	0.0	5.3	

(その2)

	n	適切な指導者	一緒に行く仲間	スポーツ用具等の貸出し	施設の利用料減免	その他	特にない	活動したいと思わない	わからない
視覚障害	136	5.1	6.6	2.2	2.2	0.0	12.5	12.5	29.4
聴覚・平衡機能障害	122	9.8	6.6	1.6	2.5	0.8	9.8	24.6	17.2
音声・言語・そしゃく機能障害	43	4.7	2.3	2.3	2.3	2.3	11.6	14.0	16.3
肢体不自由	395	11.6	8.6	1.0	6.6	1.3	18.0	21.3	11.6
内部障害	292	5.8	4.8	1.0	6.2	1.7	22.6	21.6	21.2
知的障害	161	18.6	11.2	2.5	1.9	0.6	8.1	17.4	21.7
精神障害	299	5.4	7.0	1.3	3.7	0.3	9.4	27.8	29.1
その他	19	10.5	5.3	0.0	5.3	0.0	21.1	26.3	0.0

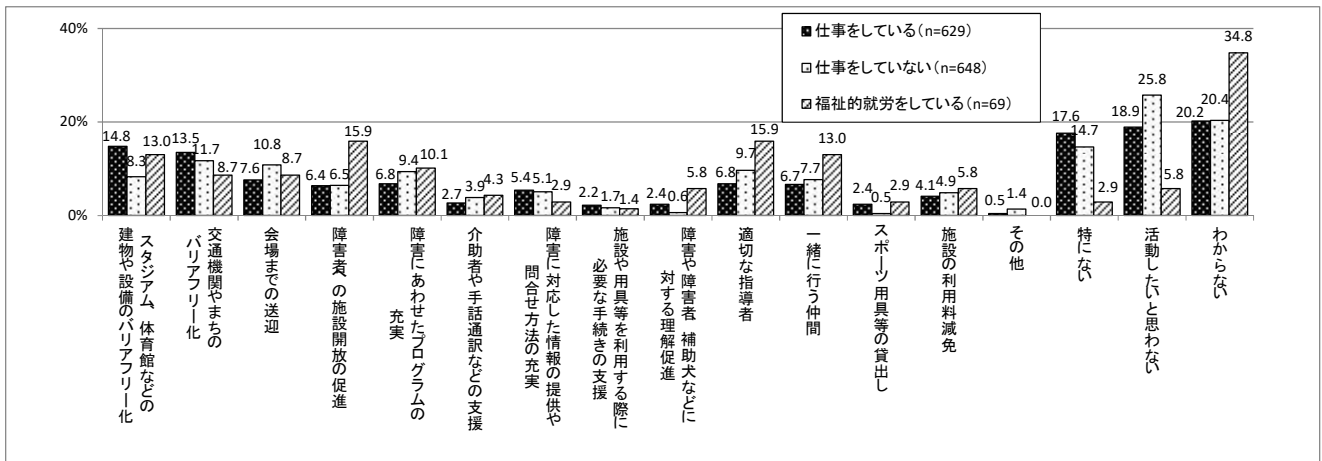
日常生活で車いす必要／不要別にみると、必要な支援があると回答した中で、「日常生活で車いすを必要とする」では、「交通機関やまちのバリアフリー化」(20.8%)が最も高く、次いで「会場までの送迎」(19.5%)、「障害者への施設開放の促進」(17.4%)の順であった。「日常生活で車いすを必要としない」では、「会場までの送迎」(11.8%)、「交通機関やまちのバリアフリー化」、「適切な指導者」(ともに11.0%)の順であった。【図表 114】

【図表 114】スポーツ・運動を行う際に必要と考える支援(日常生活で車いす必要／不要)[複数回答]



就業状況別にみると、必要な支援があると回答した中で、「仕事をしている」では、「スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化」(14.8%)が最も高く、次いで「交通機関やまちのバリアフリー化」(13.5%)であった。「仕事をしていない」では、「交通機関やまちのバリアフリー化」(11.7%)が最も高く、次いで「会場までの送迎」(10.8%)であった。「福祉的就労をしている」では「障害者への施設開放の促進」と「適切な指導者」が同じ割合で最も高かった(ともに15.9%)。【図表 115】

【図表 115】スポーツ・運動を行う際に必要と考える支援(就業状況別)[複数回答]



平日・日中の居場所別にみると、必要な支援があると回答した中では、「職場（福祉的就労の施設）」で「スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化」（20.5%）、「適切な指導者」「一緒に行く仲間」（ともに18.2%）の順となった。また、「通所施設（生活介護、デイケアなど）」では、「適切な指導者」（24.5%）、「障害者への施設開放の促進」（22.4%）の順となった。「自分の家」と「職場（一般企業など）」では、ともに「交通機関やまちのバリアフリー化」が最も高かった（11.3%、16.1%）。【図表116】

【図表 116】スポーツ・運動を行う際に必要と考える支援(平日・日中の居場所別)[複数回答]

(その1)

(単位:%)

	n	備の スタ ジアム、 体育館 などの 建物や設 備のバ リアフ リー化	交 通機 関やま ちのバ リアフ リー化	会 場ま での送 迎	障 害者 への施 設開放 の促進	障 害に あわせ たプ ログ ラムの 充実	介 助者 や手 話通 訳な どの支 援	方 法に 対応 した情 報の提 供や問 合せ	手 続きの 用具等 を利用 する際 に必要な	理 解促 進	障 害や 障 害者、 補助 犬など に對する
自分の家	834	10.9	11.3	8.5	5.8	7.7	2.4	3.8	1.7	1.0	
職場(一般の企業など)	347	13.8	16.1	9.2	6.6	7.5	3.7	6.6	2.0	2.6	
職場(福祉的就労の施設)	44	20.5	9.1	11.4	13.6	11.4	2.3	13.6	4.5	9.1	
学校	22	9.1	9.1	0.0	9.1	0.0	9.1	9.1	0.0	9.1	
通所施設 (生活介護、デイケアなど)	49	10.2	10.2	20.4	22.4	16.3	10.2	8.2	6.1	0.0	
入所施設	42	2.4	14.3	14.3	7.1	19.0	9.5	0.0	0.0	0.0	
その他	8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	

(その2)

	n	適 切な 指導 者	一 緒に 行う 仲間	ス ポ ー ツ 用 具 等 の貸 出し	施 設の 利用 料減 免	そ の 他	特 に ない	活 動し たい と思 わな い	わ か ら な い
自分の家	834	7.8	7.0	0.8	4.7	1.3	15.0	24.7	21.5
職場(一般の企業など)	347	8.4	8.1	3.2	4.6	0.3	19.9	18.2	17.9
職場(福祉的就労の施設)	44	18.2	18.2	4.5	2.3	0.0	4.5	11.4	18.2
学校	22	0.0	4.5	0.0	4.5	0.0	13.6	9.1	40.9
通所施設 (生活介護、デイケアなど)	49	24.5	6.1	0.0	8.2	0.0	10.2	12.2	10.2
入所施設	42	4.8	4.8	0.0	0.0	0.0	4.8	19.0	42.9
その他	8	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0	25.0	0.0	25.0

スポーツ・運動への取組別にみると、「スポーツや運動を行っており、満足している」人が必要と考える支援の上位5つは、「スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化」(25.8%)、「交通機関やまちのバリアフリー化」(17.0%)、「会場までの送迎」、「障害者への施設開放の促進」(ともに10.8%)、「適切な指導者」(8.8%)であった。

「スポーツや運動を行っているが、もっと行いたい」人が必要と考える支援の上位5つは、「交通機関やまちのバリアフリー化」(28.4%)、「スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化」(24.8%)、「会場までの送迎」(17.6%)、「障害にあわせたプログラムの充実」(15.6%)、「障害者への施設開放の促進」「適切な指導者」(ともに14.0%)であった。

「スポーツや運動を行いたいと思うができない」人が必要と考える支援の上位5つは、「交通機関やまちのバリアフリー化」(17.3%)、「会場までの送迎」(16.5%)、「障害にあわせたプログラムの充実」、「適切な指導者」(ともに15.6%)、「一緒に行く仲間」(13.6%)であった。

なお、「スポーツや運動に関心はない」人は、「活動したいと思わない」が39.0%、「わからない」が34.4%であった。【図表 117】

【図表 117】スポーツ・運動を行う際に必要と考える支援 (スポーツ・運動への取組別)[複数回答]

(その1) (単位:%)

	n	備のバリアフリー化、スタジアム、体育館などの建物や設備	交通機関やまちのバリアフリー化	会場までの送迎	障害者への施設開放の促進	障害にあわせたプログラムの充実	介助者や手話通訳などの支援	障害に対応した情報の提供や問合せ	手続きや用具等を利用する際に必要な	障害や障害者、補助犬などに対する
スポーツや運動を行っており、満足している	194	25.8	17.0	10.8	10.8	6.7	4.1	6.7	3.1	2.6
スポーツや運動を行っているが、もっと行いたい	250	24.8	28.4	17.6	14.0	15.6	7.6	11.6	4.4	4.8
スポーツや運動を行いたいと思うができない	243	11.5	17.3	16.5	11.1	15.6	5.8	7.4	2.5	2.5
スポーツや運動に関心はない	659	2.4	3.2	2.9	1.5	3.2	0.6	1.4	0.5	0.0

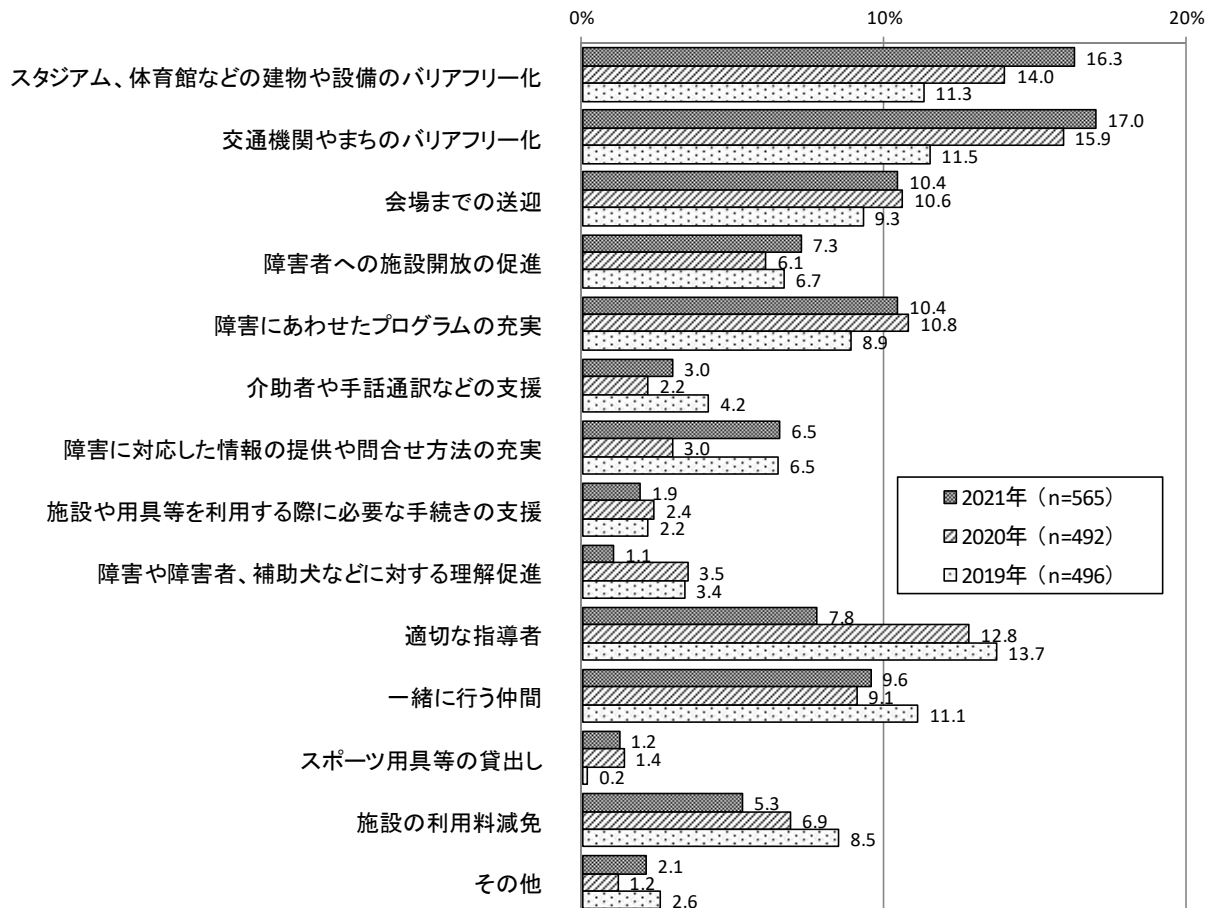
(その2)

	n	適切な指導者	一緒に行く仲間	スポーツ用具等の貸出し	施設の利用料減免	その他	特にな	活動したいと思わない	わからない
スポーツや運動を行っており、満足している	194	8.8	7.2	2.6	5.2	0.0	24.2	4.1	9.3
スポーツや運動を行っているが、もっと行いたい	250	14.0	13.6	2.4	8.4	0.8	15.2	0.4	6.8
スポーツや運動を行いたいと思うができない	243	15.6	13.6	2.5	9.5	2.1	14.8	9.9	8.6
スポーツや運動に関心はない	659	4.1	3.0	0.5	1.2	0.8	13.2	39.0	34.4

### (11) スポーツ・運動を行う際に最も必要と考える支援

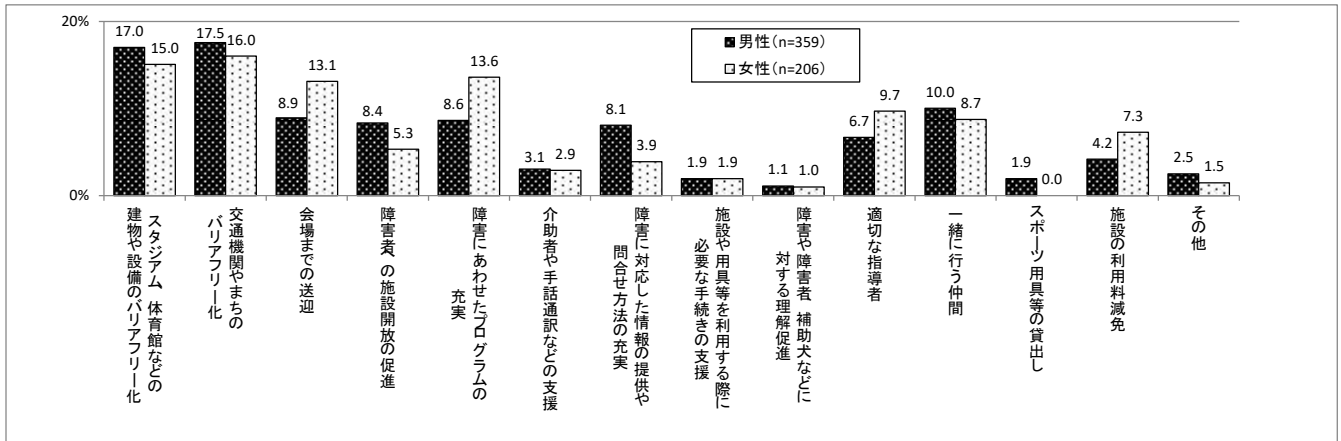
スポーツや運動を行う際に必要な支援があると回答した人が最も必要と考える支援は、「交通機関やまちのバリアフリー化」(17.0%)が最も高く、次いで、「スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化」(16.3%)、「会場までの送迎」「障害にあわせたプログラムの充実」(ともに 10.4%)、「一緒に行う仲間」(9.6%)、「適切な指導者」(7.8%)の順であった。【図表 118】

【図表 118】スポーツ・運動を行う際に最も必要と考える支援



性別でみると、スポーツや運動を行う際に最も必要と考える支援は、男性、女性ともに「交通機関やまちのバリアフリー化」が最も高く（17.5%、16.0%）、次いで「スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化」（17.0%、15.0%）であった。これに次ぐ3位は、男性は「一緒に行く仲間」（10.0%）であったのに対し、女性では「障害にあわせたプログラムの充実」（13.6%）であった。【図表 119】

【図表 119】スポーツ・運動を行う際に最も必要と考える支援(性別)



障害種別にみると、「視覚障害」、「聴覚・平衡機能障害」、「音声・言語・そしゃく機能障害」、「精神障害」では「スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化」の順に割合が高く（30.6%、22.0%、20.0%、17.8%）、「肢体不自由」、「内部障害」では「交通機関やまちのバリアフリー化」の割合が最も高かった（17.5%、18.8%）。また、「知的障害」では「適切な指導者」の割合が最も高かった（16.5%）。【図表 120】

【図表 120】スポーツ・運動を行う際に最も必要と考える支援(障害種別)

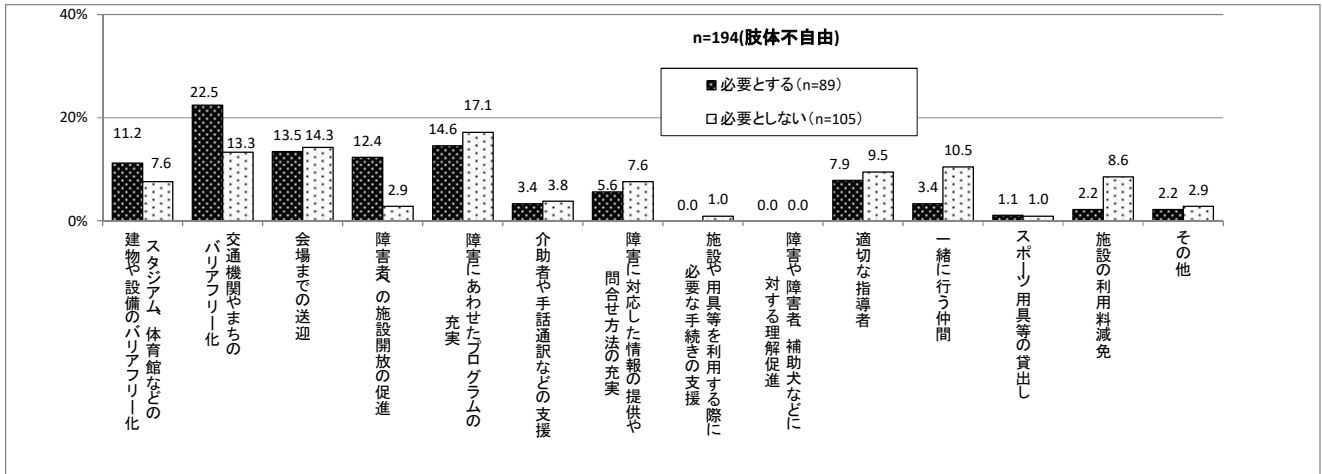
(単位:%)

障害種別	n	スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化	交通機関やまちのバリアフリー化	会場までの送迎	障害者の施設開放の促進	障害にあわせたプログラムの充実	介助者や手話通訳などの支援	法への充実	障害に対応した情報の提供や問合せ方法	施設や用具等を利用する際に必要な手続きの支援	障害や障害者、補助犬などに対する理解促進	適切な指導者	一緒に行く仲間	スポーツ用具等の貸出し	施設の利用料減免	その他
視覚障害	62	30.6	22.6	12.9	6.5	6.5	1.6	6.5	0.0	0.0	4.8	6.5	1.6	0.0	0.0	
聴覚・平衡機能障害	59	22.0	15.3	10.2	6.8	13.6	6.8	3.4	0.0	3.4	5.1	8.5	1.7	1.7	1.7	
音声・言語・そしゃく機能障害	25	20.0	16.0	16.0	8.0	12.0	8.0	12.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	4.0	
肢体不自由	194	9.3	17.5	13.9	7.2	16.0	3.6	6.7	0.5	0.0	8.8	7.2	1.0	5.7	2.6	
内部障害	101	14.9	18.8	9.9	5.9	9.9	1.0	5.9	4.0	0.0	5.9	6.9	1.0	10.9	5.0	
知的障害	85	14.1	7.1	7.1	11.8	10.6	5.9	9.4	2.4	1.2	16.5	10.6	1.2	1.2	1.2	
精神障害	101	17.8	15.8	7.9	5.9	5.9	1.0	7.9	5.0	3.0	5.9	13.9	1.0	7.9	1.0	
その他	10	20.0	20.0	10.0	0.0	20.0	0.0	10.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	



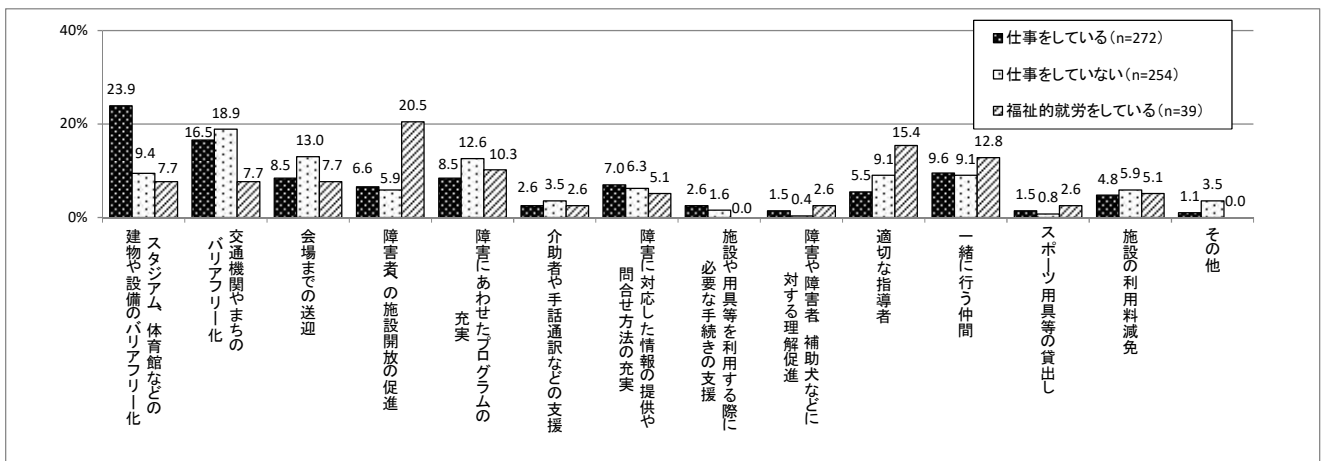
日常生活で車いす必要／不要別にみると、「日常生活で車いすを必要とする」では、「交通機関やまちのバリアフリー化」(22.5%)が最も高く、次いで「障害にあわせたプログラムの充実」(14.6%)、「会場までの送迎」(13.5%)、「障害者への施設開放の促進」(12.4%)の順であった。「日常生活で車いすを必要としない」では、「障害にあわせたプログラムの充実」(17.1%)が最も高く、次いで「会場までの送迎」(14.3%)、「交通機関やまちのバリアフリー化」(13.3%)、「一緒に行く仲間」(10.5%)の順であった。【図表 121】

【図表 121】スポーツ・運動を行う際に最も必要と考える支援(日常生活で車いす必要／不要)



就業状況別にみると、「仕事をしている」では、「スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化」(23.9%)が最も高く、次いで「交通機関やまちのバリアフリー化」(16.5%)であった。「仕事をしていない」では、「交通機関やまちのバリアフリー化」(18.9%)が最も高く、次いで「会場までの送迎」(13.0%)であった。「福祉的就労をしている」では「障害者への施設開放の促進」(20.5%)が最も高く、次いで「適切な指導者」(15.4%)であった。【図表 122】

【図表 122】スポーツ・運動を行う際に最も必要と考える支援(就業状況別)



平日・日中の居場所別にみると、「職場（福祉的就労の施設）」で「適切な指導者」（17.2%）、「通所施設（生活介護、デイケアなど）」では「障害者への施設開放の促進」（21.2%）が最も高かった。また、「自分の家」では、「交通機関やまちのバリアフリー化」（18.8%）、「職場（一般企業など）」では「スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化」（19.6%）が最も高かった。【図表 123】

【図表 123】スポーツ・運動を行う際に最も必要と考える支援(平日・日中の居場所別)

(単位:%)

	n	のスタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化	交通機関やまちのバリアフリー化	会場までの送迎	障害者への施設開放の促進	障害にあわせたプログラムの充実	介助者や手話通訳などの支援	障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実	施設や用具等を利用する際に必要な手続きの支援	障害や障害者、補助犬などに対する理解促進	適切な指導者	一緒に行う仲間	スポーツ用具等の貸出し	施設の利用料減免	その他
自分の家	324	16.4	18.8	11.4	5.9	11.7	2.2	5.2	1.9	0.6	6.8	8.6	1.2	5.9	3.4
職場(一般の企業など)	153	19.6	15.7	9.8	6.5	7.8	2.6	7.8	2.6	1.3	6.5	11.8	2.0	5.2	0.7
職場(福祉的就労の施設)	29	13.8	13.8	6.9	6.9	10.3	3.4	13.8	0.0	3.4	17.2	10.3	0.0	0.0	0.0
学校	8	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0
通所施設 (生活介護、デイケアなど)	33	6.1	12.1	6.1	21.2	12.1	6.1	6.1	3.0	0.0	15.2	6.1	0.0	6.1	0.0
入所施設	14	7.1	21.4	21.4	7.1	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0
その他	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0

スポーツ・運動への取組別にみると、「スポーツや運動を行っており、満足している」人が最も必要と考える支援の上位5つは、「スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化」(33.1%)、「交通機関やまちのバリアフリー化」(14.0%)、「障害者への施設開放の促進」(8.3%)、「会場までの送迎」(7.4%)、「障害にあわせたプログラムの充実」(ともに7.4%)、であった。

「スポーツや運動を行っているが、もっと行いたい」人が最も必要と考える支援の上位5つは、「交通機関やまちのバリアフリー化」(20.6%)、「スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化」(16.0%)、「障害にあわせたプログラムの充実」(11.3%)、「障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実」(8.8%)、「障害者への施設開放の促進」(8.2%)であった。

「スポーツや運動を行いたいと思うができない」人が最も必要と考える支援の上位5つは、「交通機関やまちのバリアフリー化」(16.7%)、「会場までの送迎」(14.2%)、「障害にあわせたプログラムの充実」(11.1%)、「一緒にいる仲間」(ともに11.1%)、「適切な指導者」(8.6%)であった。

「スポーツや運動に関心はない」人が最も必要と考える支援の上位5つは、「会場までの送迎」(14.8%)、「一緒にいる仲間」(14.8%)、「交通機関やまちのバリアフリー化」(13.6%)、「スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化」(12.5%)、「障害にあわせたプログラムの充実」(11.4%)であった。【図表 124】

【図表 124】スポーツ・運動を行う際に最も必要と考える支援(スポーツ・運動への取組別)

(単位:%)

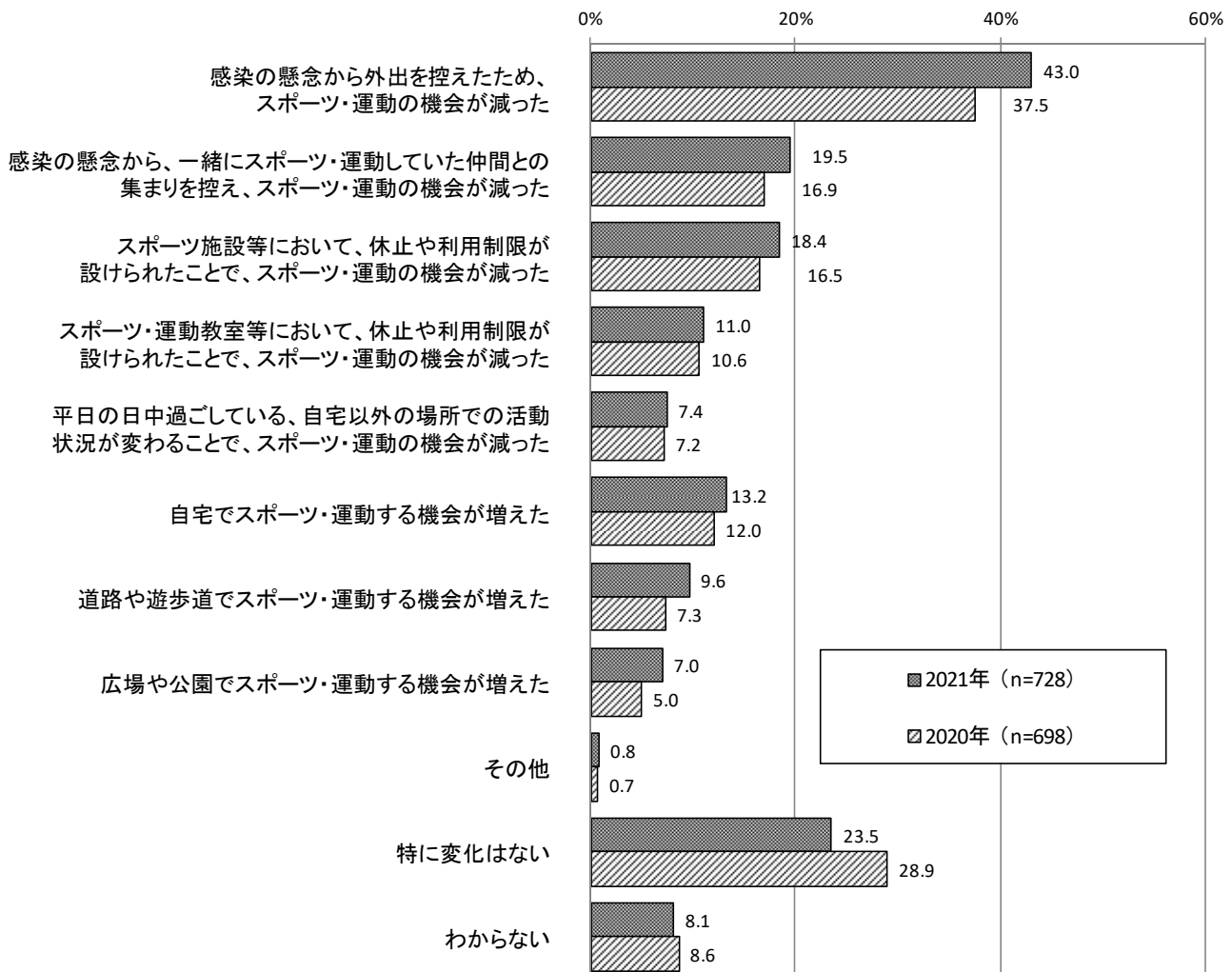
	n	のスタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化	交通機関やまちのバリアフリー化	会場までの送迎	障害者への施設開放の促進	障害にあわせたプログラムの充実	介助者や手話通訳などの支援	障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実	障害の充実	続きの支援	施設や用具等を利用する際に必要な手	障害促進	障害者、補助犬などに対する理	適切な指導者	一緒にいる仲間	スポーツ用具等の貸出し	施設の利用料減免	その他
スポーツや運動を行っており、満足している	121	33.1	14.0	7.4	8.3	7.4	0.8	4.1	2.5	1.7	6.6	6.6	0.8	6.6	0.0			
スポーツや運動を行っているが、もっと行いたい	194	16.0	20.6	7.2	8.2	11.3	4.1	8.8	1.5	1.0	7.2	7.7	1.0	4.1	1.0			
スポーツや運動を行いたいと思うができない	162	6.2	16.7	14.2	7.4	11.1	3.7	6.2	2.5	1.2	8.6	11.1	1.9	6.2	3.1			
スポーツや運動に関心はない	88	12.5	13.6	14.8	3.4	11.4	2.3	5.7	1.1	0.0	9.1	14.8	1.1	4.5	5.7			

## 2.4 新型コロナウイルス感染症による影響

### (1) 新型コロナウイルス感染症によるスポーツ・運動活動への影響・変化

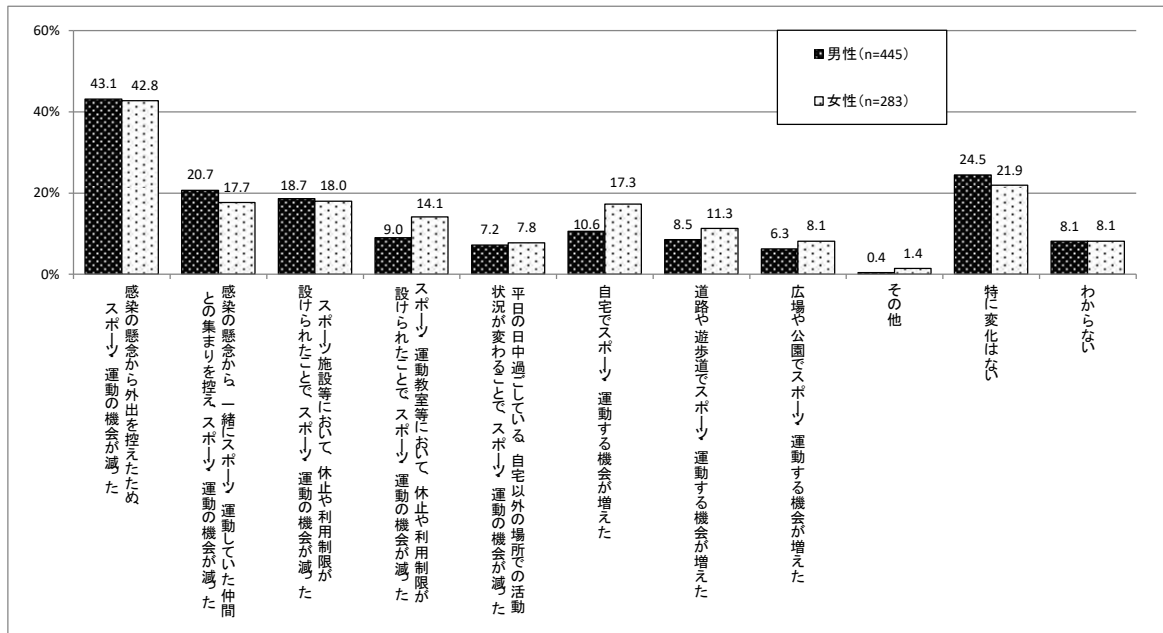
新型コロナウイルス感染症によるスポーツ・運動活動への影響・変化については、「感染の懸念から外出を控えたため、スポーツ・運動の機会が減った」(43.0%)が最も多かった。次いで、「特に変化はない」(23.5%)、「感染の懸念から、一緒にスポーツ・運動していた仲間との集まりを控え、スポーツ・運動の機会が減った」(19.5%)、「スポーツ施設等において、休止や利用制限が設けられたことで、スポーツ・運動の機会が減った」(18.4%)の順となった。また、「機会が増えた」との回答は、「自宅でスポーツ・運動する機会が増えた」が13.2%で、全体の5位となった。【図表 125】

【図表 125】新型コロナウイルス感染症による影響・変化[複数回答] <スポーツ・運動実施者>



性別にみると、「自宅でスポーツ・運動する機会が増えた」は女性で17.3%、男性で10.6%となり6.7ポイントの差があった。【図表 126】

【図表 126】新型コロナウイルス感染症による影響・変化(性別)[複数回答]<スポーツ・運動実施者>



障害種別にみると、「聴覚・平衡機能障害」で「感染の懸念から外出を控えたため、スポーツ・運動の機会が減った」の割合が48.1%と最も高くなった。また、「音声・言語・そしゃく機能障害」では、「自宅でスポーツ・運動する機会が増えた」の割合が他の区分よりも高く、29.6%であった。【図表 127】

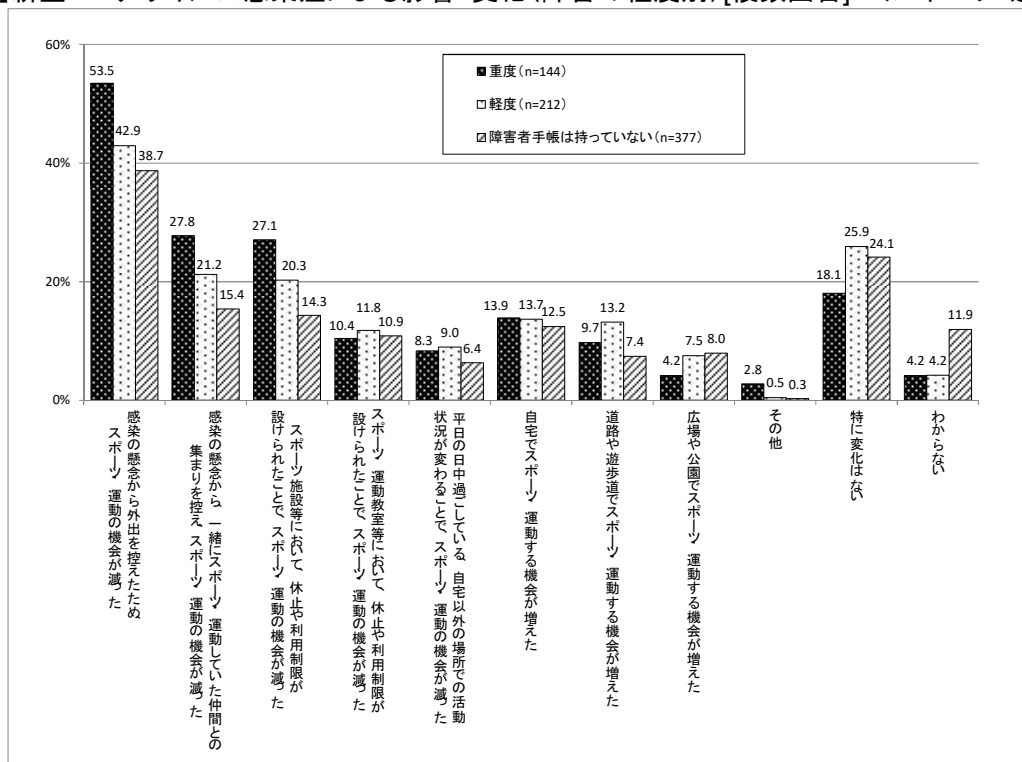
【図表 127】新型コロナウイルス感染症による影響・変化(障害種別)[複数回答] <スポーツ・運動実施者>

(単位: %)

障害種別	n	感染の懸念から外出を控えたため、スポーツ・運動の機会が減った	感染の懸念から、一緒にスポーツ・運動していた仲間との集まりを控え、スポーツ・運動の機会が減った	スポーツ施設等において、休止や利用制限が設けられたことで、スポーツ・運動の機会が減った	平日の日中過ごしている、自宅以外の場所での活動状況が変わることで、スポーツ・運動の機会が減った	自宅でスポーツ・運動する機会が増えた	道路や遊歩道でスポーツ・運動する機会が増えた	広場や公園でスポーツ・運動する機会が増えた	その他	特に変化はない	わからない	
視覚障害	75	45.3	24.0	24.0	8.0	2.7	12.0	6.7	1.3	0.0	17.3	6.7
聴覚・平衡機能障害	79	48.1	32.9	20.3	21.5	12.7	10.1	5.1	2.5	19.0	6.3	
音声・言語・そしゃく機能障害	27	40.7	25.9	25.9	11.1	7.4	29.6	14.8	0.0	0.0	18.5	7.4
肢体不自由	217	37.3	16.1	18.0	11.5	6.5	18.0	11.1	9.7	1.4	30.4	6.0
内部障害	164	45.1	14.6	17.1	9.8	7.9	11.6	9.1	7.3	0.6	30.5	7.3
知的障害	86	43.0	26.7	24.4	9.3	10.5	5.8	12.8	8.1	0.0	11.6	11.6
精神障害	145	42.8	17.9	17.2	11.0	9.0	13.8	9.0	7.6	0.0	16.6	11.7
その他	10	70.0	30.0	30.0	30.0	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0	20.0	0.0

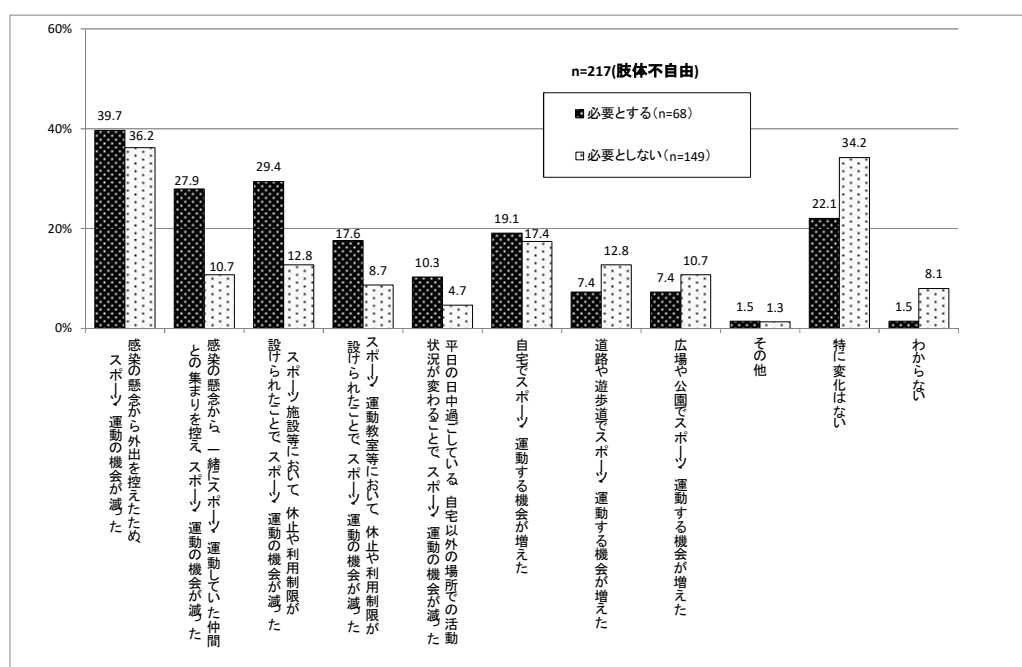
障害の程度別にみると、「重度」では「感染の懸念から外出を控えたため、スポーツ・運動の機会が減った」が他の区分と比べて高く、5割を超えた。【図表 128】

【図表 128】新型コロナウイルス感染症による影響・変化(障害の程度別)[複数回答] <スポーツ・運動実施者>



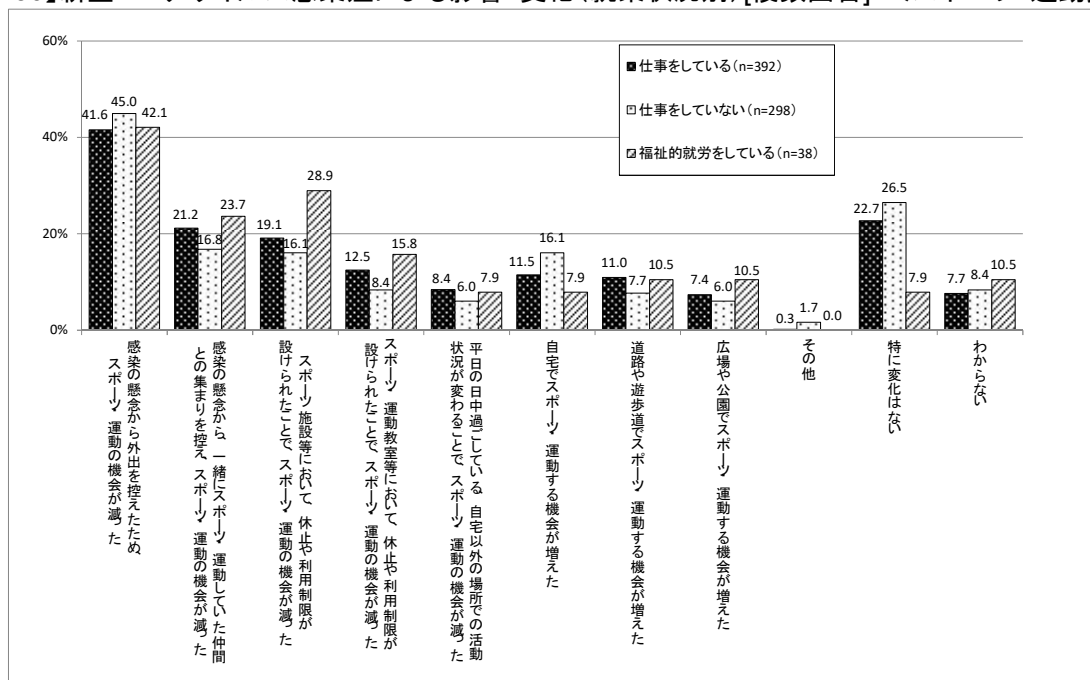
日常生活で車いす必要／不要別にみると、「スポーツ施設等において、休止や利用制限が設けられたことで、スポーツ・運動の機会が減った」では、「日常生活で車いすを必要とする」(29.4%)と「日常生活で車いすを必要としない」(12.8%)とで16.6ポイントの差があった。【図表 129】

【図表 129】新型コロナウイルス感染症による影響・変化(日常生活で車いす必要／不要)[複数回答] <スポーツ・運動実施者>



就業状況別にみると、「福祉的就労をしている」では、他の区分と比べて「スポーツ施設等において、休止や利用制限が設けられたことで、スポーツ・運動の機会が減った」の割合が高く、「特に変化はない」が低かった。【図表 130】

【図表 130】新型コロナウイルス感染症による影響・変化(就業状況別)[複数回答] <スポーツ・運動実施者>



平日・日中の居場所別にみると、「通所施設（生活介護、デイケアなど）」において、「感染の懸念から外出を控えたため、スポーツ・運動の機会が減った」の割合が他の区分と比べて高く、5割を超えた。【図表 131】

【図表 131】新型コロナウイルス感染症による影響・変化(平日・日中の居場所別)[複数回答] <スポーツ・運動実施者>

(単位: %)

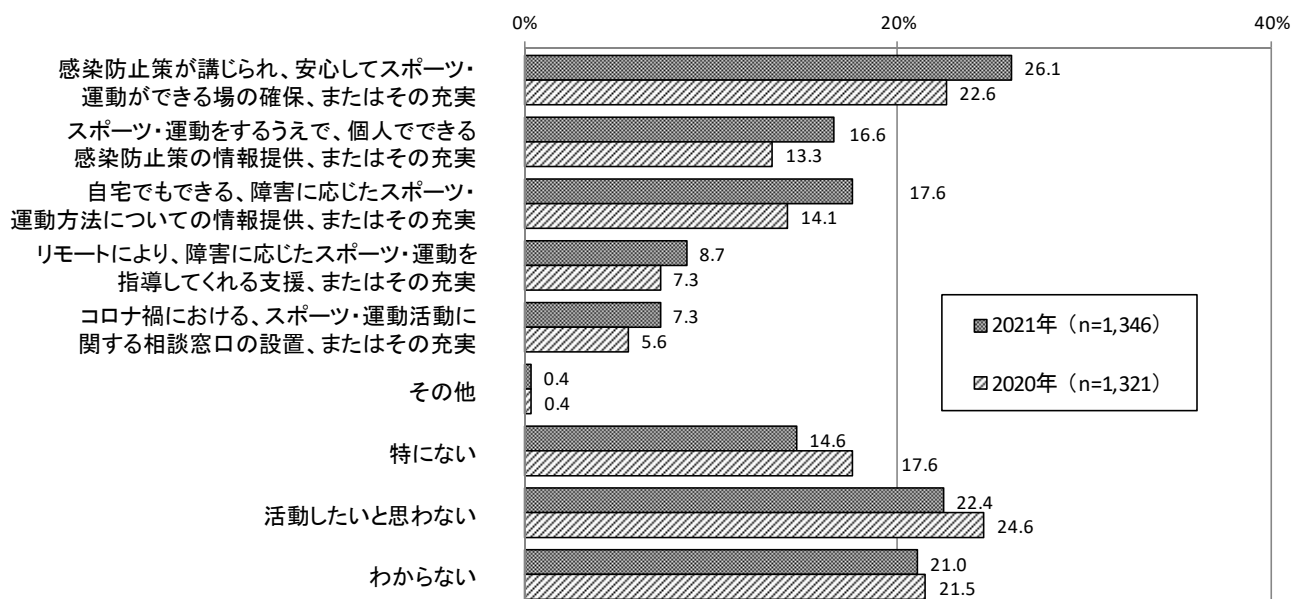
	n	感染の懸念から外出を控えたため、スポーツ・運動の機会が減った	感染の懸念から一緒にスポーツ・運動していた仲間との集まりを控え、スポーツ・運動の機会が減った	スポーツ施設等において、休止や利用制限が設けられたことで、スポーツ・運動の機会が減った	スポーツ施設等において、休止や利用制限が設けられたことで、スポーツ・運動の機会が減った	平日の日中過ごしている、自宅以外の場所での活動状況が変わることで、スポーツ・運動の機会が減った	自宅でスポーツ・運動する機会が増えた	道路や遊歩道でスポーツ・運動する機会が増えた	広場や公園でスポーツ・運動する機会が増えた	その他	特に変化はない	わからない
自分の家	429	45.2	15.4	14.9	9.3	5.8	14.7	6.8	4.4	0.9	26.6	7.7
職場(一般の企業など)	212	40.1	25.0	21.2	14.2	10.4	13.7	15.6	11.8	0.0	21.2	7.5
職場(福祉的就労の施設)	31	38.7	38.7	41.9	12.9	6.5	6.5	12.9	9.7	0.0	9.7	6.5
学校	9	22.2	11.1	0.0	22.2	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0	11.1	11.1
通所施設(生活介護、デイケアなど)	28	53.6	25.0	35.7	14.3	14.3	7.1	10.7	7.1	0.0	3.6	10.7
入所施設	13	30.8	15.4	15.4	0.0	7.7	0.0	0.0	7.7	0.0	30.8	30.8
その他	6	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	50.0	0.0

## (2) 新型コロナウイルス感染症影響下で必要と考える支援

新型コロナウイルス感染症の影響下でスポーツや運動を行う際に必要だと考える支援は、「感染防止策が講じられ、安心してスポーツ・運動ができる場の確保、またはその充実」(26.1%)が最も高く、次いで「活動したいと思わない」(22.4%)、「わからない」(21.0%)であった。

必要な支援があると回答した中では、「感染防止策が講じられ、安心してスポーツ・運動ができる場の確保、またはその充実」に次いで、「自宅でもできる、障害に応じたスポーツ・運動方法についての情報提供、またはその充実」(17.6%)、「スポーツ・運動をするうえで、個人でできる感染防止策の情報提供、またはその充実」(16.6%)、「リモートにより、障害に応じたスポーツ・運動を指導してくれる支援、またはその充実」(8.7%)、「コロナ禍における、スポーツ・運動活動に関する相談窓口の設置、またはその充実」(7.3%)の順であった。【図表 132】

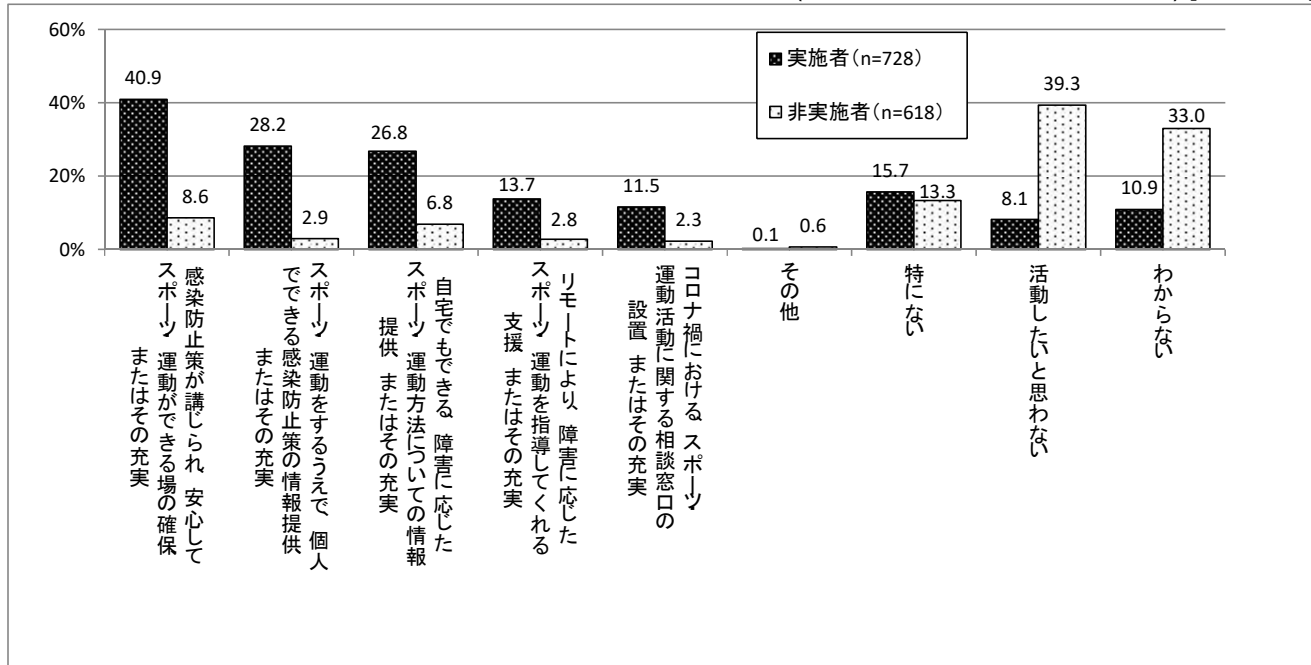
【図表 132】新型コロナウイルス感染症影響下で必要と考える支援[複数回答]





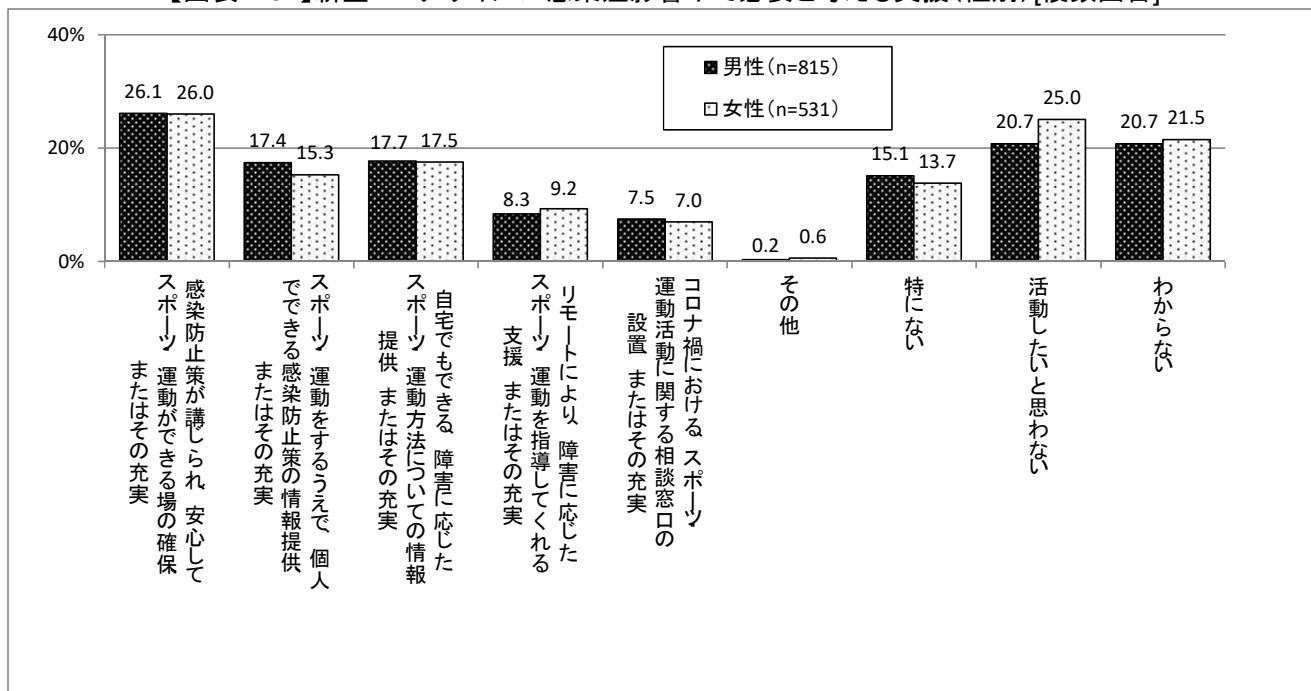
スポーツ・運動の実施の有無別にみると、実施者の必要と考える支援は、「感染防止策が講じられ、安心してスポーツ・運動ができる場の確保、またはその充実」(40.9%)、「スポーツ・運動をするうえで、個人でできる感染防止策の情報提供、またはその充実」(28.2%)、「自宅でもできる、障害に応じたスポーツ・運動方法についての情報提供、またはその充実」(26.8%)の順となった。【図表 133】

【図表 133】新型コロナウイルス感染症影響下で必要と考える支援(スポーツ・運動の実施の有無別) [複数回答]



性別でみると、傾向に大きな差はみられなかった。【図表 134】

【図表 134】新型コロナウイルス感染症影響下で必要と考える支援(性別) [複数回答]



障害種別にみると、「聴覚・平衡機能障害」「音声・言語・そしゃく機能障害」「知的障害」で、「感染防止策が講じられ、安心してスポーツ・運動ができる場の確保、またはその充実」の割合が特に高く、3割を超えた。【図表 135】

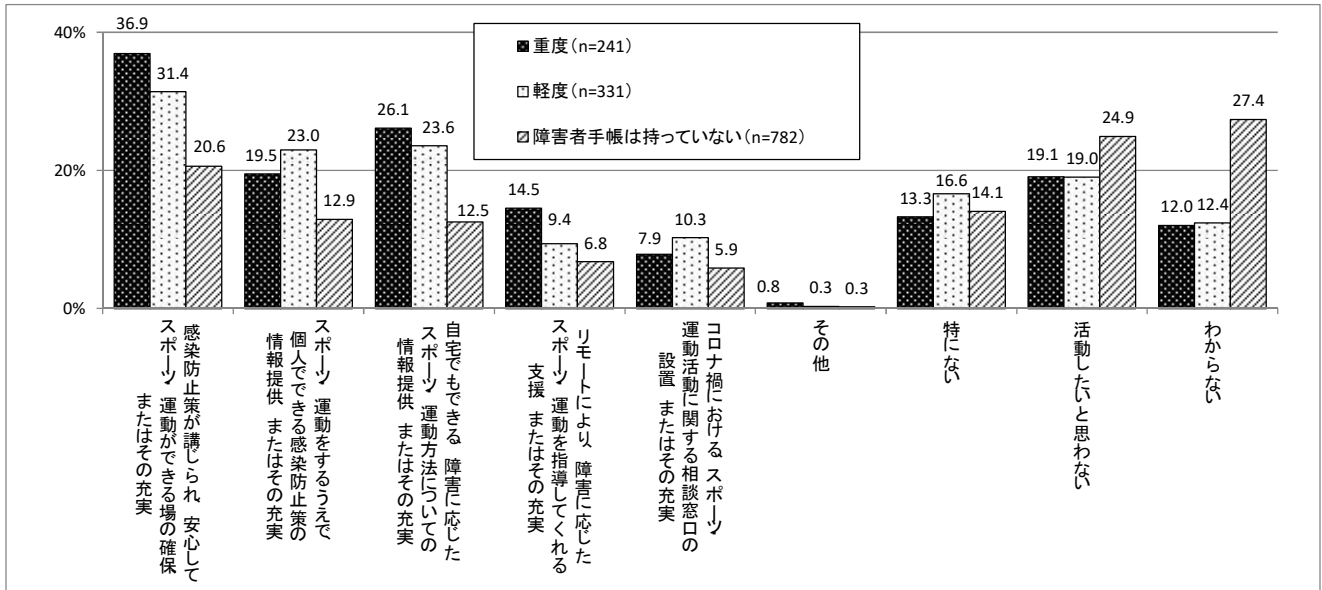
【図表 135】新型コロナウイルス感染症影響下で必要と考える支援(障害種別)[複数回答]

(単位:%)

	n	確保、またはその充実	スポーツ・運動が講じられ、安心して	個人でできる感染防止策の情報	スポーツ・運動の方法の充実	自宅でもできる、障害に合わせた	支援、またはその充実	リモートにより、障害に気づける	設置、またはその充実	運動、活動に関する相談窓口の	コロナ禍における、スポーツ・	その他	特にな	活動したいと思わない	わからない
視覚障害	136	22.1	14.7	16.9	5.9	4.4	0.0	14.7	14.0	31.6					
聴覚・平衡機能障害	122	35.2	25.4	17.2	15.6	9.8	0.0	10.7	20.5	18.0					
音声・言語・そしゃく機能障害	43	30.2	20.9	14.0	14.0	7.0	2.3	14.0	14.0	11.6					
肢体不自由	395	29.4	18.7	22.3	12.2	10.1	0.8	18.7	21.5	12.4					
内部障害	292	26.7	13.0	17.8	7.9	5.5	0.0	15.4	25.3	19.9					
知的障害	161	31.1	17.4	16.1	6.2	6.8	0.0	14.9	17.4	21.1					
精神障害	299	18.7	14.4	14.4	7.4	6.4	0.7	9.0	29.8	28.4					
その他	19	26.3	21.1	10.5	10.5	0.0	0.0	21.1	31.6	0.0					

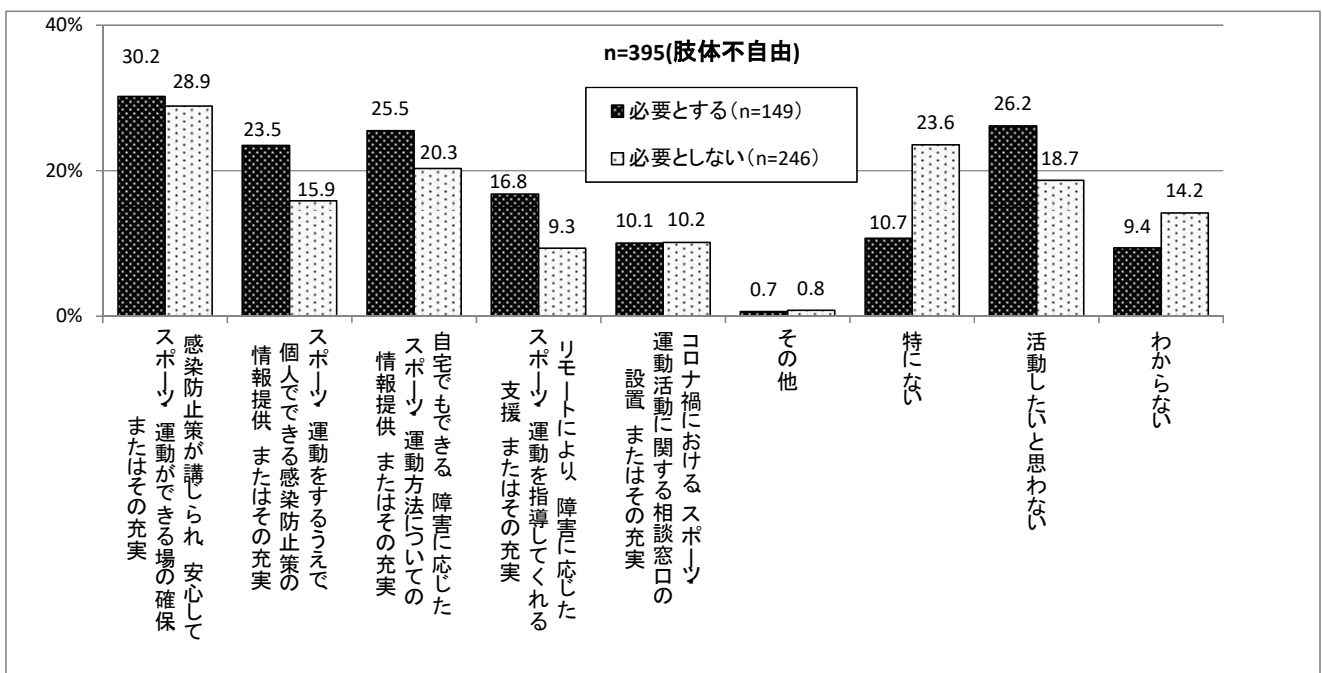
障害の程度別にみると、必要な支援があると回答した中では、「障害者手帳の非保持者」は、他の区分と比べて各項目における割合が低かった。【図表 136】

【図表 136】新型コロナウイルス感染症影響下で必要と考える支援(障害の程度別)[複数回答]



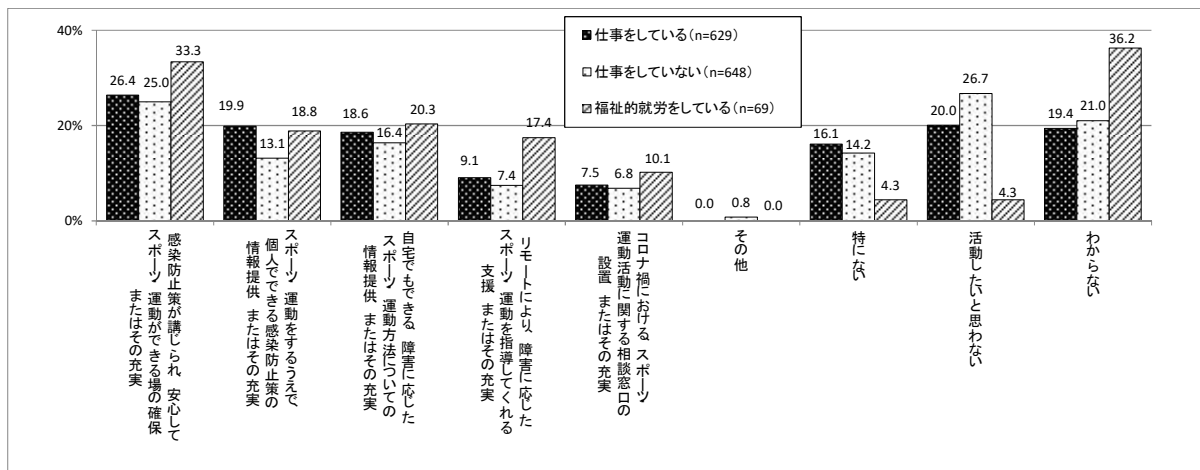
日常生活で車いす必要/不要別にみると、いずれの区分も、必要と考える支援は、「感染防止策が講じられ、安心してスポーツ・運動ができる場の確保、またはその充実」「自宅でできる、障害に応じたスポーツ・運動方法についての情報提供、またはその充実」「スポーツ・運動をするうえで、個人でできる感染防止策の情報提供、またはその充実」の順となった。【図表 137】

【図表 137】新型コロナウイルス感染症影響下で必要と考える支援(日常生活で車いす必要/不要)[複数回答]



就業状況別にみると、「仕事をしている」と「仕事をしていない」では、新型コロナウイルス感染症影響下で必要と考える支援については、大きなポイントの差は見られなかったが、「福祉的就労をしている」では、「リモートにより、障害に応じたスポーツ・運動を指導してくれる支援、またはその充実」が17.4%となり、「仕事をしている」の9.1%よりも高い割合となった。【図表 138】

【図表 138】新型コロナウイルス感染症影響下で必要と考える支援（就業状況別）[複数回答]



平日・日中の居場所別にみると、「職場（福祉的就労の施設）」「通所施設（生活介護、デイケアなど）」において「感染防止策が講じられ、安心してスポーツ・運動ができる場の確保、またはその充実」の割合が高く、3割を超えた。【図表 139】

【図表 139】新型コロナウイルス感染症影響下で必要と考える支援（平日・日中の居場所別）[複数回答]

(単位: %)

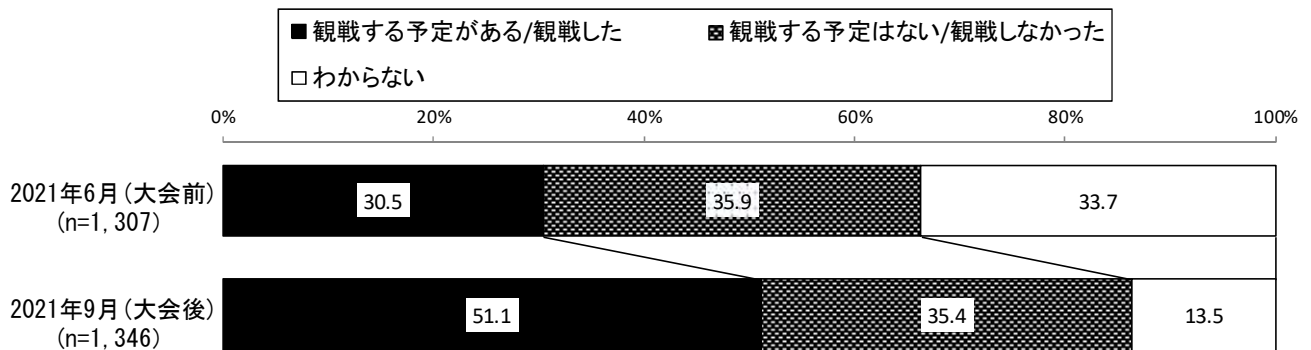
居場所	n	感染防止策が講じられ、安心してスポーツ・運動ができる場の確保、またはその充実	個人でできる感染防止策の情報提供、またはその充実	自宅でできる、障害に応じたスポーツ・運動方法についての情報提供、またはその充実	リモートにより、障害に応じたスポーツ・運動を指導してくれる支援、またはその充実	コロナ禍における、スポーツ・運動に関する相談窓口の設置、またはその充実	その他	特になし	活動したいと思わない	わからない
自分の家	834	24.7	13.1	16.1	7.9	6.5	0.6	14.4	25.9	21.3
職場(一般の企業など)	347	28.2	23.3	20.7	10.7	9.5	0.0	16.7	19.6	16.7
職場(福祉的就労の施設)	44	36.4	27.3	36.4	15.9	9.1	0.0	6.8	9.1	15.9
学校	22	9.1	13.6	4.5	0.0	4.5	0.0	9.1	9.1	54.5
通所施設 (生活介護、デイケアなど)	49	36.7	26.5	18.4	10.2	8.2	0.0	10.2	12.2	14.3
入所施設	42	16.7	9.5	9.5	4.8	4.8	0.0	14.3	14.3	45.2
その他	8	50.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0

## 2.5 東京 2020 大会観戦の有無・観戦後のスポーツ活動への影響

### (1) オリンピック観戦の有無

オリンピックを「観戦する予定がある」人は 30.5%であったが、実際に「観戦した」人は 51.1%と 20.6 ポイント上昇した。【図表 140】

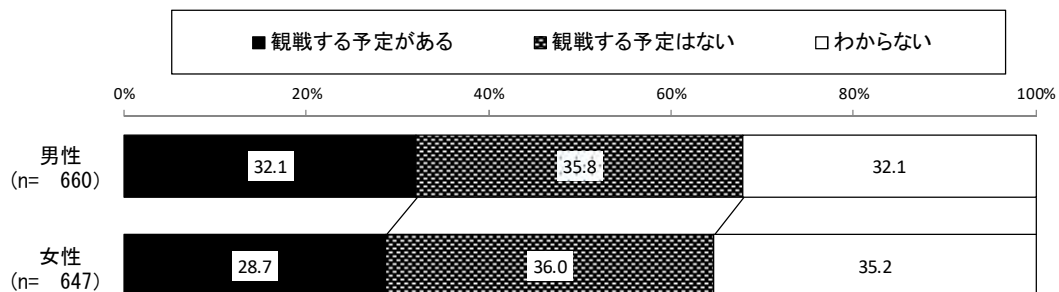
【図表 140】オリンピック観戦予定／実績の有無



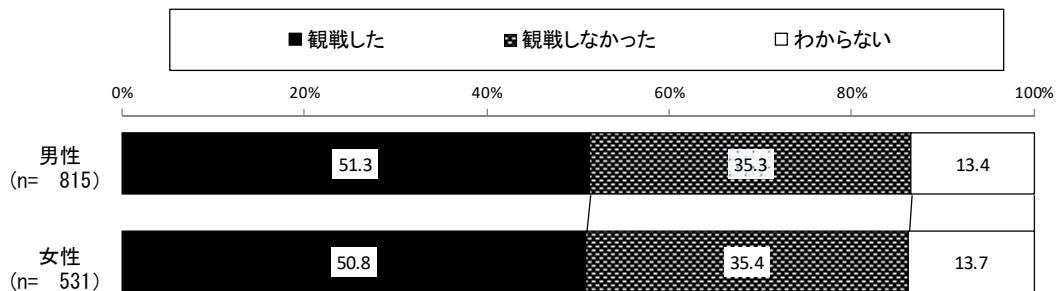
※本調査において、テレビやインターネットでの観戦等、観戦の方法は問わない（以下、同様）。

性別にみると、「男性」の方が「女性」よりも「観戦する予定がある」人の割合が僅かに高かったが、「観戦した」人の割合に差は見られなかった。【図表 141】【図表 142】

【図表 141】オリンピック観戦の予定(大会前・性別)

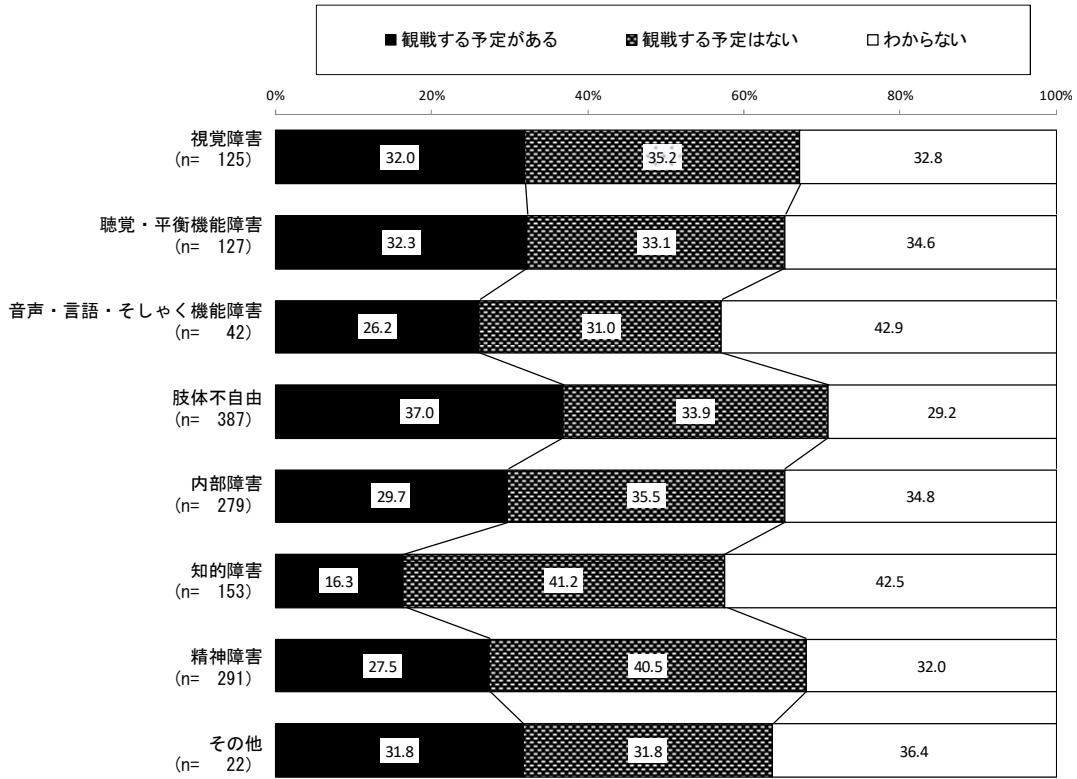


【図表 142】オリンピック観戦の実績(大会後・性別)

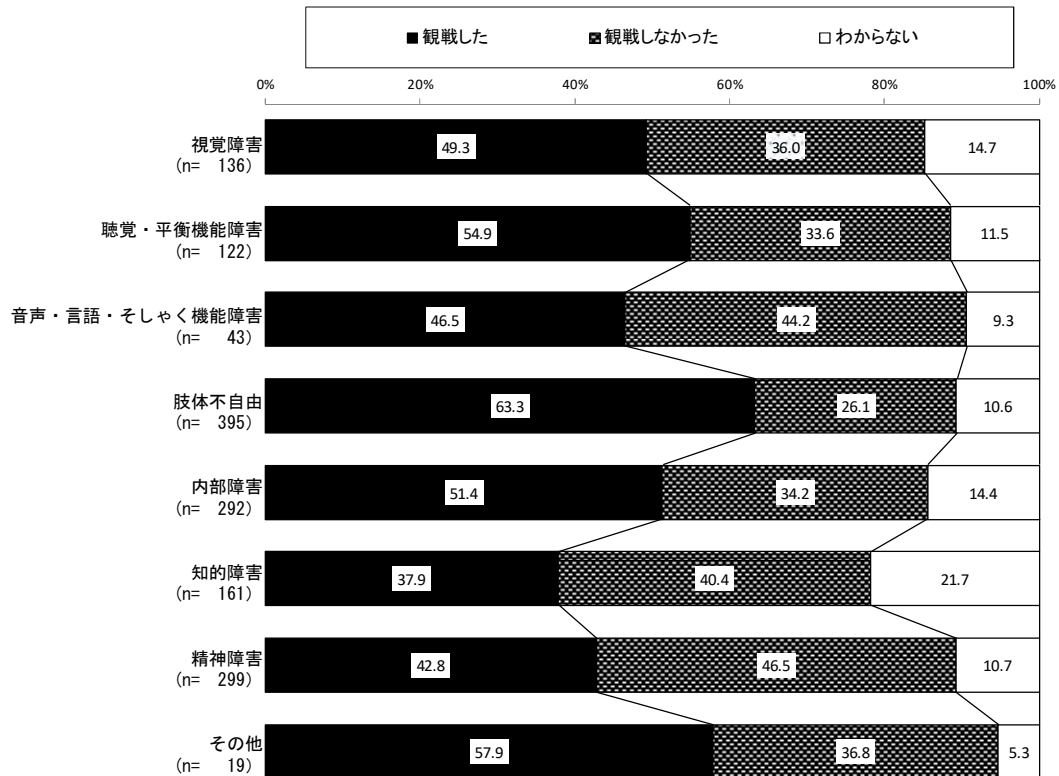


障害種別にみると、いずれの区分においても「観戦した」人の割合は、「観戦する予定がある」人と比較して増加した。「肢体不自由」では、「観戦した」人の割合が特に高く、6割を超えた。【図表 143】  
【図表 144】

【図表 143】オリンピック観戦の予定 (大会前・障害種別)

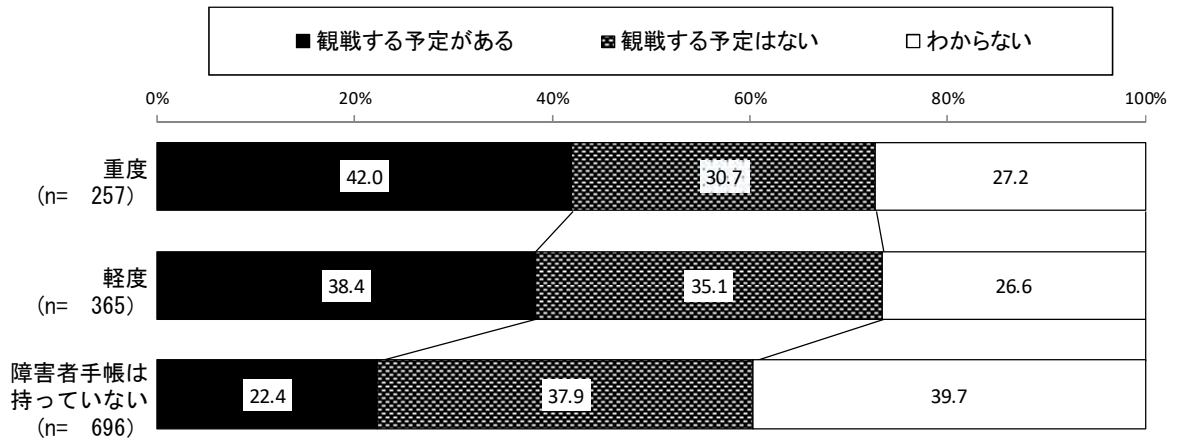


【図表 144】オリンピック観戦の実績 (大会後・障害種別)

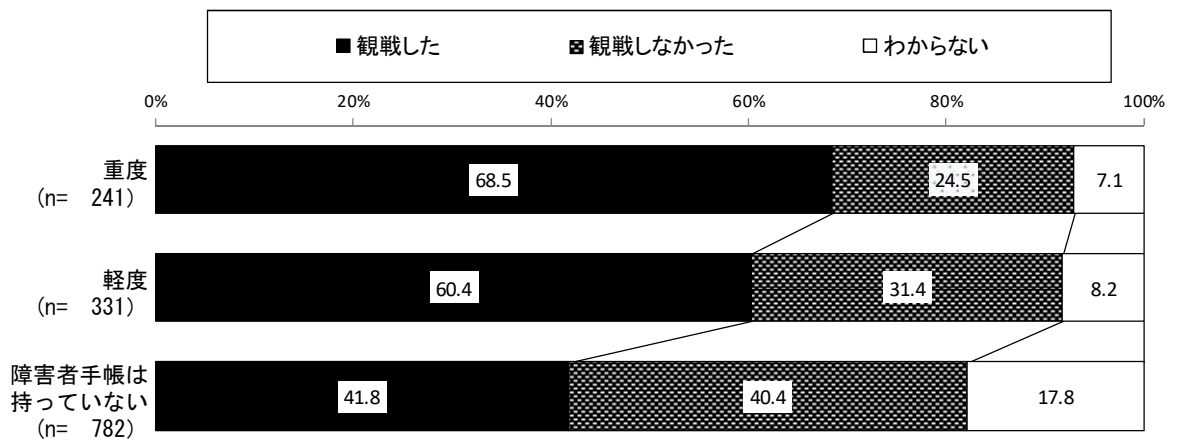


障害の程度別にみると、「観戦する予定がある」、「観戦した」のいずれも「重度」で最も割合が高かった。また、「障害者手帳の非保持者」では、他の区分と比較して「観戦した」人の割合が低かった。【図表 145】【図表 146】

【図表 145】オリンピック観戦の予定(大会前・障害の程度別)

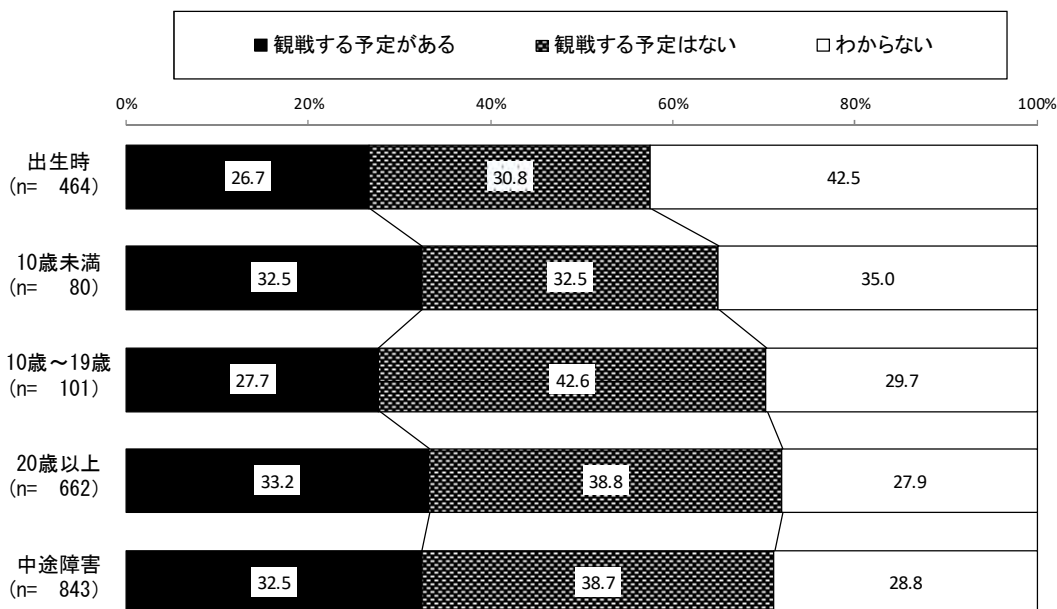


【図表 146】オリンピック観戦の実績(大会後・障害の程度別)

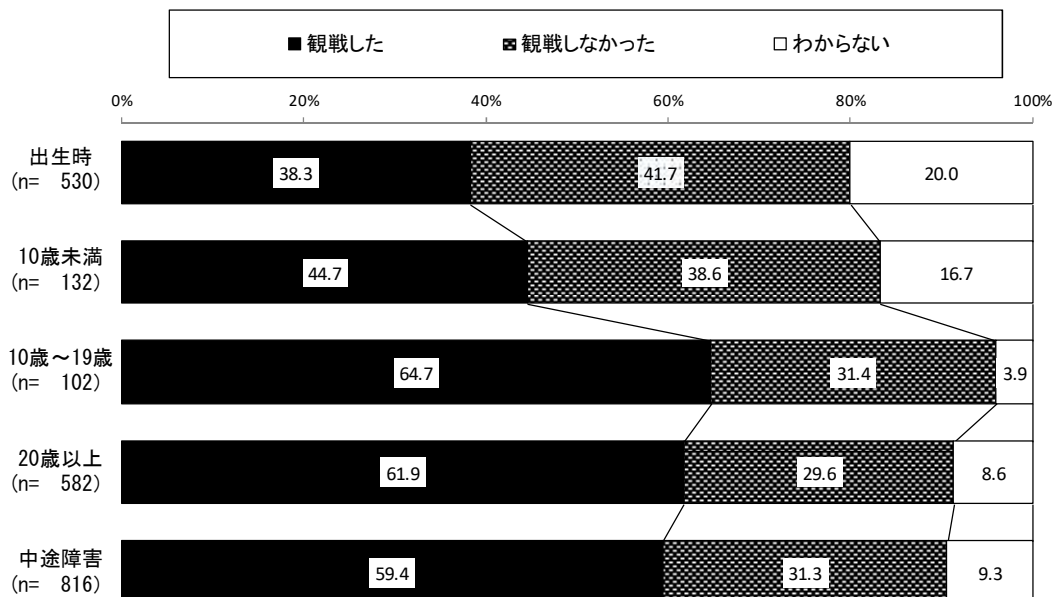


障害発生時の年齢別にみると、「観戦する予定がある」人の割合は、「中途障害」の方が「出生時」より 5.8 ポイント高かったが、「観戦した」人の割合においても、21.1 ポイント高かった。また、「10～19 歳」、「20 歳以上」においては「観戦した」人の割合が「観戦する予定がある」人の割合から大幅に増加した。【図表 147】【図表 148】

【図表 147】オリンピック観戦の予定(大会前・障害発生時の年齢別)



【図表 148】オリンピック観戦の実績(大会後・障害発生時の年齢別)

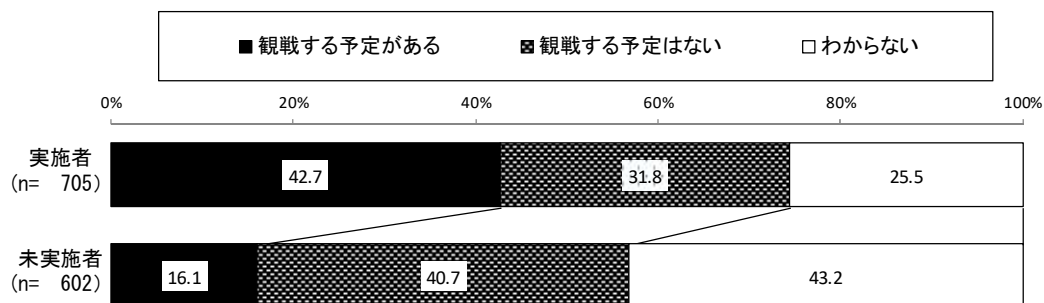


※「中途障害」は「10 歳未満」、「10 歳から 19 歳」、「20 歳以上」の総和です。

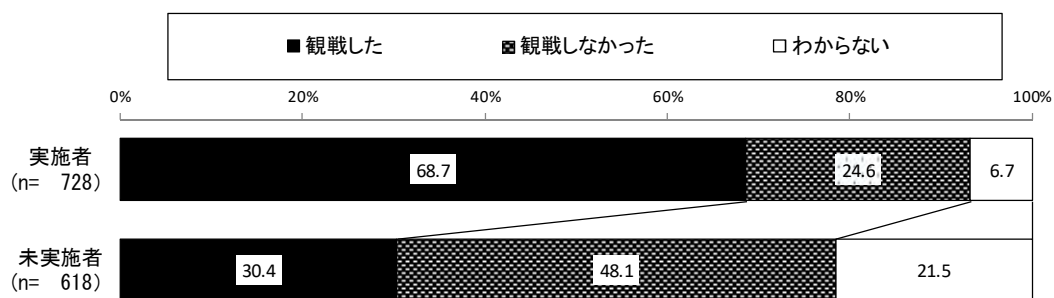


スポーツ・運動の実施の有無別にみると、「実施者」で「観戦した」人の割合が高く、68.7%と「未実施者」(30.4%)の2倍を超えた。【図表 150】

【図表 149】オリンピック観戦の予定(大会前・スポーツ・運動の実施の有無別)

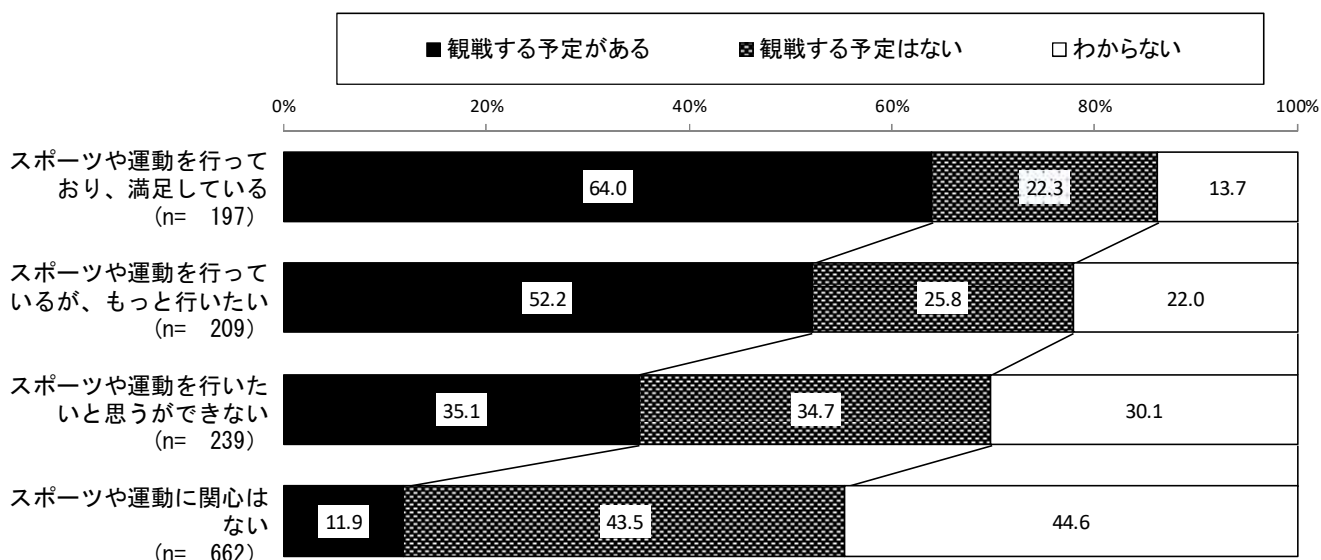


【図表 150】オリンピック観戦の実績(大会後・スポーツ・運動の実施の有無別)

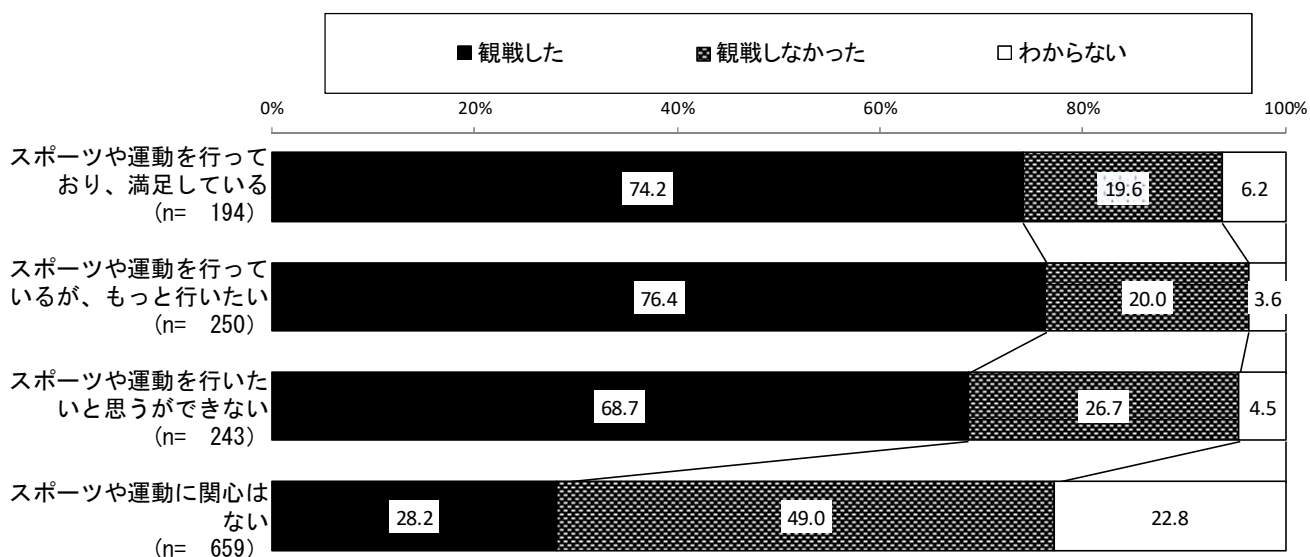


取組状況別にみると、「スポーツや運動を行っており、満足している」、「スポーツや運動を行っているが、もっと行いたい」において「観戦した」人の割合が高く、7割を超えた。また、「スポーツや運動を行いたいができない」において、「観戦した」人の割合が「観戦する予定がある」人の割合が約2倍となった。【図表 151】【図表 152】

【図表 151】オリンピック観戦の予定(大会前・取組状況別)



【図表 152】オリンピック観戦の実績(大会後・取組状況別)

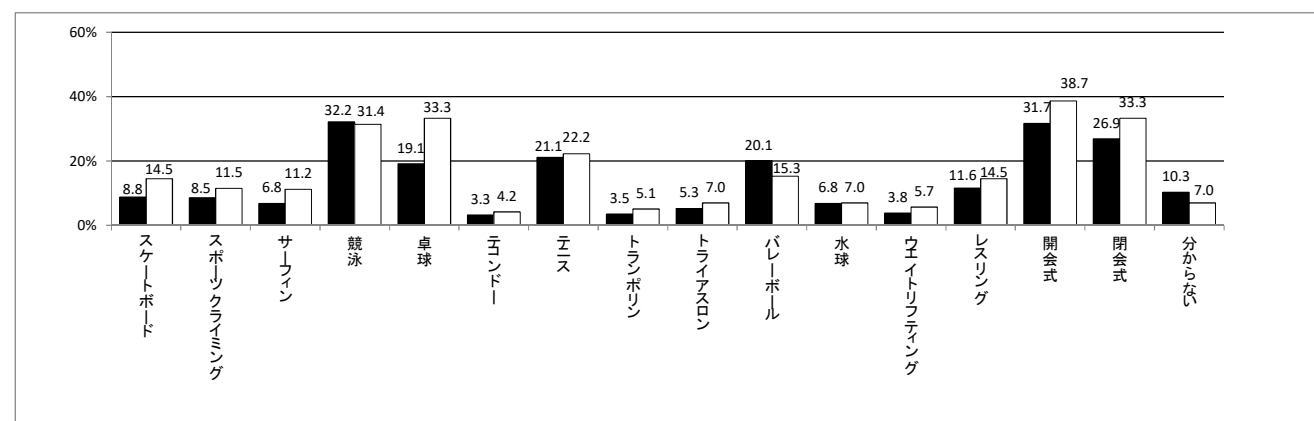
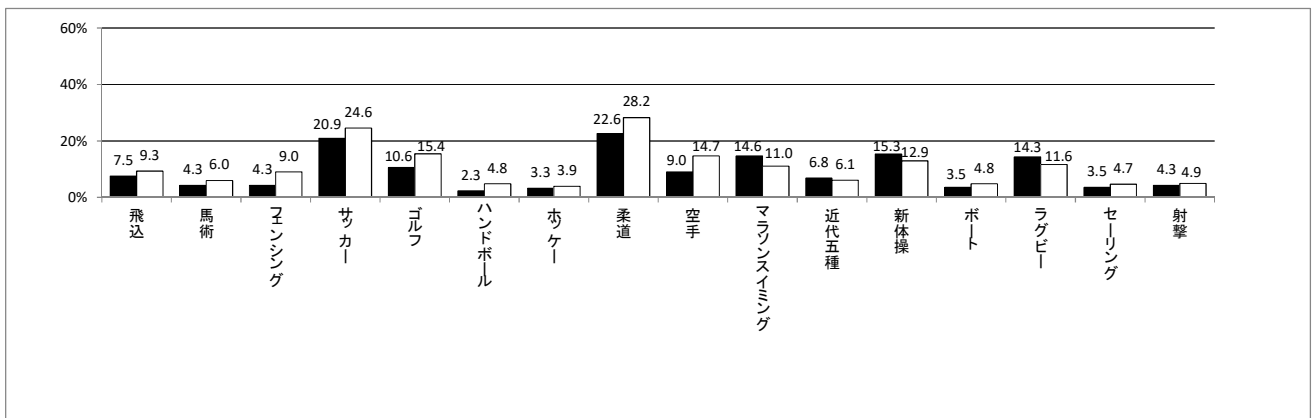
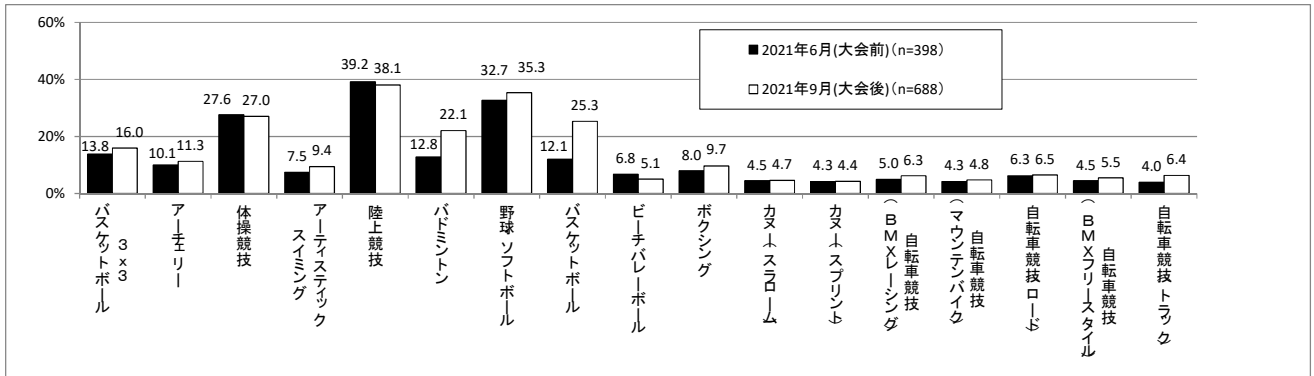


## (2) オリンピックで観戦したい／した競技

オリンピックで観戦したい競技についてみると、観戦の意向が高かったものから順に、「陸上競技」(39.2%)、「野球・ソフトボール」(32.7%)、「競泳」(32.2%)、「開会式」(31.7%)、「体操競技」(27.6%)であった。

また、実際に観戦した競技についてみると、「開会式」(38.7%)、「陸上競技」(38.1%)、「野球・ソフトボール」(35.3%)、「閉会式」「卓球」(33.3%)、「競泳」(31.4%)の順であった。【図表 153】

【図表 153】オリンピックで観戦したい／した競技[複数回答]



※本調査では、6月調査(大会前)において「現地やテレビなどで観戦したい(生中継や録画中継、ハイライト等に関心を持って見たい)」競技を、9月調査(大会後)において「テレビやインターネットなどで観戦したい(生中継や録画中継、ハイライト等に関心を持って見た)」競技を聞いた(以下、同様)。

障害種別にみると、観戦したい競技の割合は「視覚障害」、「肢体不自由」、「知的障害」、「精神障害」では「陸上競技」が最も高く、「内部障害」では「競泳」、「聴覚・平衡機能障害」、「音声・言語・そしやく機能障害」では「野球・ソフトボール」が最も高くなっている。【図表 154】

【図表 154】オリンピックで観戦したい競技(大会前・障害種別)[複数回答]

(その1) (単位:%)

	n	バ 3 ス x ケ 3 ツ ト ポ ー ル	ア ー チ ェ リ ー	体 操 競 技	ア ー テ ィ ス テ ィ ツ ク	陸 上 競 技	バ ド ミ ン ト ン	野 球 ・ ソ フ ト ボ ー ル	バ ス ケ ッ ト ボ ー ル	ビ ー チ バ レ ー ボ ー ル	ボ ク シ ン グ	カ ヌ ー ( ス ラ ロ ー ム )	カ ヌ ー ( ス プ リ ン ト )
視覚障害	40	27.5	10.0	10.0	10.0	30.0	10.0	20.0	15.0	10.0	10.0	5.0	10.0
聴覚・平衡機能障害	41	14.6	14.6	26.8	7.3	26.8	9.8	34.1	7.3	7.3	9.8	7.3	7.3
音声・言語・そしやく機能障害	11	0.0	9.1	18.2	18.2	27.3	18.2	45.5	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0
肢体不自由	143	6.3	7.7	37.8	6.3	46.9	15.4	31.5	11.9	5.6	4.9	3.5	0.0
内部障害	83	18.1	14.5	34.9	9.6	45.8	19.3	41.0	20.5	12.0	18.1	9.6	10.8
知的障害	25	24.0	8.0	16.0	4.0	28.0	4.0	20.0	12.0	0.0	0.0	0.0	0.0
精神障害	80	25.0	12.5	17.5	10.0	35.0	8.8	33.8	11.3	6.3	7.5	1.3	5.0
その他	7	14.3	0.0	28.6	0.0	57.1	14.3	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0

(その2) (単位:%)

	n	( 自 転 車 競 技 レ ー シ ン グ ) ( B M X )	( 自 転 車 競 技 マ ウ ン テ ン バ イ ク )	( 自 転 車 競 技 ロ ー ド )	( 自 転 車 競 技 フ リ ー ス タ イ ル ) ( B M X )	( 自 転 車 競 技 ト ラ ツ ク )	飛 込	馬 術	フェ ン シ ン グ	サ ツ カ ー	ゴ ル フ	ハ ン ド ボ ー ル	ホ ッ ケ ー
視覚障害	40	10.0	7.5	12.5	10.0	10.0	2.5	2.5	2.5	7.5	5.0	2.5	5.0
聴覚・平衡機能障害	41	7.3	7.3	2.4	0.0	2.4	0.0	2.4	0.0	22.0	0.0	0.0	4.9
音声・言語・そしやく機能障害	11	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
肢体不自由	143	4.2	2.1	4.9	2.1	2.1	11.9	2.8	6.3	21.7	14.7	0.7	1.4
内部障害	83	9.6	8.4	12.0	9.6	8.4	12.0	13.3	9.6	33.7	21.7	6.0	9.6
知的障害	25	8.0	4.0	4.0	0.0	4.0	4.0	4.0	0.0	4.0	0.0	0.0	4.0
精神障害	80	2.5	3.8	5.0	6.3	2.5	5.0	3.8	1.3	20.0	3.8	2.5	2.5
その他	7	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0

(その3)

(単位:%)

	n	柔道	空手	マラソン スイミング	近代五種	新体操	ボート	ラグビー	セーリング	射撃	スケートボード	スポーツクライミング	サーフィン
視覚障害	40	10.0	12.5	20.0	15.0	12.5	7.5	15.0	7.5	7.5	2.5	10.0	12.5
聴覚・平衡機能障害	41	7.3	9.8	7.3	7.3	14.6	9.8	17.1	7.3	12.2	9.8	9.8	4.9
音声・言語・そしゃく機能障害	11	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	18.2	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0
肢体不自由	143	33.6	7.0	17.5	7.0	16.8	2.1	16.1	2.1	3.5	7.7	9.8	5.6
内部障害	83	32.5	15.7	15.7	12.0	18.1	4.8	22.9	4.8	9.6	13.3	13.3	12.0
知的障害	25	8.0	8.0	20.0	0.0	16.0	0.0	8.0	0.0	0.0	4.0	4.0	4.0
精神障害	80	13.8	10.0	13.8	3.8	13.8	2.5	8.8	3.8	1.3	13.8	5.0	6.3
その他	7	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(その4)

(単位:%)

	n	競泳	卓球	テコンドー	テニス	トランポリン	トライアスロン	バレーボール	水球	ウエイトリフティング	レスリング	開会式	閉会式	分からない
視覚障害	40	20.0	17.5	5.0	17.5	10.0	10.0	17.5	12.5	0.0	5.0	17.5	12.5	5.0
聴覚・平衡機能障害	41	22.0	9.8	4.9	9.8	2.4	4.9	14.6	0.0	2.4	7.3	17.1	14.6	14.6
音声・言語・そしゃく機能障害	11	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	9.1	18.2	18.2	0.0
肢体不自由	143	41.3	22.4	1.4	22.4	2.8	4.2	26.6	6.3	4.2	16.8	42.7	35.7	14.7
内部障害	83	48.2	28.9	9.6	33.7	4.8	9.6	25.3	15.7	9.6	16.9	38.6	31.3	6.0
知的障害	25	20.0	8.0	4.0	12.0	0.0	8.0	8.0	0.0	0.0	4.0	32.0	28.0	8.0
精神障害	80	18.8	12.5	0.0	17.5	3.8	3.8	11.3	2.5	2.5	10.0	22.5	21.3	10.0
その他	7	42.9	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	42.9	42.9	14.3

実際に観戦した競技の割合は「聴覚・平衡機能障害」「知的障害」「精神障害」を除いて「陸上競技」が最も高く、「聴覚・平衡機能障害」では「陸上競技」と「野球・ソフトボール」、「知的障害」では、「3×3 バasketボール」と「野球・ソフトボール」、「精神障害」では「野球・ソフトボール」が最も高くなっている。【図表 155】

【図表 155】オリンピックで観戦した競技(大会後・障害種別)[複数回答]

(その1) (単位:%)

	n	3×3 バスケット ボール	アー チエリ ー	体 操 競 技	ア ー テ ィ ス テ ィ ク	陸 上 競 技	バ ド ミ ン ト ン	野 球 ・ ソ フ ト ボ ー ル	バ ス ケ ッ ト ボ ー ル	ビ ー チ バ レ ー ボ ー ル	ボ ク シ ン グ	カ ヌ ー ( ス ラ ロ ー ム )	カ ヌ ー ( ス プ リ ン ト )
視覚障害	67	26.9	14.9	23.9	10.4	32.8	16.4	28.4	25.4	6.0	7.5	3.0	4.5
聴覚・平衡機能障害	67	20.9	17.9	22.4	13.4	35.8	25.4	35.8	31.3	7.5	11.9	6.0	3.0
音声・言語・そしゃく機能障害	20	10.0	5.0	20.0	0.0	40.0	20.0	35.0	25.0	0.0	10.0	0.0	10.0
肢体不自由	250	13.6	12.0	32.0	10.8	46.8	28.0	36.0	28.8	4.8	10.8	6.4	5.2
内部障害	150	15.3	10.0	31.3	8.7	43.3	22.7	41.3	24.0	6.0	12.0	5.3	5.3
知的障害	61	26.2	16.4	18.0	14.8	16.4	13.1	26.2	13.1	6.6	8.2	4.9	3.3
精神障害	128	14.8	8.6	24.2	10.9	26.6	15.6	32.8	26.6	7.8	12.5	3.9	6.3
その他	11	18.2	0.0	18.2	0.0	45.5	18.2	45.5	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0

(その2) (単位:%)

	n	(自 転 車 競 技 マ ウ ン テ ン バ イ ク )	(自 転 車 競 技 マ ウ ン テ ン バ イ ク )	(自 転 車 競 技 マ ウ ン テ ン バ イ ク )	(自 転 車 競 技 マ ウ ン テ ン バ イ ク )	(自 転 車 競 技 マ ウ ン テ ン バ イ ク )	飛 込	馬 術	フ エ ン シ ン グ	サ ッ カ ー	ゴ ル フ	ハ ン ド ボ ー ル	ホ ッ ケ ー
視覚障害	67	3.0	6.0	3.0	4.5	3.0	6.0	9.0	9.0	26.9	4.5	7.5	6.0
聴覚・平衡機能障害	67	7.5	7.5	13.4	7.5	10.4	9.0	9.0	6.0	32.8	19.4	3.0	4.5
音声・言語・そしゃく機能障害	20	0.0	0.0	10.0	0.0	5.0	10.0	0.0	5.0	15.0	5.0	5.0	5.0
肢体不自由	250	7.6	5.6	10.4	6.8	7.6	12.8	7.2	11.2	24.8	20.8	7.6	5.6
内部障害	150	6.7	5.3	6.0	7.3	7.3	10.0	8.0	12.0	26.0	18.7	4.7	4.7
知的障害	61	11.5	4.9	8.2	6.6	8.2	6.6	1.6	6.6	24.6	8.2	1.6	3.3
精神障害	128	9.4	6.3	4.7	3.9	7.0	8.6	6.3	7.0	23.4	10.2	5.5	3.1
その他	11	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	27.3	0.0	0.0	0.0

(その3)

(単位:%)

	n	柔道	空手	マラソン スイミング	近代五種	新体操	ボート	ラグビー	セーリング	射撃	スケートボード	スポーツクライミング	サーフィン
視覚障害	67	22.4	16.4	14.9	7.5	10.4	11.9	10.4	6.0	9.0	10.4	6.0	6.0
聴覚・平衡機能障害	67	32.8	23.9	16.4	6.0	11.9	6.0	14.9	4.5	7.5	19.4	17.9	16.4
音声・言語・そしゃく機能障害	20	15.0	0.0	5.0	5.0	20.0	0.0	5.0	0.0	10.0	5.0	0.0	5.0
肢体不自由	250	35.2	14.8	12.0	6.4	16.0	4.8	15.2	5.6	6.4	17.6	14.4	14.0
内部障害	150	32.0	14.7	8.7	5.3	11.3	4.0	11.3	6.0	5.3	16.0	12.0	12.7
知的障害	61	18.0	18.0	13.1	9.8	9.8	6.6	11.5	3.3	3.3	6.6	4.9	6.6
精神障害	128	21.1	14.1	9.4	7.0	14.1	5.5	10.2	4.7	4.7	11.7	10.2	10.9
その他	11	9.1	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	27.3	18.2	9.1

(その4)

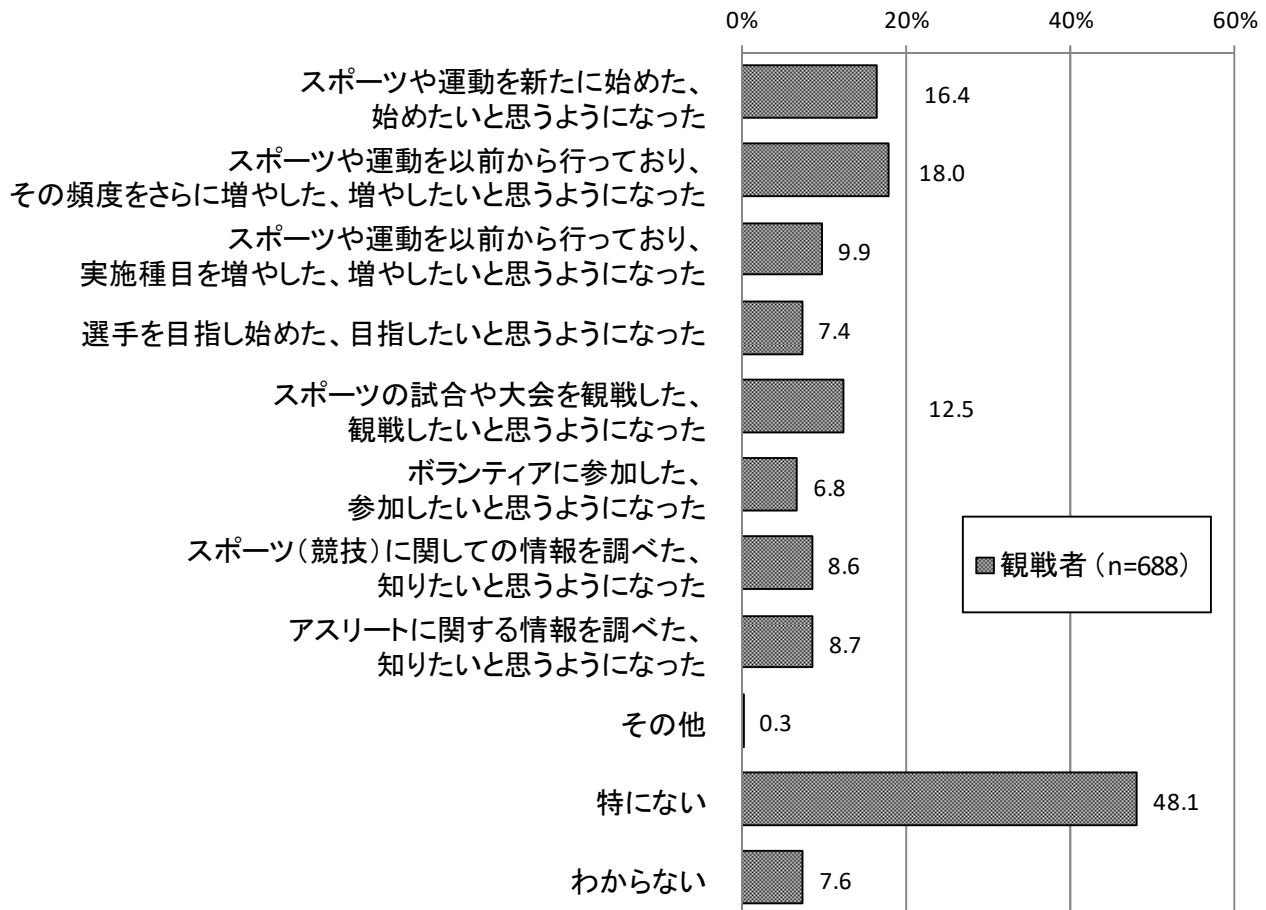
(単位:%)

	n	競泳	卓球	テコンドー	テニス	トランポリン	トライアスロン	バレーボール	水球	ウエイトリフティング	レスリング	開会式	閉会式	分からない
視覚障害	67	20.9	26.9	3.0	14.9	6.0	7.5	10.4	6.0	3.0	9.0	25.4	19.4	0.0
聴覚・平衡機能障害	67	20.9	26.9	4.5	16.4	4.5	10.4	16.4	7.5	3.0	17.9	31.3	26.9	4.5
音声・言語・そしゃく機能障害	20	15.0	25.0	5.0	20.0	0.0	5.0	10.0	10.0	0.0	5.0	25.0	20.0	15.0
肢体不自由	250	39.6	39.2	5.6	31.6	7.2	9.2	18.4	10.0	9.2	16.4	44.4	39.2	7.6
内部障害	150	37.3	39.3	5.3	24.7	6.0	6.0	17.3	7.3	6.0	19.3	43.3	38.0	7.3
知的障害	61	14.8	24.6	4.9	14.8	3.3	6.6	8.2	9.8	4.9	6.6	31.1	29.5	11.5
精神障害	128	26.6	26.6	7.0	13.3	5.5	6.3	14.1	6.3	5.5	13.3	36.7	28.1	8.6
その他	11	27.3	27.3	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	9.1	0.0

### (3)オリンピック観戦後の変化・影響

オリンピック観戦後の変化・影響については、「特にない」(48.1%)を除くと、「スポーツや運動を以前から行っており、その頻度をさらに増やした、増やしたいと思うようになった」(18.0%)が最も高く、次いで、「スポーツや運動を新たに始めた、始めたいと思うようになった」(16.4%)、「スポーツの試合や大会を観戦した、観戦したいと思うようになった」(12.5%)が続いている。【図表 156】

【図表 156】オリンピック観戦後の変化・影響[複数回答]





障害種別にみると、「聴覚・平衡機能障害」で、「スポーツや運動を新たに始めた、始めたいと思うようになった」、「スポーツや運動を以前から行っており、その頻度をさらに増やした、増やしたいと思うようになった」の割合が高く、3割を超えている。また、「視覚障害」では、「特にない」(26.9%)が他の区分と比べて低かった。【図表 157】

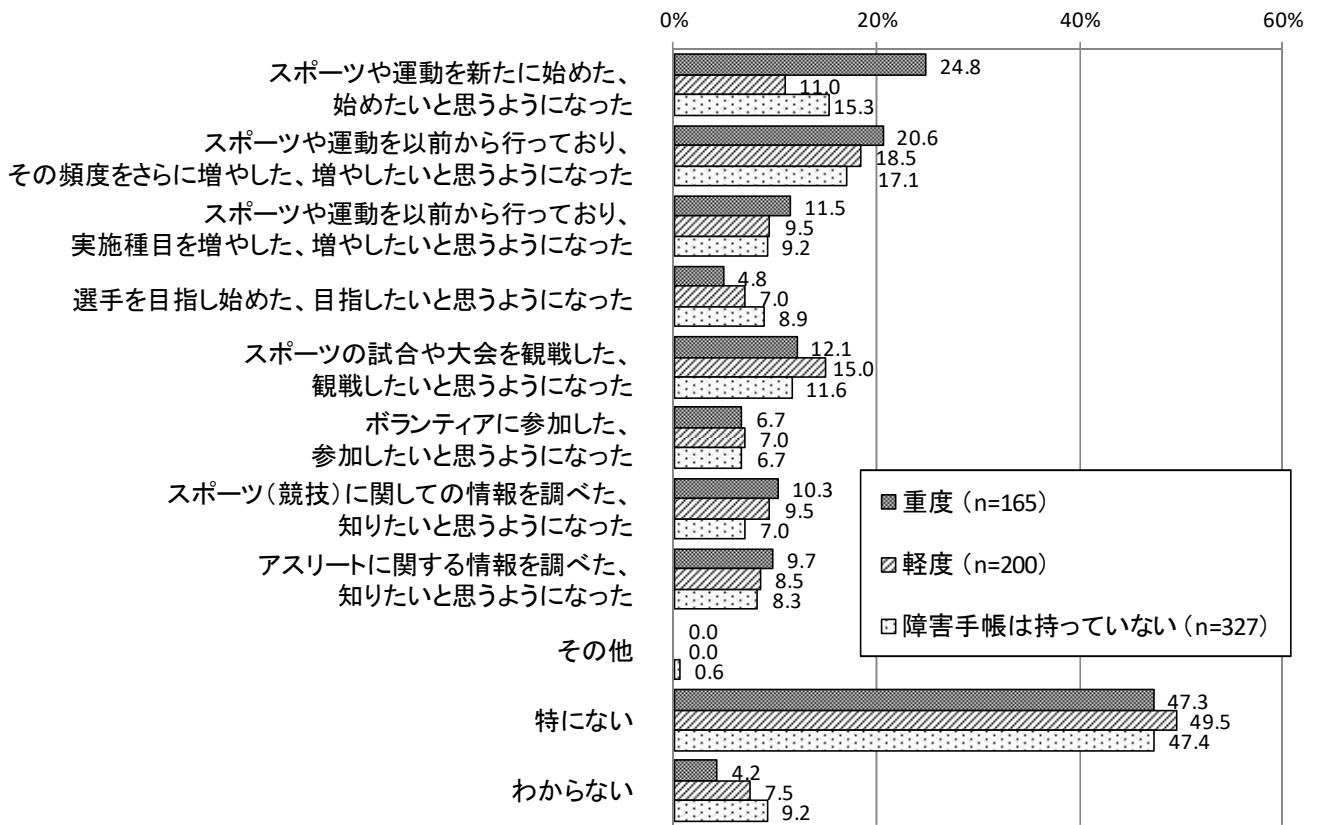
【図表 157】オリンピック観戦後の変化・影響(障害種別)[複数回答]

(単位:%)

	n	始めたいと思うようになった	さらに増やした、増やしたいと思うようになった	スポーツや運動を以前から行っており、実施種目を増やした、増やしたいと思うようになった	選手を目指し始めた、目指したいと思うようになった	観戦したいと思うようになった	ボランティアに参加した、参加したいと思うようになった	知りたいと思うようになった	スポーツ(競技)に関する情報を調べた、知りたいと思うようになった	アスリートに関する情報を調べた、知りたいと思うようになった	その他	特にない	わからない
視覚障害	67	23.9	23.9	16.4	6.0	10.4	4.5	16.4	10.4	0.0	26.9	6.0	
聴覚・平衡機能障害	67	31.3	31.3	14.9	13.4	17.9	13.4	16.4	9.0	0.0	35.8	4.5	
音声・言語・そしゃく機能障害	20	10.0	15.0	15.0	15.0	10.0	5.0	5.0	10.0	0.0	55.0	0.0	
肢体不自由	250	10.4	16.4	8.4	5.6	14.0	7.2	9.6	9.6	0.4	58.4	6.4	
内部障害	150	13.3	14.0	10.7	7.3	10.7	4.7	6.0	9.3	0.7	52.7	10.0	
知的障害	61	19.7	19.7	14.8	11.5	14.8	3.3	8.2	4.9	0.0	36.1	14.8	
精神障害	128	20.3	16.4	7.8	7.8	14.1	10.9	7.0	12.5	0.0	44.5	3.9	
その他	11	9.1	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	54.5	9.1	

障害の程度別にみると、「重度」で「スポーツや運動を新たに始めた、始めたいと思うようになった」の割合が高く、24.8%となっている。【図表 158】

【図表 158】オリンピック観戦後の変化・影響(障害の程度別)[複数回答]



障害発生時の年齢別にみると、「中途障害」よりも「出生時」の方が「スポーツや運動を新たに始めた、始めたいと思うようになった」「スポーツや運動を以前から行っており、その頻度をさらに増やした、増やしたいと思うようになった」「スポーツや運動を以前から行っており、実施種目を増やした、増やしたいと思うようになった」のスポーツ実施に関する回答の割合が高かった。【図表 159】

【図表 159】オリンピック観戦後の変化・影響(障害発生時の年齢別)[複数回答]

(単位:%)

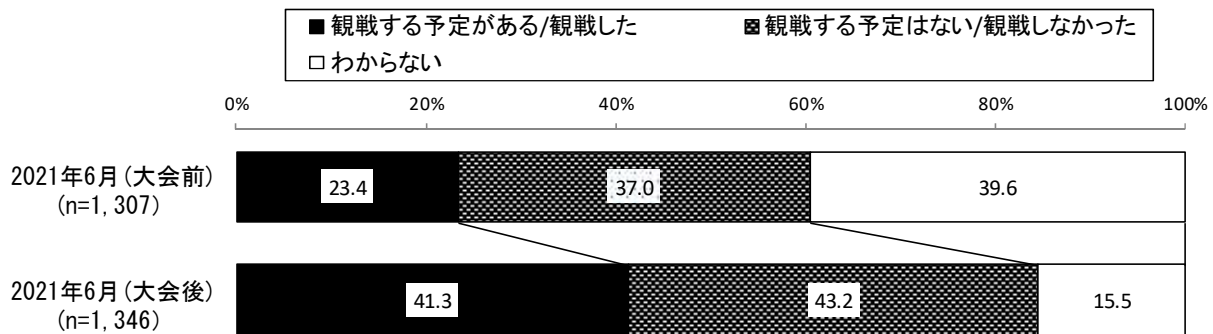
	n	スポーツや運動を新たに始めた、始めたいと思うようになった	スポーツや運動を以前から行っており、その頻度をさらに増やした、増やしたいと思うようになった	スポーツや運動を以前から行っており、実施種目を増やした、増やしたいと思うようになった	選手を目指し始めた、目指したいと思うようになった	観戦したいと思うようになった	ボランティアに参加した、参加したいと思うようになった	知りたいと思うようになった	アスリートに関する情報を調べた、知りたいと思うようになった	その他	特になし	わからない
出生時	203	28.6	23.2	12.8	11.8	6.9	5.4	7.4	9.4	0.0	30.5	9.4
10歳未満	59	11.9	23.7	10.2	5.1	20.3	8.5	5.1	6.8	0.0	37.3	1.7
10歳～19歳	66	12.1	24.2	13.6	13.6	15.2	1.5	12.1	3.0	0.0	47.0	7.6
20歳以上	360	11.1	13.1	7.5	4.2	13.9	8.3	9.2	9.7	0.6	60.0	7.5
中途障害	485	11.3	15.9	8.7	5.6	14.8	7.4	9.1	8.5	0.4	55.5	6.8

※「中途障害」は「10歳未満」、「10～19歳」、「20歳以上」の総和です。

#### (4)パラリンピック観戦の有無

パラリンピックを「観戦する予定がある」人は23.4%であったが、実際に「観戦した」人は41.3%と17.9ポイント上昇した。【図表 160】

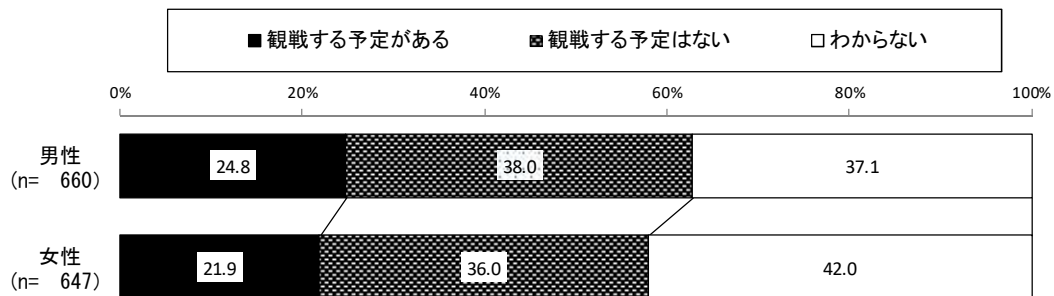
【図表 160】パラリンピック観戦予定／実績の有無



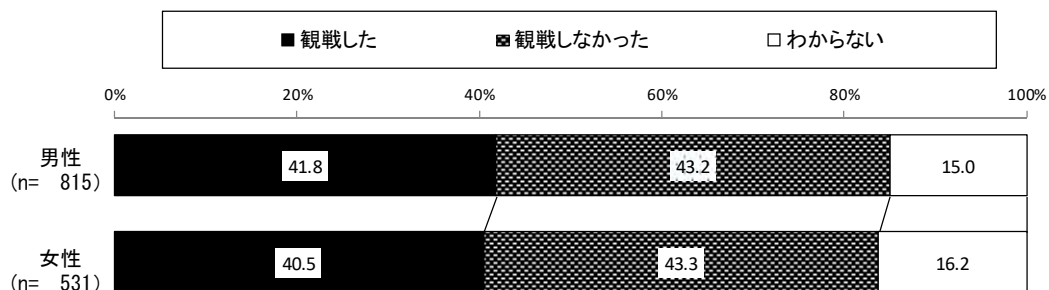
※本調査において、テレビやインターネットでの観戦等、観戦の方法は問わない（以下、同様）。

性別にみると、「男性」の方が「女性」よりも「観戦する予定がある」人の割合が高かったが、「観戦した」人の割合に大きな差は見られなかった。【図表 161】【図表 162】

【図表 161】パラリンピック観戦の予定 (大会前・性別)

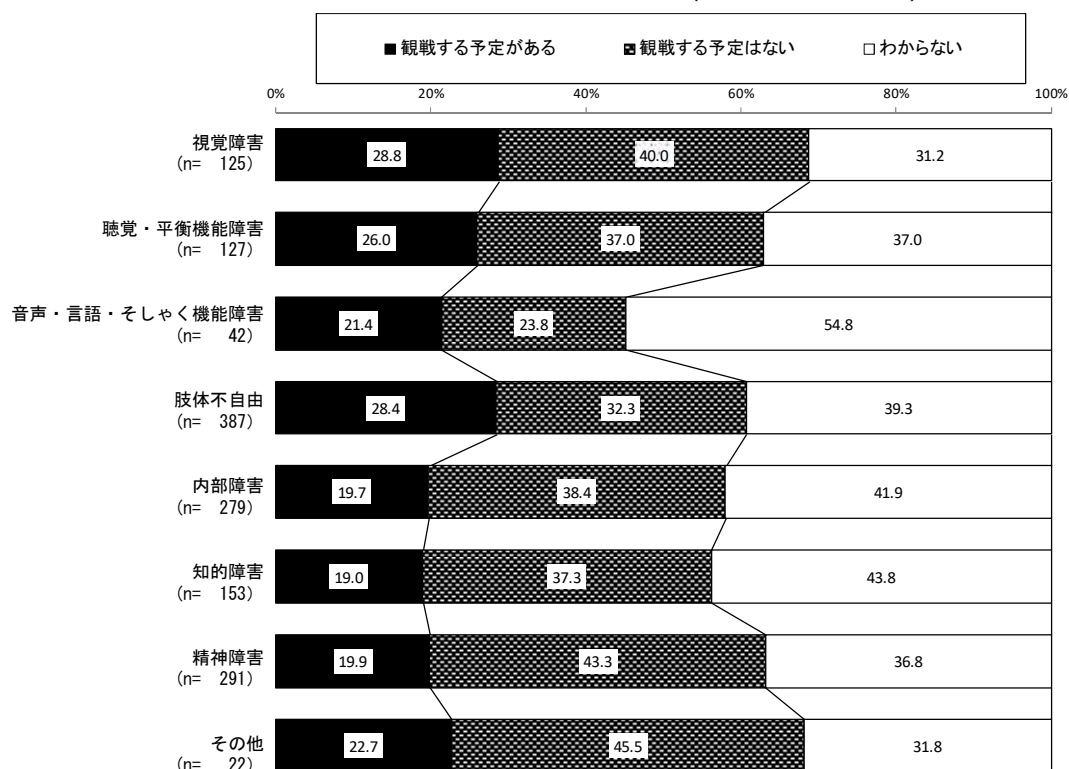


【図表 162】パラリンピック観戦の実績 (大会後・性別)

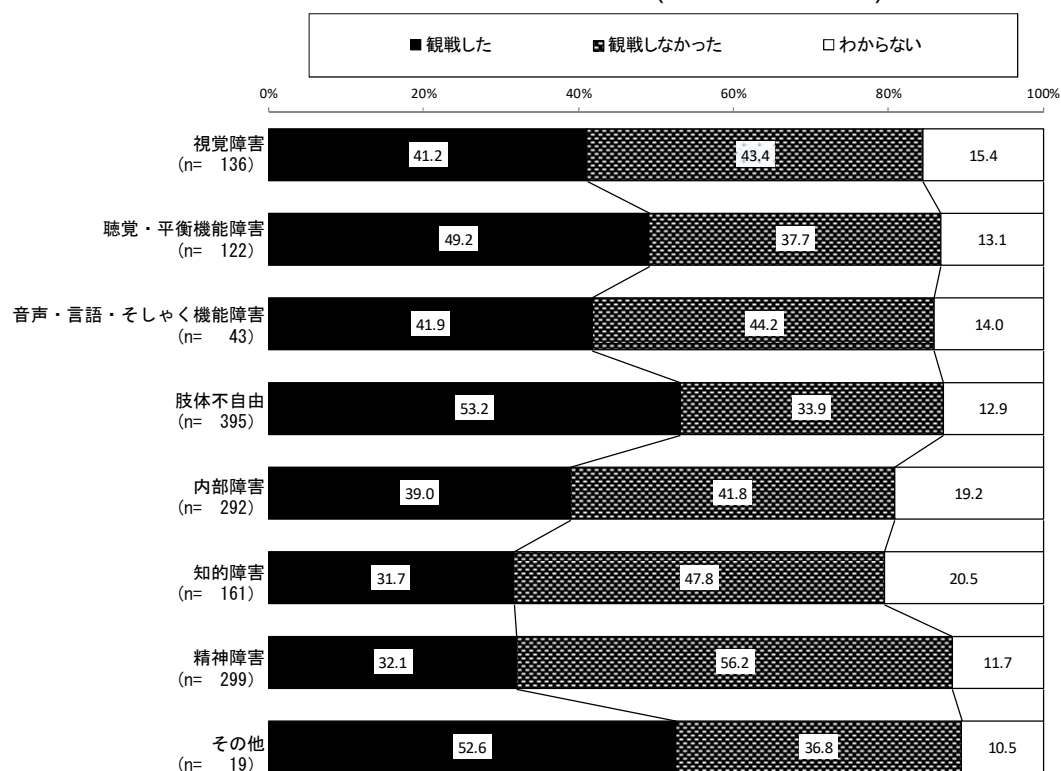


障害種別にみると、いずれの区分においても「観戦した」人の割合は、「観戦する予定がある」人と比較して増加した。「肢体不自由」では、「観戦した」人の割合が高く、5割を超えた。【図表 163】【図表 164】

【図表 163】パラリンピック観戦の予定 (大会前・障害種別)

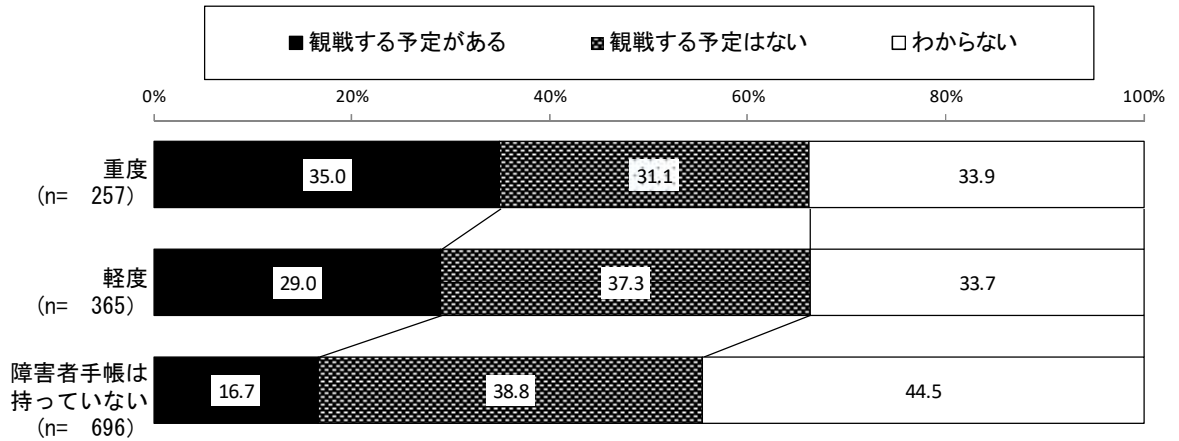


【図表 164】パラリンピック観戦の実績 (大会後・障害種別)

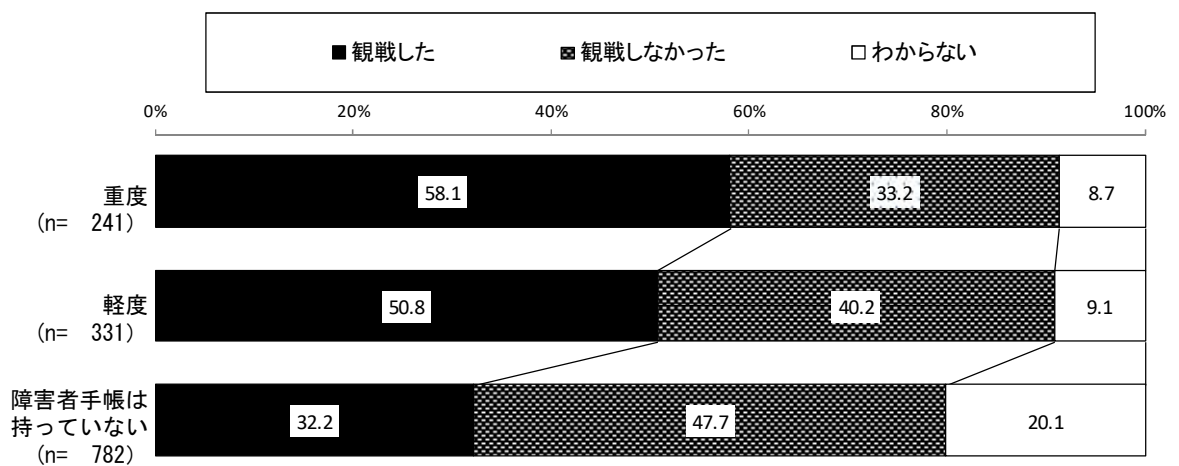


障害の程度別にみると、「観戦する予定がある」、「観戦した」のいずれも「重度」で最も割合が高かった。また、「障害者手帳の非保持者」では、他の区分と比較して「観戦した」人の割合が低かった。【図表 165】【図表 166】

【図表 165】パラリンピック観戦の予定(大会前・障害の程度別)

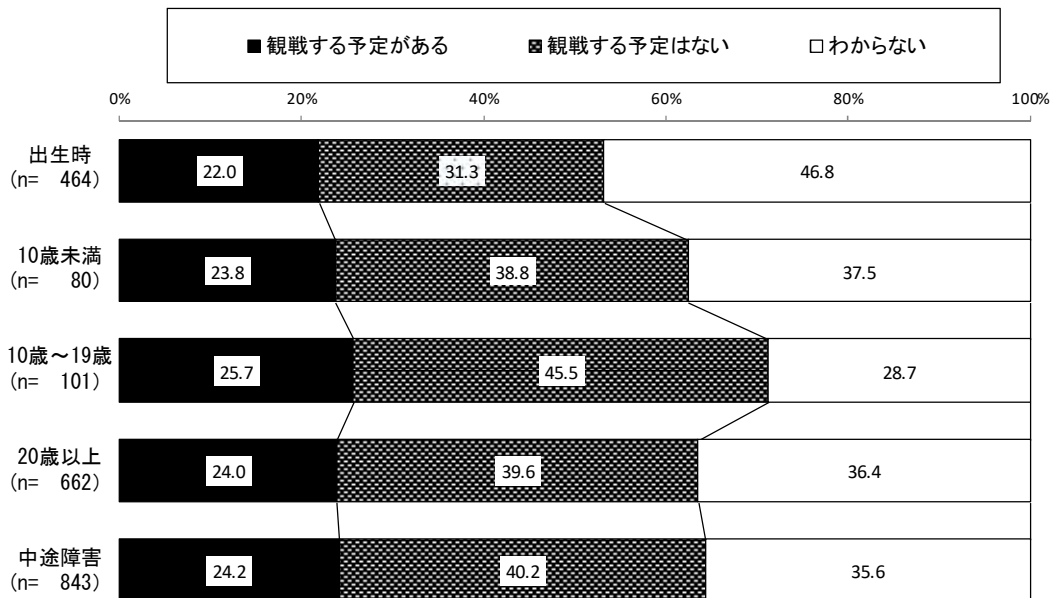


【図表 166】パラリンピック観戦の実績(大会後・障害の程度別)

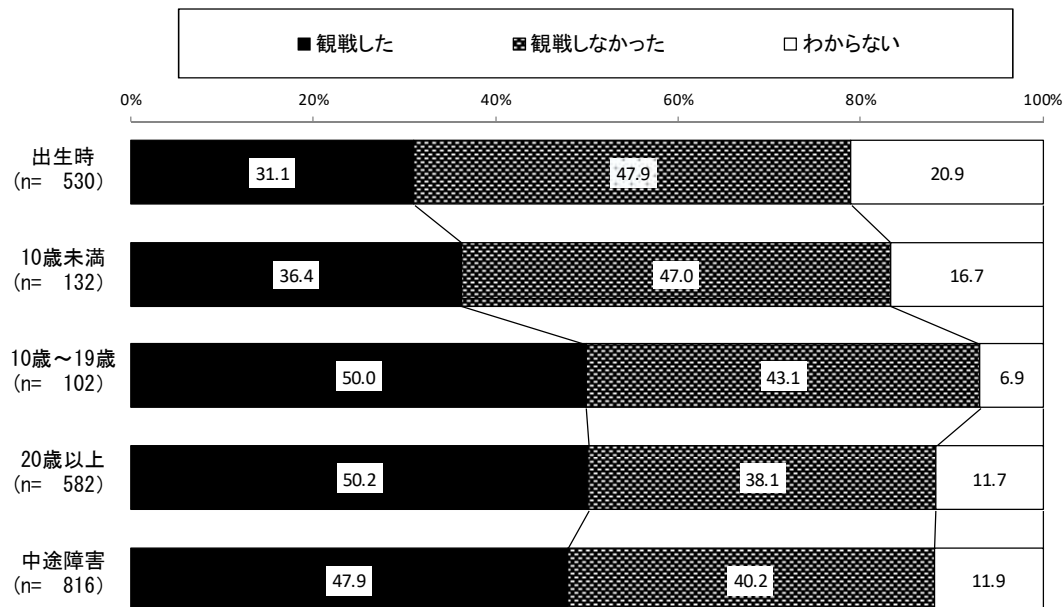


障害発生時の年齢別にみると、「観戦する予定がある」人の割合は、「出生時」と「中途障害」とで大きな差はなかったが、「観戦した」人の割合は、「中途障害」の方が「出生時」よりも16.8ポイント高かった。【図表 167】【図表 168】

【図表 167】パラリンピック観戦の予定(大会前・障害発生時の年齢別)



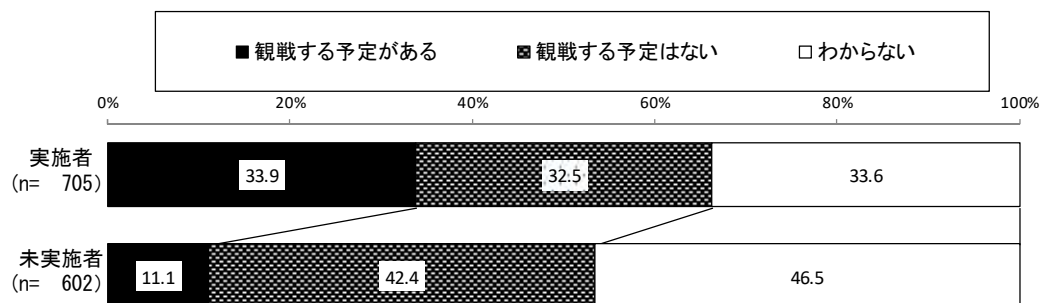
【図表 168】パラリンピック観戦の実績(大会後・障害発生時の年齢別)



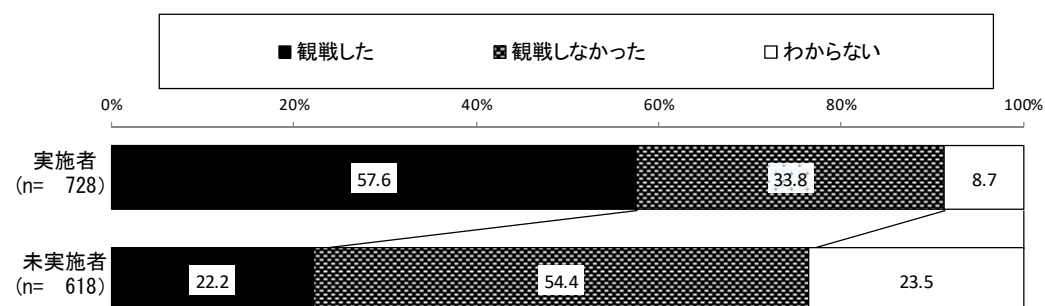
※「中途障害」は「10歳未満」、「10歳から19歳」、「20歳以上」の総和です。

スポーツ・運動の実施の有無別にみると、「実施者」で「観戦した」人の割合が高く、57.6%と「未実施者」(22.2%)を大きく上回った。【図表 169】

【図表 168】パラリンピック観戦の予定(大会前・スポーツ・運動の実施の有無別)



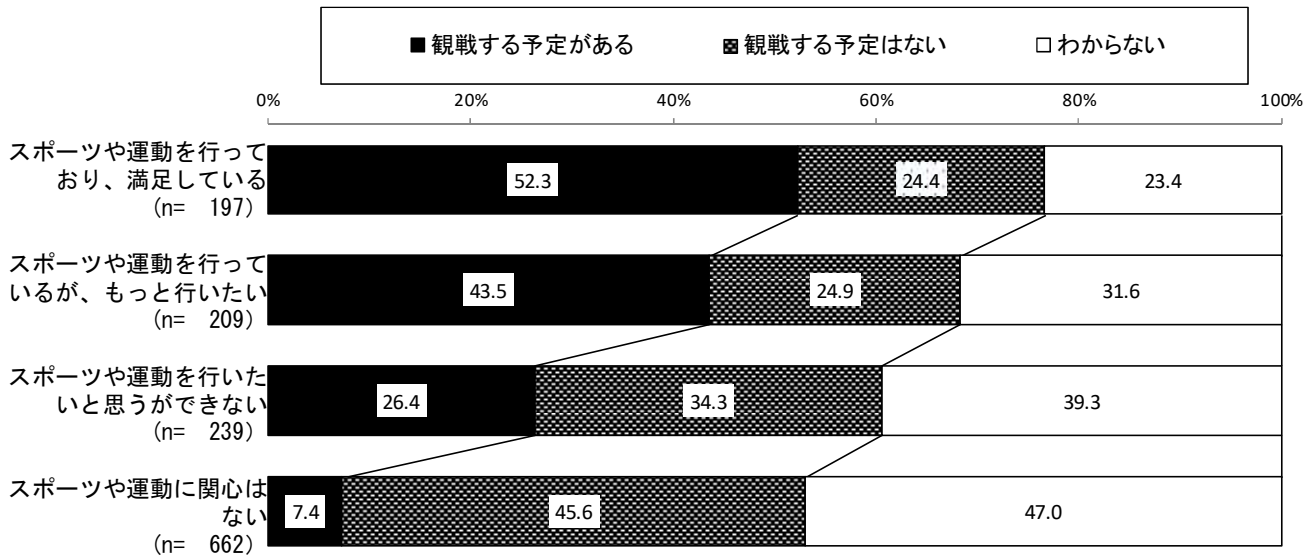
【図表 169】パラリンピック観戦の実績(大会後・スポーツ・運動の実施の有無別)



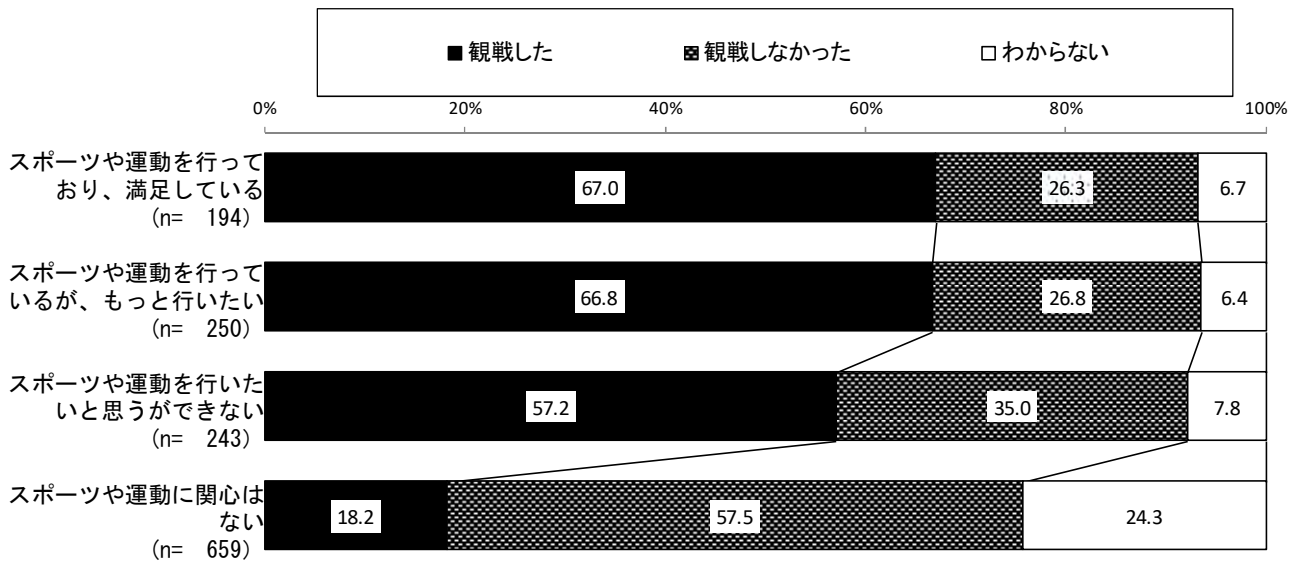


取組状況別にみると、「スポーツや運動を行っており、満足している」、「スポーツや運動を行っているが、もっと行いたい」において「観戦した」人の割合が高く、6割を超えた。また、「スポーツや運動を行いたいができない」において、「観戦した」人の割合が「観戦する予定がある」人の割合の2倍を超えた。【図表 170】【図表 171】

【図表 170】パラリンピック観戦の予定（大会前・取組状況別）



【図表 171】パラリンピック観戦の実績(大会後・取組状況別)



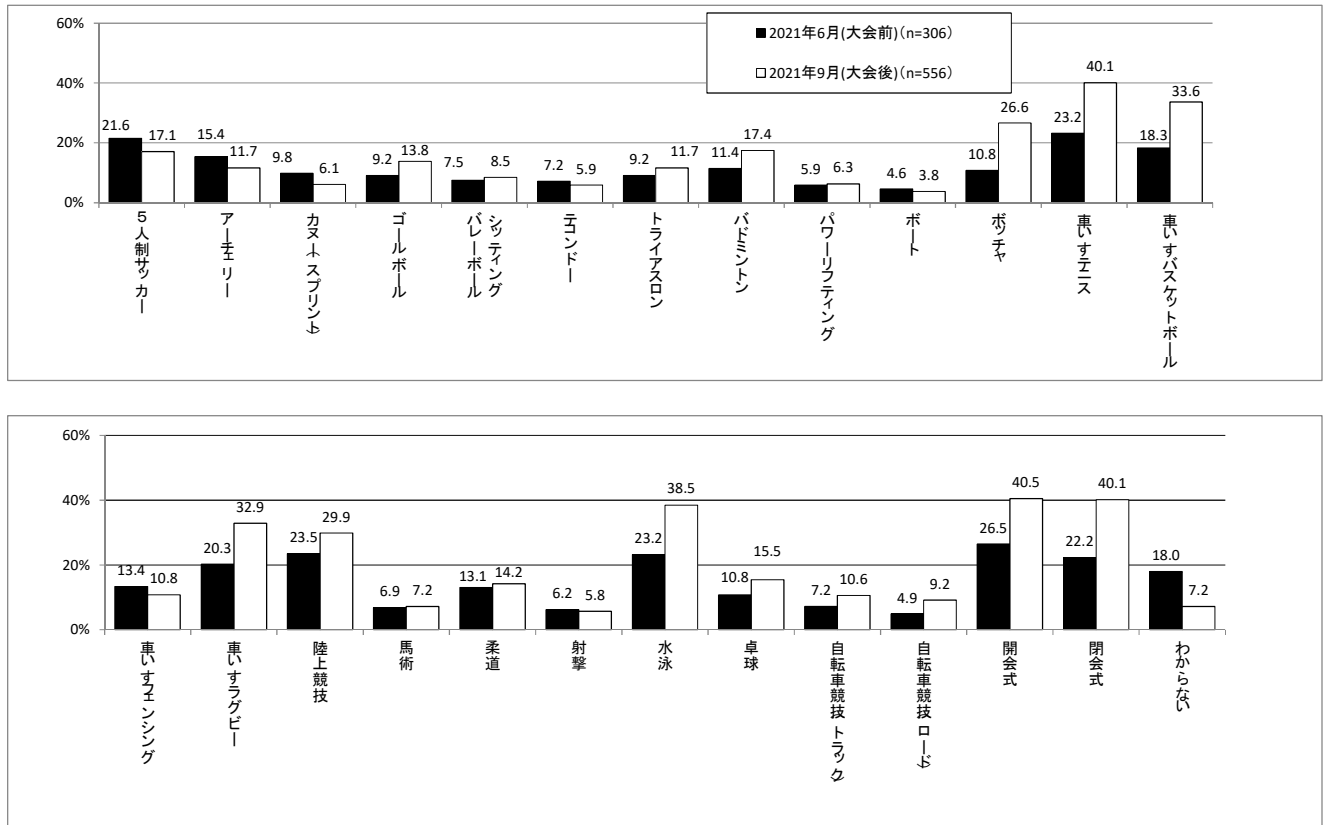
### (5)パラリンピックで観戦したい／した競技

パラリンピックで観戦したい競技についてみると、観戦の意向が高かったものから順に、「開会式」(26.5%)、「陸上競技」(23.5%)、「車いすテニス」「水泳」(23.2%)、「閉会式」(22.2%)、「5人制サッカー」(21.6%)であった。

また、実際に観戦した競技についてみると、「開会式」(40.5%)、「車いすテニス」「閉会式」(40.1%)、「水泳」(38.5%)、「車いすバスケットボール」(33.6%)、「車いすラグビー」(32.9%)の順であった。

【図表 172】

【図表 172】パラリンピックで観戦したい／した／競技[複数回答]



※本調査では、6月調査(大会前)において「現地やテレビなどで観戦したい(生中継や録画中継、ハイライト等に関心を持って見たい)」競技を、9月調査(大会後)において「テレビやインターネットなどで観戦したい(生中継や録画中継、ハイライト等に関心を持って見た)」競技を聞いた(以下、同様)。

障害種別にみると、観戦したい競技の割合は、「視覚障害」、「知的障害」では「5人制サッカー」、「肢体不自由」では「陸上競技」、「内部障害」では「車いすテニス」と「水泳」、「聴覚・平衡機能障害」、「音声・言語・そしゃく機能障害」、「精神障害」では「車いすラグビー」が最も高かった。【図表 173】

【図表 173】パラリンピックで観戦したい競技(大会前・障害種別)[複数回答]

(その1) (単位:%)

	n	5人制サッカー	アーチェリー	カヌー(スプリント)	ゴールボール	シットティングバレーボール	テコンドー	トライアスロン	バドミントン	パワーリフティング	ボート	ボッチャ	車いすテニス	車いすバスケット
視覚障害	36	41.7	19.4	19.4	13.9	11.1	11.1	8.3	11.1	8.3	5.6	19.4	16.7	11.1
聴覚・平衡機能障害	33	24.2	12.1	12.1	15.2	6.1	6.1	9.1	3.0	9.1	9.1	6.1	18.2	9.1
音声・言語・そしゃく機能障害	9	22.2	22.2	11.1	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0
肢体不自由	110	10.9	15.5	5.5	7.3	8.2	4.5	9.1	12.7	5.5	4.5	10.9	28.2	24.5
内部障害	55	34.5	23.6	12.7	12.7	10.9	10.9	14.5	21.8	9.1	9.1	10.9	36.4	21.8
知的障害	29	24.1	6.9	10.3	6.9	6.9	10.3	3.4	0.0	3.4	3.4	13.8	10.3	17.2
精神障害	58	20.7	13.8	13.8	13.8	8.6	13.8	12.1	13.8	3.4	3.4	13.8	20.7	19.0
その他	5	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0

(その2) (単位:%)

	n	車いすフェンシング	車いすラグビー	陸上競技	馬術	柔道	射撃	水泳	卓球	自転車競技(トラック)	自転車競技(ロード)	開会式	閉会式	わからない
視覚障害	36	22.2	33.3	16.7	13.9	13.9	16.7	22.2	5.6	5.6	2.8	19.4	11.1	2.8
聴覚・平衡機能障害	33	12.1	27.3	21.2	6.1	21.2	9.1	18.2	9.1	12.1	3.0	12.1	12.1	12.1
音声・言語・そしゃく機能障害	9	22.2	33.3	11.1	11.1	22.2	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1
肢体不自由	110	13.6	19.1	30.0	5.5	13.6	7.3	27.3	14.5	3.6	1.8	32.7	30.0	25.5
内部障害	55	12.7	21.8	29.1	10.9	20.0	10.9	36.4	21.8	12.7	10.9	43.6	34.5	10.9
知的障害	29	13.8	3.4	13.8	6.9	10.3	0.0	17.2	3.4	3.4	6.9	20.7	17.2	27.6
精神障害	58	12.1	24.1	20.7	8.6	10.3	1.7	15.5	1.7	13.8	10.3	20.7	19.0	13.8
その他	5	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	60.0	60.0	20.0

実際に観戦した競技の割合は、「視覚障害」では「5人制サッカー」、「肢体不自由」では「車いすテニス」、「聴覚・平衡機能障害」、「音声・言語・そしゃく機能障害」、「内部障害」では「水泳」、「知的障害」、「精神障害」では「車いすラグビー」が最も高かった。【図表 174】

【図表 174】パラリンピックで観戦した競技(大会後・障害種別)[複数回答]

(その1) (単位:%)

	n	5人制サッカー	アーチェリー	カヌー (スプリント)	ゴールボール	バレーボール バレーボール	テコンドー	トライアスロン	バドミントン	パワーリフティング	ボート	ボウチャー	車いすテニス	車いすバスケット
視覚障害	56	33.9	12.5	7.1	23.2	10.7	7.1	16.1	21.4	3.6	0.0	16.1	28.6	32.1
聴覚・平衡機能障害	60	20.0	16.7	6.7	15.0	11.7	10.0	15.0	13.3	3.3	5.0	25.0	33.3	20.0
音声・言語・そしゃく機能障害	18	5.6	16.7	16.7	11.1	5.6	16.7	0.0	22.2	5.6	0.0	16.7	27.8	22.2
肢体不自由	210	12.4	13.3	5.2	14.3	8.1	5.7	12.9	22.9	7.1	5.2	31.9	50.0	40.5
内部障害	114	19.3	9.6	7.0	19.3	10.5	5.3	13.2	17.5	7.0	6.1	27.2	43.0	37.7
知的障害	51	29.4	19.6	7.8	9.8	7.8	7.8	13.7	9.8	7.8	0.0	27.5	23.5	29.4
精神障害	96	17.7	11.5	7.3	8.3	12.5	6.3	9.4	13.5	11.5	5.2	25.0	28.1	28.1
その他	10	10.0	10.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	30.0	30.0	20.0

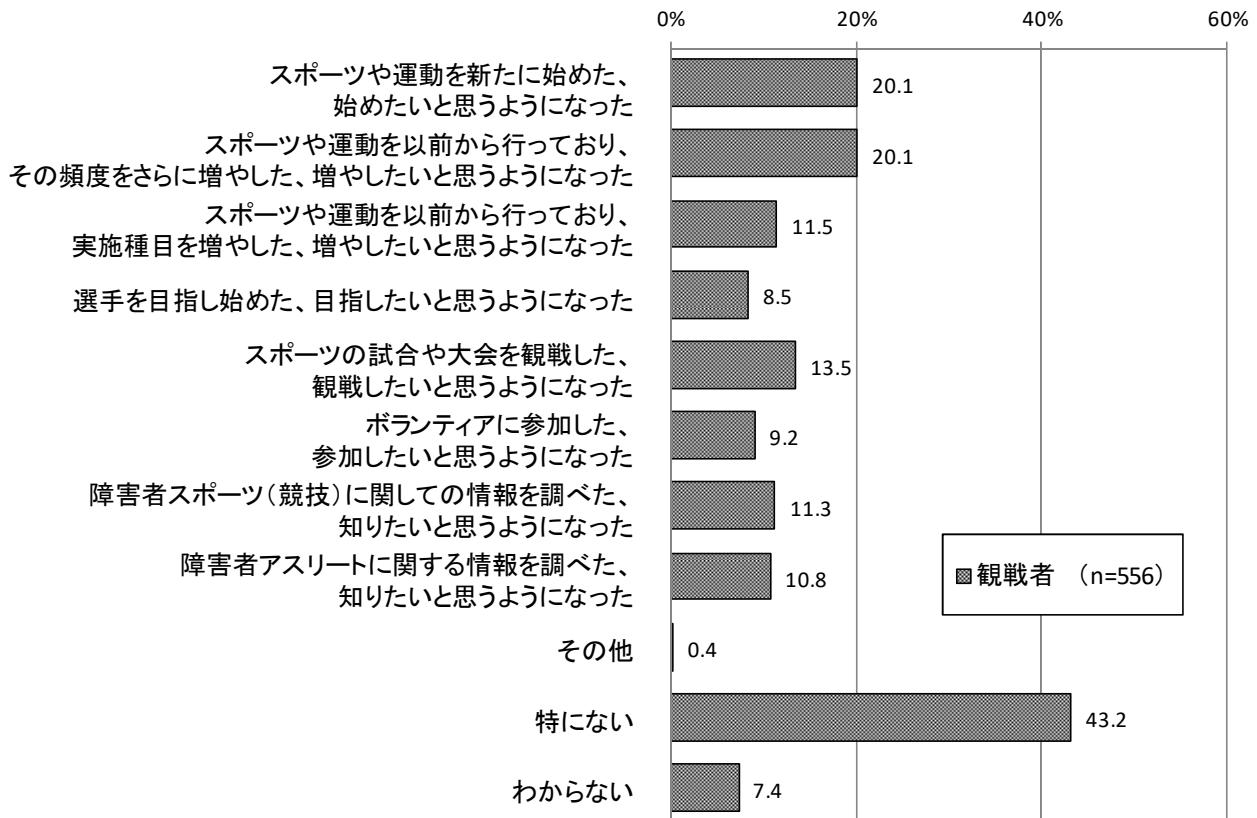
(その2) (単位:%)

	n	車いすフェンシング	車いすラグビー	陸上競技	馬術	柔道	射撃	水泳	卓球	自転車競技 (トラック)	自転車競技 (ロード)	開会式	閉会式	わからない
視覚障害	56	10.7	26.8	19.6	12.5	12.5	8.9	30.4	12.5	10.7	8.9	23.2	19.6	5.4
聴覚・平衡機能障害	60	20.0	31.7	28.3	6.7	18.3	1.7	38.3	11.7	16.7	11.7	36.7	38.3	8.3
音声・言語・そしゃく機能障害	18	0.0	11.1	16.7	11.1	11.1	5.6	38.9	16.7	5.6	11.1	16.7	16.7	5.6
肢体不自由	210	9.0	37.1	40.0	8.1	17.1	7.6	46.2	19.0	11.4	9.5	45.7	45.7	6.2
内部障害	114	14.0	36.8	30.7	8.8	11.4	7.9	44.7	17.5	10.5	11.4	49.1	50.0	5.3
知的障害	51	9.8	31.4	21.6	11.8	11.8	2.0	23.5	7.8	7.8	5.9	35.3	31.4	13.7
精神障害	96	11.5	30.2	18.8	6.3	16.7	8.3	29.2	14.6	9.4	8.3	30.2	30.2	11.5
その他	10	10.0	50.0	30.0	0.0	10.0	0.0	40.0	30.0	0.0	0.0	30.0	30.0	0.0

## (6)パラリンピック観戦後の変化・影響

パラリンピック観戦後の変化・影響については、「特にない」(43.2%)を除くと、「スポーツや運動を新たに始めた、始めたいと思うようになった」、「スポーツや運動を以前から行っており、その頻度をさらに増やした、増やしたいと思うようになった」(いずれも20.1%)が最も高く、次いで「スポーツの試合や大会を観戦した、観戦したいと思うようになった」(13.5%)が続いている。【図表 175】

【図表 175】パラリンピック観戦後の変化・影響[複数回答]



障害種別にみると、「聴覚・平衡機能障害」で、「スポーツや運動を新たに始めた、始めたいと思うようになった」、「スポーツや運動を以前から行っており、その頻度をさらに増やした、増やしたいと思うようになった」の割合が高く、3割を超えている。また、「視覚障害」では、「特にない」(21.4%)が他の区分と比べて低かった。【図表 176】

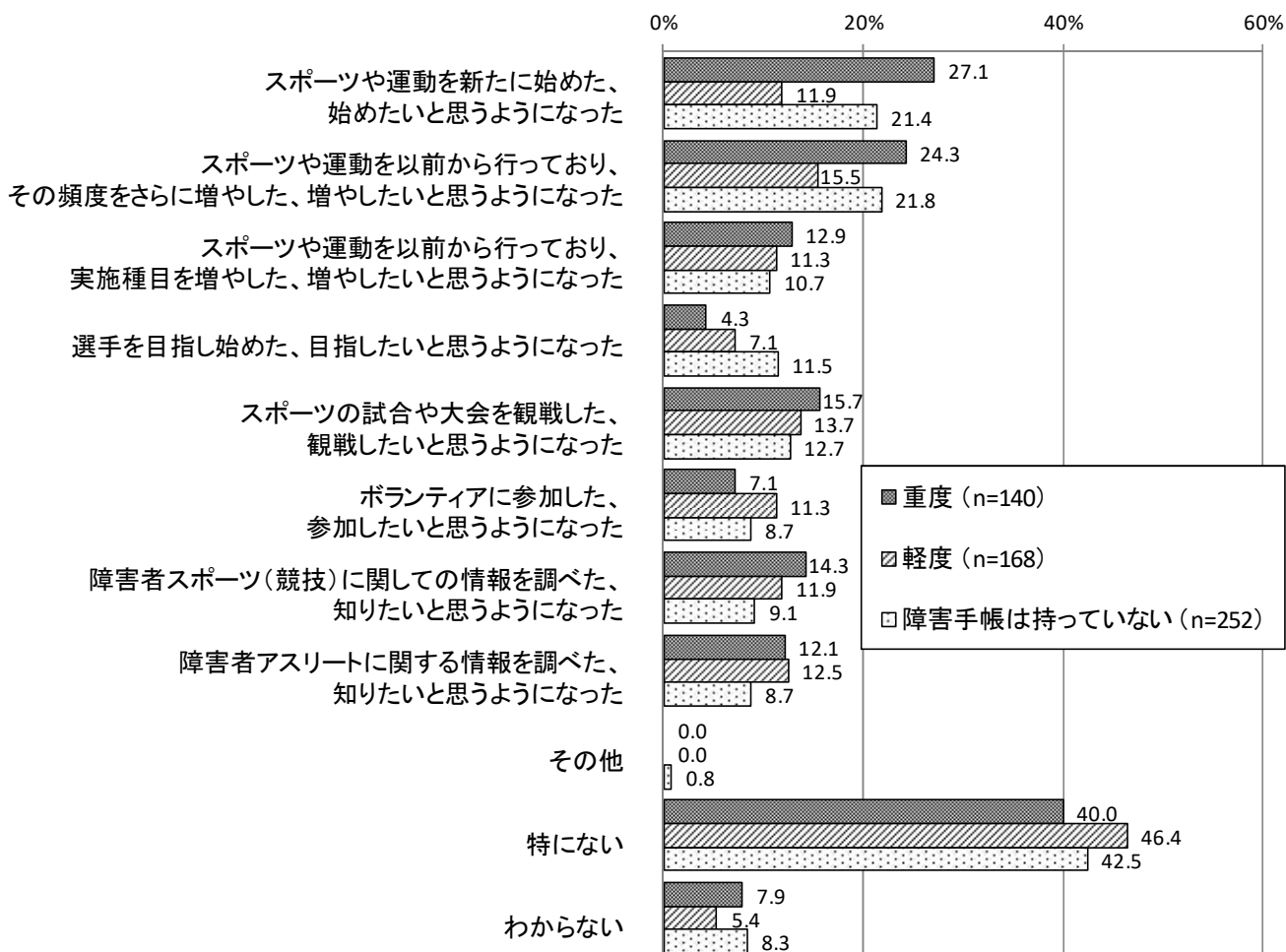
【図表 176】パラリンピック観戦後の変化・影響(障害種別)[複数回答]

(単位:%)

	n	始めたいと思うようになった	さらに増やした、増やしたいと思うようになった	増やした、増やしたいと思うようになった	選手を目指し始めた、目指したいと思うようになった	観戦したいと思うようになった	参加したいと思うようになった	ボランティアに参加した、参加したと思うようになった	知りたいと思うようになった	障害者スポーツ(競技)に関する情報を調べた、知っていたと思うようになった	障害者アスリートに関する情報を調べた、知っていたと思うようになった	その他	特にない	わからない
視覚障害	56	25.0	26.8	14.3	3.6	12.5	10.7	19.6	8.9	0.0	21.4	12.5		
聴覚・平衡機能障害	60	38.3	36.7	16.7	10.0	20.0	16.7	15.0	8.3	0.0	30.0	5.0		
音声・言語・そしゃく機能障害	18	11.1	22.2	5.6	16.7	5.6	5.6	5.6	11.1	0.0	38.9	5.6		
肢体不自由	210	15.7	16.2	9.5	6.7	13.3	9.5	13.3	13.3	0.5	52.4	6.2		
内部障害	114	18.4	17.5	11.4	13.2	11.4	7.0	11.4	9.6	0.9	48.2	9.6		
知的障害	51	21.6	19.6	13.7	9.8	9.8	3.9	3.9	7.8	0.0	37.3	9.8		
精神障害	96	20.8	24.0	14.6	7.3	20.8	13.5	10.4	13.5	0.0	35.4	4.2		

障害の程度別にみると、「重度」で「スポーツや運動を新たに始めた、始めたいと思うようになった」割合が高く、27.1%となっている。【図表 177】

【図表 177】パラリンピック観戦後の変化・影響(障害の程度別)[複数回答]



障害発生時の年齢別にみると、「中途障害」よりも「出生時」の方が「スポーツや運動を新たに始めた、始めたいと思うようになった」「スポーツや運動を以前から行っており、その頻度をさらに増やした、増やしたいと思うようになった」「スポーツや運動を以前から行っており、実施種目を増やした、増やしたいと思うようになった」のスポーツ実施に関する回答の割合が高かった。【図表 178】

【図表 178】パラリンピック観戦後の変化・影響(障害発生時の年齢別)[複数回答]

(単位:%)

	n	スポーツや運動を新たに始めた、始めたいと思うようになった	スポーツや運動を以前から行っており、その頻度をさらに増やした、増やしたいと思うようになった	スポーツや運動を以前から行っており、実施種目を増やした、増やしたいと思うようになった	選手を目指し始めた、目指したいと思うようになった	観戦したいと思うようになった	スポーツの試合や大会を観戦した、観戦したいと思うようになった	ボランティアに参加した、参加したいと思うようになった	障害者スポーツ(競技)に関しての情報を調べた、知りたいと思うようになった	障害者アスリートに関する情報を調べた、知りたいと思うようになった	その他	特になし	わからない
出生時	165	32.1	24.8	14.5	11.5	8.5	8.5	7.9	9.7	0.0	23.6	10.9	
10歳未満	48	18.8	29.2	10.4	8.3	18.8	4.2	6.3	6.3	0.0	31.3	6.3	
10歳～19歳	51	23.5	35.3	19.6	13.7	17.6	13.7	21.6	9.8	0.0	37.3	3.9	
20歳以上	292	13.0	13.4	8.6	5.8	14.7	9.6	12.3	12.3	0.7	57.2	6.2	
中途障害	391	15.1	18.2	10.2	7.2	15.6	9.5	12.8	11.3	0.5	51.4	5.9	

※「中途障害」は「10歳未満」、「10～19歳」、「20歳以上」の総和です。



### 3 まとめ（調査結果の概要）

- 週に1日以上スポーツ・運動を実施した人は35.4%、スポーツ・運動を実施していない人は45.9%  
週に1日以上、何らかのスポーツ・運動を実施した人は35.4%で、昨年度から3.5ポイント増加した。一方、スポーツ・運動を実施していない人は昨年度とほぼ同水準の45.9%で、1.3ポイントの減少であった。【図表 49】（P33 参照）
- 過去1年間に実施したスポーツ・運動の上位種目は、「ウォーキング、散歩」、「体操」、「室内運動器具を用いる運動」  
過去1年間にスポーツ・運動を実施した人が行った種目は、昨年度と同様、「ウォーキング、散歩」が77.2%と最も高く、次いで「体操」（27.7%）、「室内運動器具を用いる運動」（17.9%）であった。【図表 59】（P38 参照）
- スポーツ・運動を実施する場所は、「道路や遊歩道」、「自宅」、「広場や公園」  
スポーツ・運動を実施する場所は、「道路や遊歩道」が47.8%と最も高く、次いで「自宅」（46.2%）、「広場や公園」（29.9%）であった。昨年度と比べて、「自宅」は3.5ポイント上昇した。【図表 73】（P48 参照）
- スポーツ・運動を一緒に実施する人は、「一人」、「家族」、「福祉施設の職員・仲間」  
スポーツ・運動を一緒に実施する人は、昨年度と同様、「一人」が51.9%と最も高く、次いで「家族」（37.8%）、「福祉施設の職員・仲間」（15.4%）であった。昨年度と比べ、「一人」は6.7ポイント減少し、「家族」は5.4ポイント増加した。【図表 80】（P52 参照）
- スポーツ・運動を実施する理由は、「健康・体力づくりのため」、「運動不足解消のため」、「楽しみや気晴らしのため」  
スポーツ・運動を実施する理由は、「健康・体力づくりのため」が65.8%と最も高く、次いで「運動不足解消のため」（48.1%）、「楽しみや気晴らしのため」（39.8%）であった。「楽しみや気晴らしのため」は昨年度から2.4ポイント上昇した。【図表 87】（P56 参照）
- スポーツ・運動を実施しない理由は、「活動したいと思わない」、「活動したいが、身体的にできない」、「活動したいが、時間がない」  
スポーツ・運動を実施しない理由は、「活動したいと思わない」が77.0%と最も高く、次いで「活動したいが、身体的にできない」（13.9%）、「活動したいが、一緒にやる人がいない」（4.0%）となった。「活動したいと思わない」は昨年度から3.2ポイント上昇した【図表 94】（P60 参照）
- 全体の約半数の人がスポーツ・運動に関心がない  
現在のスポーツ・運動の取組に対して、「スポーツや運動に関心はない」との回答が49.0%で最も高く、次いで「スポーツや運動を行っているが、もっと行いたい」（18.6%）、「スポーツや運動を行いたいと思うができない」（18.1%）、「スポーツや運動を行っており、満足している」（14.4%）であった。  
昨年度と比べると、「スポーツや運動に関心はない」は3.8ポイント減少し、「スポーツや運動を行っており、満足している」は0.4ポイント低下した。【図表 101】（P64 参照）

- スポーツ・運動を行う際に必要と考える支援は「交通機関やまちのバリアフリー化」など様々  
 スポーツ・運動を行う際に必要と考える支援は、必要な支援があると回答した中では、「交通機関やまちのバリアフリー化」が12.4%と最も高く、次いで「スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化」(11.6%)、「会場までの送迎」(9.2%)、「適切な指導者」(8.7%)、「障害にあわせたプログラムの充実」(8.2%)と様々であった。【図表 110】(P69 参照)
- 新型コロナウイルス感染症による影響は、「感染の懸念から外出を控えたため、スポーツ・運動の機会が減った」と答えた人がもっとも多い  
 新型コロナウイルス感染症により、スポーツ・運動活動にどのような影響・変化があったかを尋ねたところ、「感染の懸念から外出を控えたため、スポーツ・運動の機会が減った」が43.0%と最も高く、次いで、「特に変化はない」(23.5%)、「感染の懸念から、一緒にスポーツ・運動していた仲間との集まりを控え、スポーツ・運動の機会が減った」(19.5%)、「スポーツ施設等において、休止や利用制限が設けられたことで、スポーツ・運動の機会が減った」(18.4%)となった。「機会が増えた」との回答は、この後に続く5位で、「自宅でスポーツ・運動する機会が増えた」(13.2%)であった。【図表 125】(P80 参照)
- 新型コロナウイルス感染症影響下で必要と考える支援は、「感染防止策が講じられ、安心してスポーツ・運動ができる場の確保」など  
 新型コロナウイルス感染症の影響下で、スポーツ・運動を行う際に必要な支援を尋ねたところ、「感染防止策が講じられ、安心してスポーツ・運動ができる場の確保、またはその充実」との回答が26.1%で最も高かった。次いで、「自宅でもできる、障害に応じたスポーツ・運動方法についての情報提供、またはその充実」(17.6%)、「スポーツ・運動をするうえで、個人でできる感染防止策の情報提供、またはその充実」(16.6%)、「リモートにより、障害に応じたスポーツ・運動を指導してくれる支援、またはその充実」(8.7%)、「コロナ禍における、スポーツ・運動活動に関する相談窓口の設置、またはその充実」(7.3%)であった。【図表 132】(P84 参照)
- オリンピック観戦の有無（新規設問）  
 オリンピックを「観戦する予定がある」人は30.5%であったが、実際に「観戦した」人は51.1%と20.6ポイント上昇した。【図表 140】(P89 参照)
- オリンピック観戦後の変化・影響（新規設問）  
 オリンピックを観戦した人に対し、観戦後の変化・影響を尋ねたところ、「特になし」(48.1%)を除くと、「スポーツや運動を以前から行っており、その頻度をさらに増やした、増やしたいと思うようになった」(18.0%)が最も高く、次いで、「スポーツや運動を新たに始めた、始めたいと思うようになった」(16.4%)、「スポーツの試合や大会を観戦した、観戦したいと思うようになった」(12.5%)が続いた。【図表 156】(P100 参照)
- パラリンピック観戦の有無（新規設問）  
 パラリンピックを「観戦する予定がある」人は23.4%であったが、実際に「観戦した」人は41.3%と17.9ポイント上昇した。【図表 160】(P104 参照)
- パラリンピック観戦後の変化・影響（新規設問）  
 パラリンピックを観戦した人に対し、観戦後の変化・影響を尋ねたところ、「特になし」(43.2%)を除くと、「スポーツや運動を新たに始めた、始めたいと思うようになった」、「スポーツや運動を以前から行っており、その頻度をさらに増やした、増やしたいと思うようになった」(いずれも20.1%)が最も高く、次いで「スポーツの試合や大会を観戦した、観戦したいと思うようになった」(13.5%)が続いた。【図表 175】(P113 参照)

## 参考文献・付録

## 参考文献

東京都, 『都民のスポーツ活動に関する実態調査』, 令和4年3月, 10p

スポーツ庁, 『障害者スポーツ推進プロジェクト(障害者のスポーツ参加促進に関する調査研究)』,  
令和3年3月, 16p, 31p

資料・調査設問

《予備調査(共通)》

分野	設問番号	設問																																																																																																												
属性	回答者性別 1	あなたの性別をお答えください。(当てはまるもの1つ) 1 □ 男性 2 □ 女性																																																																																																												
属性	回答者年齢 2	あなたの年齢をお答えください。 □ 歳																																																																																																												
属性	回答者居住地域 3	あなたの居住している区市町村をお答えください。 区市町村(プルダウンで選択) □																																																																																																												
属性	障害の有無 4	あなた、あるいはあなたが <b>同居する</b> ご家族で障害のある方はいますか。(当てはまるものすべて) ※障害者手帳の有無は問いません 1 □ あなたご自身 2 □ 配偶者 3 □ 父親 4 □ 母親 5 □ 兄弟 6 □ 姉妹 7 □ お子様 8 □ 上記の中で障害のある方はいない																																																																																																												
※以下の項目は、障害のある方それぞれについて、お答えください。 ※障害のある兄弟、姉妹、またはお子様が複数いる場合は、それぞれ <b>年齢が一歳上の方についてのみ</b> お答えください。																																																																																																														
属性	障害者の年齢 5	あなた、あるいは障害のある方の年齢をお答えください。(それぞれ数値をご記入ください) <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>ヨコへ回答</th> <th>年齢</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あなたご自身</td> <td>□ 歳</td> </tr> <tr> <td>配偶者</td> <td>□ 歳</td> </tr> <tr> <td>父親</td> <td>□ 歳</td> </tr> <tr> <td>母親</td> <td>□ 歳</td> </tr> <tr> <td>兄弟</td> <td>□ 歳</td> </tr> <tr> <td>姉妹</td> <td>□ 歳</td> </tr> <tr> <td>お子様</td> <td>□ 歳</td> </tr> </tbody> </table>	ヨコへ回答	年齢	あなたご自身	□ 歳	配偶者	□ 歳	父親	□ 歳	母親	□ 歳	兄弟	□ 歳	姉妹	□ 歳	お子様	□ 歳																																																																																												
ヨコへ回答	年齢																																																																																																													
あなたご自身	□ 歳																																																																																																													
配偶者	□ 歳																																																																																																													
父親	□ 歳																																																																																																													
母親	□ 歳																																																																																																													
兄弟	□ 歳																																																																																																													
姉妹	□ 歳																																																																																																													
お子様	□ 歳																																																																																																													
属性	障害者の性別 6	あなた、あるいは障害のある方の性別をお答えください。(当てはまるもの1つ) 1 □ 男性 2 □ 女性																																																																																																												
属性	障害種別 7	あなた、あるいはご家族で障害のある方の障害の種類をお答えください。(当てはまるものすべて) <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>ヨコへ回答</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> </tr> <tr> <td></td> <td>視覚障害</td> <td>聴覚・平衡機能障害</td> <td>そ音声・言語障害、</td> <td>肢体不自由(上肢)</td> <td>肢体不自由(下肢)</td> <td>肢体不自由(体幹)</td> <td>(脳性不随意運動機能障害※)</td> <td>内部障害</td> <td>知的障害</td> <td>精神障害</td> <td>その他</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あなたご自身</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>配偶者</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>父親</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>母親</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>兄弟</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>姉妹</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>お子様</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※脳性まひによる脳病変上肢機能障害、脳病変移動機能障害など</p>	ヨコへ回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		視覚障害	聴覚・平衡機能障害	そ音声・言語障害、	肢体不自由(上肢)	肢体不自由(下肢)	肢体不自由(体幹)	(脳性不随意運動機能障害※)	内部障害	知的障害	精神障害	その他	あなたご自身												配偶者												父親												母親												兄弟												姉妹												お子様											
ヨコへ回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11																																																																																																			
	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	そ音声・言語障害、	肢体不自由(上肢)	肢体不自由(下肢)	肢体不自由(体幹)	(脳性不随意運動機能障害※)	内部障害	知的障害	精神障害	その他																																																																																																			
あなたご自身																																																																																																														
配偶者																																																																																																														
父親																																																																																																														
母親																																																																																																														
兄弟																																																																																																														
姉妹																																																																																																														
お子様																																																																																																														
属性	障害種別 7-1	問7で、選択肢4, 5, 6, 7のうち1つ以上該当した方にお聞きます 該当する方は日常生活で車いすを必要としていますか。(それぞれ当てはまるもの1つ) <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>ヨコへ回答</th> <th>必要とする</th> <th>必要としない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あなたご自身</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>配偶者</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>父親</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>母親</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>兄弟</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>姉妹</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>お子様</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	ヨコへ回答	必要とする	必要としない	あなたご自身			配偶者			父親			母親			兄弟			姉妹			お子様																																																																																						
ヨコへ回答	必要とする	必要としない																																																																																																												
あなたご自身																																																																																																														
配偶者																																																																																																														
父親																																																																																																														
母親																																																																																																														
兄弟																																																																																																														
姉妹																																																																																																														
お子様																																																																																																														

《本調査(R3.6月実施分)》

分野	設問番号	設問
障害のある( )についてお伺いします。		
(属性)	障害者手帳の有無 1	<p>障害のある( )は障害者手帳をお持ちですか。(当てはまるものすべて)</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 身体障害者手帳 1級</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 身体障害者手帳 2級</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 身体障害者手帳 3級</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 身体障害者手帳 4級</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 身体障害者手帳 5級</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 身体障害者手帳 6級</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 療育手帳(愛の手帳)1度(最重度)</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 療育手帳(愛の手帳)2度(重度)</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 療育手帳(愛の手帳)3度(中度)</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 療育手帳(愛の手帳)4度(軽度)</p> <p>11 <input type="checkbox"/> 精神障害者保健福祉手帳 1級</p> <p>12 <input type="checkbox"/> 精神障害者保健福祉手帳 2級</p> <p>13 <input type="checkbox"/> 精神障害者保健福祉手帳 3級</p> <p>14 <input type="checkbox"/> 障害者手帳は持っていない</p>
(属性)	受傷の時期 2	<p>障害のある( )は何歳から障害がありますか。複数の障害がある方は、最初に障害が発生した年齢をお答えください。(当てはまるもの1つ)</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 出生時</p> <p>2 <input type="checkbox"/> <input type="text"/> 歳のとき</p>
アンケート	仕事の有無 3	<p>障害のある( )は、この1年間に収入を伴う仕事をしていたか。(当てはまるもの1つ)</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 仕事をしている</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 仕事をしていない</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 福祉的就労をしている(就労移行支援、就労継続支援A型・B型、就労定着支援)</p>
アンケート	平日過ごす場所 4	<p>障害のある( )は、この1年間に平日の日の中、主にどこで過ごしていましたか。(当てはまるもの1つ)</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 自分の家</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 職場(一般企業など)</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 職場(福祉的就労(就労移行支援、就労継続支援A型・B型、就労定着支援)の施設)</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 学校</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 通所施設(生活介護、デイケアなど)</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 入所施設</p> <p>7 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/></p>
アンケート	情報入手先 5	<p>障害のある( )は、日頃、どこからスポーツ・運動にかかる情報を得ていますか。(当てはまるものすべて)</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 家族や友人</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 学校や職場、施設の人</p> <p>3 <input type="checkbox"/> ボランティア、ヘルパーなどの支援者</p> <p>4 <input type="checkbox"/> テレビやラジオ</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 新聞</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 区市町村などの広報誌</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 障害者団体の会合や機関誌</p> <p>8 <input type="checkbox"/> インターネット</p> <p>9 <input type="checkbox"/> SNS(ツイッター、フェイスブック、インスタグラムなど)</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 行政の窓口</p> <p>11 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/></p> <p>12 <input type="checkbox"/> わからない</p>
アンケート	過去1年間の実施種目 6	<p>障害のある( )は、この1年間にスポーツや運動を行いましたか。(当てはまるものすべて)</p> <p>※ なお、ここでいう「スポーツ」や「運動」には、ルールに基づいて勝敗や記録を競うスポーツや運動だけでなく、散歩、体操をはじめ、健康づくりのために、目的を持って自主的に行う身体活動を広く含めます。</p> <p>1 <input type="checkbox"/> ウォーキング、散歩(散歩、ペットの散歩など)</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 体操(ラジオ体操、職場体操、ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、縄跳びなど)</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 室内運動器具(ウエイト器具、ランニングマシン、バランスボールなど)を用いる運動</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 陸上競技(ランニング、ジョギングなどの軽い運動も含めます)</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 水泳・遊泳(水中歩行・水中運動)</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 球技(キャッチボールなどのボールを使った軽い運動も含めます)</p> <p>7 <input type="checkbox"/> ダンス(フォークダンス、ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、民謡踊りなど)</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 格闘技(ボクシング、レスリング、相撲など)</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 武道(柔道、剣道、空手、合気道など)</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 射的(弓道、アーチェリー、ダーツ、スポーツ吹矢など)</p> <p>11 <input type="checkbox"/> ウィンタースポーツ(スキー、スノーボード、スケートなど)</p> <p>12 <input type="checkbox"/> ウォータースポーツ(ボート、ヨット、スキndaイビング、スクーバダイビング、カヌー、水上バイク、サーフィン、ウインドサーフィン、ボディボード、ボードセーリングなど)</p> <p>13 <input type="checkbox"/> スカイスポーツ(ハングライダー、パラグライダー、スカイダイビングなど)</p> <p>14 <input type="checkbox"/> アウトドアスポーツ(ハイキング、ワンダーフォーゲル、釣り、登山、キャンプなど)</p> <p>15 <input type="checkbox"/> サイクリング、モーター(サイクル)スポーツ</p> <p>16 <input type="checkbox"/> ブラインドサッカー</p> <p>17 <input type="checkbox"/> 車いすテニス</p> <p>18 <input type="checkbox"/> サウンドテーブルテニス</p> <p>19 <input type="checkbox"/> シットイングバレーボール</p> <p>20 <input type="checkbox"/> 車いすバスケットボール</p> <p>21 <input type="checkbox"/> 車いすラグビー</p> <p>22 <input type="checkbox"/> ボッチャ</p> <p>23 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/></p> <p>24 <input type="checkbox"/> 特になし</p>
アンケート	実施頻度(1年間) 7	<p>障害のある( )のスポーツや運動を実施した日数を全部足し合わせると、この1年間にどの程度の頻度で行っていますか。(当てはまるもの1つ)</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 週3日以上(年151日以上)</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 週2日程度(年101日～150日)</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 週1日程度(年51日～100日)</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 月に1～3日程度(年12日～50日)</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 3か月に1.2日程度(年4日～11日)</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 年に1～3日程度</p> <p>7 <input type="checkbox"/> わからない</p>
アンケート	実施した場所 8	<p>障害のある( )がスポーツや運動を行った場所はどこですか。(当てはまるものすべて)</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 自宅</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 道路や遊歩道</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 広場や公園</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 民間のスポーツ施設</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 公共のスポーツ施設(障害者専用施設)</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 公共のスポーツ施設(障害者専用施設以外)</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 小中高校の体育施設</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 特別支援学校の体育施設</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 職場のスポーツ施設</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 福祉施設</p> <p>11 <input type="checkbox"/> 医療機関</p> <p>12 <input type="checkbox"/> 山・川・海</p> <p>13 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/></p> <p>14 <input type="checkbox"/> わからない</p>

アンケート	一緒に実施する人	9	<p>障害のある( )がスポーツや運動と一緒にするのは誰ですか。(当てはまるものすべて)</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 一人</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 家族</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 福祉施設の職員・仲間</p> <p>4 <input type="checkbox"/> スポーツ教室の指導者・仲間</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 地域の公共スポーツ施設の職員・仲間</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 障害者専用スポーツ施設の職員・仲間</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 障害がある人のサークル・障害者スポーツサークル等の仲間</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 障害がある人やない人など様々な人がいるサークルの仲間</p> <p>9 <input type="checkbox"/> ボランティアの人たち</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 学校の先生や学校の友達</p> <p>11 <input type="checkbox"/> その他の友人・知人</p> <p>12 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/></p> <p>13 <input type="checkbox"/> わからない</p>
アンケート	実施した理由	10	<p>障害のある( )が、スポーツや運動をしたのはどのような理由からですか。(当てはまるものすべて)</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 健康・体力づくりのため</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 楽しみや気晴らしのため</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 運動不足解消のため</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 精神の修養や訓練のため</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 自己の記録や能力を向上させるため</p> <p>6 <input type="checkbox"/> リハビリテーションや医療・治療のため</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 家族のふれあいのため</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 友人・仲間との交流のため</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 美容や肥満解消のため</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 障害者スポーツ大会に参加するため</p> <p>11 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/></p> <p>12 <input type="checkbox"/> わからない</p>
アンケート	実施していない理由	11	<p>障害のある( )が、スポーツや運動を行っていないのはどのような理由からですか。(当てはまるものすべて)</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 活動したいが、身体的にできない</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 活動したいが、身近なところにスポーツや運動がやれる場所がない</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 活動したいが、自分に合ったスポーツや運動の情報が無い</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 活動したいが、一緒にやる人がいない</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 活動したいが、時間がない</p> <p>6 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/></p> <p>7 <input type="checkbox"/> 活動したいと思わない</p>
アンケート	コロナによる影響	12	<p>新型コロナウイルス感染症により、障害のある( )のスポーツ・運動活動に、どのような影響・変化がありましたか。(当てはまるものすべて)</p> <p>《機会の減》</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 感染の懸念から外出を控えたため、スポーツ・運動の機会が減った</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 感染の懸念から、一緒にスポーツ・運動していた仲間との集まりを控え、スポーツ・運動の機会が減った</p> <p>3 <input type="checkbox"/> スポーツ施設等において、休止や利用制限が設けられたことで、スポーツ・運動の機会が減った</p> <p>4 <input type="checkbox"/> スポーツ・運動教室等において、休止や利用制限が設けられたことで、スポーツ・運動の機会が減った</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 平日の日中過ごしている、自宅以外の場所(職場、学校、福祉施設等)での活動状況が変わることで、スポーツ・運動の機会が減った</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 自宅でスポーツ・運動する機会が増えた</p> <p>《機会の増》</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 自宅でスポーツ・運動する機会が増えた</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 道路や遊歩道でスポーツ・運動する機会が増えた</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 広場や公園でスポーツ・運動する機会が増えた</p> <p>9 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/></p> <p>10 <input type="checkbox"/> 特に変化はない</p>
アンケート	必要な支援	13	<p>障害のある( )が、スポーツや運動を行う際に必要な支援は何ですか。特に、現在不足していて、今後活動する際に必要だと思われる支援をお答えください。(上位3つまで) ※新型コロナウイルス感染症の影響下で必要だと感じた支援については、問15で回答ください。</p> <p>1 <input type="checkbox"/> スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 交通機関やまちのバリアフリー化</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 会場までの送迎</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 障害者への施設開放の促進</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 障害にあわせたプログラムの充実</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 介助者や手話通訳などの支援</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 施設や用具等を利用する際に必要な手続きの支援</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 障害や障害者、補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)などに対する理解促進</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 適切な指導者</p> <p>11 <input type="checkbox"/> 一緒に行う仲間</p> <p>12 <input type="checkbox"/> スポーツ用具等の貸出し</p> <p>13 <input type="checkbox"/> 施設の利用料減免</p> <p>14 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/></p> <p>15 <input type="checkbox"/> 特になし</p> <p>16 <input type="checkbox"/> 活動したいと思わない</p> <p>17 <input type="checkbox"/> わからない</p>
アンケート	必要な支援	14	<p>問13で選択した支援の内、もっとも必要な支援をお答えください。</p> <p>1 <input type="checkbox"/> ●●●●●●●●●●</p> <p>2 <input type="checkbox"/> ●●●●●●●●●●</p> <p>3 <input type="checkbox"/> ●●●●●●●●●●</p>
アンケート	必要な支援(コロナ影響下)	15	<p>新型コロナウイルス感染症の影響下で、障害のある( )が、スポーツや運動を行う際に必要だと思う支援は何ですか。(当てはまるものすべて)</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 感染防止策が講じられ、安心してスポーツ・運動ができる場の確保、またはその充実</p> <p>2 <input type="checkbox"/> スポーツ・運動をするうえで、個人でできる感染防止策の情報提供、またはその充実</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 自宅でもできる、障害に応じたスポーツ・運動方法についての情報提供、またはその充実</p> <p>4 <input type="checkbox"/> リモートにより、障害に応じたスポーツ・運動を指導してくれる支援、またはその充実</p> <p>5 <input type="checkbox"/> コロナ禍における、スポーツ・運動活動に関する相談窓口の設置、またはその充実</p> <p>6 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/></p> <p>7 <input type="checkbox"/> 特になし</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 活動したいと思わない</p> <p>9 <input type="checkbox"/> わからない</p>

		Q16～Q19では、東京2020オリンピックとパラリンピックのそれぞれについて、観戦意向、観戦予定競技をお伺いします。	
アンケート	オリンピックの観戦調査	16	<p>障害のある( )は、東京2020オリンピックを観戦する予定ですか。</p> <p>※現地での観戦、テレビでの観戦等の観戦方法は問わない。</p> <p>1 <input type="checkbox"/> はい</p> <p>2 <input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>3 <input type="checkbox"/> わからない</p>
アンケート	オリンピックの観戦調査	17	<p>障害のある( )が、東京2020オリンピックで「現地やテレビなどで観戦したい(生中継や録画中継、ハイライト等で関心を持って見たい)」ものはどれですか。(当てはまるものすべて)</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 3x3 バasketボール</p> <p>2 <input type="checkbox"/> アーチェリー</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 体操競技</p> <p>4 <input type="checkbox"/> アーティスティックスイミング</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 陸上競技</p> <p>6 <input type="checkbox"/> バドミントン</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 野球・ソフトボール</p> <p>8 <input type="checkbox"/> バasketボール</p> <p>9 <input type="checkbox"/> ビーチバレーボール</p> <p>10 <input type="checkbox"/> ボクシング</p> <p>11 <input type="checkbox"/> カヌー(スラローム)</p> <p>12 <input type="checkbox"/> カヌー(スプリント)</p> <p>13 <input type="checkbox"/> 自転車競技(BMXレーシング)</p> <p>14 <input type="checkbox"/> 自転車競技(マウンテンバイク)</p> <p>15 <input type="checkbox"/> 自転車競技(ロード)</p> <p>16 <input type="checkbox"/> 自転車競技(BMXフリースタイル)</p> <p>17 <input type="checkbox"/> 自転車競技(トラック)</p> <p>17 <input type="checkbox"/> 飛込</p> <p>18 <input type="checkbox"/> 馬術</p> <p>20 <input type="checkbox"/> フェンシング</p> <p>21 <input type="checkbox"/> サッカー</p> <p>22 <input type="checkbox"/> ゴルフ</p> <p>23 <input type="checkbox"/> ハンドボール</p> <p>24 <input type="checkbox"/> ホッケー</p> <p>25 <input type="checkbox"/> 柔道</p> <p>26 <input type="checkbox"/> 空手</p> <p>27 <input type="checkbox"/> マラソンスイミング</p> <p>28 <input type="checkbox"/> 近代五種</p> <p>29 <input type="checkbox"/> 新体操</p> <p>30 <input type="checkbox"/> ボート</p> <p>31 <input type="checkbox"/> ラグビー</p> <p>32 <input type="checkbox"/> セーリング</p> <p>33 <input type="checkbox"/> 射撃</p> <p>34 <input type="checkbox"/> スケートボード</p> <p>35 <input type="checkbox"/> スポーツクライミング</p> <p>36 <input type="checkbox"/> サーフィン</p> <p>37 <input type="checkbox"/> 競泳</p> <p>38 <input type="checkbox"/> 卓球</p> <p>39 <input type="checkbox"/> テコンドー</p> <p>40 <input type="checkbox"/> テニス</p> <p>41 <input type="checkbox"/> トランポリン</p> <p>42 <input type="checkbox"/> トライアスロン</p> <p>43 <input type="checkbox"/> バレーボール</p> <p>44 <input type="checkbox"/> 水球</p> <p>45 <input type="checkbox"/> ウエイトリフティング</p> <p>46 <input type="checkbox"/> レスリング</p> <p>47 <input type="checkbox"/> 開会式</p> <p>48 <input type="checkbox"/> 閉会式</p> <p>49 <input type="checkbox"/> わからない</p>
アンケート	パラリンピックの観戦調査	18	<p>障害のある( )は、東京2020パラリンピックを観戦する予定ですか。</p> <p>※現地での観戦、テレビでの観戦等の観戦方法は問わない。</p> <p>1 <input type="checkbox"/> はい</p> <p>2 <input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>3 <input type="checkbox"/> わからない</p>
アンケート	パラリンピックの観戦調査	19	<p>障害のある( )が、東京2020パラリンピックで「現地やテレビなどで観戦したい(生中継や録画中継、ハイライト等で関心を持って見たい)」ものはどれですか。(当てはまるものすべて)</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 5人制サッカー</p> <p>2 <input type="checkbox"/> アーチェリー</p> <p>3 <input type="checkbox"/> カヌー(スプリント)</p> <p>4 <input type="checkbox"/> ゴールボール</p> <p>5 <input type="checkbox"/> シットティングバレーボール</p> <p>6 <input type="checkbox"/> テコンドー</p> <p>7 <input type="checkbox"/> トライアスロン</p> <p>8 <input type="checkbox"/> バドミントン</p> <p>9 <input type="checkbox"/> パワーリフティング</p> <p>10 <input type="checkbox"/> ボート</p> <p>11 <input type="checkbox"/> ボッチャ</p> <p>12 <input type="checkbox"/> 車いすテニス</p> <p>13 <input type="checkbox"/> 車いすバスケボール</p> <p>14 <input type="checkbox"/> 車いすフェンシング</p> <p>15 <input type="checkbox"/> 車いすラグビー</p> <p>16 <input type="checkbox"/> 陸上競技</p> <p>17 <input type="checkbox"/> 馬術</p> <p>18 <input type="checkbox"/> 柔道</p> <p>19 <input type="checkbox"/> 射撃</p> <p>20 <input type="checkbox"/> 水泳</p> <p>21 <input type="checkbox"/> 卓球</p> <p>22 <input type="checkbox"/> 自転車競技(トラック)</p> <p>23 <input type="checkbox"/> 自転車競技(ロード)</p> <p>24 <input type="checkbox"/> 開会式</p> <p>25 <input type="checkbox"/> 閉会式</p> <p>26 <input type="checkbox"/> わからない</p>



アンケート	関心	20	障害のある( )の現在のスポーツや運動への取組について、最も近いものを選んでください。(当てはまるもの1つ) 1 □ スポーツや運動を行っており、満足している 2 □ スポーツや運動を行っているが、もっと行いたい 3 □ スポーツや運動を行いたいと思うができない 4 □ スポーツや運動に関心はない
アンケート	関心	21	問20の回答理由を具体的にお答えください。 <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>
アンケート	関心	22	問11で、スポーツや運動を行わない理由について、「活動したいと思わない」とお答えいただきましたが、その理由を具体的にお答えください。 <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>

《本調査(R3.9月実施分)》

分野	設問番号	設問
(設問番号1～15はR3.6月実施分と同一であるため、省略)		
Q16～Q21では、東京2020オリンピックとパラリンピックのそれぞれについて、観戦有無、観戦競技、観戦がスポーツ・運動活動に与えた変化・影響をお伺いします。		
アンケート	オリンピックの観戦調査	16
		障害のある( )は、東京2020オリンピックを観戦しましたか。 ※テレビでの観戦、インターネットでの観戦等の観戦方法は問わない。 1 □ はい 2 □ いいえ 3 □ わからない
アンケート	オリンピックの観戦調査	17
		障害のある( )が、東京2020オリンピックで「テレビやインターネットなどで観戦した(生中継や録画中継、ハイライト等で関心を持って見た)」ものはどれですか。(当てはまるものすべて) 1 □ 3x3 バasketボール 2 □ アーチェリー 3 □ 体操競技 4 □ アーティスティックスイミング 5 □ 陸上競技 6 □ バドミントン 7 □ 野球・ソフトボール 8 □ Basketball 9 □ ビーチバレーボール 10 □ ボクシング 11 □ カヌー(スラローム) 12 □ カヌー(スプリント) 13 □ 自転車競技(BMXレーシング) 14 □ 自転車競技(マウンテンバイク) 15 □ 自転車競技(ロード) 16 □ 自転車競技(BMXフリースタイル) 17 □ 自転車競技(トラック) 17 □ 飛込 18 □ 馬術 20 □ フェンシング 21 □ サッカー 22 □ ゴルフ 23 □ ハンドボール 24 □ ホッケー 25 □ 柔道 26 □ 空手 27 □ マラソンスイミング 28 □ 近代五種 29 □ 新体操 30 □ ボート 31 □ ラグビー 32 □ セーリング 33 □ 射撃 34 □ スケートボード 35 □ スポーツクライミング 36 □ サーフィン 37 □ 競泳 38 □ 卓球 39 □ テコンドー 40 □ テニス 41 □ トランポリン 42 □ トライアスロン 43 □ バレーボール 44 □ 水球 45 □ ウエイトリフティング 46 □ レスリング 47 □ 開会式 48 □ 閉会式 49 □ わからない

アンケート	オリンピック大会 観戦による影響	<p>18 東京2020オリンピックの観戦により、障害のある( )のスポーツ・運動活動にどのような変化・影響がありましたか。 (当てはまるものすべて) ※オリンピック観戦後の影響をお答えください。</p> <p>1 <input type="checkbox"/> スポーツや運動を新たに始めた、始めたいと思うようになった</p> <p>2 <input type="checkbox"/> スポーツや運動を以前から行っており、その頻度をさらに増やした、増やしたいと思うようになった</p> <p>3 <input type="checkbox"/> スポーツや運動を以前から行っており、実施種目を増やした、増やしたいと思うようになった</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 選手を目指し始めた、目指したいと思うようになった</p> <p>5 <input type="checkbox"/> スポーツの試合や大会を観戦した、観戦したいと思うようになった</p> <p>6 <input type="checkbox"/> ボランティアに参加した、参加したいと思うようになった</p> <p>7 <input type="checkbox"/> スポーツ(競技)に関しての情報を調べた、知りたいと思うようになった</p> <p>8 <input type="checkbox"/> アスリートに関する情報を調べた、知りたいと思うようになった</p> <p>9 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/></p> <p>10 <input type="checkbox"/> 特にない</p> <p>11 <input type="checkbox"/> わからない</p>
アンケート	パラリンピックの 観戦調査	<p>19 障害のある( )は、東京2020パラリンピックを観戦しましたか。 ※テレビでの観戦、インターネットでの観戦等の観戦方法は問わない。</p> <p>1 <input type="checkbox"/> はい</p> <p>2 <input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>3 <input type="checkbox"/> わからない</p>
アンケート	パラリンピックの 観戦調査	<p>20 障害のある( )が、東京2020パラリンピックでテレビやインターネットなどで観戦した(生中継や録画中継、ハイライト等で関心を 持って見た)ものはどれですか。(当てはまるものすべて)</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 5人制サッカー</p> <p>2 <input type="checkbox"/> アーチェリー</p> <p>3 <input type="checkbox"/> カヌー(スプリント)</p> <p>4 <input type="checkbox"/> ゴールボール</p> <p>5 <input type="checkbox"/> シットイングバレーボール</p> <p>6 <input type="checkbox"/> テコンドー</p> <p>7 <input type="checkbox"/> トライアスロン</p> <p>8 <input type="checkbox"/> バドミントン</p> <p>9 <input type="checkbox"/> パワーリフティング</p> <p>10 <input type="checkbox"/> ボート</p> <p>11 <input type="checkbox"/> ボッチャ</p> <p>12 <input type="checkbox"/> 車いすテニス</p> <p>13 <input type="checkbox"/> 車いすバスケットボール</p> <p>14 <input type="checkbox"/> 車いすフencing</p> <p>15 <input type="checkbox"/> 車いすラグビー</p> <p>16 <input type="checkbox"/> 陸上競技</p> <p>17 <input type="checkbox"/> 馬術</p> <p>18 <input type="checkbox"/> 柔道</p> <p>19 <input type="checkbox"/> 射撃</p> <p>20 <input type="checkbox"/> 水泳</p> <p>21 <input type="checkbox"/> 卓球</p> <p>22 <input type="checkbox"/> 自転車競技(トラック)</p> <p>23 <input type="checkbox"/> 自転車競技(ロード)</p> <p>24 <input type="checkbox"/> 開会式</p> <p>25 <input type="checkbox"/> 閉会式</p> <p>26 <input type="checkbox"/> わからない</p>
アンケート	パラリンピック大会 観戦による影響	<p>21 東京2020パラリンピックの観戦により、障害のある( )のスポーツ・運動活動にどのような変化・影響がありましたか。 (当てはまるものすべて) ※パラリンピック観戦後の影響をお答えください。</p> <p>1 <input type="checkbox"/> スポーツや運動を新たに始めた、始めたいと思うようになった</p> <p>2 <input type="checkbox"/> スポーツや運動を以前から行っており、その頻度をさらに増やした、増やしたいと思うようになった</p> <p>3 <input type="checkbox"/> スポーツや運動を以前から行っており、実施種目を増やした、増やしたいと思うようになった</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 選手を目指し始めた、目指したいと思うようになった</p> <p>5 <input type="checkbox"/> スポーツの試合や大会を観戦した、観戦したいと思うようになった</p> <p>6 <input type="checkbox"/> ボランティアに参加した、参加したいと思うようになった</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 障害者スポーツ(競技)に関しての情報を調べた、知りたいと思うようになった</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 障害者アスリートに関する情報を調べた、知りたいと思うようになった</p> <p>9 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/></p> <p>10 <input type="checkbox"/> 特にない</p> <p>11 <input type="checkbox"/> わからない</p>
アンケート	関心	<p>22 障害のある( )の現在のスポーツや運動への取組について、最も近いものを選んでください。(当てはまるもの1つ)</p> <p>1 <input type="checkbox"/> スポーツや運動を行っており、満足している</p> <p>2 <input type="checkbox"/> スポーツや運動を行っているが、もっと行いたい</p> <p>3 <input type="checkbox"/> スポーツや運動を行いたいと思うができない</p> <p>4 <input type="checkbox"/> スポーツや運動に関心はない</p>
アンケート	関心	<p>23 問22の回答理由を具体的にお答えください。</p> <div data-bbox="347 1525 882 1615" style="border: 1px solid black; height: 40px;"></div>
アンケート	関心	<p>24 問11で、スポーツや運動を行わない理由について、「活動したいと思わない」とお答えいただきましたが、その理由を具体的にお答えください。</p> <div data-bbox="347 1659 882 1749" style="border: 1px solid black; height: 40px;"></div>

【資料】単純集計

《予備調査》

1 あなたの性別をお答えください。(当てはまるもの1つ)

		R3.6月		R3.9月	
		回答数	%	回答数	%
全体		1,009	100.0	1,011	100.0
1	男性	554	54.9	602	59.5
2	女性	455	45.1	409	40.5

2 あなたの年齢をお答えください。

		R3.6月		R3.9月	
		回答数	%	回答数	%
全体		1,009	100.0	1,011	100.0
1	18歳～19歳	8	0.8	6	0.6
2	20歳代	170	16.8	149	14.7
3	30歳代	189	18.7	201	19.9
4	40歳代	166	16.5	185	18.3
5	50歳代	174	17.2	173	17.1
6	60歳代	169	16.7	179	17.7
7	70歳以上	133	13.2	118	11.7

3 居住している区市町村をお答えください。

		R3.6月		R3.9月	
		回答数	%	回答数	%
全体		1,009	100.0	1,011	100.0
1	23区	722	71.6	711	70.3
2	多摩	286	28.3	299	29.6
3	島しょ	1	0.1	1	0.1

4 あなた、あるいはあなたが同居するご家族で障害のある方はいますか。(当てはまるものすべて)

		R3.6月		R3.9月	
		回答数	%	回答数	%
全体		1,009	100.0	1,011	100.0
1	あなたご自身	547	54.2	540	53.4
2	配偶者	341	33.8	336	33.2
3	父親	93	9.2	108	10.7
4	母親	171	16.9	192	19.0
5	兄弟	28	2.8	40	4.0
6	姉妹	25	2.5	23	2.3
7	お子様	192	19.0	208	20.6

5 あなた、あるいはご家族で障害のある方の年齢をお答えください。

		R3.6月		R3.9月	
		回答数	%	回答数	%
全体		1,307	100.0	1,346	100.0
1	18歳～19歳	18	1.4	19	1.4
2	20歳代	196	15.0	183	13.6
3	30歳代	214	16.4	217	16.1
4	40歳代	199	15.2	210	15.6
5	50歳代	188	14.4	214	15.9
6	60歳代	219	16.8	235	17.5
7	70歳以上	273	20.9	268	19.9

6 あなた、あるいはご家族で障害のある方の性別をお答えください。(当てはまるもの1つ)

		R3.6月		R3.9月	
		回答数	%	回答数	%
全体		1,307	100.0	1,346	100.0
1	男性	660	50.5	815	60.5
2	女性	647	49.5	531	39.5

7 あなた、あるいはご家族で障害のある方の障害の種類をお答えください。(当てはまるものすべて)

		R3.6月		R3.9月	
		回答数	%	回答数	%
全体		1,307	100.0	1,346	100.0
1	視覚障害	125	9.6	136	10.1
2	聴覚・平衡機能障害	127	9.7	122	9.1
3	音声・言語・そしゃく機能障害	42	3.2	43	3.2
4	肢体不自由(上肢)	145	11.1	143	10.6
5	肢体不自由(下肢)	258	19.7	265	19.7
6	肢体不自由(体幹)	113	8.6	113	8.4
7	肢体不自由(脳原性運動機能障害※)	13	1.0	18	1.3
8	内部障害	279	21.3	292	21.7
9	知的障害	153	11.7	161	12.0
10	精神障害	291	22.3	299	22.2
11	その他	22	1.7	19	1.4

8 7で、選択肢4.5.6.7のうち1つ以上該当した方にお聞きします。

該当する方は日常生活で車いすを必要としていますか。(当てはまるもの1つ)

		R3.6月		R3.9月	
		回答数	%	回答数	%
全体		387	100.0	395	100.0
1	必要とする	136	35.1	149	37.7
2	必要としない	251	64.9	246	62.3

《本調査》

1 障害のある( )は障害者手帳をお持ちですか。(当てはまるものすべて)

		R3.6月		R3.9月	
		回答数	%	回答数	%
全体		1,307	100.0	1,346	100.0
1	身体障害者手帳 1級	130	9.9	125	9.3
2	身体障害者手帳 2級	99	7.6	83	6.2
3	身体障害者手帳 3級	82	6.3	67	5.0
4	身体障害者手帳 4級	85	6.5	67	5.0
5	身体障害者手帳 5級	42	3.2	38	2.8
6	身体障害者手帳 6級	17	1.3	24	1.8
7	療育手帳(愛の手帳)1度(最重度)	7	0.5	6	0.4
8	療育手帳(愛の手帳)2度(重度)	18	1.4	22	1.6
9	療育手帳(愛の手帳)3度(中度)	19	1.5	15	1.1
10	療育手帳(愛の手帳)4度(軽度)	28	2.1	34	2.5
11	精神障害者保健福祉手帳 1級	7	0.5	9	0.7
12	精神障害者保健福祉手帳 2級	47	3.6	49	3.6
13	精神障害者保健福祉手帳 3級	53	4.1	48	3.6
14	障害者手帳は持っていない	696	53.3	782	58.1

2 障害のある( )は何歳から障害がありますか。

複数の障害がある方は、最初に障害が発生した年齢をお答えください。(当てはまるもの1つ)

		R3.6月		R3.9月	
		回答数	%	回答数	%
全体		1,307	100.0	1,346	100.0
1	出生前	464	35.5	530	39.4
2	10歳未満	80	6.1	132	9.8
3	10歳代	101	7.7	102	7.6
4	20歳以上	662	50.7	582	43.2

3 障害のある( )は、この1年間に収入を伴う仕事をしていましたか。(当てはまるもの1つ)

		R3.6月		R3.9月	
		回答数	%	回答数	%
全体		1,307	100.0	1,346	100.0
1	仕事をしている	582	44.5	629	46.7
2	仕事をしていない	650	49.7	648	48.1
3	福祉的就労をしている(就労移行支援、就労継続支援A型・B型、就労定着支援)	75	5.7	69	5.1

4 障害のある( )は、この1年間に平日の日中、主にどこで過ごしていましたか。(当てはまるもの1つ)

		R3.6月		R3.9月	
		回答数	%	回答数	%
全体		1,307	100.0	1,346	100.0
1	自分の家	819	62.7	834	62.0
2	職場(一般企業など)	325	24.9	347	25.8
3	職場(福祉的就労(就労移行支援、就労継続支援A型・B型、就労定着支援)の施設)	39	3.0	44	3.3
4	学校	23	1.8	22	1.6
5	通所施設(生活介護、デイケアなど)	53	4.1	49	3.6
6	入所施設	44	3.4	42	3.1
7	その他	4	0.3	8	0.6

5 障害のある( )は、日頃、どこからスポーツ・運動にかかる情報を得ていますか。(当てはまるものすべて)

		R3.6月		R3.9月	
		回答数	%	回答数	%
全体		1,307	100.0	1,346	100.0
1	家族や友人	297	22.7	357	26.5
2	学校や職場、施設の人	129	9.9	113	8.4
3	ボランティア、ヘルパーなどの支援者	107	8.2	107	7.9
4	テレビやラジオ	349	26.7	370	27.5
5	新聞	144	11.0	142	10.5
6	区市町村などの広報誌	109	8.3	140	10.4
7	障害者団体の会合や機関誌	51	3.9	64	4.8
8	インターネット	261	20.0	268	19.9
9	SNS(ツイッター、フェイスブック、インスタグラムなど)	75	5.7	98	7.3
10	行政の窓口	32	2.4	52	3.9
11	その他	30	2.3	21	1.6
12	わからない	481	36.8	486	36.1

6 障害のある( )は、この1年間にスポーツや運動を行いましたか。(当てはまるものすべて)

		R3.6月		R3.9月	
		回答数	%	回答数	%
全体		1,307	100.0	1,346	100.0
1	ウォーキング、散歩(散策、ペットの散歩など)	522	39.9	562	41.8
2	体操(ラジオ体操、職場体操、ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、縄跳びなど)	216	16.5	202	15.0
3	室内運動器具(ウエイト器具、ランニングマシン、バランスボールなど)を用いる運動	119	9.1	130	9.7
4	陸上競技(ランニング、ジョギングなどの軽い運動も含めます)	56	4.3	58	4.3
5	水泳・遊泳(水中歩行・水中運動)	61	4.7	70	5.2
6	球技(キャッチボールなどのボールを使った軽い運動も含めます)	45	3.4	46	3.4
7	ダンス(フォークダンス、ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、民謡踊りなど)	36	2.8	37	2.7
8	格闘技(ボクシング、レスリング、相撲など)	10	0.8	13	1.0
9	武道(柔道、剣道、空手、合気道など)	16	1.2	16	1.2
10	射的(弓道、アーチェリー、ダーツ、スポーツ吹矢など)	11	0.8	11	0.8
11	ウィンタースポーツ(スキー、スノーボード、スケートなど)	19	1.5	17	1.3
12	ウォータースポーツ(ボート、ヨット、スキndaイビング、スクーバダイビング、カヌー、水上バイク、サーフィン、ウィンドサーフィン、ボディボード、ボードセーリングなど)	13	1.0	22	1.6
13	スカイスポーツ(ハングライダー、パラグライダー、スカイダイビングなど)	10	0.8	8	0.6
14	アウトドアスポーツ(ハイキング、ワンダーフォーゲル、釣り、登山、キャンプなど)	27	2.1	24	1.8
15	サイクリング、モーター(サイクル)スポーツ	21	1.6	31	2.3
16	ブラインドサッカー	6	0.5	11	0.8
17	車いすテニス	6	0.5	16	1.2
18	サウンドテーブルテニス	5	0.4	10	0.7
19	シッティングバレーボール	5	0.4	8	0.6
20	車いすバスケットボール	7	0.5	12	0.9
21	車いすラグビー	2	0.2	12	0.9
22	ポッチャ	15	1.1	22	1.6
23	その他	11	0.8	23	1.7
24	特になし	602	46.1	618	45.9

7 障害のある( )のスポーツや運動を実施した日数を全部足し合わせると、この1年間にどの程度の頻度で行っていますか。

(当てはまるもの1つ)

		R3.6月		R3.9月	
		回答数	%	回答数	%
全体		705	100.0	728	100.0
1	週3日以上(年151日以上)	207	29.4	188	25.8
2	週2日程度(年101日～150日)	123	17.4	137	18.8
3	週1日程度(年51日～100日)	142	20.1	152	20.9
4	月に1～3日程度(年12日～50日)	93	13.2	96	13.2
5	3か月に1、2日程度(年4日～11日)	23	3.3	35	4.8
6	年に1～3日程度	26	3.7	29	4.0
7	わからない	91	12.9	91	12.5

8 障害のある( )がスポーツや運動を行った場所はどこですか。(当てはまるものすべて)

		R3.6月		R3.9月	
		回答数	%	回答数	%
全体		705	100.0	728	100.0
1	自宅	307	43.5	336	46.2
2	道路や遊歩道	328	46.5	348	47.8
3	広場や公園	192	27.2	218	29.9
4	民間のスポーツ施設	105	14.9	104	14.3
5	公共のスポーツ施設(障害者専用施設)	64	9.1	74	10.2
6	公共のスポーツ施設(障害者専用施設以外)	66	9.4	87	12.0
7	小中高校の体育施設	20	2.8	31	4.3
8	特別支援学校の体育施設	17	2.4	28	3.8
9	職場のスポーツ施設	19	2.7	26	3.6
10	福祉施設	50	7.1	55	7.6
11	医療機関	17	2.4	31	4.3
12	山・川・海	45	6.4	37	5.1
13	その他	7	1.0	10	1.4
14	わからない	30	4.3	32	4.4

9 障害のある( )がスポーツや運動を一緒にするのは誰ですか。(当てはまるものすべて)

		R3.6月		R3.9月	
		回答数	%	回答数	%
全体		705	100.0	728	100.0
1	一人	384	54.5	378	51.9
2	家族	246	34.9	275	37.8
3	福祉施設の職員・仲間	103	14.6	112	15.4
4	スポーツ教室の指導者・仲間	62	8.8	74	10.2
5	地域の公共スポーツ施設の職員・仲間	35	5.0	55	7.6
6	障害者専用スポーツ施設の職員・仲間	42	6.0	56	7.7
7	障害がある人のサークル・障害者スポーツサークル等の仲間	33	4.7	44	6.0
8	障害がある人やない人など様々な人がいるサークルの仲間	27	3.8	42	5.8
9	ボランティアの人たち	31	4.4	32	4.4
10	学校の先生や学校の友達	16	2.3	18	2.5
11	その他の友人・知人	52	7.4	46	6.3
12	その他	10	1.4	7	1.0
13	わからない	28	4.0	32	4.4

10 障害のある( )が、スポーツや運動をしたのはどのような理由からですか。(当てはまるものすべて)

		R3.6月		R3.9月	
		回答数	%	回答数	%
全体		705	100.0	728	100.0
1	健康・体力づくりのため	491	69.6	479	65.8
2	楽しみや気晴らしのため	271	38.4	290	39.8
3	運動不足解消のため	340	48.2	350	48.1
4	精神の修養や訓練のため	81	11.5	103	14.1
5	自己の記録や能力を向上させるため	55	7.8	77	10.6
6	リハビリテーションや医療・治療のため	107	15.2	120	16.5
7	家族のふれあいのため	48	6.8	65	8.9
8	友人・仲間との交流のため	64	9.1	80	11.0
9	美容や肥満解消のため	58	8.2	59	8.1
10	障害者スポーツ大会に参加するため	19	2.7	23	3.2
11	その他	7	1.0	8	1.1
12	わからない	37	5.2	47	6.5

11 障害のある( )が、スポーツや運動を行っていないのはどのような理由からですか。(当てはまるものすべて)

		R3.6月		R3.9月	
		回答数	%	回答数	%
全体		602	100.0	618	100.0
1	活動したいが、身体的にできない	87	14.5	86	13.9
2	活動したいが、身近なところにスポーツや運動がやれる場所がない	12	2.0	15	2.4
3	活動したいが、自分に合ったスポーツや運動の情報がない	25	4.2	18	2.9
4	活動したいが、一緒にやる人がいない	16	2.7	25	4.0
5	活動したいが、時間がない	23	3.8	18	2.9
6	その他	11	1.8	9	1.5
7	活動したいと思わない	452	75.1	476	77.0

12 新型コロナウイルス感染症により、障害のある( )のスポーツ・運動活動に、どのような影響・変化がありましたか。

(当てはまるものすべて)

		R3.6月		R3.9月	
		回答数	%	回答数	%
全体		1,307	100.0	1,346	100.0
1	感染の懸念から外出を控えたため、スポーツ・運動の機会が減った	303	23.2	348	25.9
2	感染の懸念から、一緒にスポーツ・運動していた仲間との集まりを控え、スポーツ・運動の機会が減った	142	10.9	146	10.8
3	スポーツ施設等において、休止や利用制限が設けられたことで、スポーツ・運動の機会が減った	118	9.0	140	10.4
4	スポーツ・運動教室等において、休止や利用制限が設けられたことで、スポーツ・運動の機会が減った	64	4.9	83	6.2
5	平日の日中過ごしている、自宅以外の場所(職場、学校、福祉施設等)での活動状況が変わることで、スポーツ・運動の機会が減った	60	4.6	63	4.7
6	自宅でスポーツ・運動する機会が増えた	86	6.6	96	7.1
7	道路や遊歩道でスポーツ・運動する機会が増えた	67	5.1	70	5.2
8	広場や公園でスポーツ・運動する機会が増えた	38	2.9	51	3.8
9	その他	6	0.5	8	0.6
10	特に変化はない	521	39.9	531	39.5
11	わからない	268	20.5	270	20.1

13 障害のある( )が、スポーツや運動を行う際に必要な支援は何ですか。

特に、現在不足していて、今後活動する際に必要だと思われる支援をお答えください。(上位3つまで)

		R3.6月		R3.9月	
		回答数	%	回答数	%
全体		1,307	100.0	1,346	100.0
1	スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化	133	10.2	156	11.6
2	交通機関やまちのバリアフリー化	148	11.3	167	12.4
3	会場までの送迎	116	8.9	124	9.2
4	障害者への施設開放の促進	83	6.4	93	6.9
5	障害にあわせたプログラムの充実	99	7.6	111	8.2
6	介助者や手話通訳などの支援	41	3.1	45	3.3
7	障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実	63	4.8	69	5.1
8	施設や用具等を利用する際に必要な手続きの支援	33	2.5	26	1.9
9	障害や障害者、補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)などに対する理解促進	23	1.8	23	1.7
10	適切な指導者	115	8.8	117	8.7
11	一緒に行う仲間	98	7.5	101	7.5
12	スポーツ用具等の貸出し	22	1.7	20	1.5
13	施設の利用料減免	60	4.6	62	4.6
14	その他	8	0.6	12	0.9
15	特にない	241	18.4	208	15.5
16	活動したいと思わない	262	20.0	290	21.5
17	わからない	279	21.3	283	21.0



14 13で選択した支援の内、もっとも必要な支援をお答えください。

		R3.6月		R3.9月	
		回答数	%	回答数	%
全体		525	100.0	565	100.0
1	スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化	83	15.8	92	16.3
2	交通機関やまちのバリアフリー化	94	17.9	96	17.0
3	会場までの送迎	61	11.6	59	10.4
4	障害者への施設開放の促進	31	5.9	41	7.3
5	障害にあわせたプログラムの充実	47	9.0	59	10.4
6	介助者や手話通訳などの支援	17	3.2	17	3.0
7	障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実	32	6.1	37	6.5
8	施設や用具等を利用する際に必要な手続きの支援	16	3.0	11	1.9
9	障害や障害者、補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)などに対する理解促進	10	1.9	6	1.1
10	適切な指導者	53	10.1	44	7.8
11	一緒に行う仲間	45	8.6	54	9.6
12	スポーツ用具等の貸出し	4	0.8	7	1.2
13	施設の利用料減免	25	4.8	30	5.3
14	その他	7	1.3	12	2.1

15 新型コロナウイルス感染症の影響下で、障害のある( )が、スポーツや運動を行う際に必要だと思う支援は何ですか。

(当てはまるものすべて)

		R3.6月		R3.9月	
		回答数	%	回答数	%
全体		1,307	100.0	1,346	100.0
1	感染防止策が講じられ、安心してスポーツ・運動ができる場の確保、またはその充実	314	24.0	351	26.1
2	スポーツ・運動をするうえで、個人でできる感染防止策の情報提供、またはその充実	190	14.5	223	16.6
3	自宅でもできる、障害に応じたスポーツ・運動方法についての情報提供、またはその充実	202	15.5	237	17.6
4	リモートにより、障害に応じたスポーツ・運動を指導してくれる支援、またはその充実	68	5.2	117	8.7
5	コロナ禍における、スポーツ・運動活動に関する相談窓口の設置、またはその充実	71	5.4	98	7.3
6	その他	8	0.6	5	0.4
7	特にない	223	17.1	196	14.6
8	活動したいと思わない	279	21.3	302	22.4
9	わからない	290	22.2	283	21.0

(以降、スラッシュの後は9月調査の設問番号及び内容)

16 障害のある( )は、東京2020オリンピックを観戦する予定ですか。/16 障害のある( )は、東京2020オリンピックを観戦しましたか。

		R3.6月		R3.9月	
		回答数	%	回答数	%
全体		1,307	100.0	1,346	100.0
1	はい	398	30.5	688	51.1
2	いいえ	469	35.9	476	35.4
3	わからない	440	33.7	182	13.5

17 障害のある( )が、東京2020オリンピックで「現地やテレビなどで観戦したい」ものはどれですか。(当てはまるものすべて)／

17 障害のある( )が、東京2020オリンピックで「テレビやインターネットなどで観戦した」ものはどれですか。(当てはまるものすべて)

		R3.6月		R3.9月	
		回答数	%	回答数	%
全体		398	100.0	688	100.0
1	3×3 バスケットボール	55	13.8	110	16.0
2	アーチェリー	40	10.1	78	11.3
3	体操競技	110	27.6	186	27.0
4	アーティスティックスイミング	30	7.5	65	9.4
5	陸上競技	156	39.2	262	38.1
6	バドミントン	51	12.8	152	22.1
7	野球・ソフトボール	130	32.7	243	35.3
8	バスケットボール	48	12.1	174	25.3
9	ビーチバレーボール	27	6.8	35	5.1
10	ボクシング	32	8.0	67	9.7
11	カヌー(スラローム)	18	4.5	32	4.7
12	カヌー(スプリント)	17	4.3	30	4.4
13	自転車競技(BMXレーシング)	20	5.0	43	6.3
14	自転車競技(マウンテンバイク)	17	4.3	33	4.8
15	自転車競技(ロード)	25	6.3	45	6.5
16	自転車競技(BMXフリースタイル)	18	4.5	38	5.5
17	自転車競技(トラック)	16	4.0	44	6.4
18	飛込	30	7.5	64	9.3
19	馬術	17	4.3	41	6.0
20	フェンシング	17	4.3	62	9.0
21	サッカー	83	20.9	169	24.6
22	ゴルフ	42	10.6	106	15.4
23	ハンドボール	9	2.3	33	4.8
24	ホッケー	13	3.3	27	3.9
25	柔道	90	22.6	194	28.2
26	空手	36	9.0	101	14.7
27	マラソンスイミング	58	14.6	76	11.0
28	近代五種	27	6.8	42	6.1
29	新体操	61	15.3	89	12.9
30	ボート	14	3.5	33	4.8
31	ラグビー	57	14.3	80	11.6
32	セーリング	14	3.5	32	4.7
33	射撃	17	4.3	34	4.9
34	スケートボード	35	8.8	100	14.5
35	スポーツクライミング	34	8.5	79	11.5
36	サーフィン	27	6.8	77	11.2
37	競泳	128	32.2	216	31.4
38	卓球	76	19.1	229	33.3
39	テコンドー	13	3.3	29	4.2
40	テニス	84	21.1	153	22.2
41	トランポリン	14	3.5	35	5.1
42	トライアスロン	21	5.3	48	7.0
43	バレーボール	80	20.1	105	15.3
44	水球	27	6.8	48	7.0
45	ウエイトリフティング	15	3.8	39	5.7
46	レスリング	46	11.6	100	14.5
47	開会式	126	31.7	266	38.7
48	閉会式	107	26.9	229	33.3
49	わからない	41	10.3	48	7.0

18 東京2020オリンピックの観戦により、障害のある( )のスポーツ・運動活動にどのような変化・影響がありましたか。

(当てはまるものすべて) ※9月調査のみ

		R3.9月	
		回答数	%
全体		688	100.0
1	スポーツや運動を新たに始めた、始めたいと思うようになった	113	16.4
2	スポーツや運動を以前から行っており、その頻度をさらに増やした、増やしたいと思うようになった	124	18.0
3	スポーツや運動を以前から行っており、実施種目を増やした、増やしたいと思うようになった	68	9.9
4	選手を目指し始めた、目指したいと思うようになった	51	7.4
5	スポーツの試合や大会を観戦した、観戦したいと思うようになった	86	12.5
6	ボランティアに参加した、参加したいと思うようになった	47	6.8
7	スポーツ(競技)に関しての情報を調べた、知りたいと思うようになった	59	8.6
8	アスリートに関する情報を調べた、知りたいと思うようになった	60	8.7
9	その他	2	0.3
10	特になし	331	48.1
11	わからない	52	7.6

18 障害のある( )は、東京2020パラリンピックを観戦する予定ですか。/19 障害のある( )は、東京2020パラリンピックを観戦しましたか。

		R3.6月		R3.9月	
		回答数	%	回答数	%
全体		1,307	100.0	1,346	100.0
1	はい	306	23.4	556	41.3
2	いいえ	484	37.0	582	43.2
3	わからない	517	39.6	208	15.5

19 障害のある( )が、東京2020パラリンピックで「現地やテレビなどで観戦したい」ものはどれですか。(当てはまるものすべて)/

20 障害のある( )が、東京2020パラリンピックで「テレビやインターネットなどで観戦したい」ものはどれですか。(当てはまるものすべて)

		R3.6月		R3.9月	
		回答数	%	回答数	%
全体		306	100.0	556	100.0
1	5人制サッカー	66	21.6	95	17.1
2	アーチェリー	47	15.4	65	11.7
3	カヌー(スプリント)	30	9.8	34	6.1
4	ゴールボール	28	9.2	77	13.8
5	シッティングバレーボール	23	7.5	47	8.5
6	テコンドー	22	7.2	33	5.9
7	トライアスロン	28	9.2	65	11.7
8	バドミントン	35	11.4	97	17.4
9	パワーリフティング	18	5.9	35	6.3
10	ボート	14	4.6	21	3.8
11	ボッチャ	33	10.8	148	26.6
12	車いすテニス	71	23.2	223	40.1
13	車いすバスケットボール	56	18.3	187	33.6
14	車いすフェンシング	41	13.4	60	10.8
15	車いすラグビー	62	20.3	183	32.9
16	陸上競技	72	23.5	166	29.9
17	馬術	21	6.9	40	7.2
18	柔道	40	13.1	79	14.2
19	射撃	19	6.2	32	5.8
20	水泳	71	23.2	214	38.5
21	卓球	33	10.8	86	15.5
22	自転車競技(トラック)	22	7.2	59	10.6
23	自転車競技(ロード)	15	4.9	51	9.2
24	開会式	81	26.5	225	40.5
25	閉会式	68	22.2	223	40.1
26	わからない	55	18.0	40	7.2

21 東京2020パラリンピックの観戦により、障害のある( )のスポーツ・運動活動にどのような変化・影響がありましたか。

(当てはまるものすべて) ※9月調査のみ

		R3.9月	
		回答数	%
全体		556	100.0
1	スポーツや運動を新たに始めた、始めたいと思うようになった	112	20.1
2	スポーツや運動を以前から行っており、その頻度をさらに増やした、増やしたいと思うようになった	112	20.1
3	スポーツや運動を以前から行っており、実施種目を増やした、増やしたいと思うようになった	64	11.5
4	選手を目指し始めた、目指したいと思うようになった	47	8.5
5	スポーツの試合や大会を観戦した、観戦したいと思うようになった	75	13.5
6	ボランティアに参加した、参加したいと思うようになった	51	9.2
7	障害者スポーツ(競技)に関しての情報を調べた、知りたいと思うようになった	63	11.3
8	障害者アスリートに関する情報を調べた、知りたいと思うようになった	60	10.8
9	その他	2	0.4
10	特になし	240	43.2
11	わからない	41	7.4

20 障害のある( )の現在のスポーツや運動への取組について、最も近いものを選んでください。(当てはまるもの1つ) / 22 (設問共通)

		R3.6月		R3.9月	
		回答数	%	回答数	%
全体		1,307	100.0	1,346	100.0
1	スポーツや運動を行っており、満足している	197	15.1	194	14.4
2	スポーツや運動を行っているが、もっと行いたい	209	16.0	250	18.6
3	スポーツや運動を行いたいと思うができない	239	18.3	243	18.1
4	スポーツや運動に関心はない	662	50.7	659	49.0



障害者のスポーツに関する意識調査報告書

令和4年3月発行

登録番号(3)152

発行／東京都オリンピック・パラリンピック準備局

パラリンピック部障害者スポーツ課

〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

電話 03-5320-4241(直通)

FAX 03-5388-1337

調査委託／株式会社 CCN グループ